
岡山県子どもの生活実態調査

《報告書》

平成 30 年 3 月

岡山県

目 次

I	はじめに	1
1	調査の趣旨と目的.....	1
2	相対的貧困率について.....	2
3	所得階層による世帯分類について.....	3
4	家族形態による世帯分類について.....	3
5	調査の概要.....	4
6	数値等の基本的な取り扱いについて.....	6
II	「保護者用」アンケートの結果	7
1	回答者と世帯のことについて.....	7
2	世帯の現在の就労状況について.....	15
3	世帯の経済状況について.....	19
4	子どものことについて.....	48
III	「子ども用」アンケートの結果	89
1	子どものことと一緒に住んでいる人のことについて.....	89
2	学校や勉強のことについて.....	94
3	ふだんの生活について.....	103
4	あなたの気持ちについて.....	146
IV	「支援者用」アンケートの概要と結果	166
1	調査の趣旨と目的.....	166
2	調査対象.....	166
3	調査内容.....	167
4	配付と回収の状況.....	167
5	数値等の基本的な取り扱いについて.....	167
6	「支援者用」アンケートの結果.....	168
V	資料	173
1	「保護者用」アンケート.....	173
2	「子ども用」アンケート.....	188
3	「支援者用」アンケート.....	200

I はじめに

1 調査の趣旨と目的

我が国は経済発展により生活水準は向上し豊かな国になったと言われていますが、子どもの貧困率は1980年代から上昇傾向にあり、2016年国民生活基礎調査（厚生労働省）では「7人に1人の子どもが相対的貧困の状態にある」（2015年時点）となっています。この調査結果では2012年時点の同調査より数値に改善は見られるものの、OECD（経済協力開発機構）加盟国の平均より高く、さらなる改善が求められています。

貧困という言葉を聞くと、発展途上国で見られるような、衣食住に係る物資や経済力の欠如による「絶対的貧困」をイメージされるかもしれませんが、今日食べるものさえまみならず、栄養失調になっている状況です。先進国ではそのような状況はほとんど見られないため、「相対的貧困」により統計を行っています。

相対的貧困に置かれている子どもの特徴のひとつに、外見からは「見えずらい」ことが挙げられます。理由として、相対的貧困の子どもの衣食住に関することは、平均的な収入のある家庭と変わらないことも多いからです。しかし、実際には、衣食住を保つのに精一杯で、学習塾などの習い事に通わせることができない、または、収入のために労働時間が長くなり子どもと接する時間の余裕がないという家庭も多く、そのような家庭環境は子どもの成長に少なからず影響を与えることになります。

子どもの貧困対策は、平成26年1月に施行された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づき、平成26年8月に「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定され、内閣府、文部科学省、厚生労働省などの関係省庁が連携して取り組んでいます。

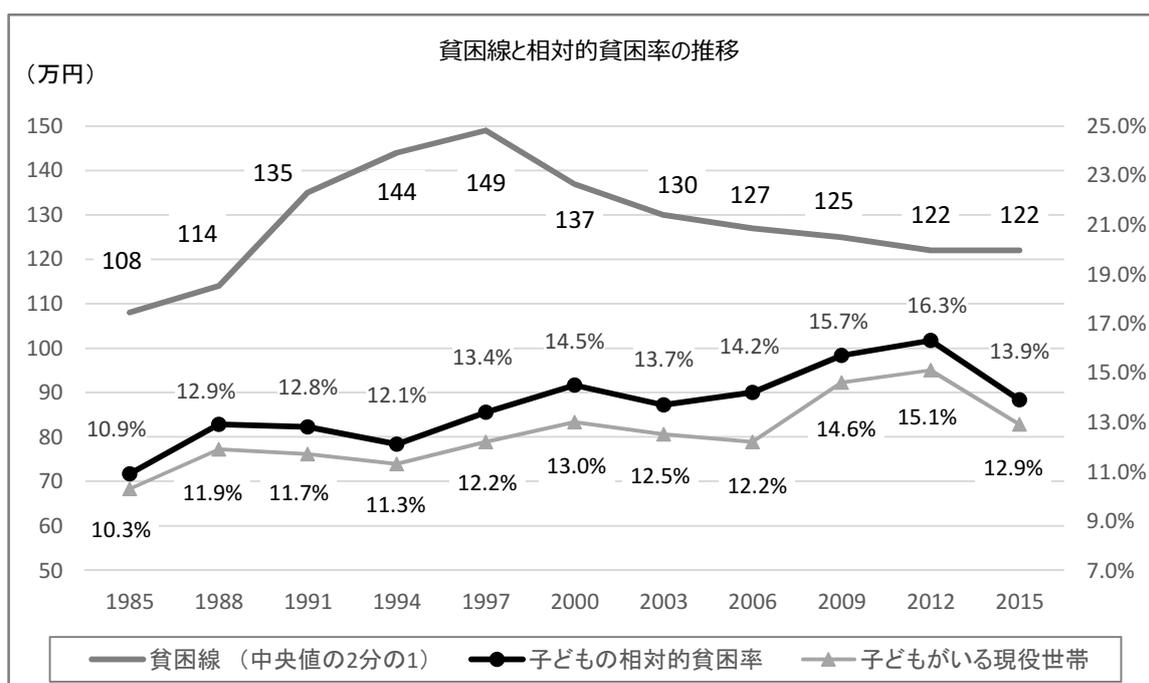
本県においては、子どもの貧困対策として関連する各分野における支援の在り方等を検討するにあたり、相対的貧困の状況にある子どもや家庭の実態把握と支援ニーズの調査・分析を行い、その結果を県及び県内市町村での子どもの貧困対策を推進するための基礎資料とすることを目的として、本調査を実施いたしました。

2 相対的貧困率について

我が国においては OECD の基準により、次のように「相対的貧困率」を算出しています。

- ① 「世帯の可処分所得（いわゆる手取り収入）」を世帯人員の平方根で割り、「等価可処分所得」を算出する。
- ② 等価可処分所得の中央値の半分を「貧困線」の値とする。
- ③ 貧困線の値を下回る等価可処分所得しか得ていない者の全体に対する割合が「相対的貧困率」となる。

厚生労働省の 2016 年「国民生活基礎調査」によると、我が国における子どもの貧困率等の推移は次のとおりとなっています。



厚生労働省 2016 年「国民生活基礎調査」より

1985 年以降、子どもの相対的貧困率（17 歳以下の子ども）は高くなる傾向にあり、2012 年には 16.3%となりました。直近の 2015 年には 13.9%と下がりましたが、OECD の平均（13.3%/2014 年時点）より高く、主要 36 カ国では 24 位にとどまっています。

また、「子どもがいる現役世帯」（世帯主が 18 歳以上 65 歳未満で子どもがいる世帯）の世帯員の相対的貧困率は、子どもの相対的貧困率と同様の傾向にあり、直近の 2015 年には 12.9%となっています。

3 所得階層による世帯分類について

- (1) 世帯年収と世帯人数の設問により、当該世帯の等価可処分所得（世帯年収を世帯人員の平方根で除した額）を算定し、所得階層を分類します。
- (2) 上記（1）で算定した等価可処分所得が「平成 28 年国民生活基礎調査」による貧困線 122 万円未満となる世帯を「所得階層①」として世帯分類を「世帯区分 1」とします。
- (3) 等価可処分所得が 122 万円以上で所得中央値 245 万円未満となる世帯を「所得階層②」として世帯分類を「世帯区分 2」とします。
- (4) 等価可処分所得が 245 万円以上で 490 万円未満までを「所得階層③」として世帯分類を「世帯区分 3」とします。
- (5) 等価可処分所得が 490 万円以上を「所得階層④」として世帯分類を「世帯区分 4」とします。

所得区分	等価可処分所得の範囲	世帯分類（世帯の呼称）
所得階層①	122 万円未満	世帯区分 1
所得階層②	122 万円以上 245 万円未満	世帯区分 2
所得階層③	245 万円以上 490 万円未満	世帯区分 3
所得階層④	490 万円以上	世帯区分 4

4 家族形態による世帯分類について

- (1) 世帯人員の設問により、子どもと同居している親が一人だけと判断できる世帯を「家族形態①」として世帯分類を「ひとり親世帯」とします。
- (2) 世帯人員の設問により、子どもと両親が同居している世帯を「家族形態②」として世帯分類を「非ひとり親世帯」とします。

家族形態	世帯分類（世帯の呼称）
家族形態①	ひとり親世帯
家族形態②	非ひとり親世帯

5 調査の概要

(1) 調査対象

県内の市町村から抽出した小学5年生及び中学2年生の子どもとその保護者

(2) 参加市町村・学校数

22市町・70校

(3) 調査内容

子どもの生活実態等に関する調査 ※ 巻末「資料」にアンケートを掲載

①子ども用（39問）

学校や勉強の状況、放課後・休日の過ごし方、食事など生活の状況、保護者との関わり、持ち物、文化自然体験、将来の夢・目標など

②保護者用（30問）

就労状況、世帯年収、生活の状況、子育てや教育の悩み、支援制度の利用状況、子どもとの関わり、食事など子どもの生活の状況、子どものための持ち物、学校外教育支出、必要な支援など

(4) 調査方法

- ・県が対象校を選定し、学校単位で実施
- ・原則、アンケート調査票は学校を通じて配付・回収（一部、郵送による配付・回収）

(5) 配付数と有効回収数

対 象	配付世帯数	回収世帯数	回収率
小学5年生とその保護者	2,527 世帯	2,142 世帯	84.8%
中学2年生とその保護者	2,582 世帯	2,086 世帯	80.8%
合 計	5,109 世帯	4,228 世帯	82.8%

(6) 調査期間

平成29年11月16日～11月24日（9日間）

(7) 世帯区分（所得階層）ごとの世帯分布

世帯区分（所得階層）	世帯数	割合	世帯人数	割合
世帯区分1（122万円未満）	378世帯	9.8%	1,665人	9.5%
世帯区分2（122万円以上245万円未満）	1,636世帯	42.2%	7,646人	43.8%
世帯区分3（245万円以上490万円未満）	1,764世帯	45.5%	7,828人	44.8%
世帯区分4（490万円以上）	98世帯	2.5%	318人	1.8%
小計	3,876世帯	100%	17,457人	100%
不明	352世帯	-	1,305人	-
合計	4,228世帯	-	18,762人	-

※「不明」は、分析に必要な該当設問に無回答の世帯。割合は無回答を除いて算出している。

(8) 家族区分（家族形態）ごとの世帯分布

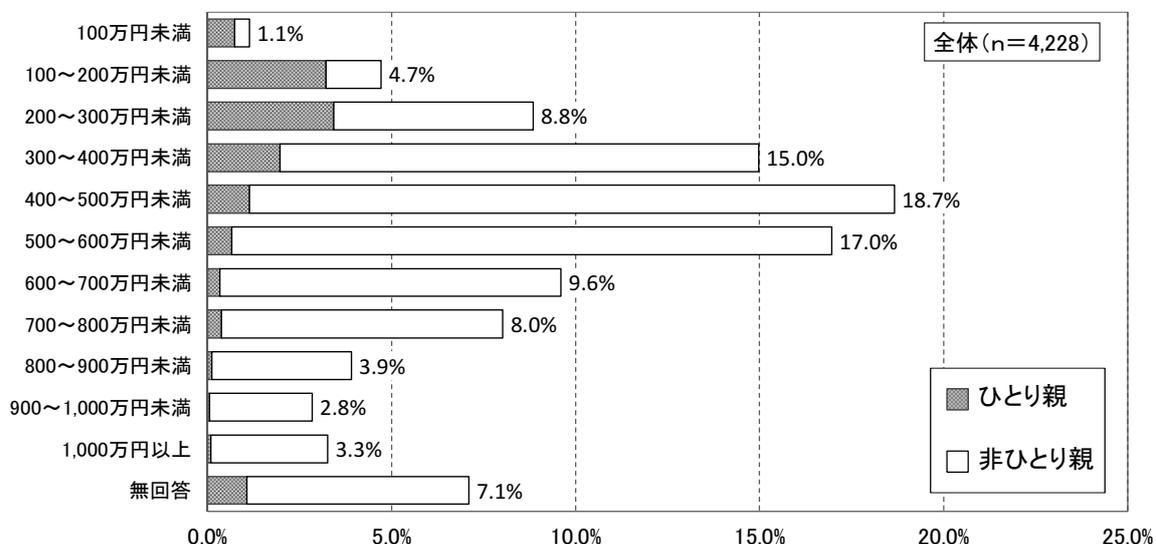
家族形態による世帯分類	世帯数	割合	世帯人数	割合
ひとり親世帯	557世帯	13.5%	2,006人	10.7%
非ひとり親世帯	3,582世帯	86.5%	16,661人	89.3%
小計	4,139世帯	100%	18,667人	100%
不明	89世帯	-	95人	-
合計	4,228世帯	-	18,762人	-

※「不明」は、分析に必要な該当設問に無回答の世帯（事情により親と同居していない子どもの世帯を含む）。

割合は無回答を除いて算出している。

(9) 世帯収入

本調査における年間の世帯収入（家族全員の手取り収入の合計）の平均は511.6万円
で、その分布は次のとおりです。



6 数値等の基本的な取り扱いについて

- (1) 比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- (2) 基数となるべき実数（回答者総数または該当者数）は、“n=〇〇〇”として掲載し、
各比率はnを100%として算出しています。
- (3) 質問の終わりに【MA】とある設問は、2つ以上の回答を出してもよい設問（複数回
答の設問）であるため、合計比率は100%を超える場合があります。
- (4) 文章及びグラフの設問カテゴリー（選択肢）の文言は、一部簡略化してあります。
- (5) 文章及びグラフのクロス集計の数字・グラフの一部は、無回答者を除いてあります。
- (6) 回答者が0%の回答は、基本的にグラフ化を行いません。また、「その他」の選択肢に
ついて、グラフ化していない設問があります。
- (7) 質問の選択肢は、基本的に「 」で表していますが、選択肢を2つ以上合わせて数
値を示す場合は“ ”で表しています。

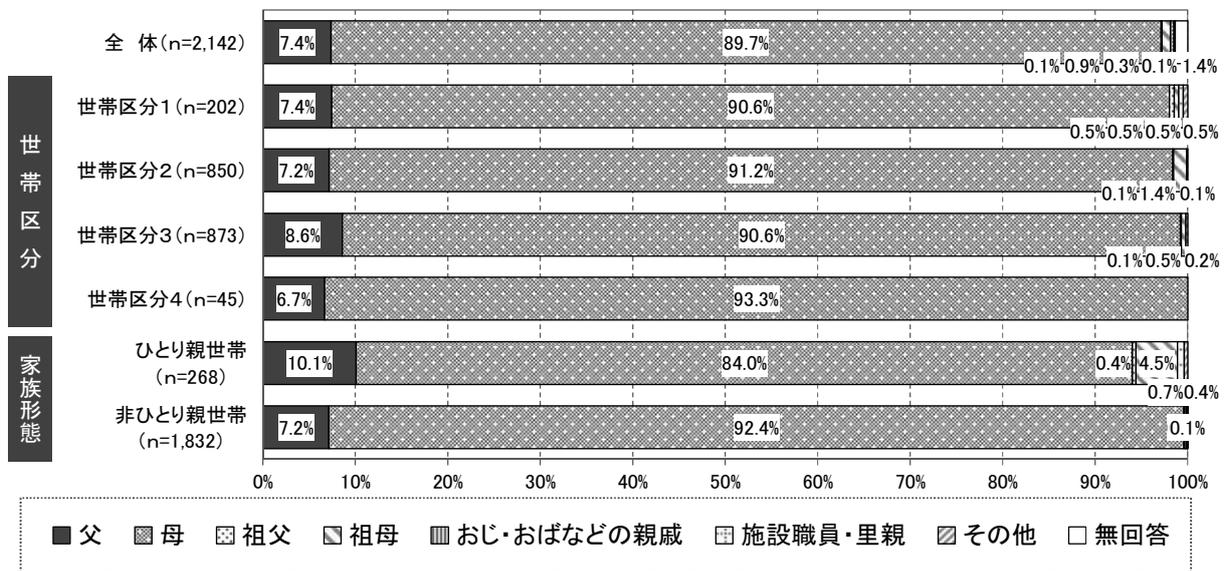
Ⅱ 「保護者用」アンケートの結果

1 回答者と世帯のことについて

問1：子どもからみた回答者の続柄

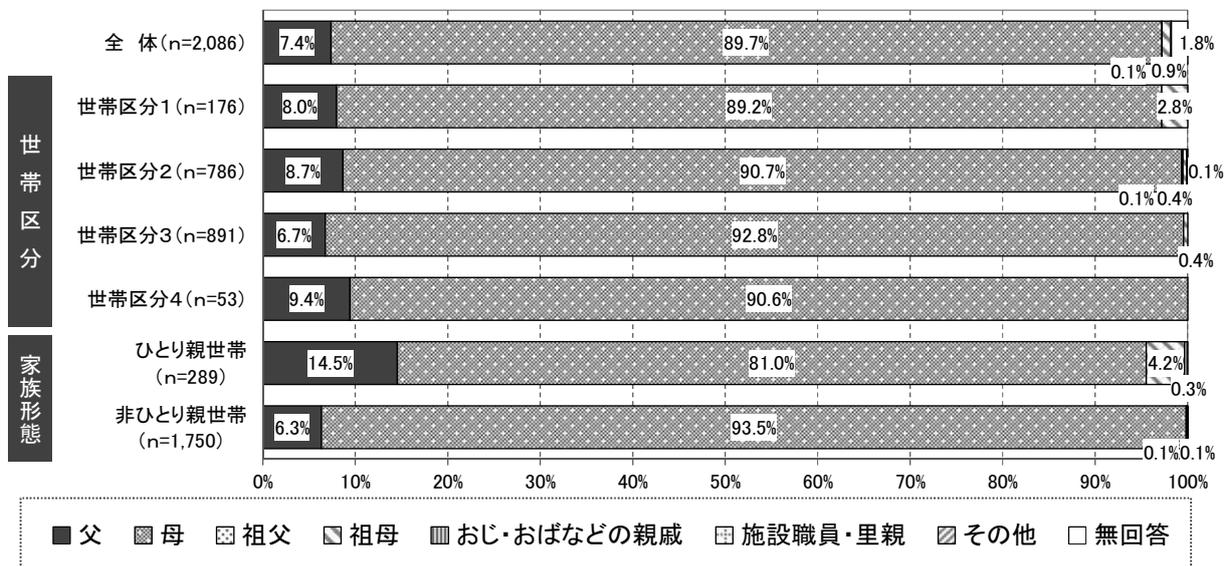
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「母」が89.7%と最も高く、次いで、「父」(7.4%)、「祖母」(0.9%)の順となっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

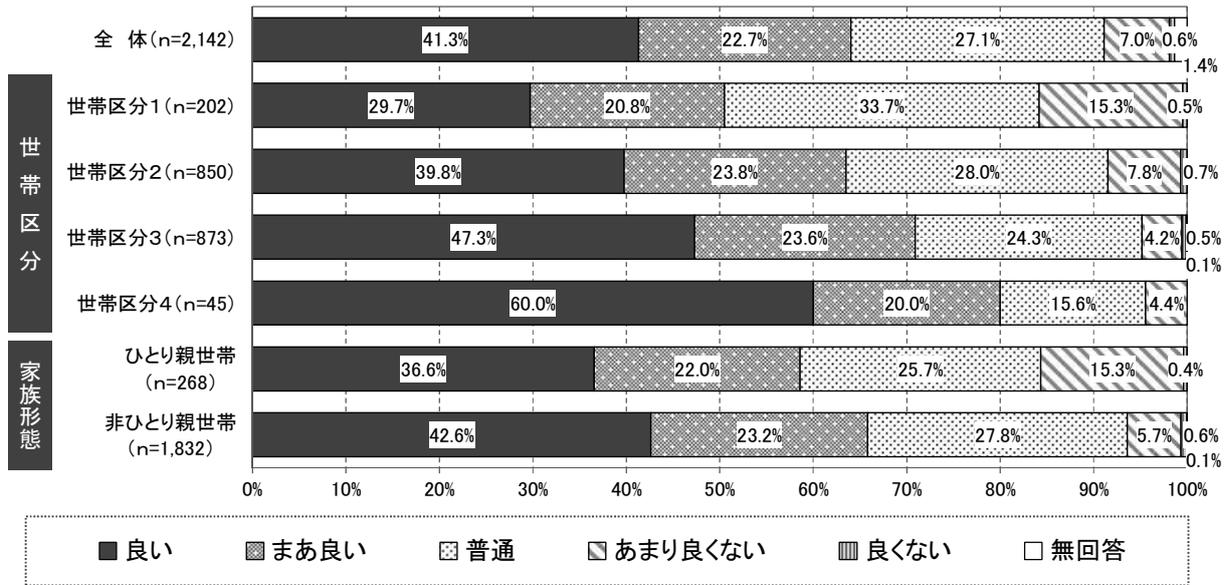
全体では、「母」が89.7%と最も高く、次いで、「父」(7.4%)、「祖母」(0.9%)の順となっています。



問 2 (1) : 回答者の健康状態

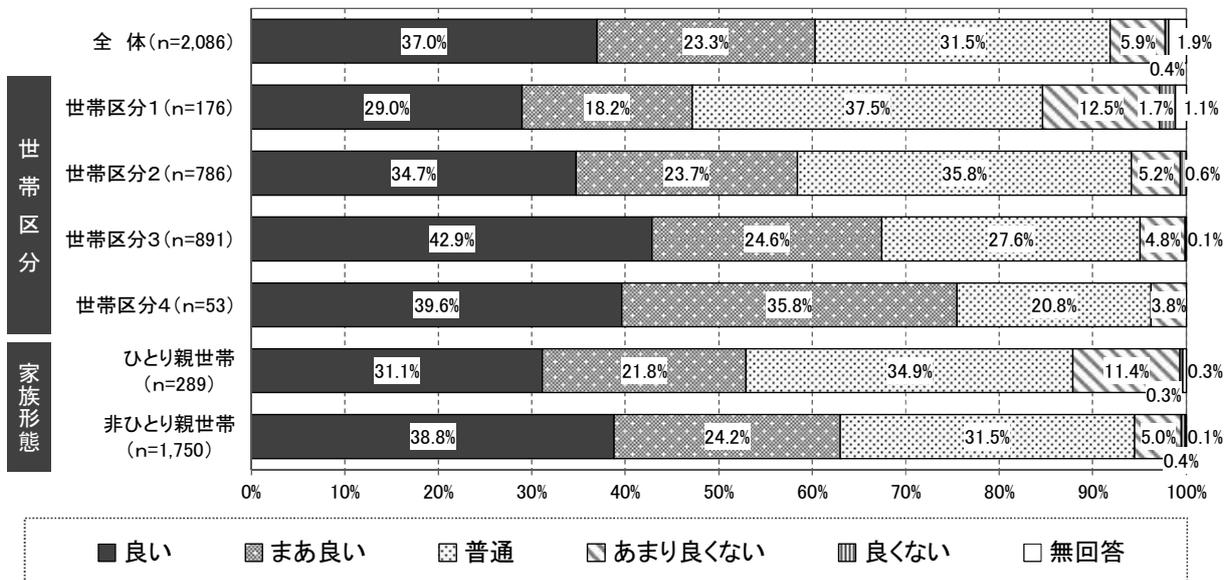
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「良い」が41.3%と最も高く、次いで、「普通」(27.1%)、「まあ良い」(22.7%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「良い」と「まあ良い」を合わせた“良い”の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が“良い”の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

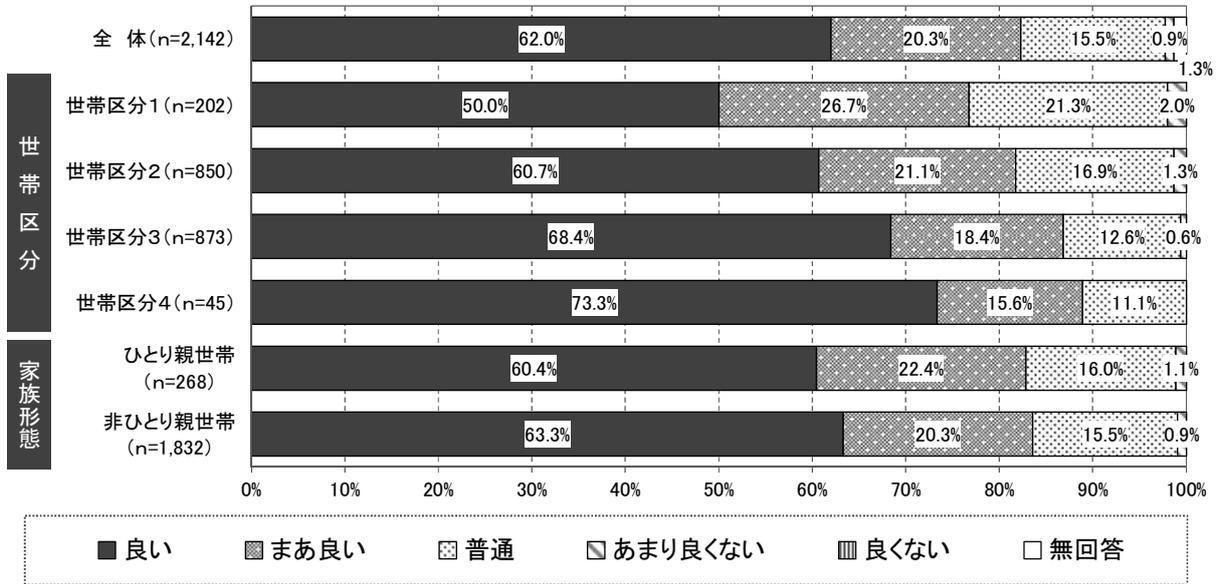
全体では、「良い」が37.0%と最も高く、次いで、「普通」(31.5%)、「まあ良い」(23.3%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど“良い”の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が“良い”の割合が低くなっています。



問2(2)：子どもの健康状態

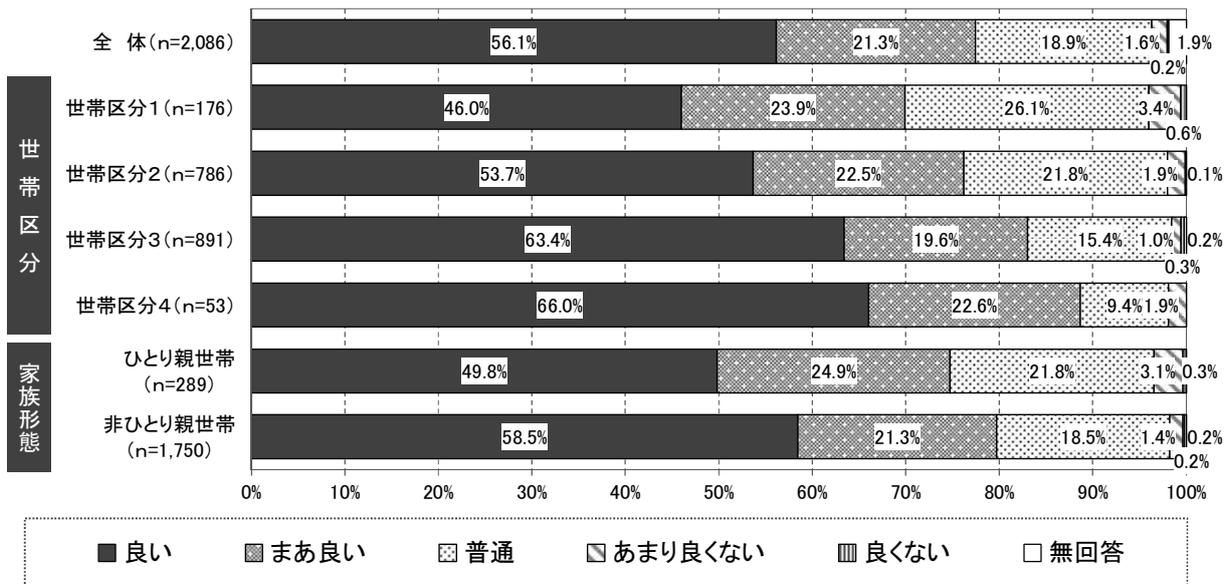
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「良い」が62.0%と最も高く、次いで、「まあ良い」(20.3%)、「普通」(15.5%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど“良い”の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

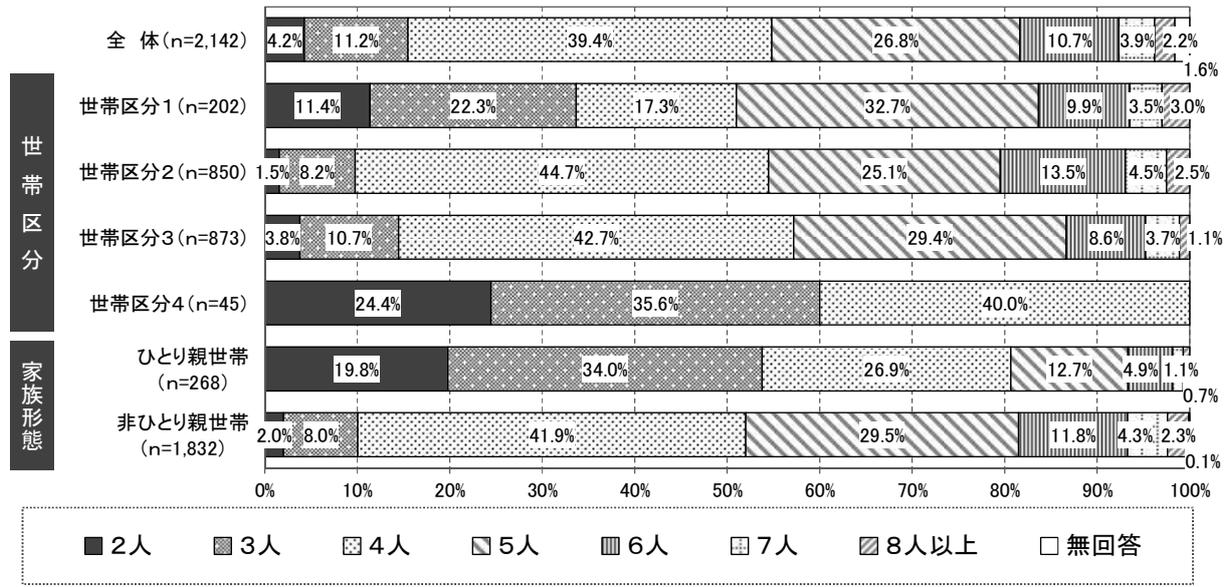
全体では、「良い」が56.1%と最も高く、次いで、「まあ良い」(21.3%)、「普通」(18.9%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど“良い”の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が“良い”の割合が低くなっています。



問3(1) : 生計をともにしている方(世帯員)の人数(回答者を含む)

◆ 小学5年生の保護者 ◆

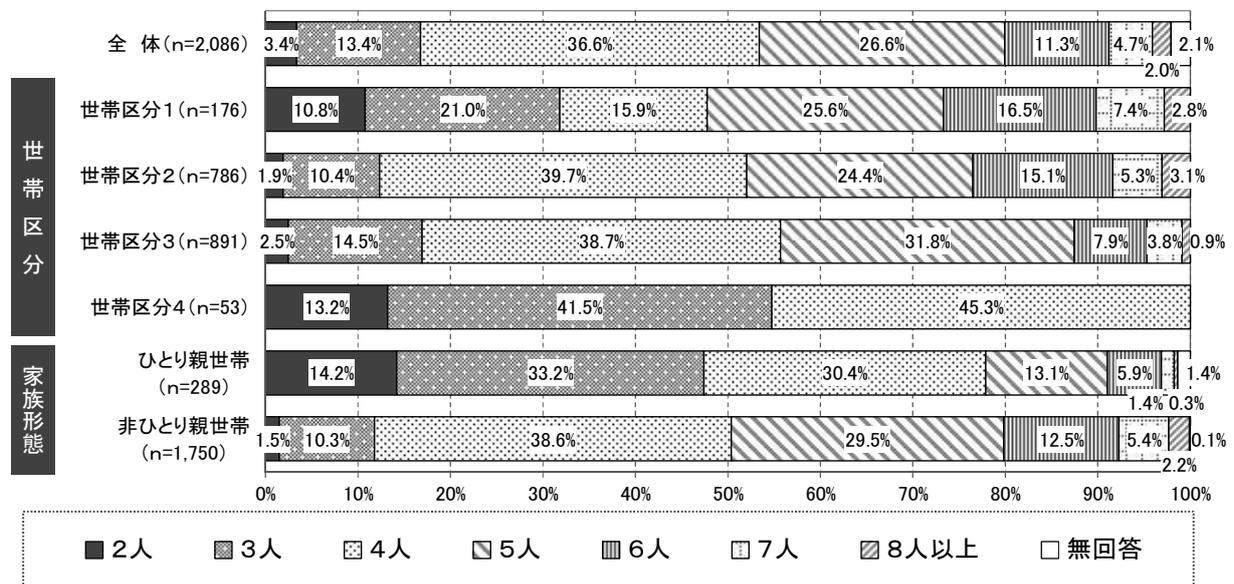
全体では、「4人」が39.4%と最も高く、次いで、「5人」(26.8%)、「3人」(11.2%)の順となっています。世帯区分で見ると、世帯区分1と4で3人以下の割合が高く、世帯区分4では6割に達しています。家族形態で見ると、ひとり親世帯で3人以下の割合が高く5割を超えています。



※「8人以上」は、「8人」「9人」「10人以上」の合計

◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「4人」が36.6%と最も高く、次いで、「5人」(26.6%)、「3人」(13.4%)の順となっています。世帯区分で見ると、世帯区分1と4で3人以下の割合が高く、世帯区分4では5割を超えています。家族形態で見ると、ひとり親世帯で3人以下の割合が高く約5割となっています。



※「8人以上」は、「8人」「9人」「10人以上」の合計

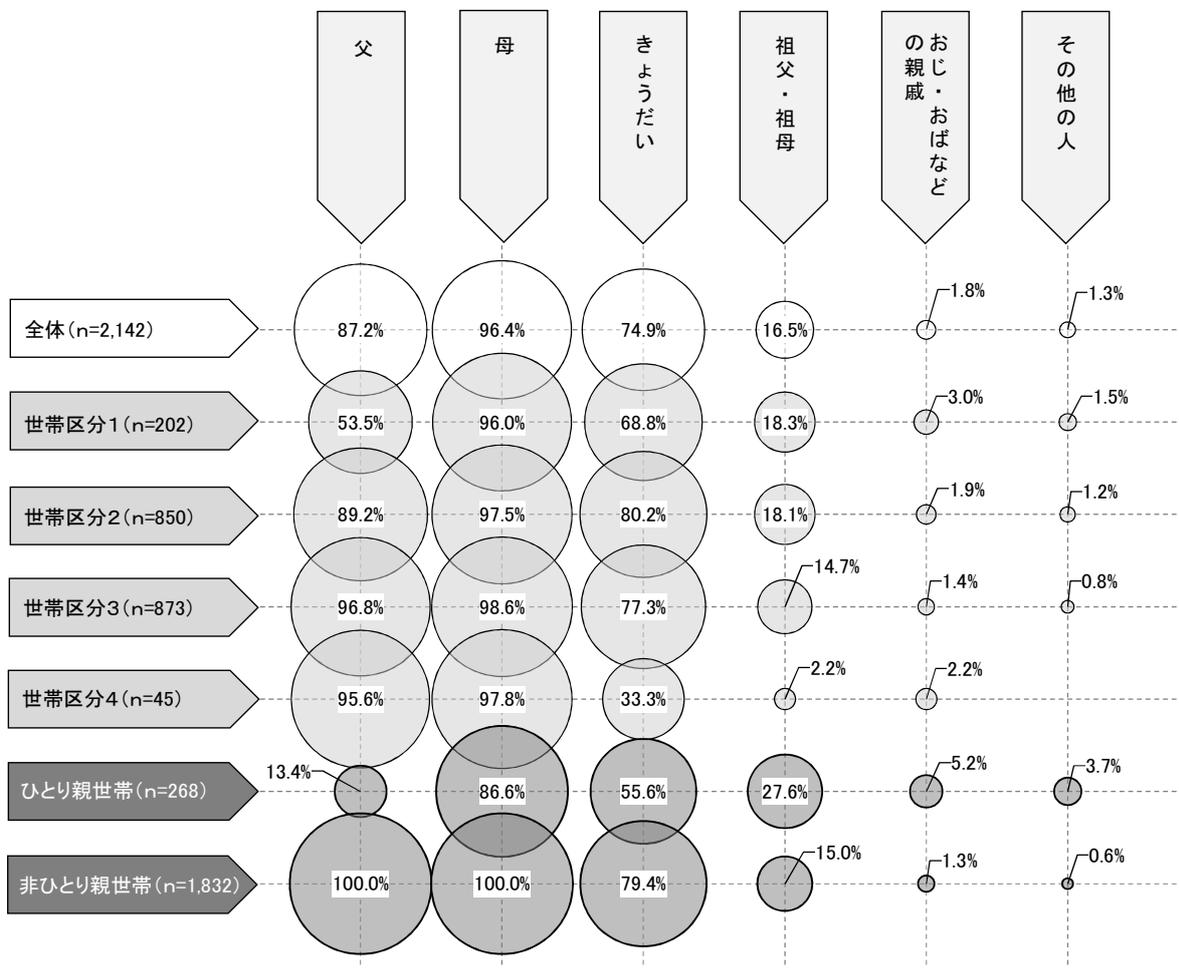
問3 (2) : 子どもからみた生計をともにしている方 (世帯員) 【MA】

◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「母」が96.4%と最も高く、次いで、「父」(87.2%)、「きょうだい」(74.9%)の順となっています。

世帯区分でみると、世帯区分1で「父」、世帯区分4で「きょうだい」・「祖父・祖母」の割合が低くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「父」・「きょうだい」の割合が低く、「祖父・祖母」の割合が高くなっています。

ひとり親世帯の「父」と「母」の割合から、本調査における小学5年生のひとり親世帯は「父子世帯」が13.4%、「母子世帯」が86.6%であることが推測されます。

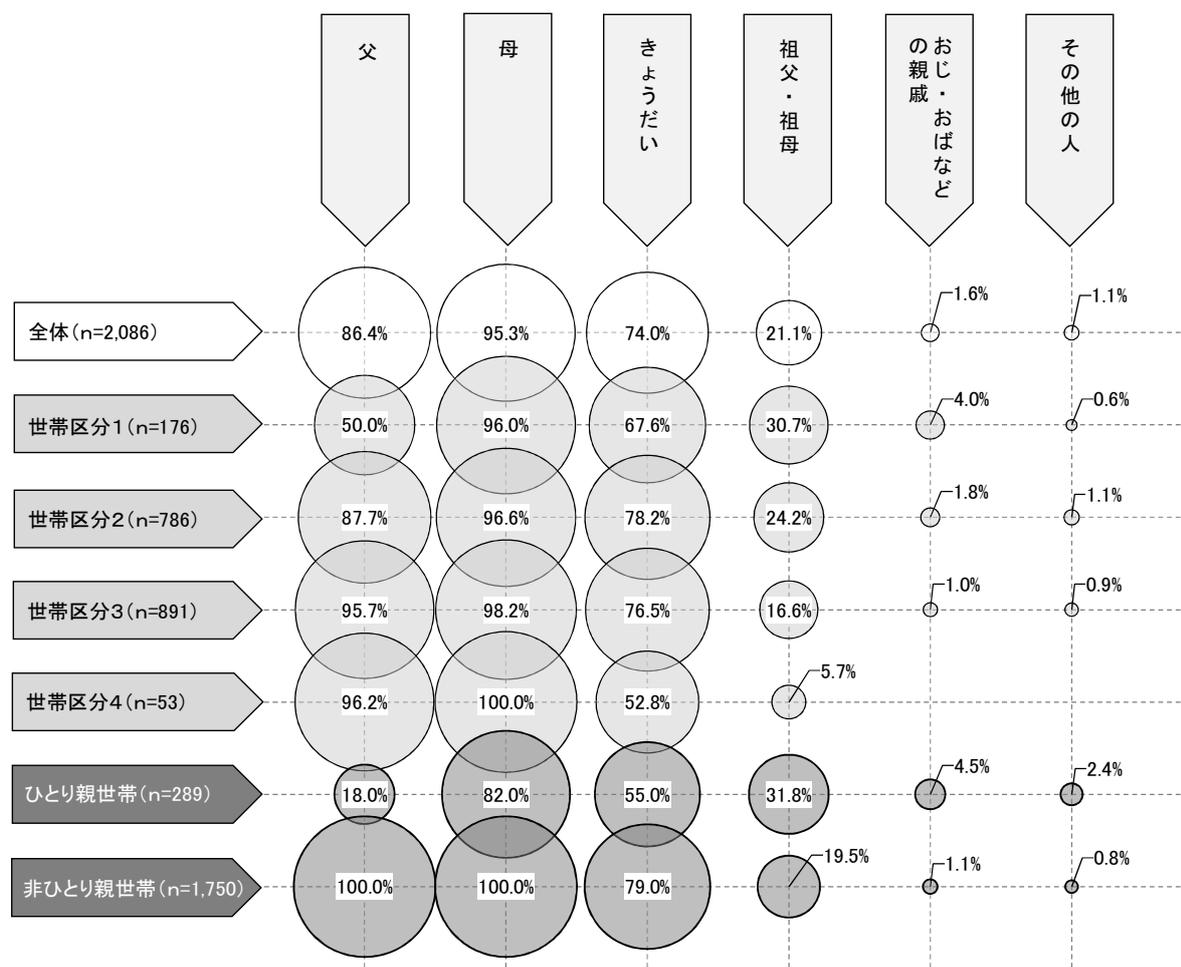


◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「母」が95.3%と最も高く、次いで、「父」(86.4%)、「きょうだい」(74.0%)の順となっています。

世帯区分で見ると、世帯区分1で「父」、世帯区分4で「きょうだい」・「祖父・祖母」の割合が低くなっています。家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「父」・「きょうだい」の割合が低く、「祖父・祖母」の割合が高くなっています。

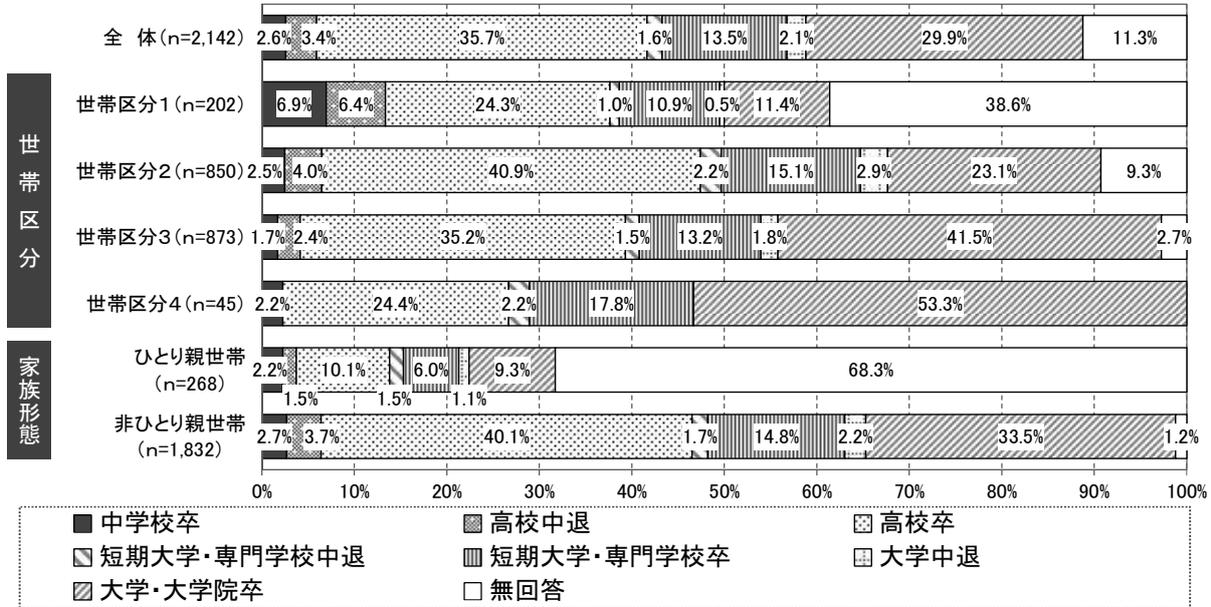
ひとり親世帯の「父」と「母」の割合から、本調査における中学2年生のひとり親世帯は「父子世帯」が18.0%、「母子世帯」が82.0%であることが推測されます。



問4(1)：父の最終学歴

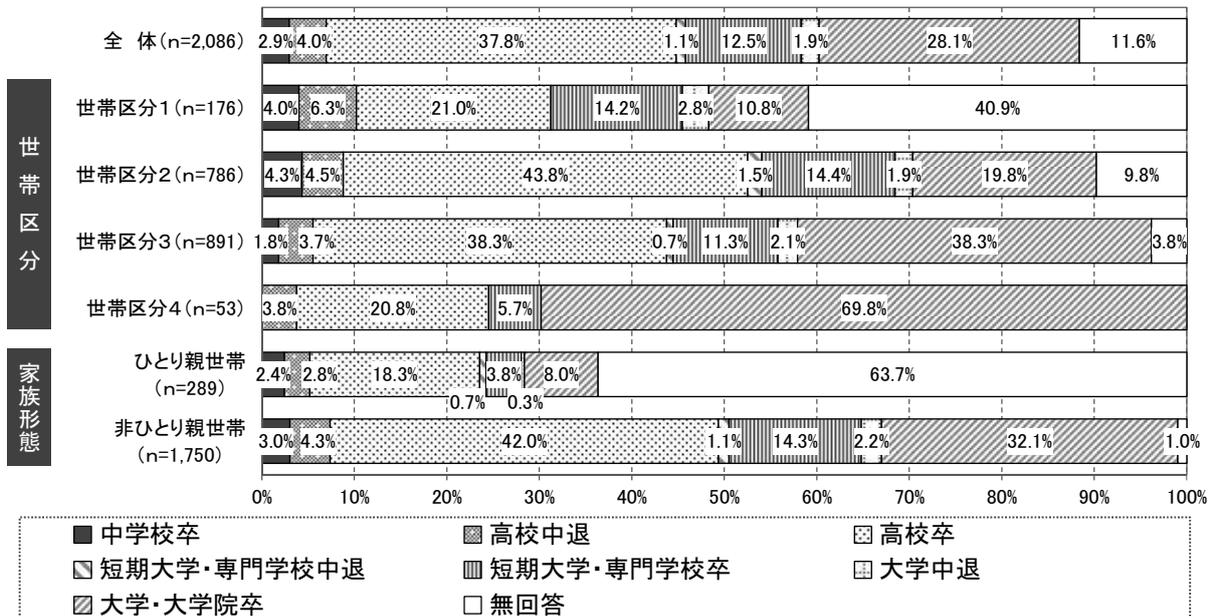
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「高校卒」が35.7%と最も高く、次いで、「大学・大学院卒」(29.9%)、「短期大学・専門学校卒」(13.5%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「大学・大学院卒」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

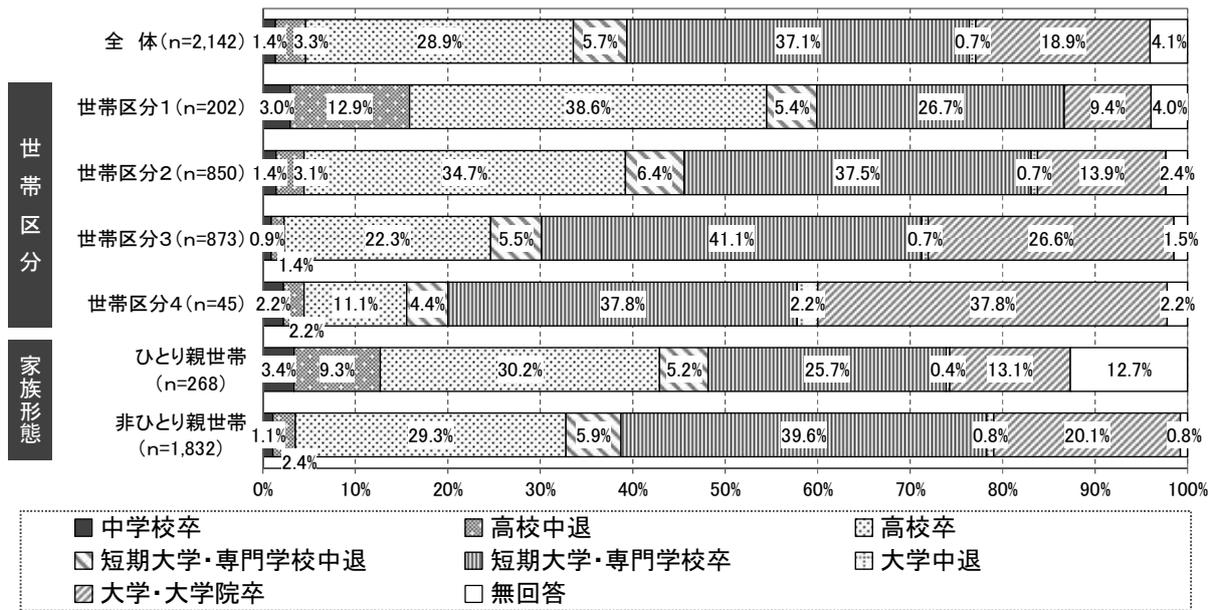
全体では、「高校卒」が37.8%と最も高く、次いで、「大学・大学院卒」(28.1%)、「短期大学・専門学校卒」(12.5%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「大学・大学院卒」の割合が低くなっています。



問 4 (2) : 母の最終学歴

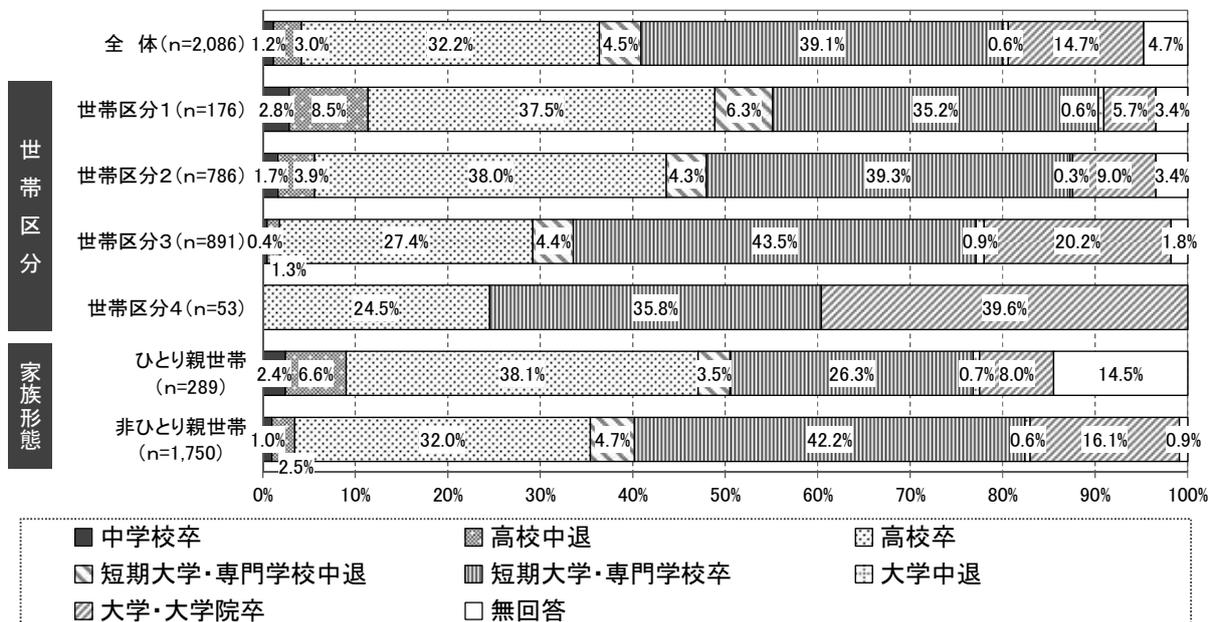
◆ 小学 5 年生の保護者 ◆

全体では、「短期大学・専門学校卒」が 37.1%と最も高く、次いで、「高校卒」(28.9%)、「大学・大学院卒」(18.9%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「大学・大学院卒」の割合が低く「高校卒」・「高校中退」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯で「大学・大学院卒」・「短期大学・専門学校卒」の割合が低く「高校卒」・「高校中退」の割合が高くなっています。



◇ 中学 2 年生の保護者 ◇

全体では、「短期大学・専門学校卒」が 39.1%と最も高く、次いで、「高校卒」(32.2%)、「大学・大学院卒」(14.7%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「大学・大学院卒」の割合が低く「高校卒」・「高校中退」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯で「大学・大学院卒」・「短期大学・専門学校卒」の割合が低く「高校卒」・「高校中退」の割合が高くなっています。



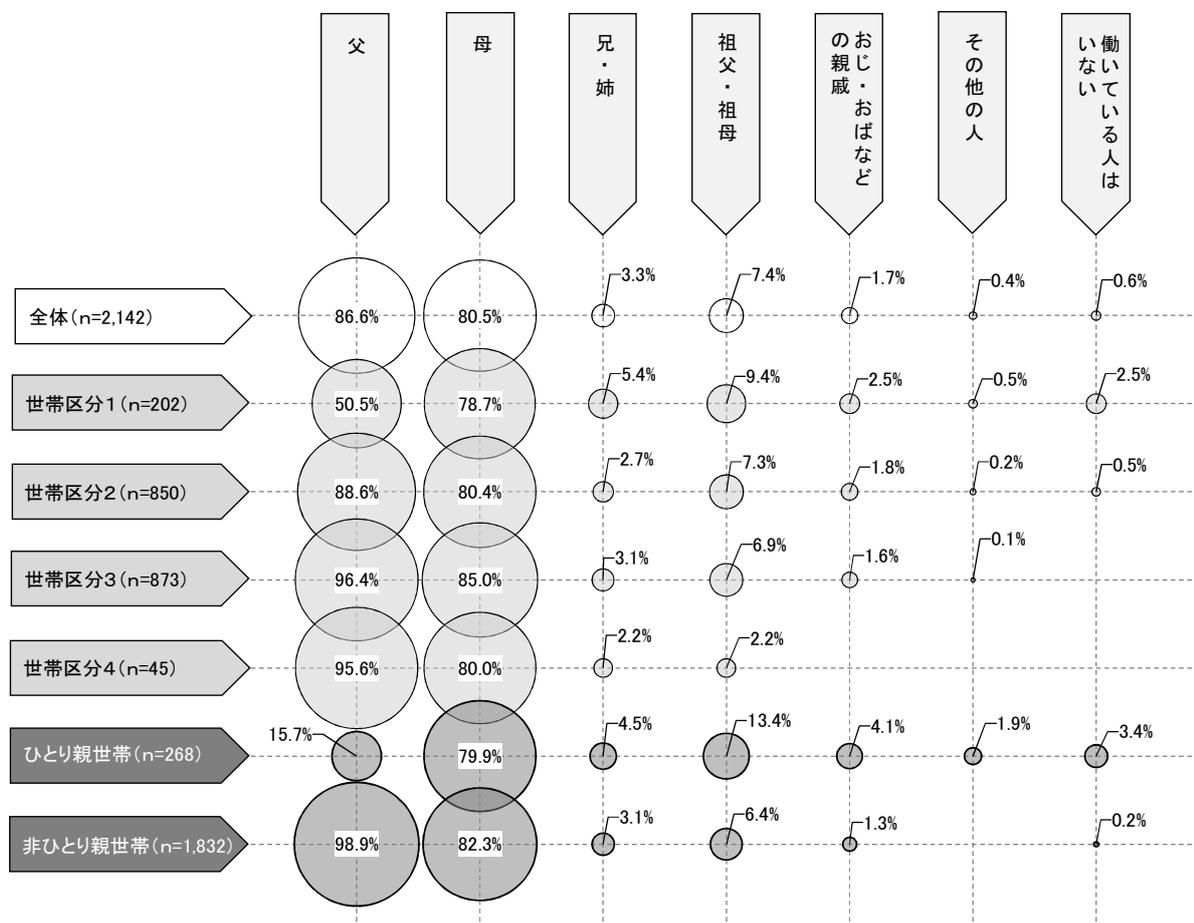
2 世帯の現在の就労状況について

問5：世帯で働いている方 【MA】

◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「父」が86.6%と最も高く、次いで、「母」(80.5%)、「祖父・祖母」(7.4%)の順となっています。

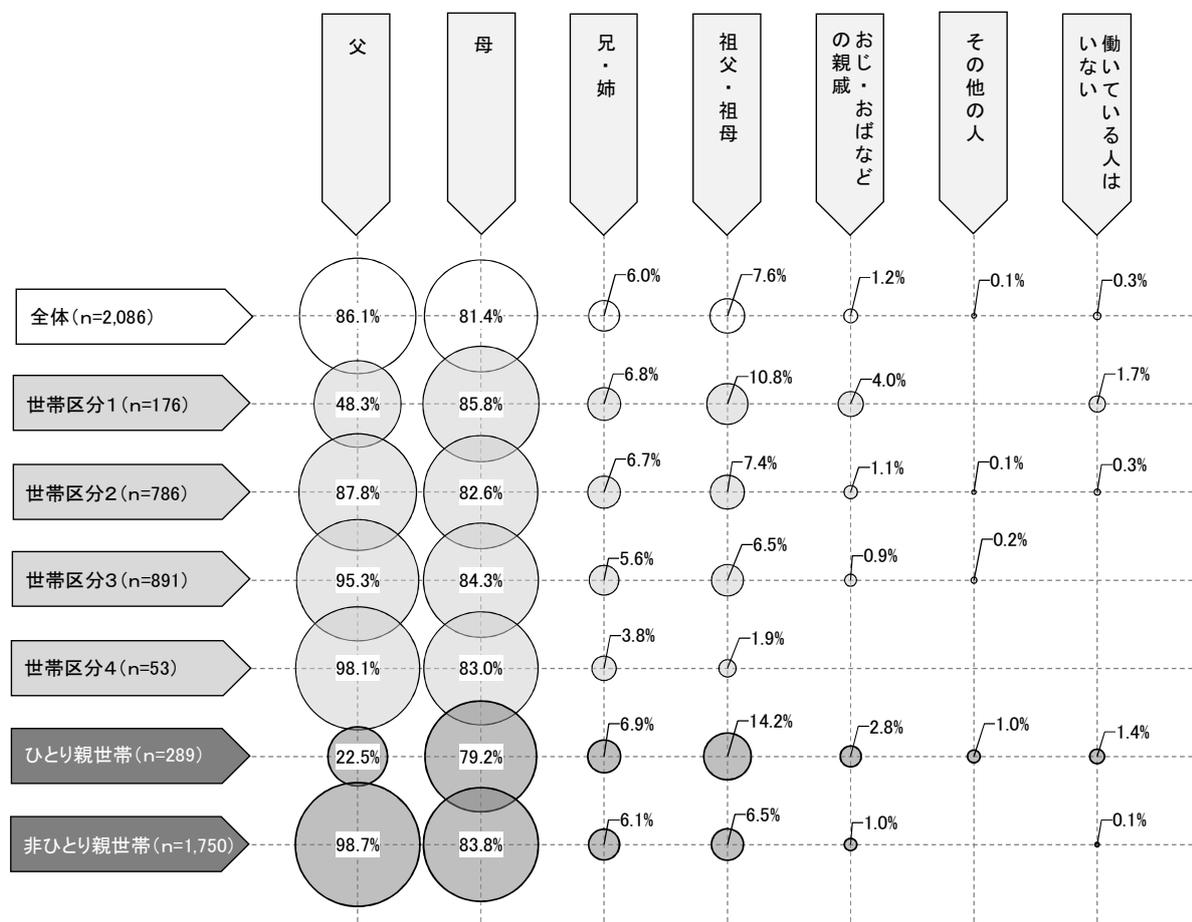
世帯区分で見ると、世帯区分1で「父」の割合が低くなっています。家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「父」の割合が低く、「祖父・祖母」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「父」が 86.1%と最も高く、次いで、「母」(81.4%)、「祖父・祖母」(7.6%) の順となっています。

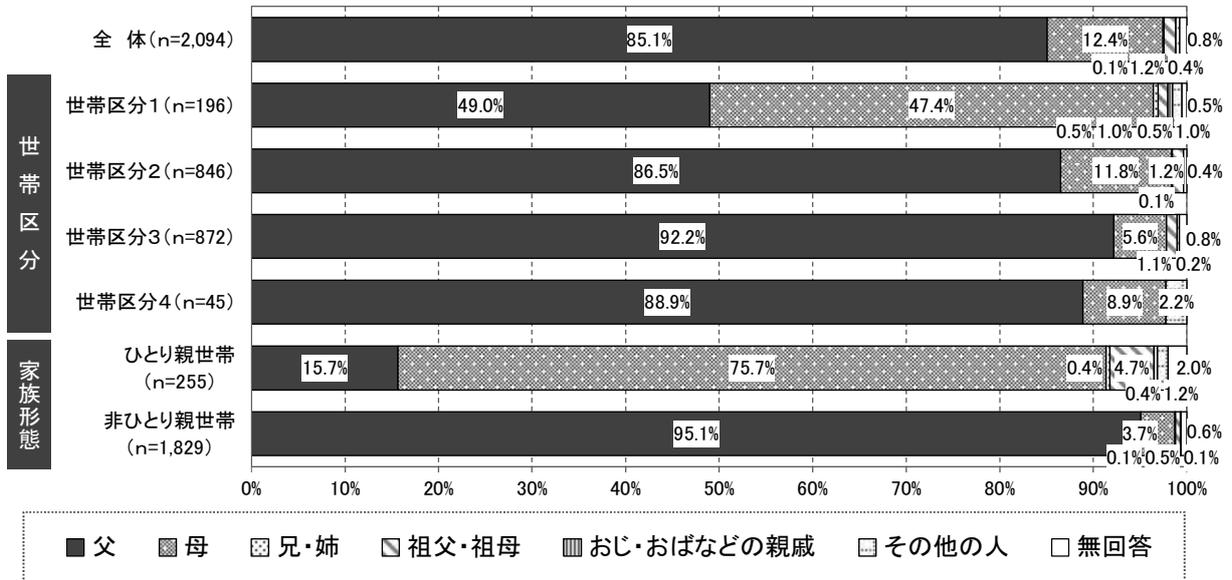
世帯区分で見ると、世帯区分1で「父」の割合が低くなっています。家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「父」の割合が低く、「祖父・祖母」の割合が高くなっています。



問6(1) : 主に家計を支えている方

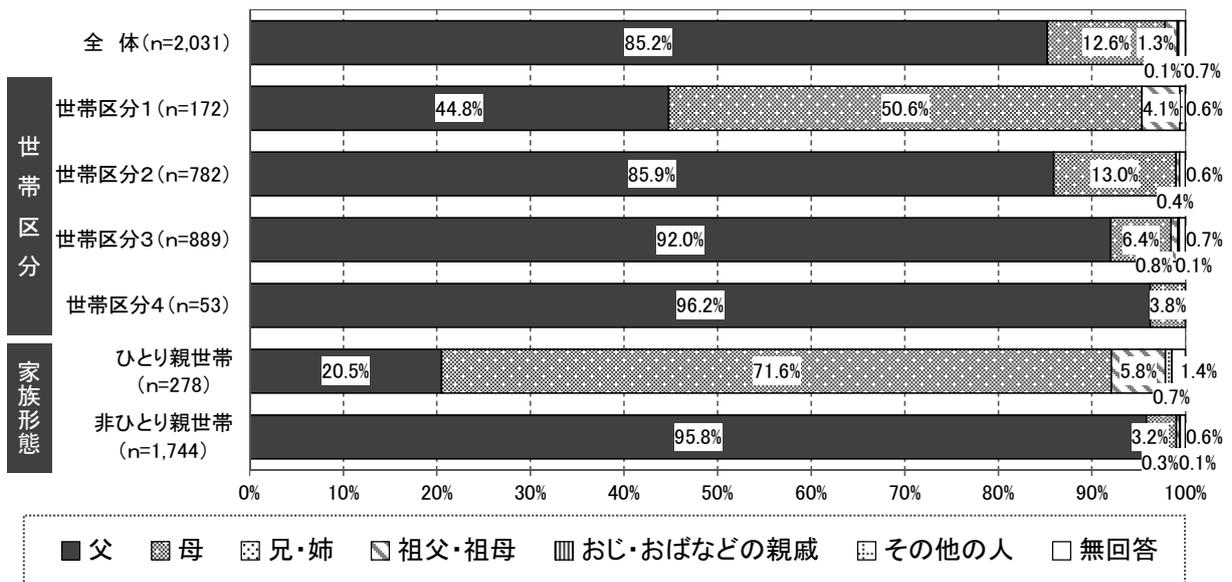
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「父」が85.1%と最も高く、次いで、「母」(12.4%)、「祖父・祖母」(1.2%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「母」の割合が高いことから、世帯区分1に母子世帯が多く属していることが考えられます。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

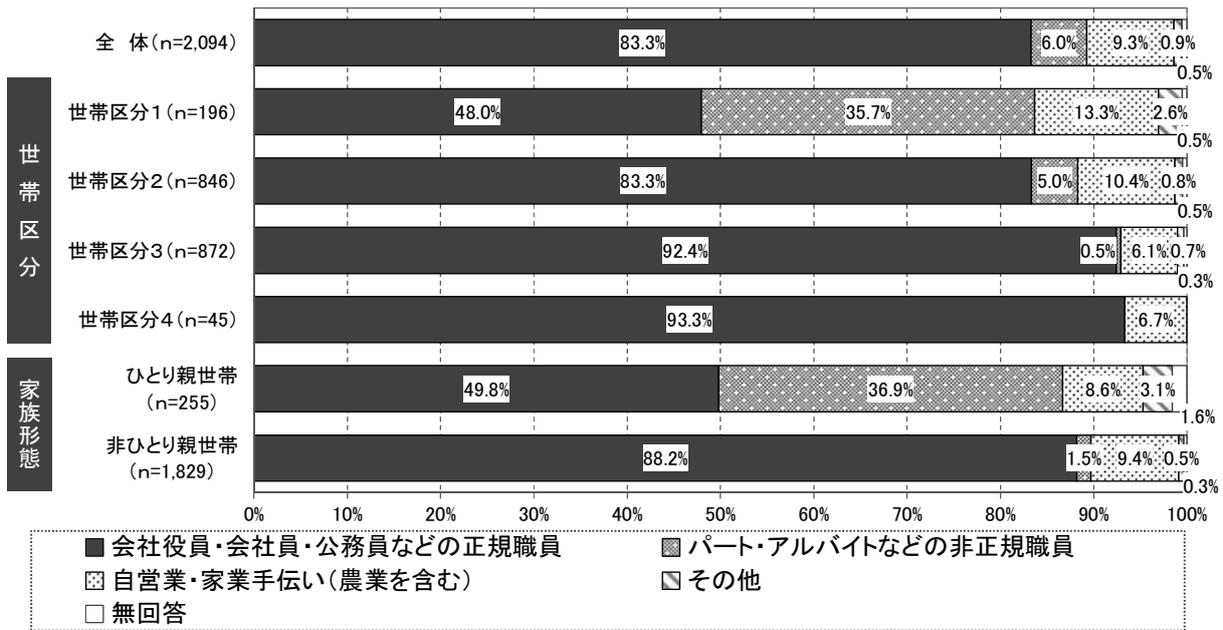
全体では、「父」が85.2%と最も高く、次いで、「母」(12.6%)、「祖父・祖母」(1.3%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「母」の割合が高いことから、世帯区分1に母子世帯が多く属していることが考えられます。



問6(2)：主に家計を支えている方の職業（働き方）

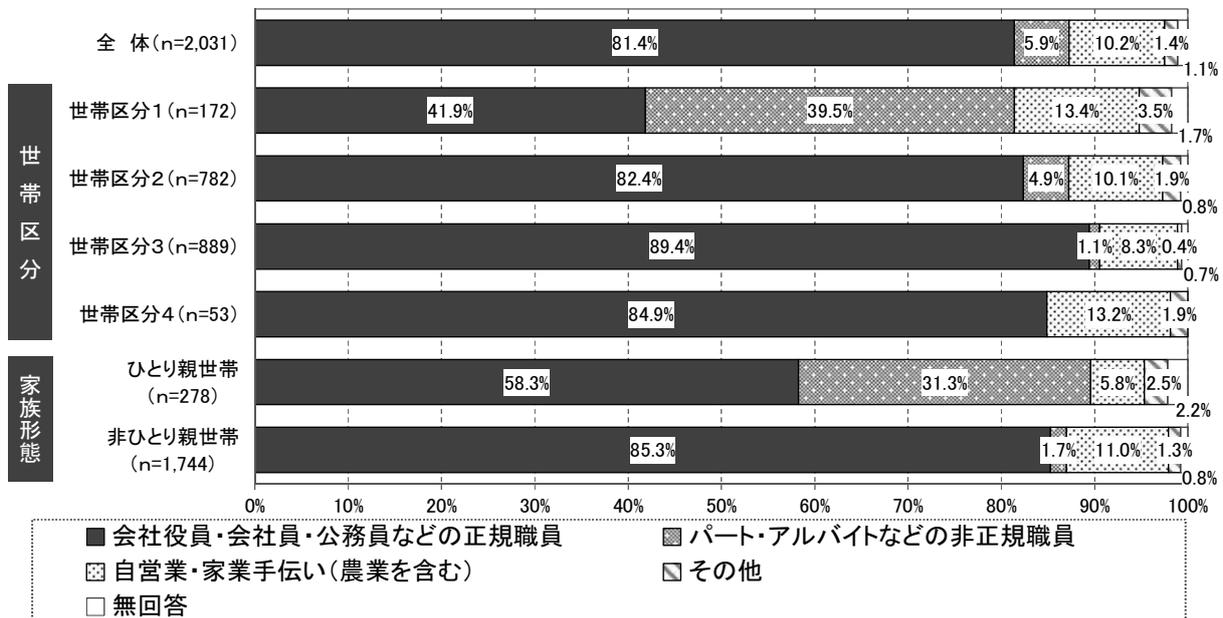
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「会社役員・会社員・公務員などの正規職員」が83.3%と最も高く、次いで、「自営業・家事手伝い（農業を含む）」（9.3%）、「パート・アルバイトなどの非正規職員」（6.0%）の順となっていますが、世帯区分1及びひとり親世帯では「非正規職員」の割合がかなり高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「会社役員・会社員・公務員などの正規職員」が81.4%と最も高く、次いで、「自営業・家事手伝い（農業を含む）」（10.2%）、「パート・アルバイトなどの非正規職員」（5.9%）の順となっていますが、世帯区分1及びひとり親世帯では「非正規職員」の割合がかなり高くなっています。

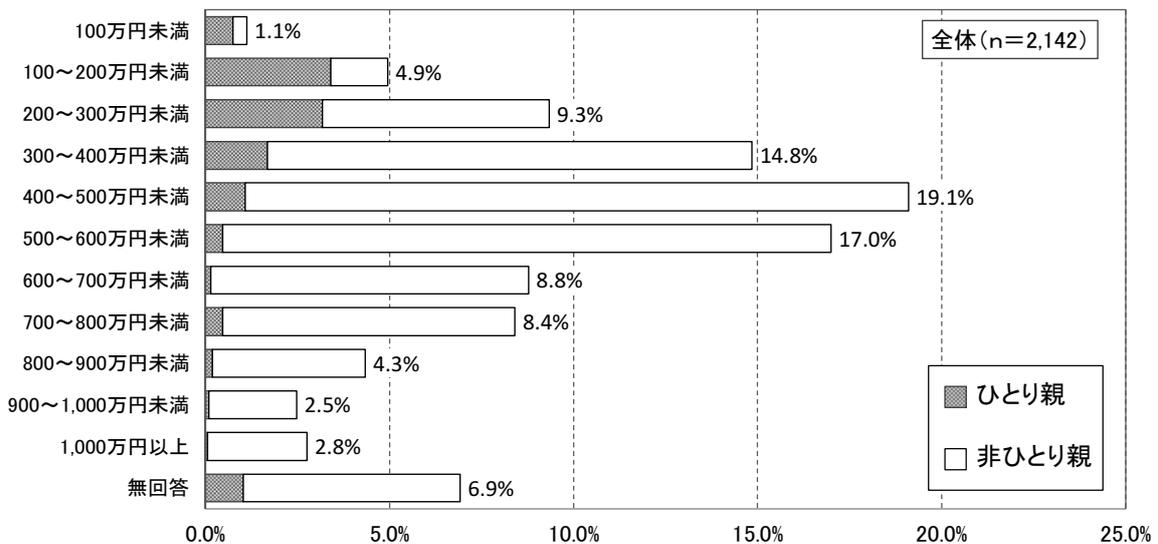


3 世帯の経済状況について

問7：年間の世帯収入（家族全員の手取り収入の合計）

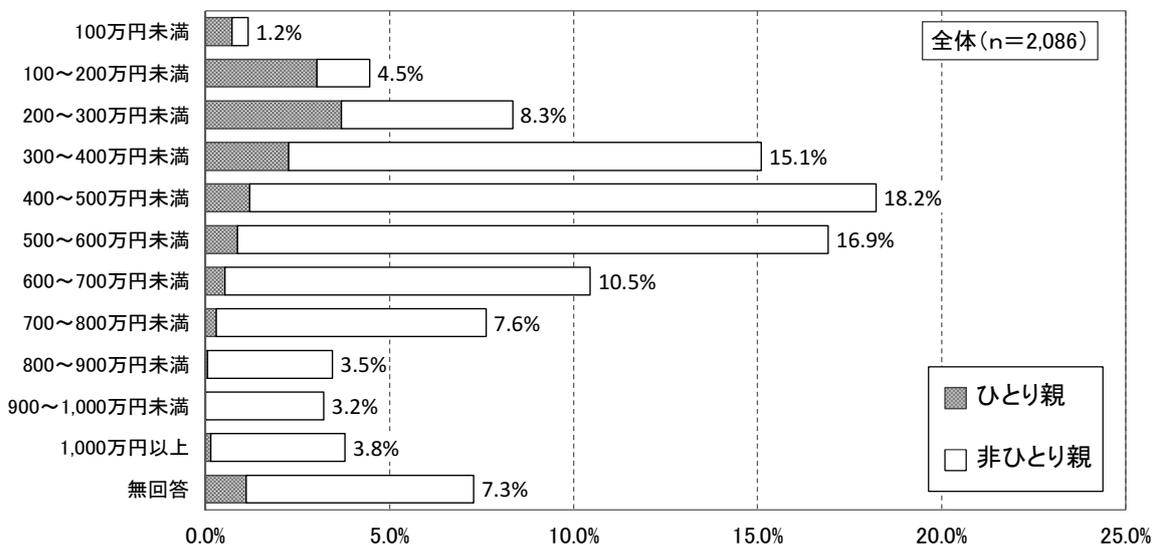
◆ 小学5年生の保護者 ◆

「400～500万円未満」が19.1%と最も高く、次いで、「500～600万円未満」（17.0%）、
「300～400万円未満」（14.8%）の順となっていますが、ひとり親世帯では「100～200万
円未満」が最も高く、分布も世帯収入の少ない方に偏っています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

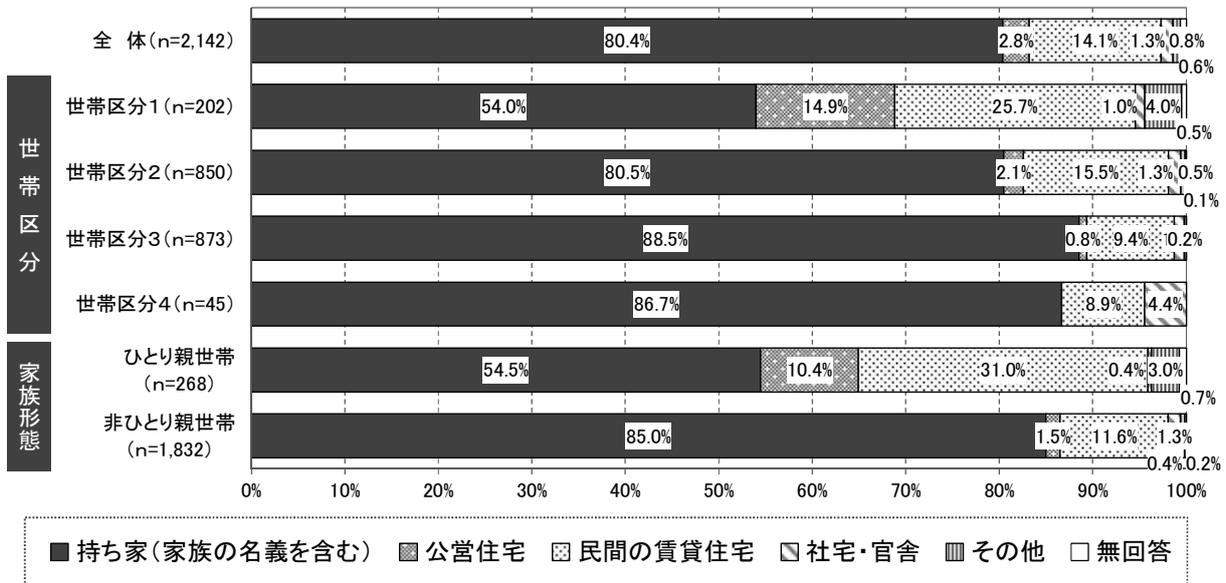
「400～500万円未満」が18.2%と最も高く、次いで、「500～600万円未満」（16.9%）、
「300～400万円未満」（15.1%）の順となっていますが、ひとり親世帯では「200～300万
円未満」が最も高く、分布も世帯収入の少ない方に偏っています。



問 8 : 住居の形態

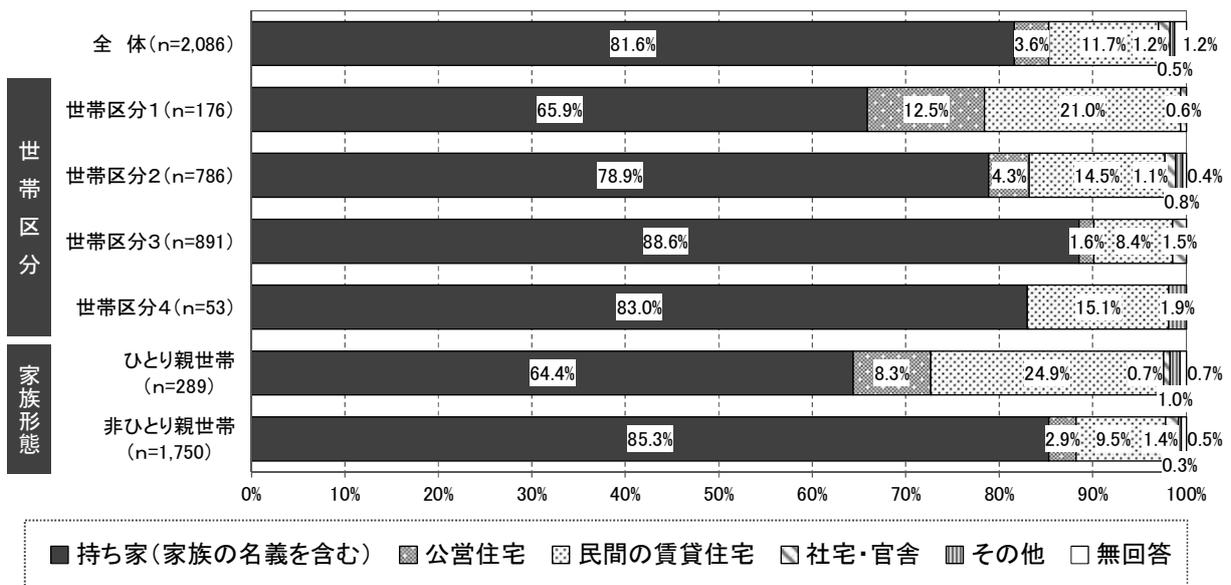
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「持ち家（家族の名義を含む）」が 80.4%と最も高く、次いで、「民間の賃貸住宅」（14.1%）、「公営住宅」（2.8%）の順となっていますが、世帯区分1及びひとり親世帯では「持ち家」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

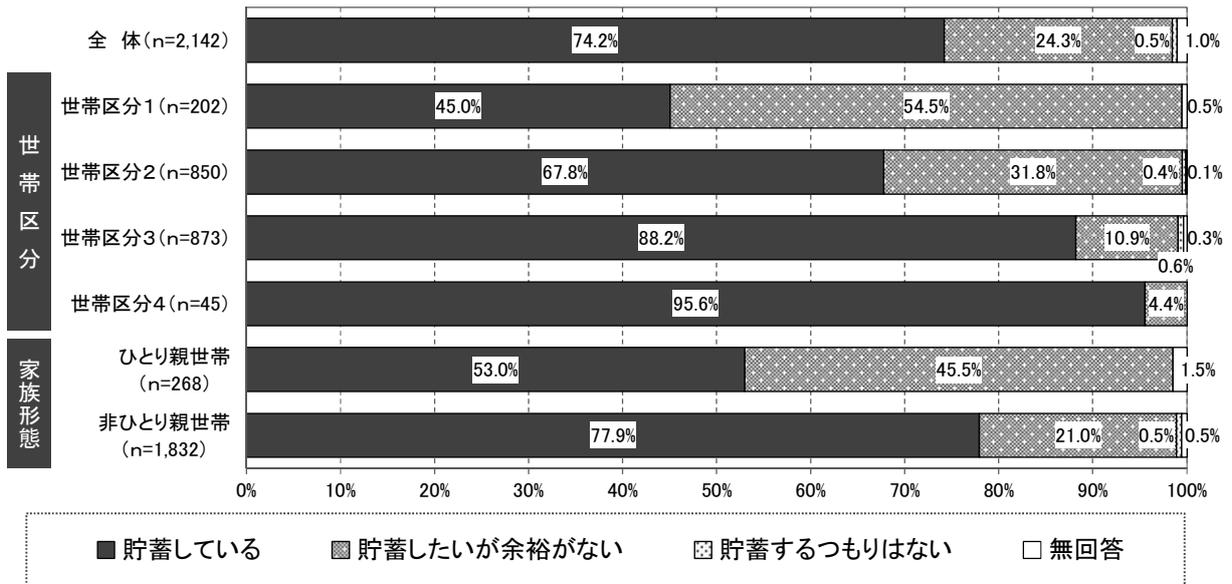
全体では、「持ち家（家族の名義を含む）」が 81.6%と最も高く、次いで、「民間の賃貸住宅」（11.7%）、「公営住宅」（3.6%）の順となっていますが、世帯区分1及びひとり親世帯では「持ち家」の割合が低くなっています。



問9：子どもの将来のための貯蓄や学資保険の加入の状況

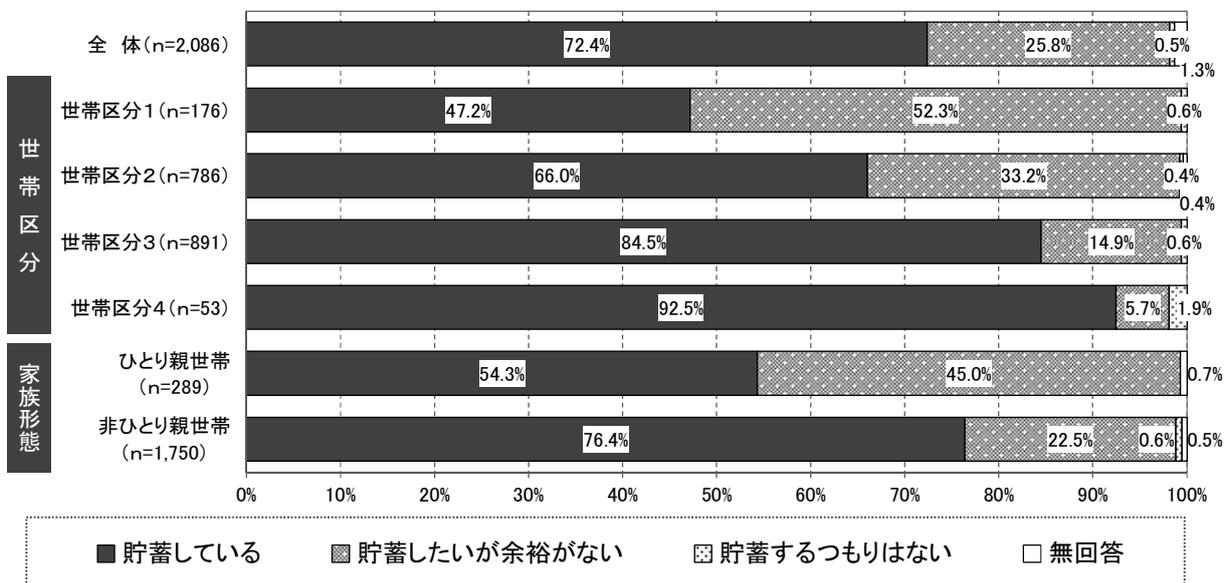
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「貯蓄している」が74.2%と最も高く、次いで、「貯蓄したいが余裕がない」(24.3%)、「貯蓄するつもりはない」(0.5%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「貯蓄している」の割合が低く、世帯区分1では「貯蓄したいが余裕がない」の割合が半数を超えています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「貯蓄している」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「貯蓄している」が72.4%と最も高く、次いで、「貯蓄したいが余裕がない」(25.8%)、「貯蓄するつもりはない」(0.5%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「貯蓄している」の割合が低く、世帯区分1では「貯蓄したいが余裕がない」の割合が半数を超えています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「貯蓄している」の割合が低くなっています。

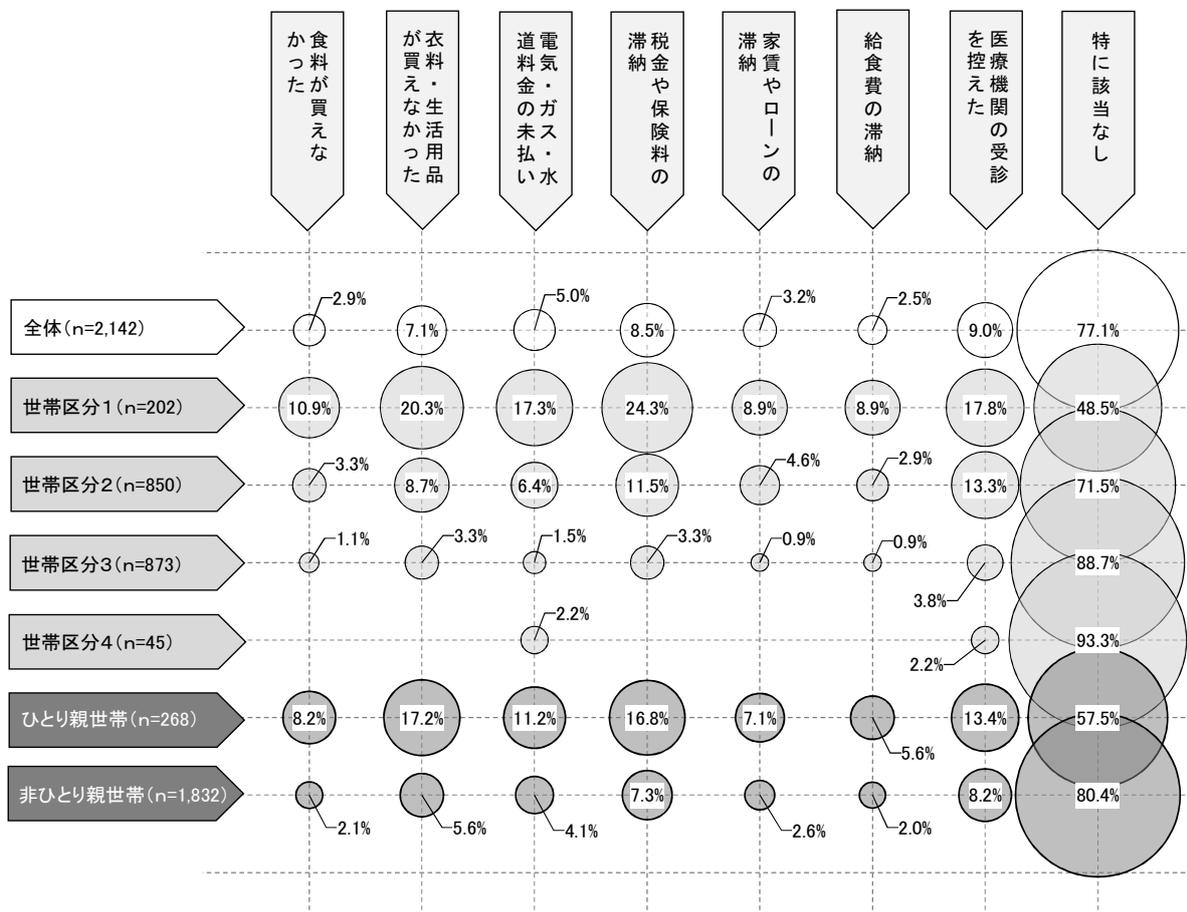


問 10：過去 1 年間に経済的な理由から、食料・衣料の購入や月々の料金の支払いができなかったことがあるか 【MA】

◆ 小学 5 年生の保護者 ◆

全体では、「特に該当なし」が 77.1%と最も高く、次いで、「医療機関の受診を控えた」(9.0%)、「税金や保険料の滞納」(8.5%) の順となっています。

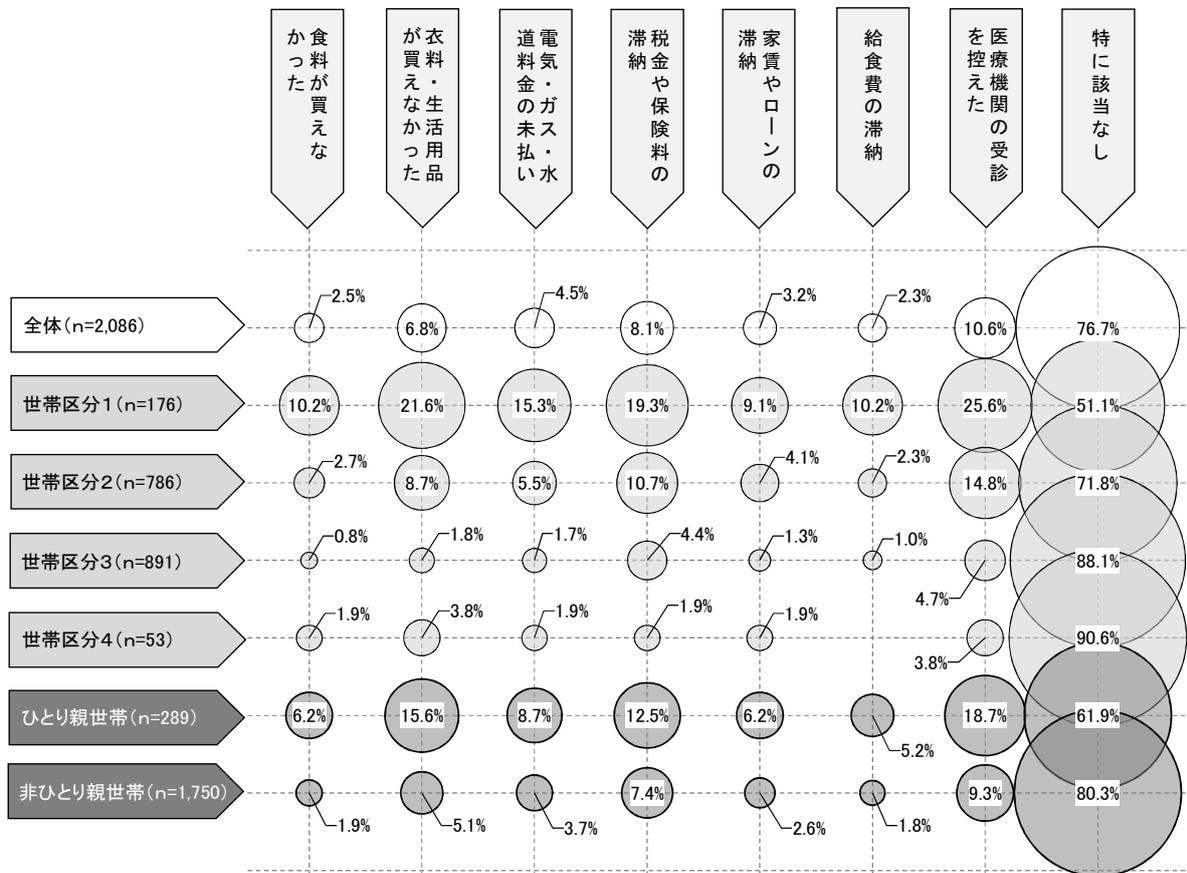
全体の「特に該当なし」は 8 割弱ですが、世帯区分 1 及びひとり親世帯では「特に該当なし」が約半数となっており、残りの半数の世帯では何らかの買い控えや未払いが発生していることが考えられます。また、支払いができなかった項目のうち、「衣料・生活用品が買えなかった」「医療機関の受診を控えた」については、世帯区分 1 で約 5 分の 1、ひとり親世帯で約 6 分の 1 が該当しており、同居する子どもへの影響が懸念されます。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「特に該当なし」が76.7%と最も高く、次いで、「医療機関の受診を控えた」(10.6%)、「税金や保険料の滞納」(8.1%)の順となっています。

全体の「特に該当なし」は8割弱ですが、世帯区分1及びひとり親世帯では「特に該当なし」が約半数となっており、残りの半数の世帯では何らかの買い控えや未払いが発生していることが考えられます。また、支払いができなかった項目のうち、「衣料・生活用品が買えなかった」については、世帯区分1で約5分の1、ひとり親世帯で約6分の1、「医療機関の受診を控えた」については、世帯区分1で約4分の1、ひとり親世帯で約5分の1が該当しており、同居する子どもへの影響が懸念されます。

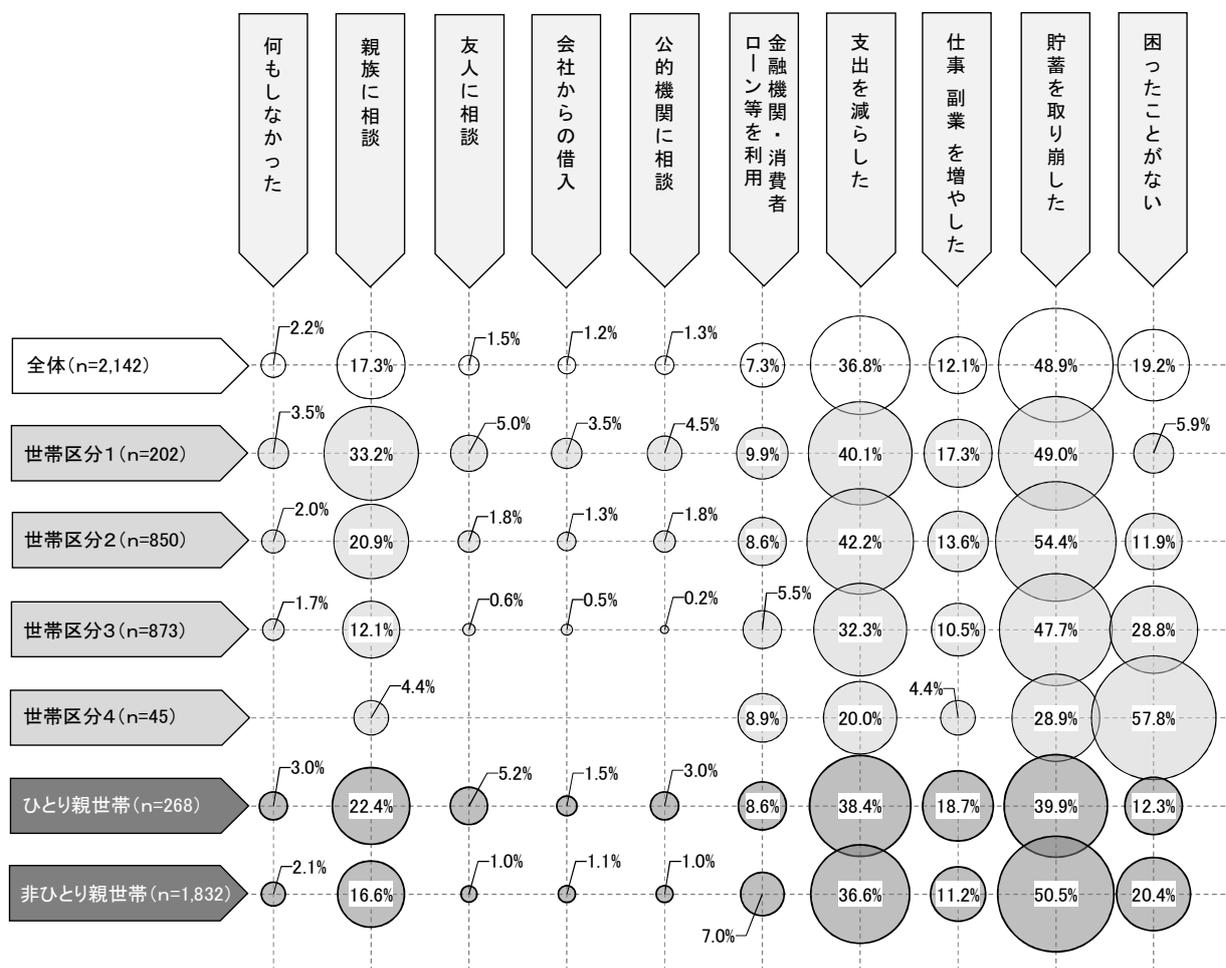


問 11：経済的に苦しい状況であったとき、どのように対応してきたか【MA】

◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「貯蓄を取り崩した」が48.9%と最も高く、次いで、「支出を減らした」(36.8%)、「困ったことがない」(19.2%)の順となっています。

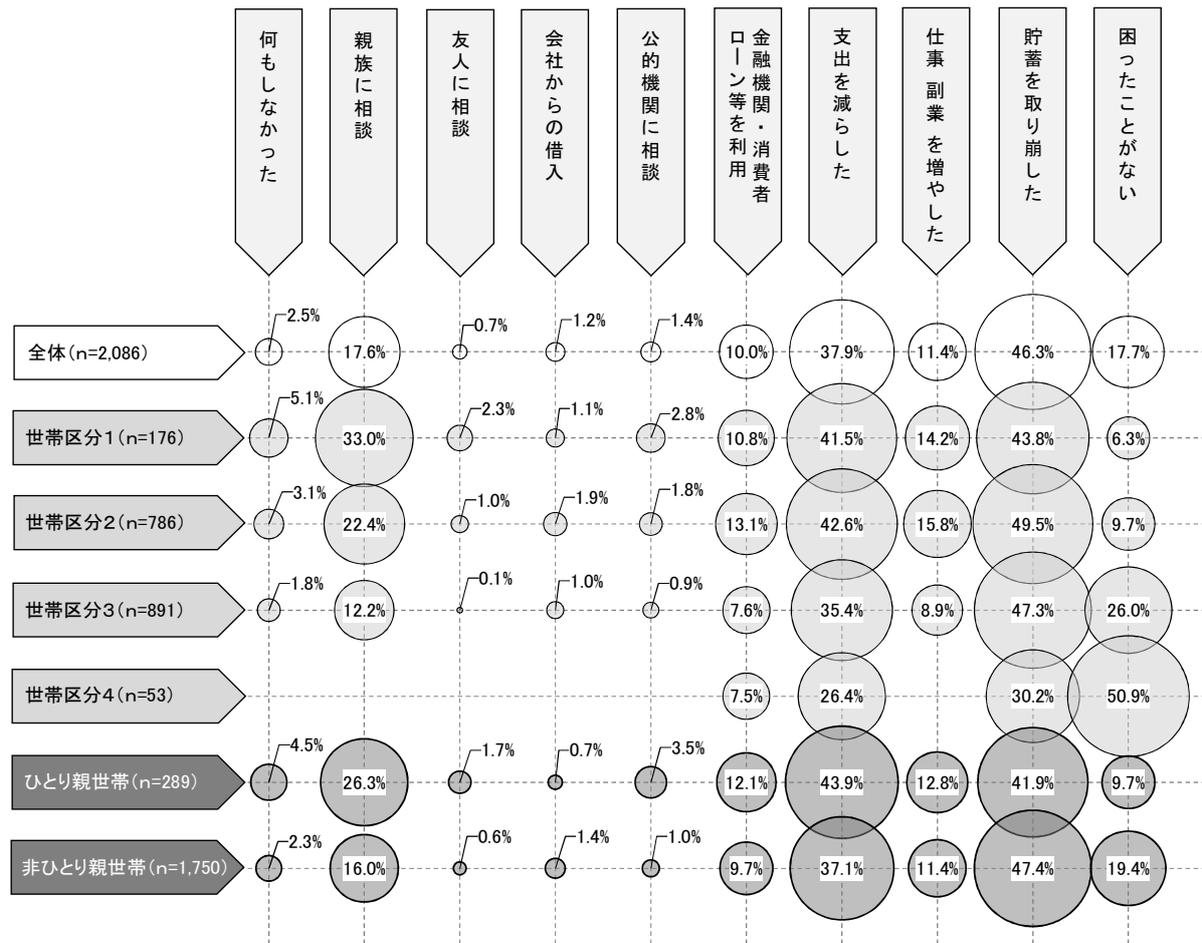
世帯区分でみると、所得が少ないほど「困ったことがない」の割合が低くなっており、所得が少なくなるにつれて「親族に相談」・「支出を減らした」・「仕事（副業）を増やした」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「親族に相談」・「仕事（副業）を増やした」の割合が高く「貯蓄を取り崩した」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「貯蓄を取り崩した」が46.3%と最も高く、次いで、「支出を減らした」(37.9%)、「困ったことがない」(17.7%)の順となっています。

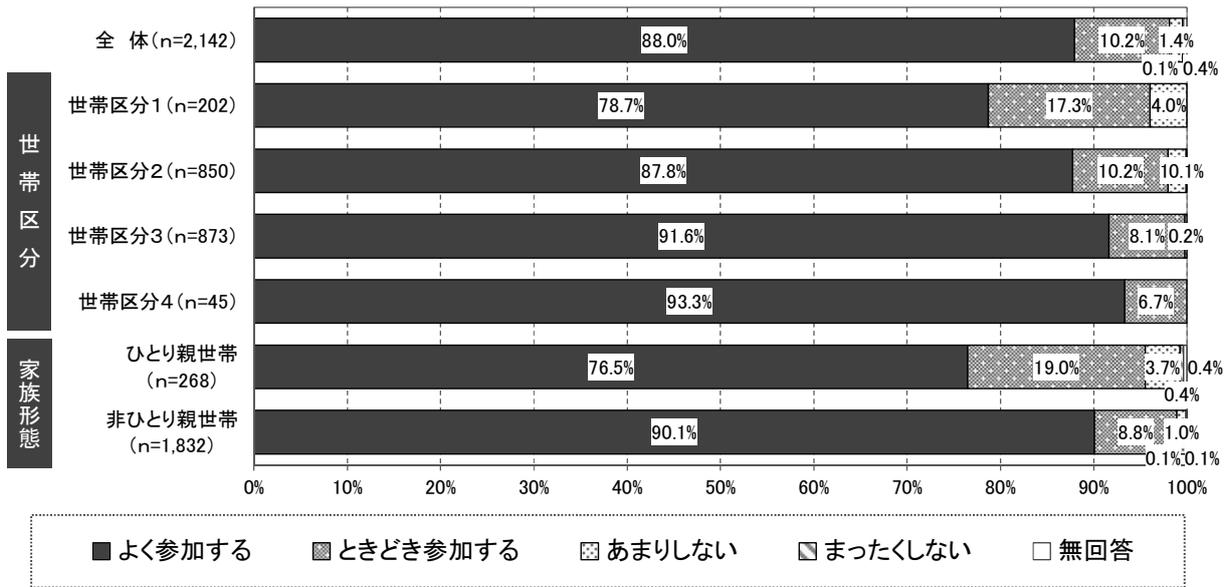
世帯区分でみると、所得が少ないほど「困ったことがない」の割合が低くなっており、所得が少なくなるにつれて「親族に相談」・「支出を減らした」・「仕事(副業)を増やした」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「親族に相談」・「支出を減らした」の割合が高く「貯蓄を取り崩した」の割合が低くなっています。



問 12 (1) : 子どもの学校の授業参観や運動会などへの参加

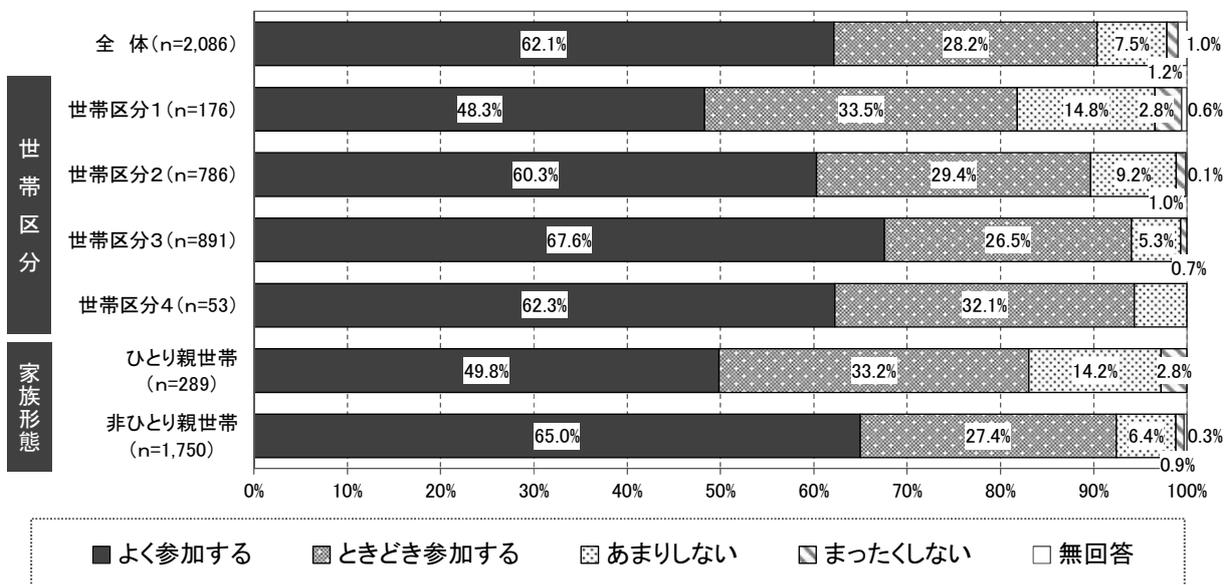
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「よく参加する」が 88.0%と最も高く、次いで、「ときどき参加する」(10.2%)、「あまりしない」(1.4%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よく参加する」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よく参加する」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

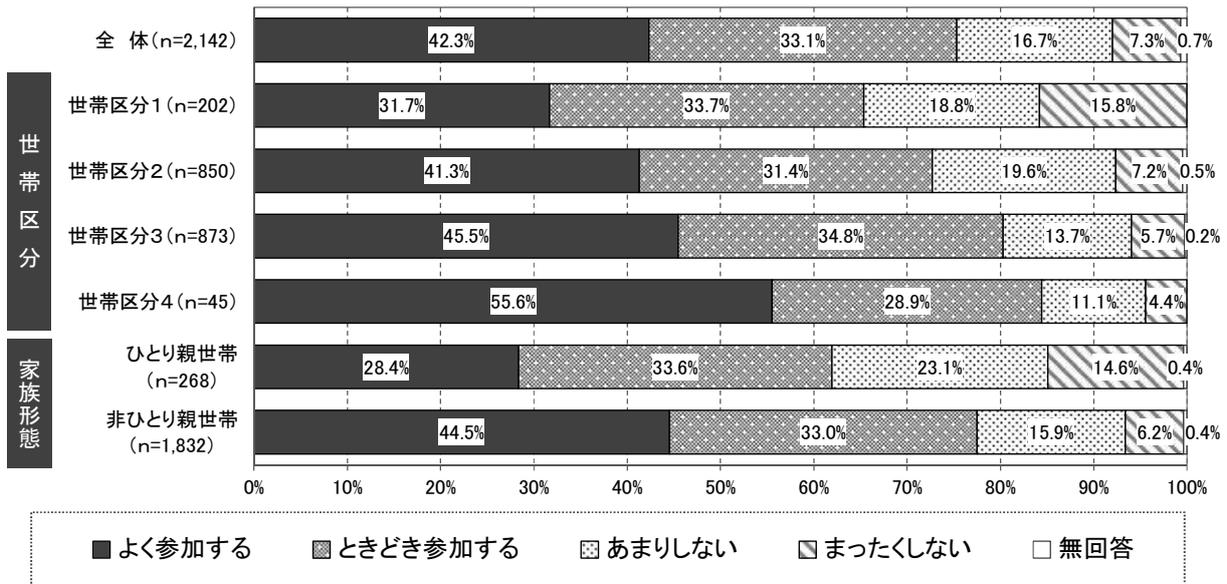
全体では、「よく参加する」が 62.1%と最も高く、次いで、「ときどき参加する」(28.2%)、「あまりしない」(7.5%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よく参加する」の割合が低い傾向にあり、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よく参加する」の割合が低くなっています。



問 12 (2) : お祭りや町内会、子ども会など地域行事への参加

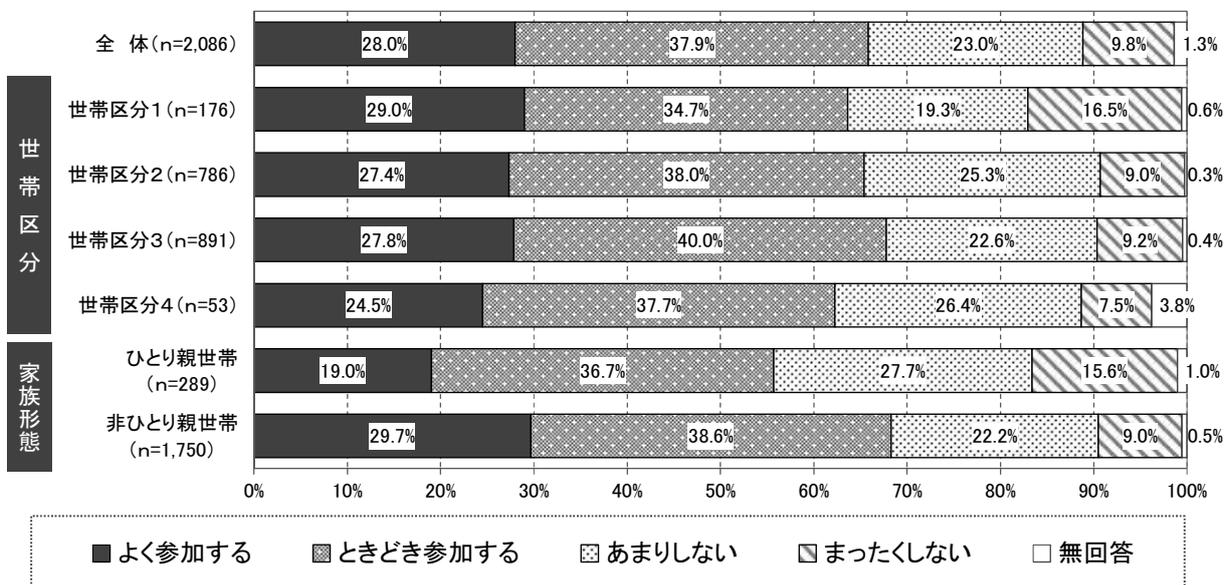
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「よく参加する」が 42.3%と最も高く、次いで、「ときどき参加する」(33.1%)、「あまりしない」(16.7%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よく参加する」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よく参加する」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

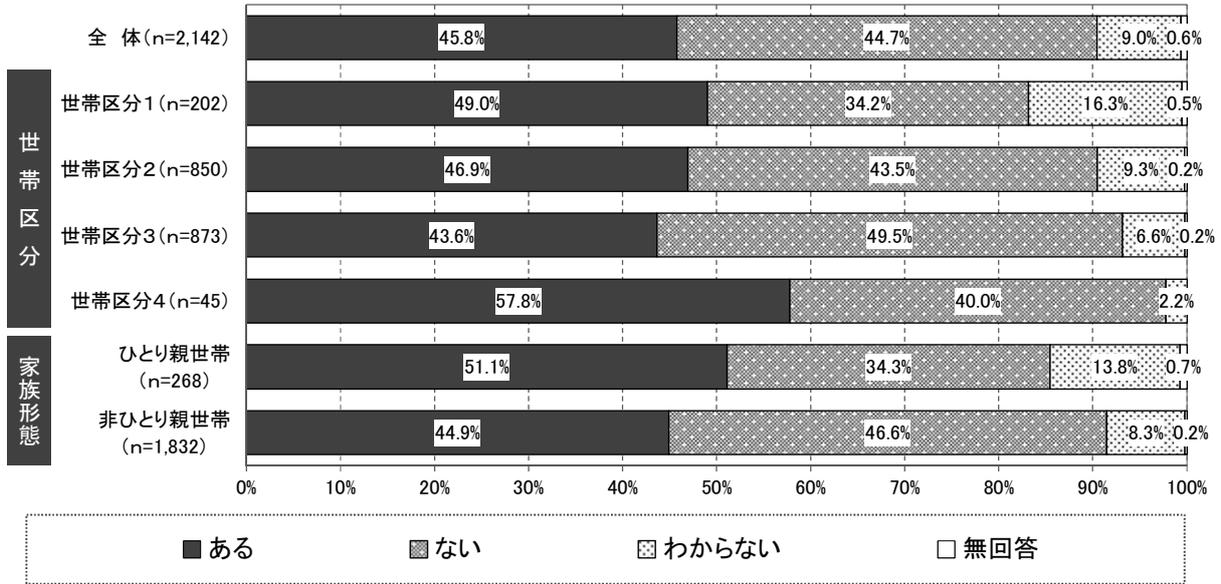
全体では、「ときどき参加する」が 37.9%と最も高く、次いで、「よく参加する」(28.0%)、「あまりしない」(23.0%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「まったく参加しない」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よく参加する」の割合が低く「まったく参加しない」の割合が高くなっています。



問 13：子育てや教育についての悩み

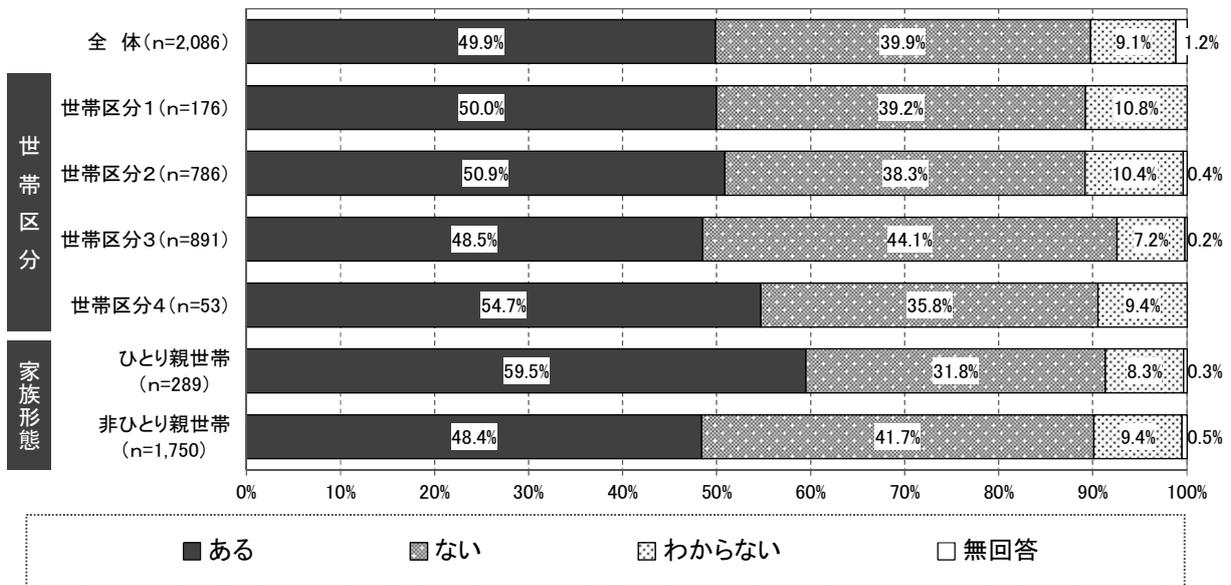
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「ある」が45.8%、「ない」が44.7%となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「ある」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「ある」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「ある」が49.9%、「ない」が39.9%となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「ある」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「ある」の割合が高くなっています。



【問13で「ある」と答えた方のみ】

問14：どのようなことで育てにくいと感じたり悩んだりしているか 【MA】

◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「テレビ、スマートフォン、ゲーム等の使用」が41.7%と最も高く、次いで、「家庭での勉強」(39.5%)、「子育てや教育にかかる費用」(37.0%)の順となっています。

世帯区分でみると、世帯区分1で「子育てや教育にかかる費用」・「子どもの進路」・「子どもと接する時間がとれないこと」・「子どもひとりで留守番させること」の割合が高くなっています。また、世帯区分4で「子どもの進路」・「テレビ、スマートフォン、ゲーム等の使用」・「反抗期の子どもとの接し方」・「子どもと接する時間がとれないこと」・「子どもひとりで留守番させること」・「子育てと仕事の両立が難しいこと」の割合が高くなっています。

家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「子育てや教育にかかる費用」・「子どもの学校での勉強」・「子どもと接する時間がとれないこと」・「子どもひとりで留守番させること」・「子育てと仕事の両立が難しいこと」の割合が高くなっています。

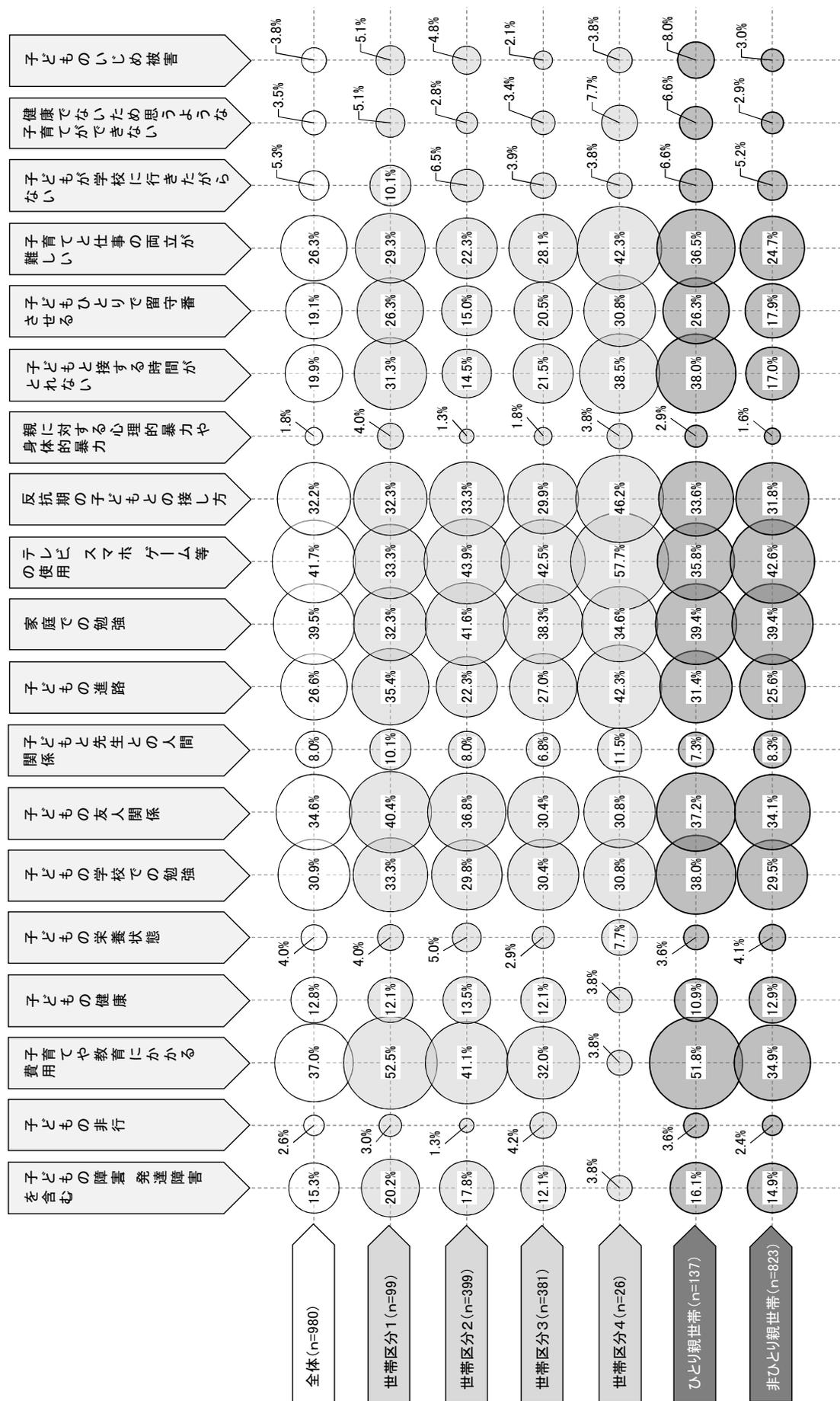
◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「子どもの進路」が50.0%と最も高く、次いで、「テレビ、スマートフォン、ゲーム等の使用」(45.9%)、「家庭での勉強」(44.1%)の順となっています。

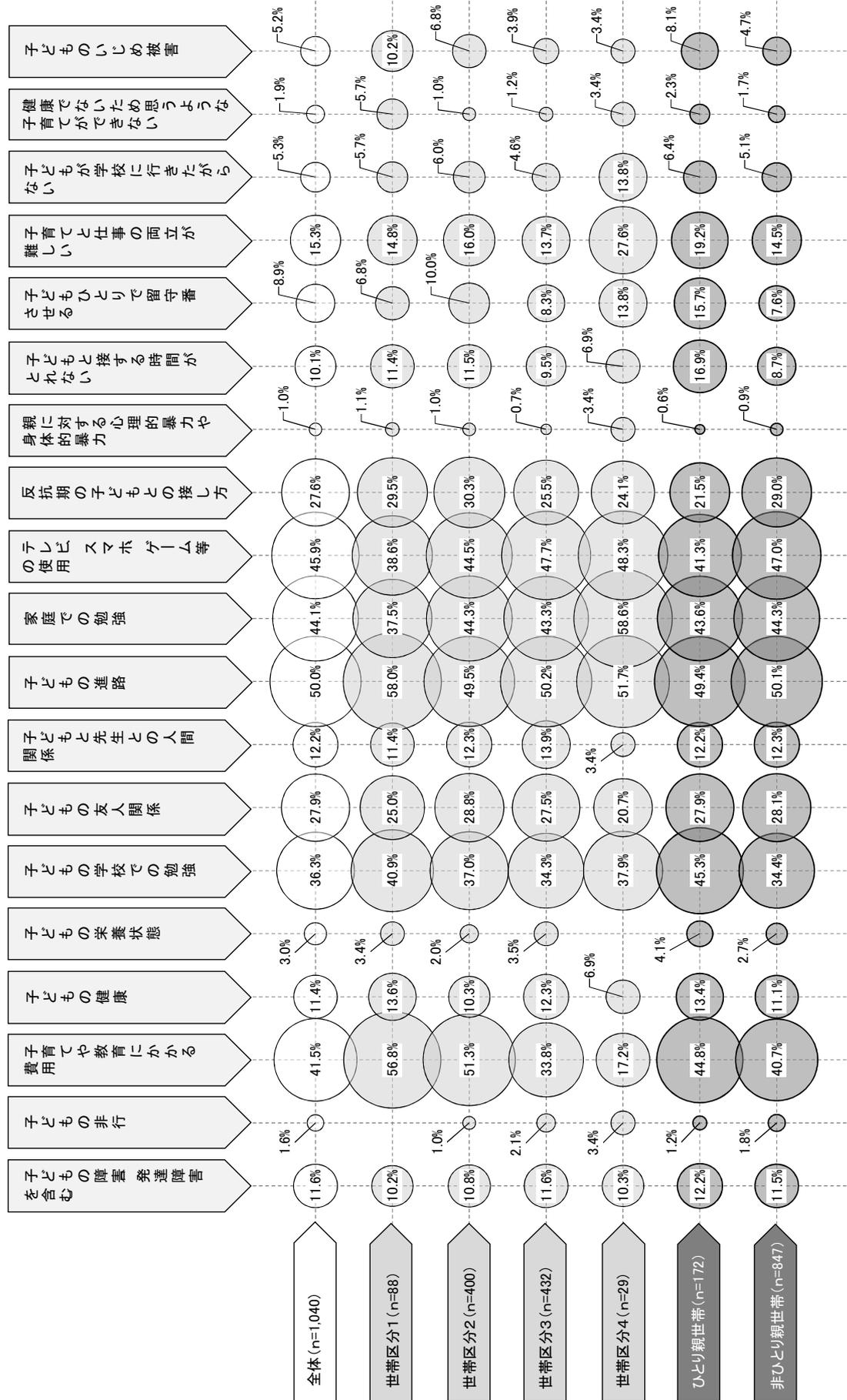
世帯区分でみると、所得が少ないほど「子育てや教育にかかる費用」の割合が高くなっています。また、世帯区分1で「子どもの進路」・「子どものいじめ被害」の割合も高くなっています。また、世帯区分4で「子どもの進路」・「家庭での勉強」・「子育てと仕事の両立が難しいこと」・「子どもが学校に行きたがらないこと」の割合が高くなっています。

家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「子どもの学校での勉強」・「子どもと接する時間がとれないこと」・「子どもひとりで留守番させること」の割合が高くなっています。

【問 14】 小学5年生の保護者



【問 14】 中学 2 年生の保護者



問 15：悩みを相談する相手・相談先 【MA】

◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「配偶者・パートナー」が73.9%と最も高く、次いで、「友人・知人」(63.8%)、「親・義理の親」(57.7%)の順となっています。

世帯区分で見ると、世帯区分1で「配偶者・パートナー」の割合が低く、世帯区分4で「学校の先生」の割合が高くなっています。

家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「配偶者・パートナー」の割合が低く「きょうだい・親戚」・「職場の関係者」の割合が高くなっています。

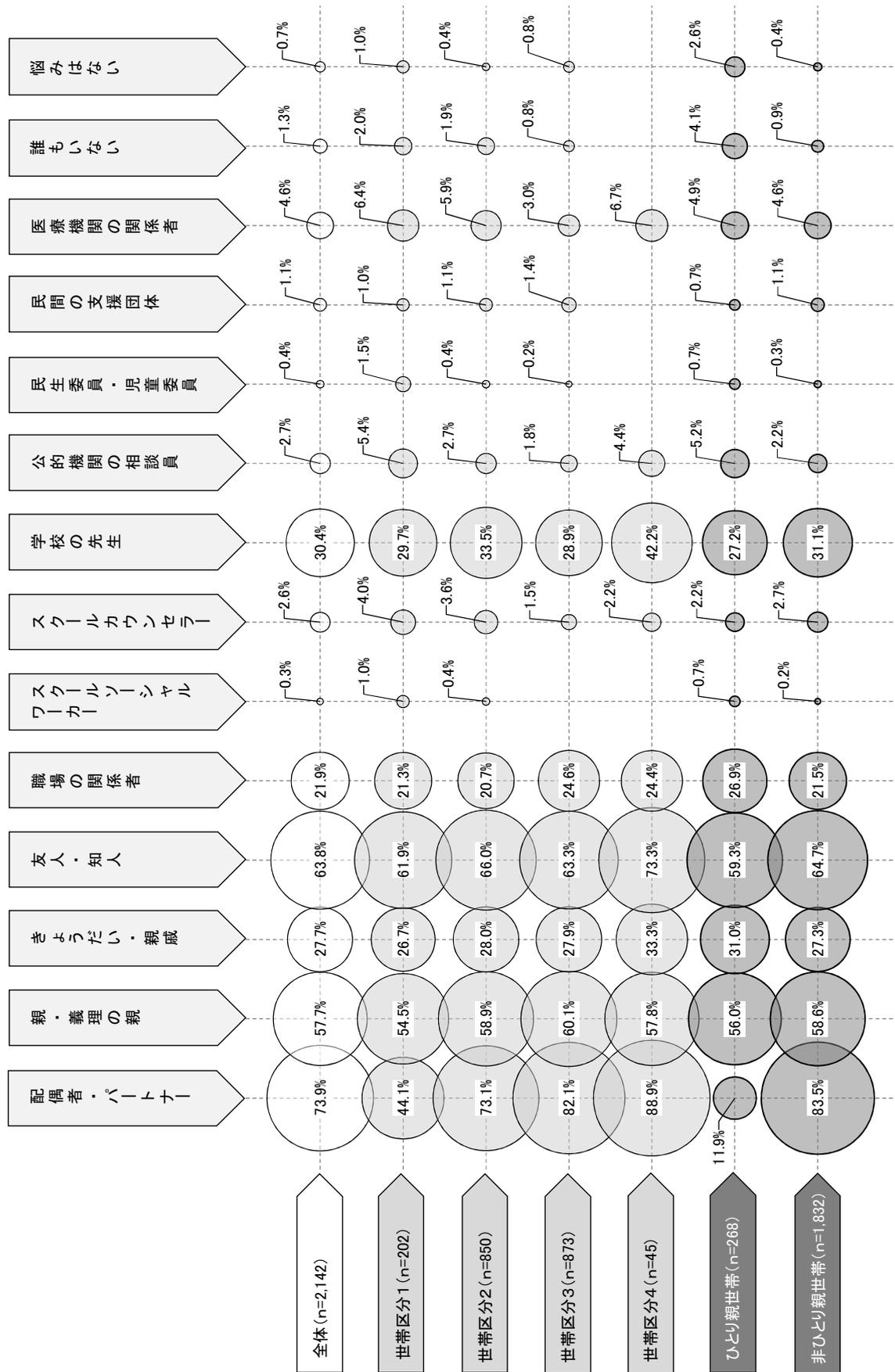
◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「配偶者・パートナー」が69.9%と最も高く、次いで、「友人・知人」(58.8%)、「親・義理の親」(52.6%)の順となっています。

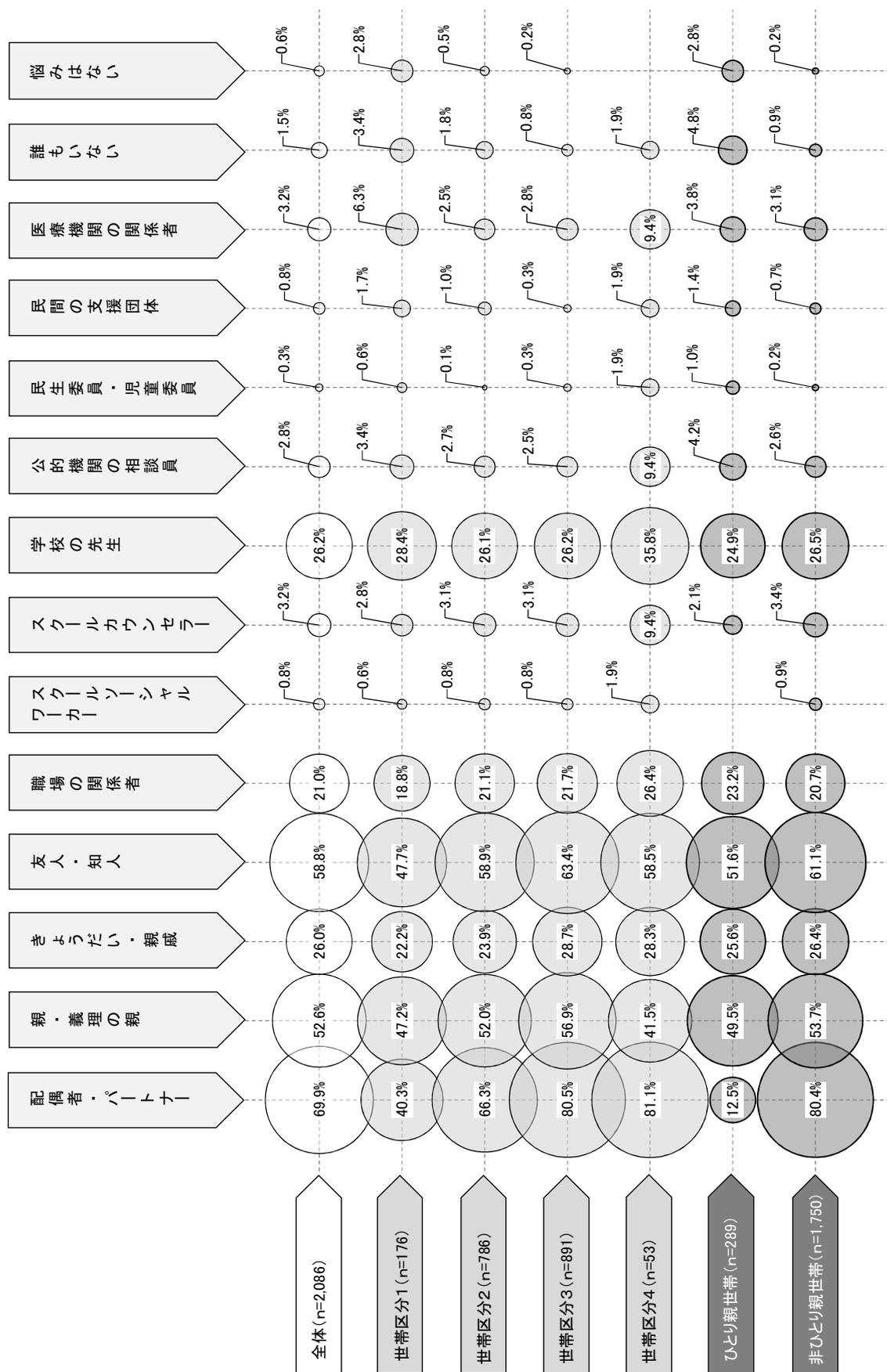
世帯区分で見ると、世帯区分1で「配偶者・パートナー」・「友人・知人」の割合が低く、世帯区分4で「スクールカウンセラー」・「学校の先生」・「公的機関の相談員」・「医療機関の関係者」の割合が高くなっています。

家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「配偶者・パートナー」・「友人・知人」の割合が低く「誰もいない」の割合がやや高くなっています。

【問 15】 小学5年生の保護者



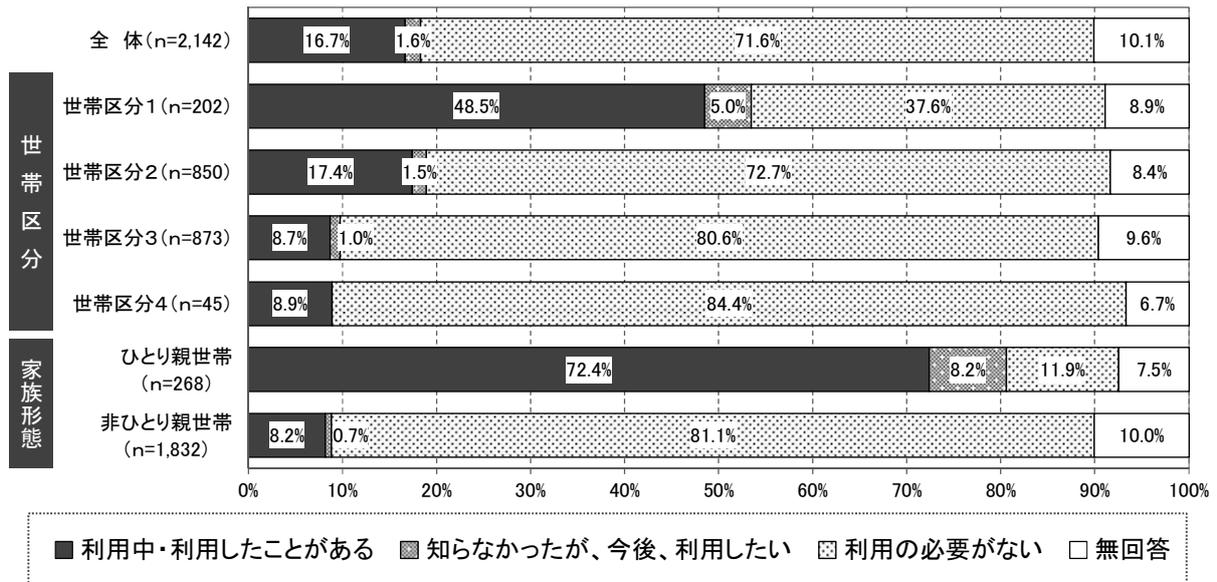
【問 15】 中学 2 年生の保護者



問 16 (1) : 児童扶養手当の利用

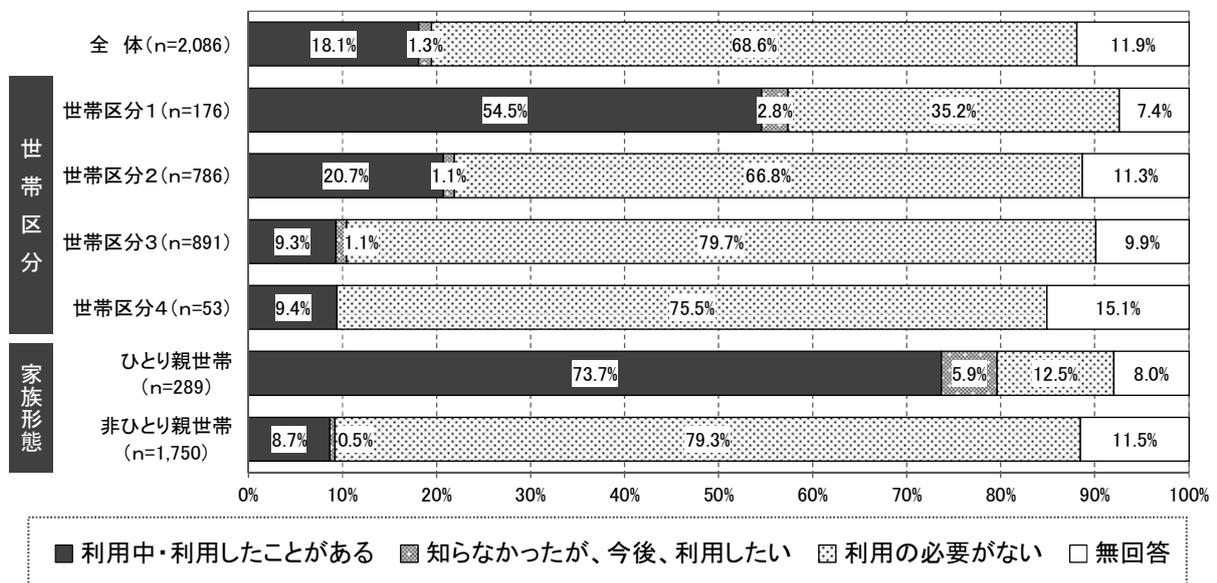
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が71.6%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(16.7%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(1.6%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「利用中・利用したことがある」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「利用中・利用したことがある」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

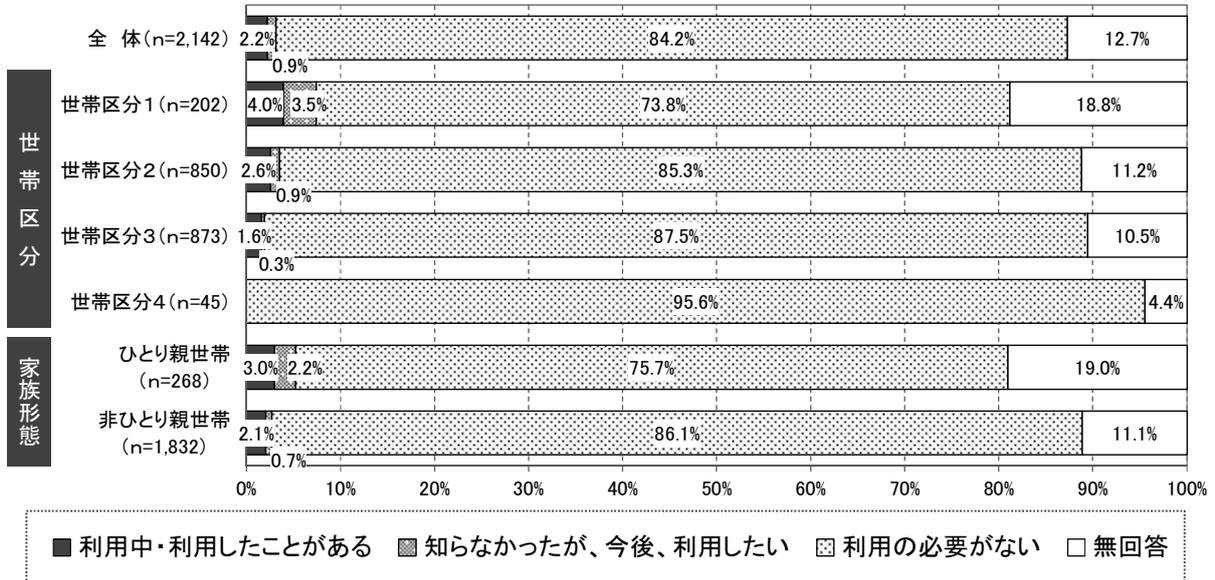
全体では、「利用の必要がない」が68.6%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(18.1%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(1.3%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「利用中・利用したことがある」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「利用中・利用したことがある」の割合が高くなっています。



問 16 (2) : 障害や難病の手当の利用

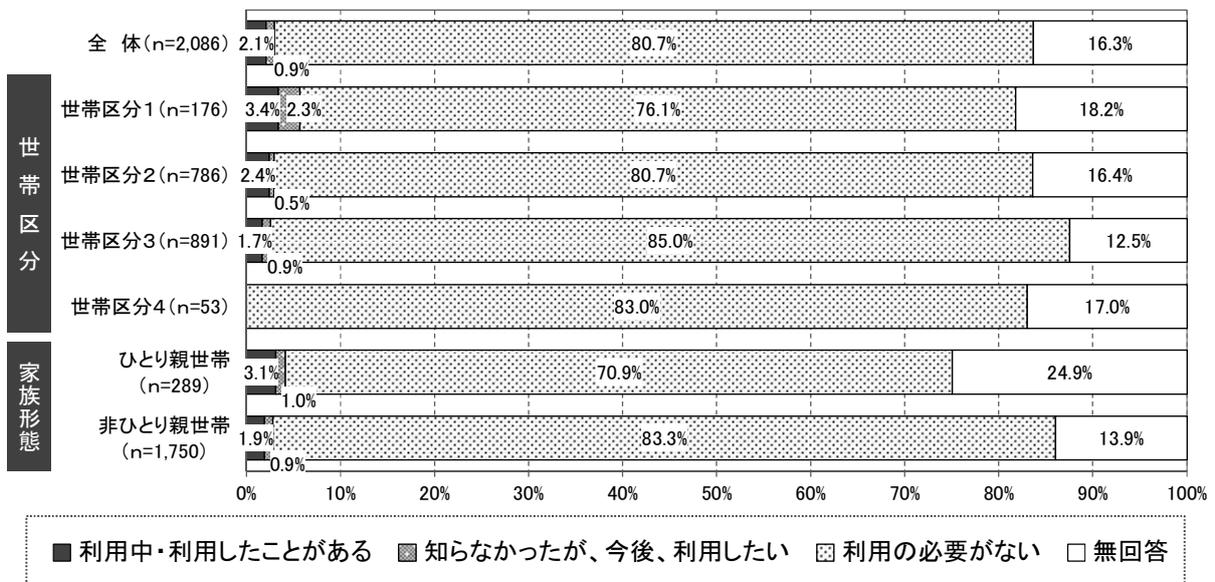
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が84.2%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(2.2%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(0.9%)となっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

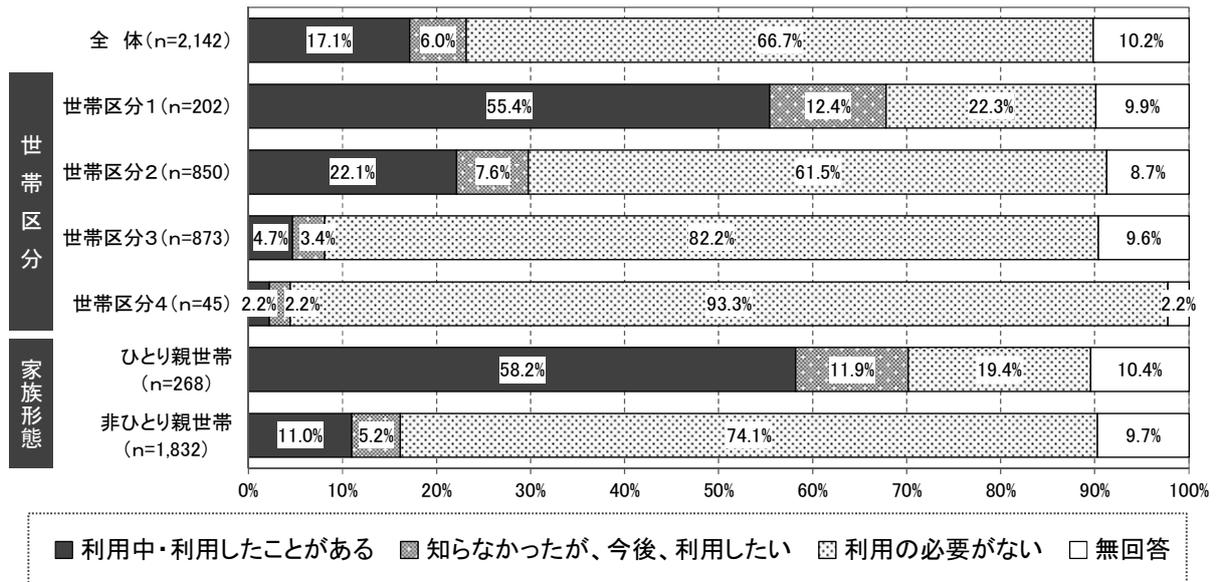
全体では、「利用の必要がない」が80.7%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(2.1%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(0.9%)となっています。



問 16 (3) : 小中学校の就学援助、特別支援就学奨励費等の利用

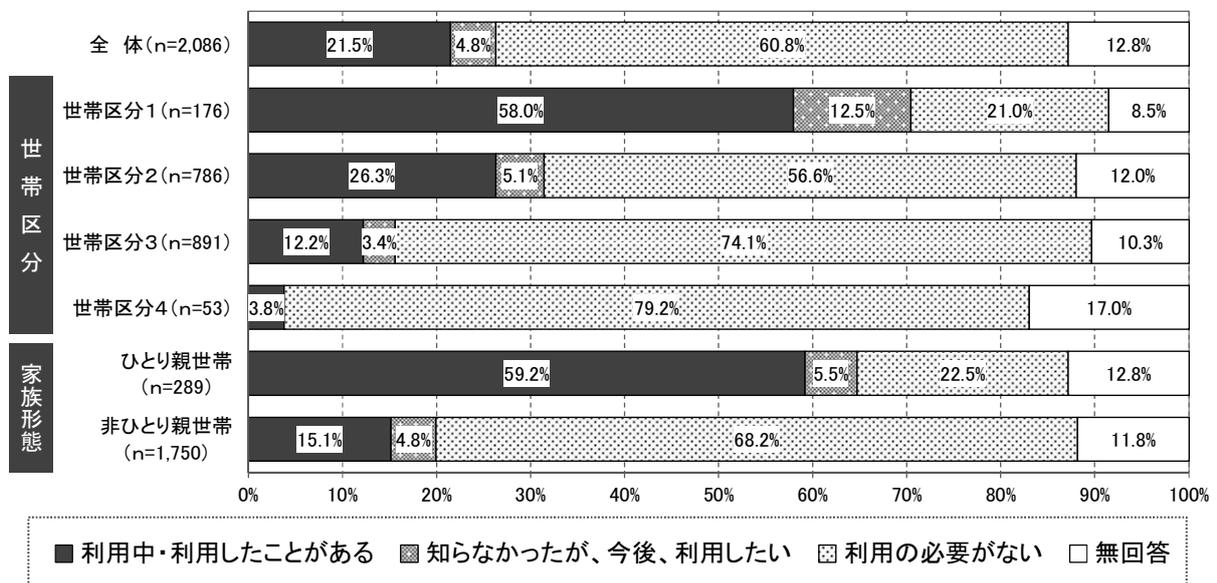
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が66.7%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(17.1%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(6.0%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「利用中・利用したことがある」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「利用中・利用したことがある」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

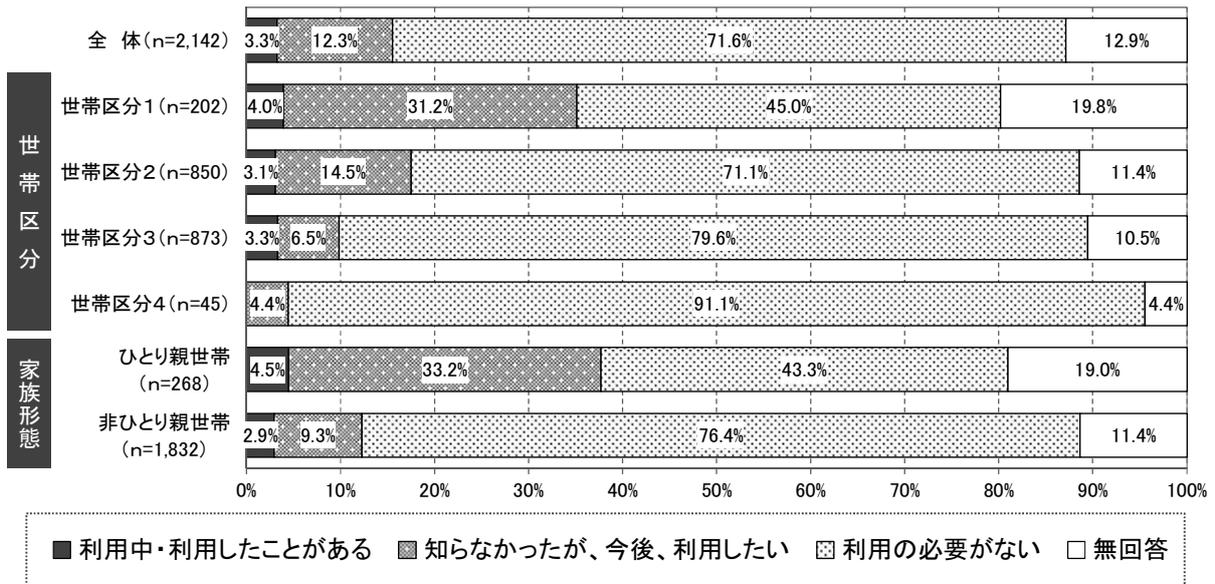
全体では、「利用の必要がない」が60.8%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(21.5%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(4.8%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「利用中・利用したことがある」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「利用中・利用したことがある」の割合が高くなっています。



問 16 (4) : 修学資金の貸付、奨学金の利用

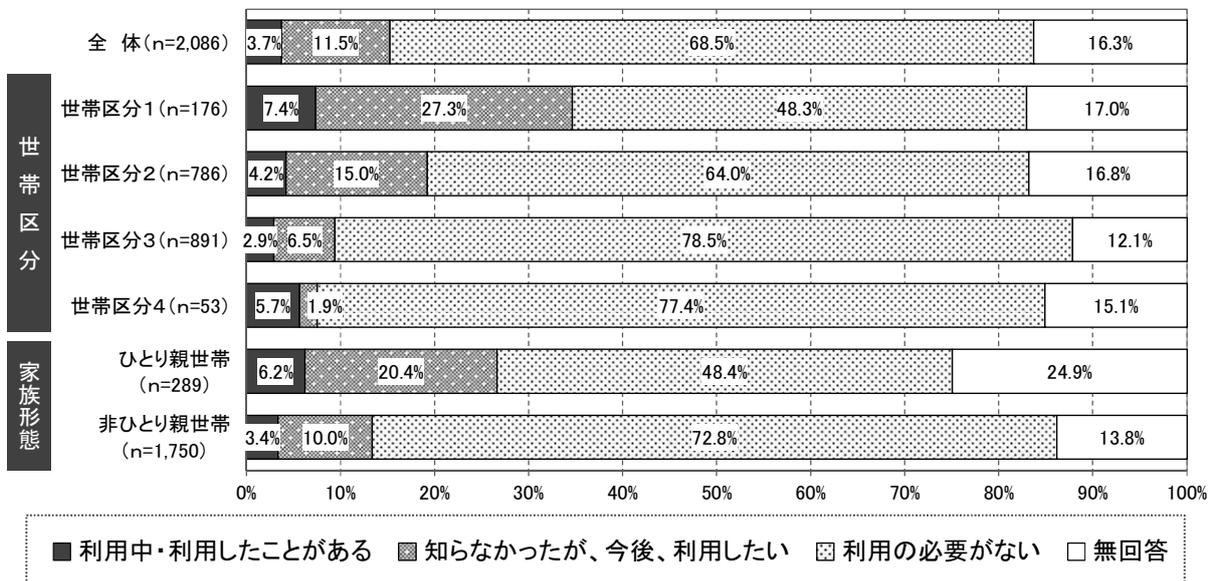
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が71.6%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(12.3%)、「利用中・利用したことがある」(3.3%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

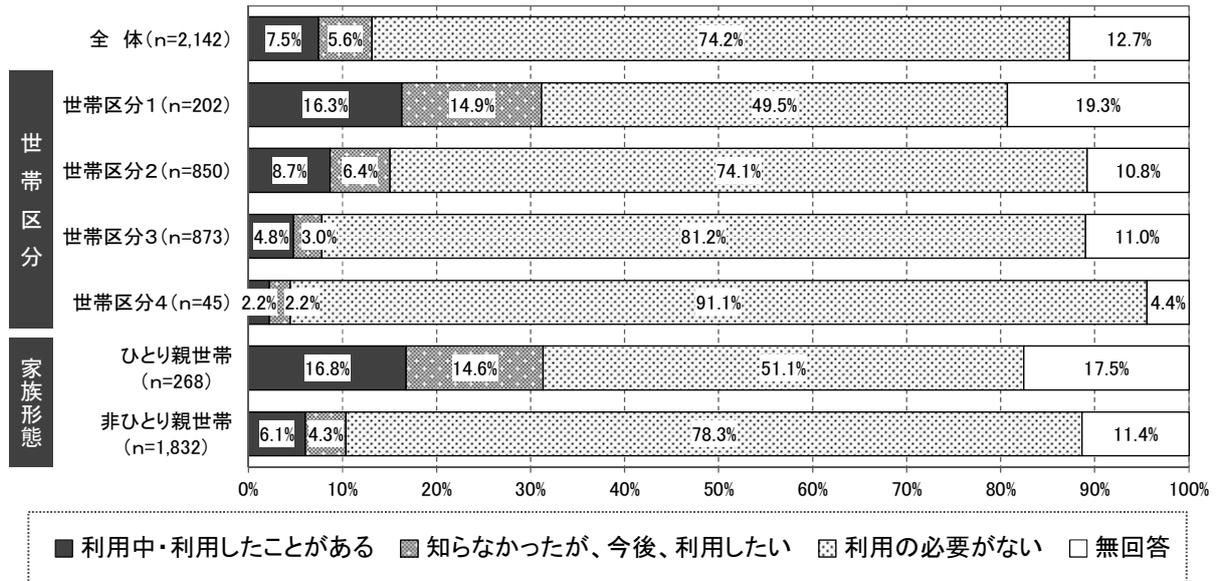
全体では、「利用の必要がない」が68.5%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(11.5%)、「利用中・利用したことがある」(3.7%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



問 16 (5) : 公的機関の窓口での相談

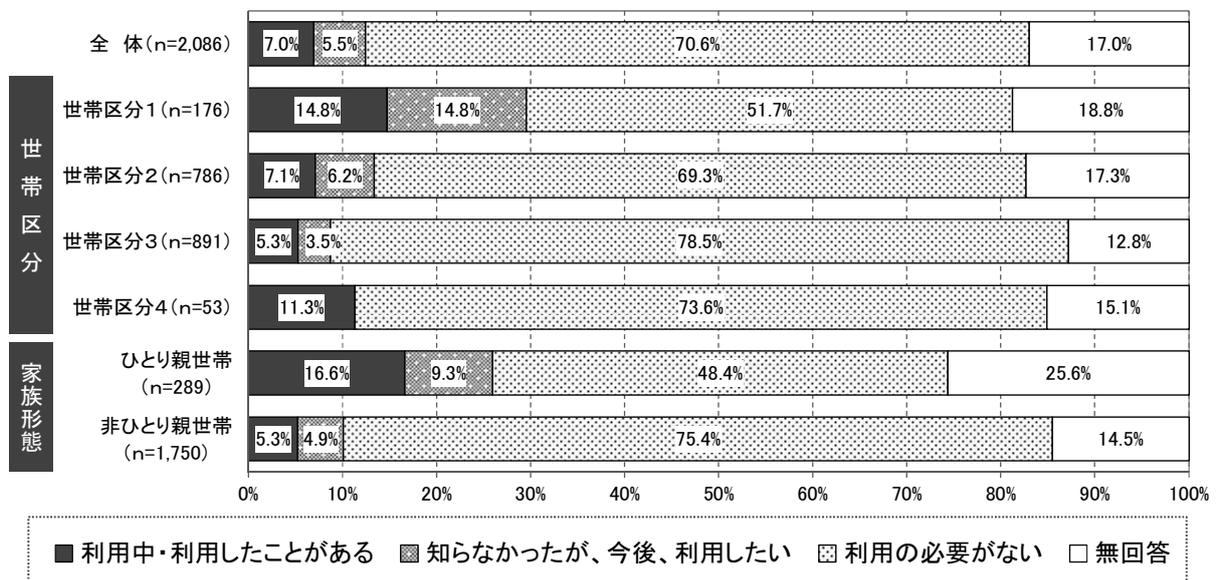
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が74.2%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(7.5%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(5.6%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「利用中・利用したことがある」と「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「利用中・利用したことがある」と「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

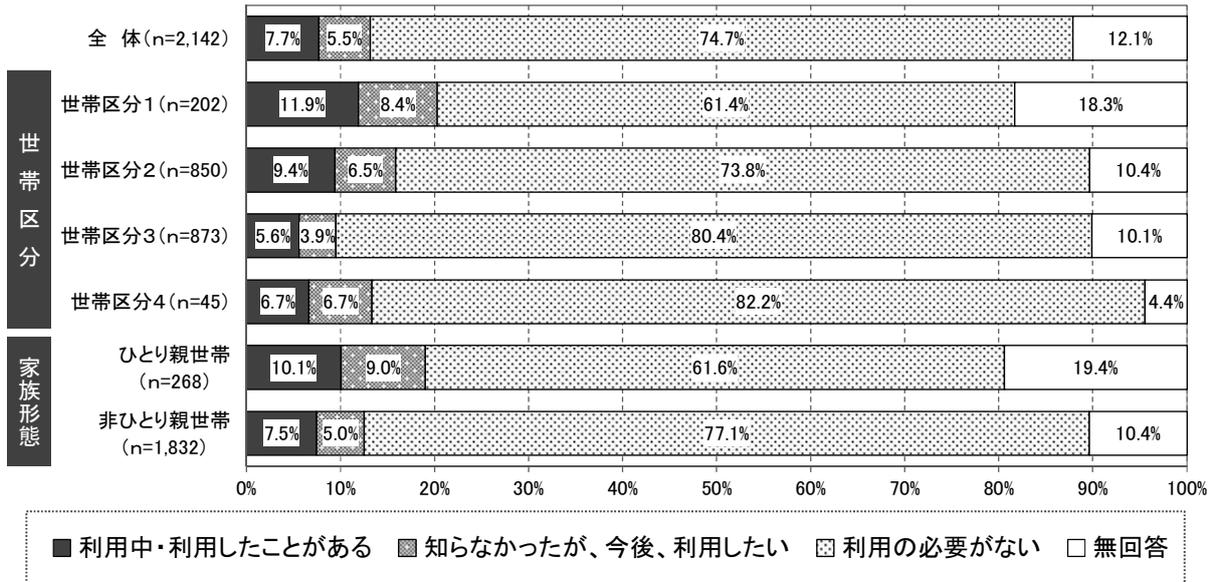
全体では、「利用の必要がない」が70.6%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(7.0%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(5.5%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「利用中・利用したことがある」と「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



問 16 (6) : スクールカウンセラーへの相談

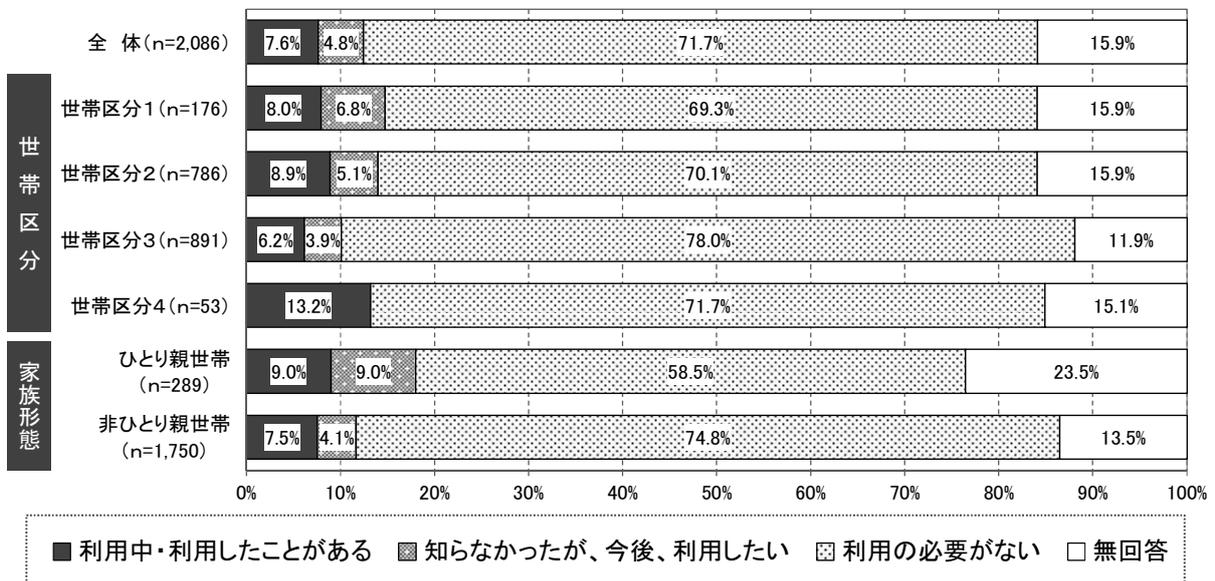
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が74.7%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(7.7%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(5.5%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「利用中・利用したことがある」と「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

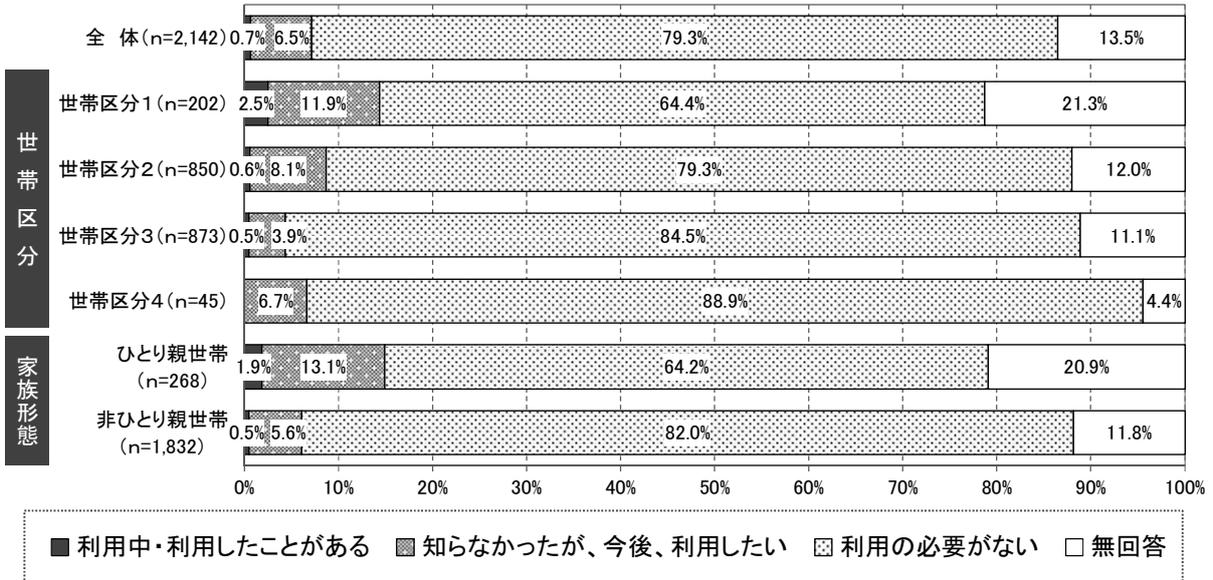
全体では、「利用の必要がない」が71.7%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(7.6%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(4.8%)となっています。世帯区分で見ると、世帯区分4で「利用中・利用したことがある」の割合が高く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



問 16 (7) : スクールソーシャルワーカーへの相談

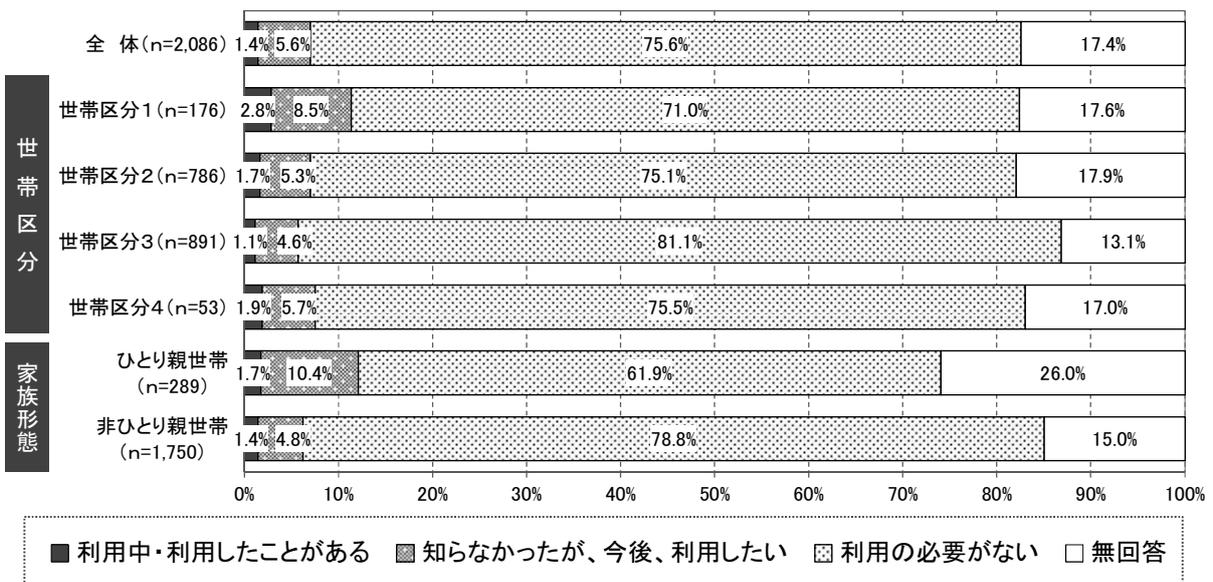
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が79.3%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(6.5%)、「利用中・利用したことがある」(0.7%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

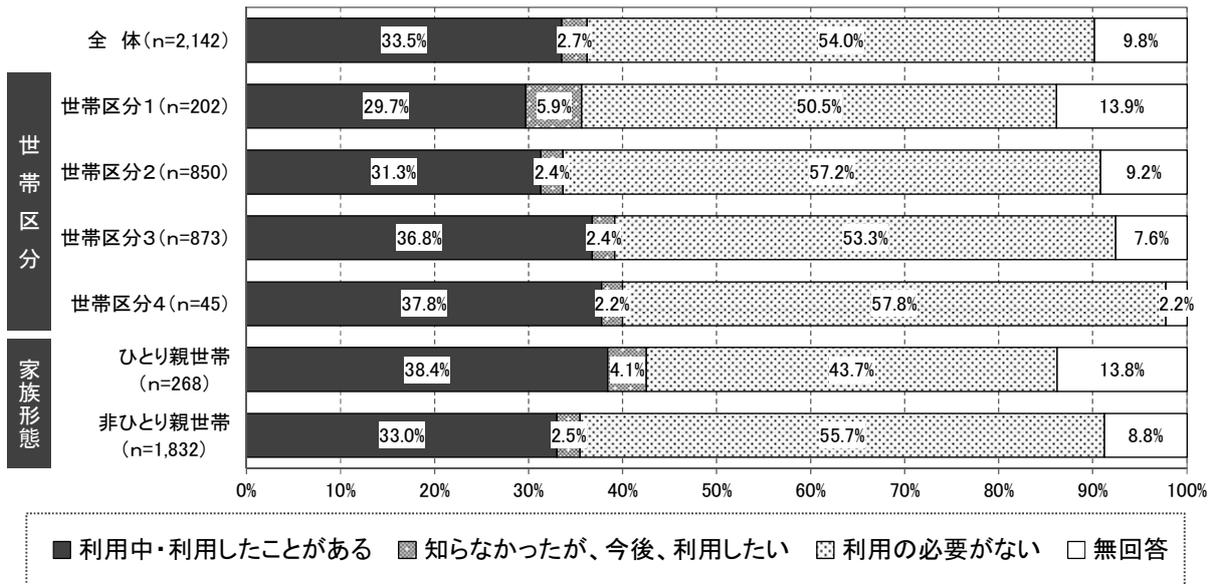
全体では、「利用の必要がない」が75.6%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(5.6%)、「利用中・利用したことがある」(1.4%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



問 16 (8) : 児童館、放課後子供教室等の利用

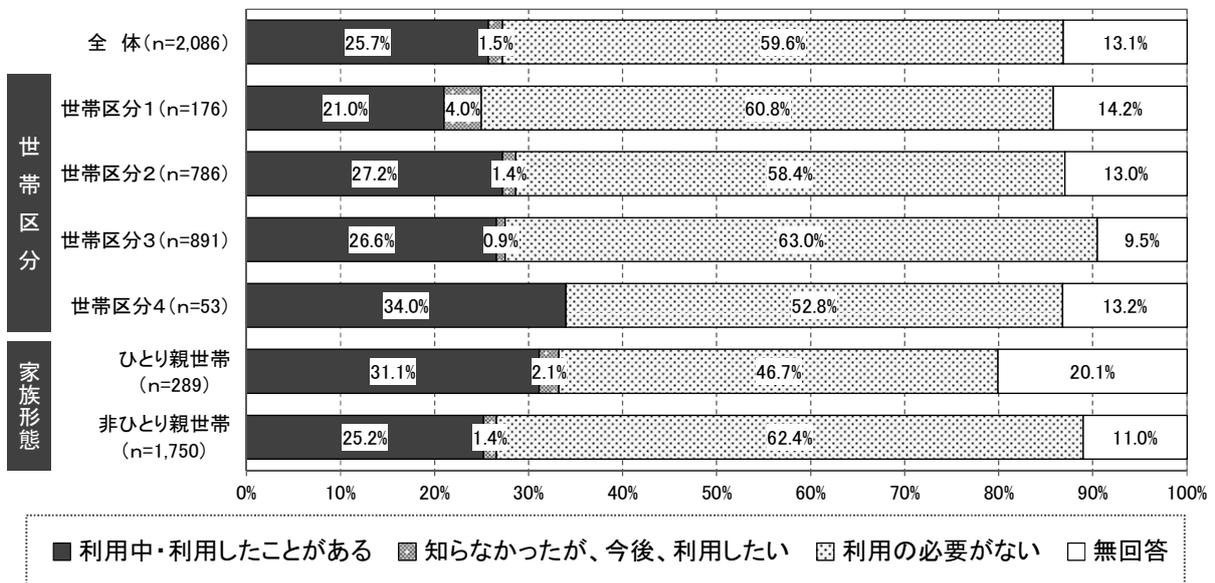
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が54.0%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(33.5%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(2.7%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「利用中・利用したことがある」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「利用中・利用したことがある」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

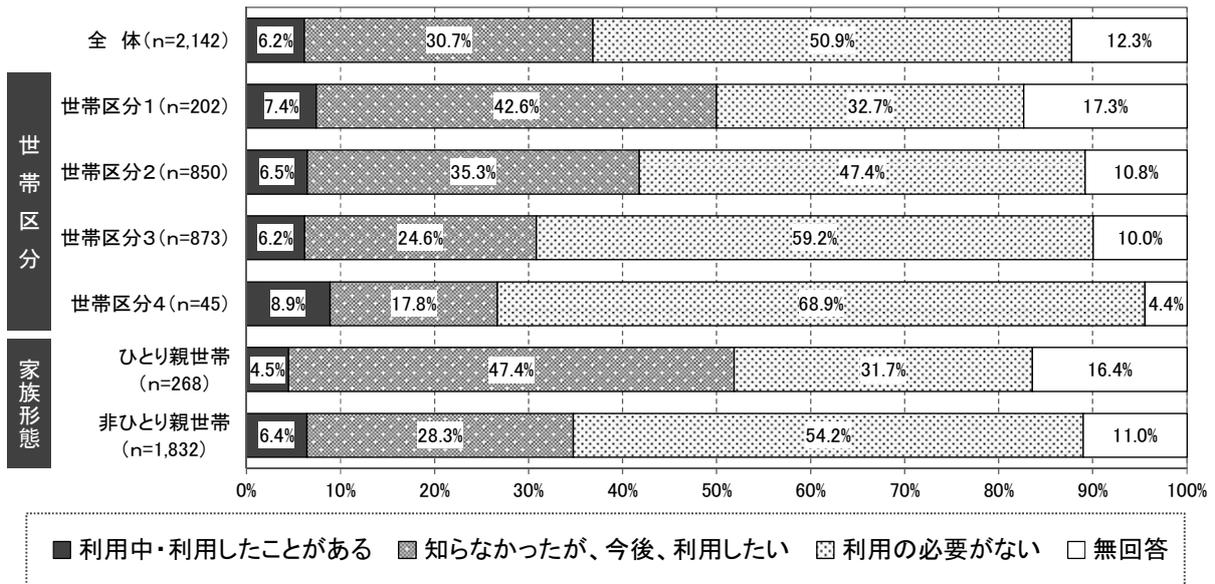
全体では、「利用の必要がない」が59.6%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(25.7%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(1.5%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「利用中・利用したことがある」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「利用中・利用したことがある」の割合が高くなっています。



問 16 (9) : 無料または低料金で利用できる家庭教師、地域での学習支援

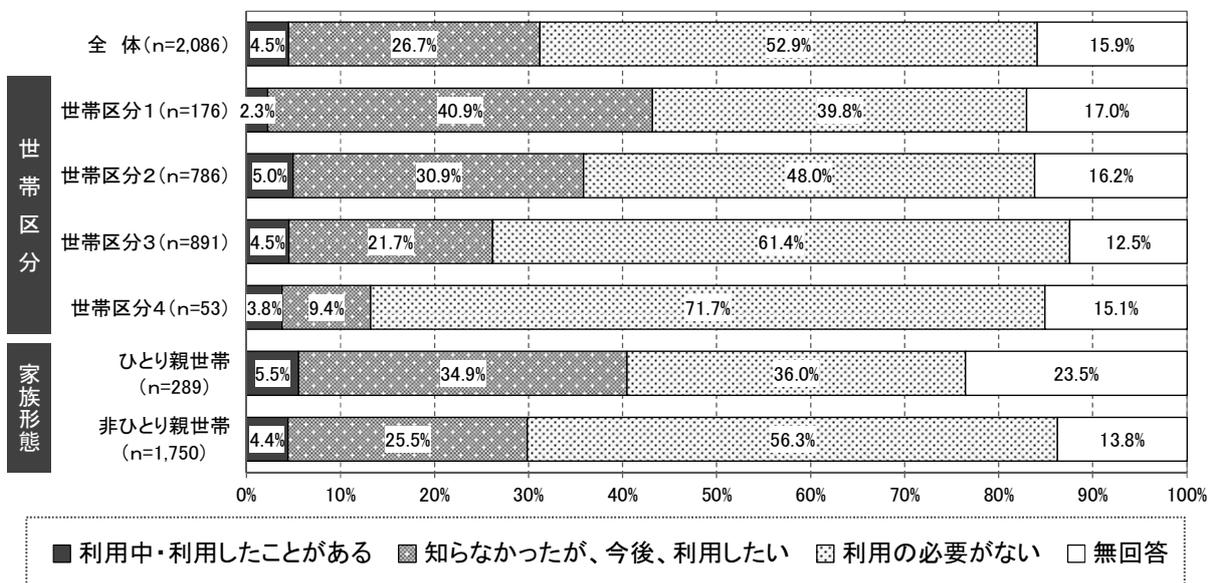
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が50.9%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(30.7%)、「利用中・利用したことがある」(6.2%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

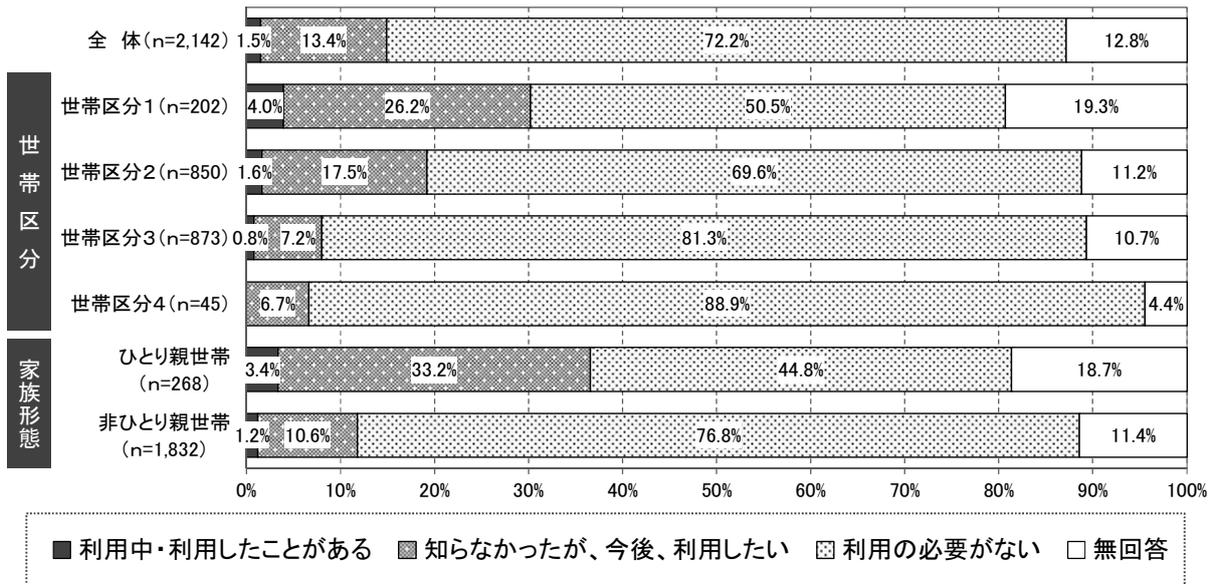
全体では、「利用の必要がない」が52.9%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(26.7%)、「利用中・利用したことがある」(4.5%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



問 16 (10) : 住宅をさがしたり、住宅費を軽減される援助の利用

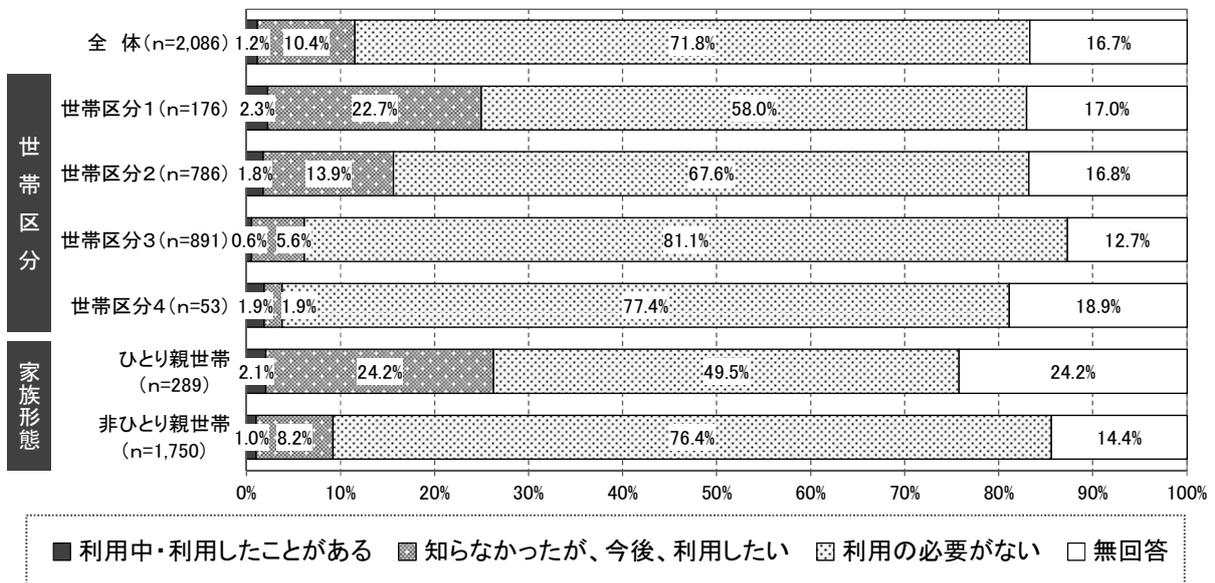
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が72.2%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(13.4%)、「利用中・利用したことがある」(1.5%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

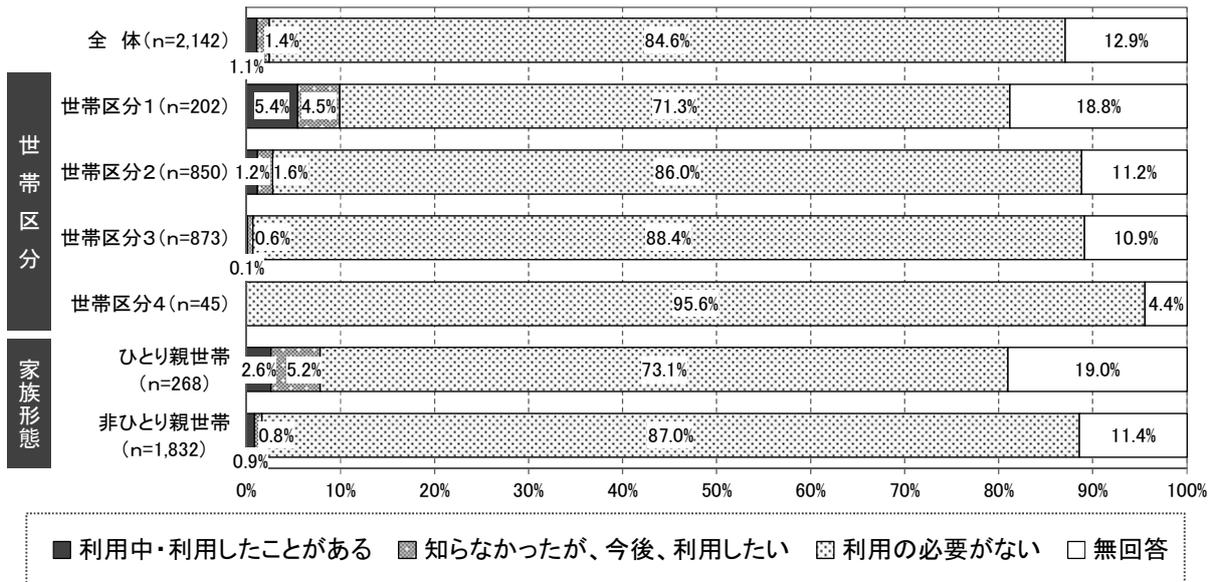
全体では、「利用の必要がない」が71.8%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(10.4%)、「利用中・利用したことがある」(1.2%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



問 16 (11) : 生活保護の利用

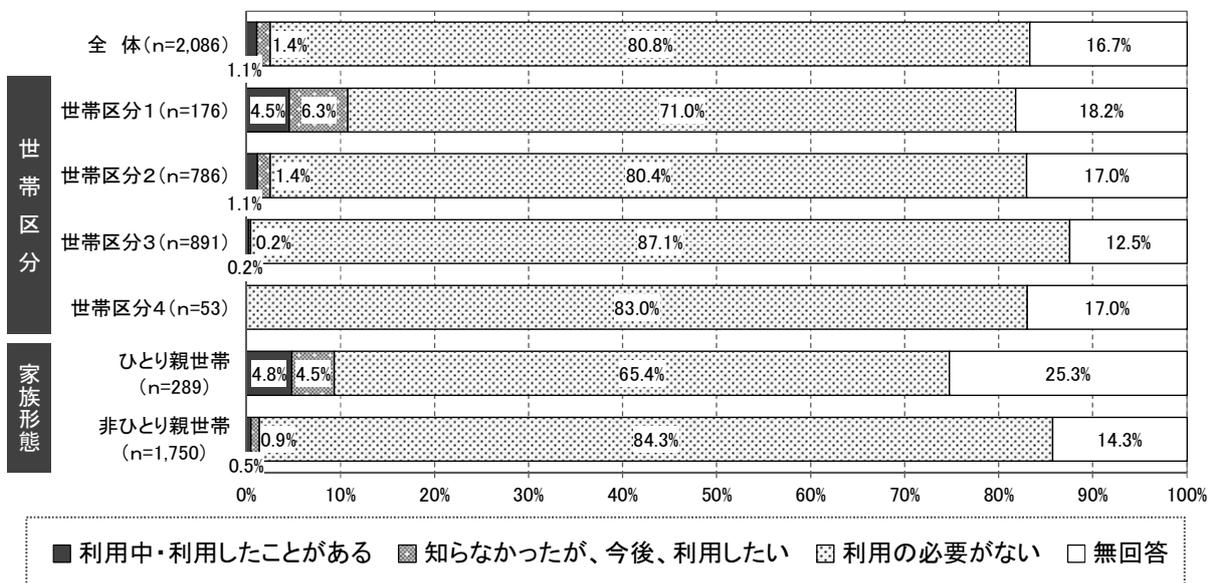
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が84.6%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(1.4%)、「利用中・利用したことがある」(1.1%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「利用中・利用したことがある」と「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

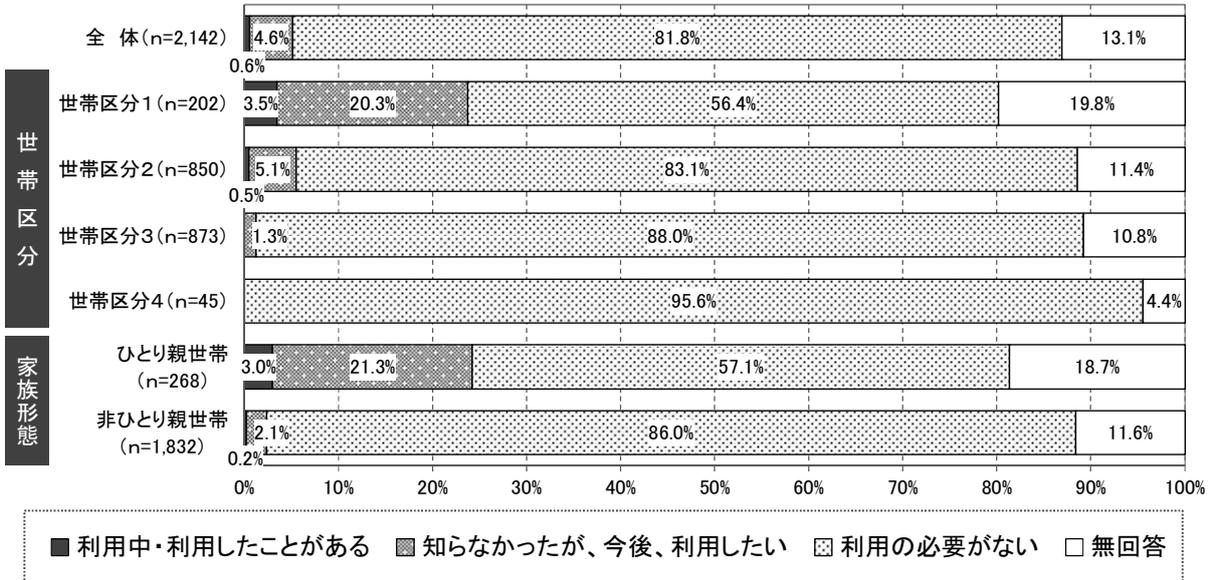
全体では、「利用の必要がない」が80.8%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(1.4%)、「利用中・利用したことがある」(1.1%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「利用中・利用したことがある」と「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



問 16 (12) : 生活に必要な資金の貸付の利用

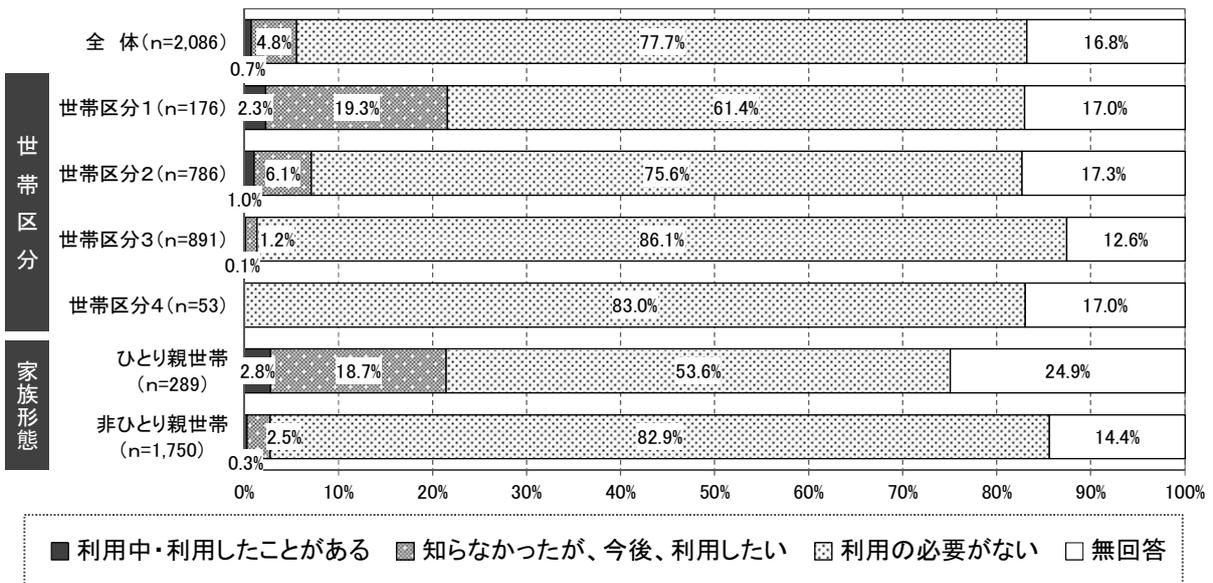
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が81.8%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(4.6%)、「利用中・利用したことがある」(0.6%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

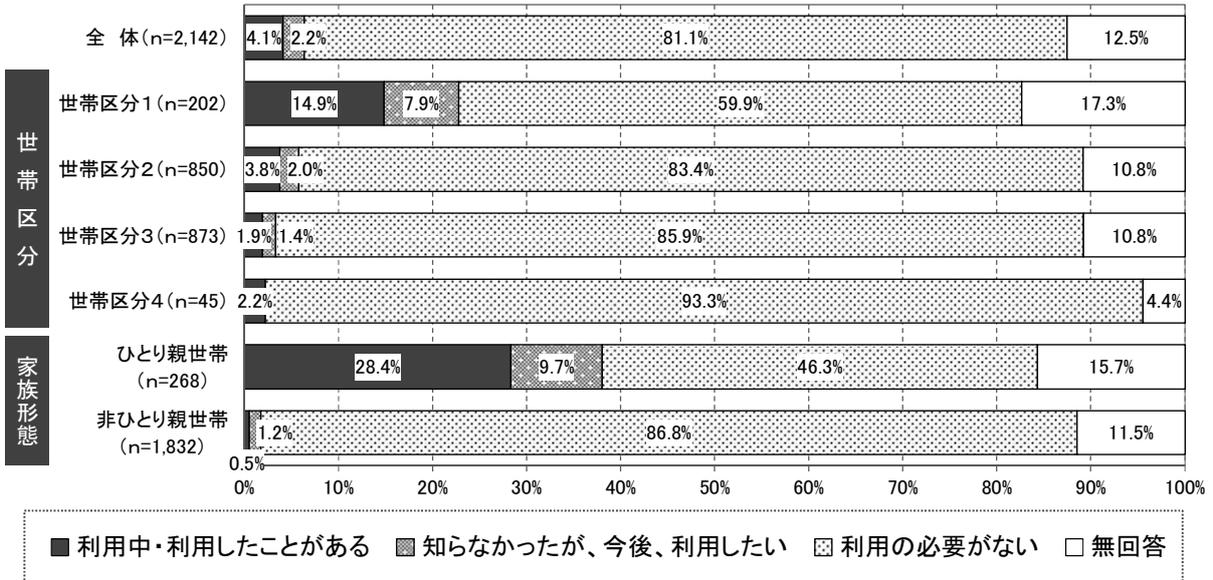
全体では、「利用の必要がない」が77.7%と最も高く、次いで、「知らなかったが、今後、利用したい」(4.8%)、「利用中・利用したことがある」(0.7%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「知らなかったが、今後、利用したい」の割合が高くなっています。



問 16 (13) : 離婚等により、別れて暮らす子どもの親からの養育費

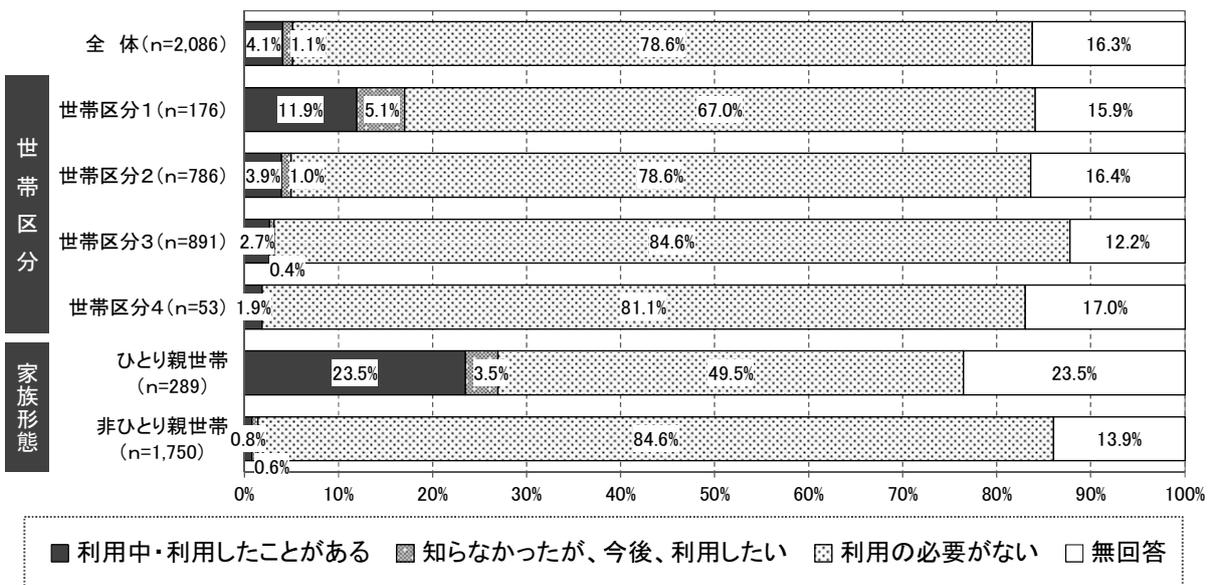
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「利用の必要がない」が81.1%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(4.1%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(2.2%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「利用中・利用したことがある」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「利用の必要がない」が78.6%と最も高く、次いで、「利用中・利用したことがある」(4.1%)、「知らなかったが、今後、利用したい」(1.1%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「利用中・利用したことがある」の割合が高くなっています。

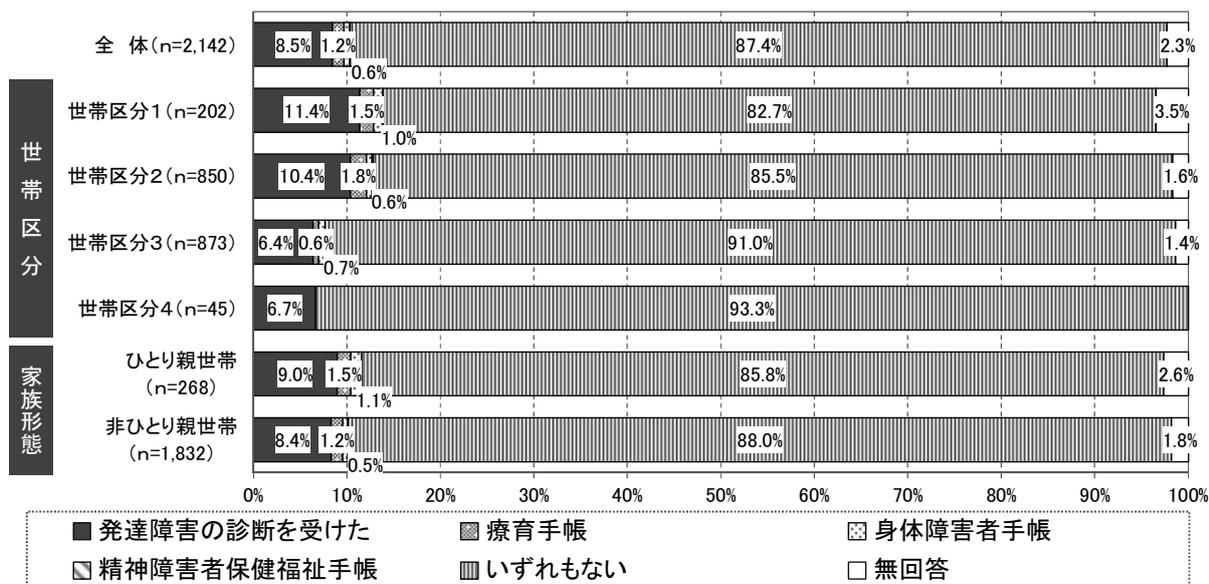


4 子どものことについて

問 17：発達障害や障がい者手帳の有無

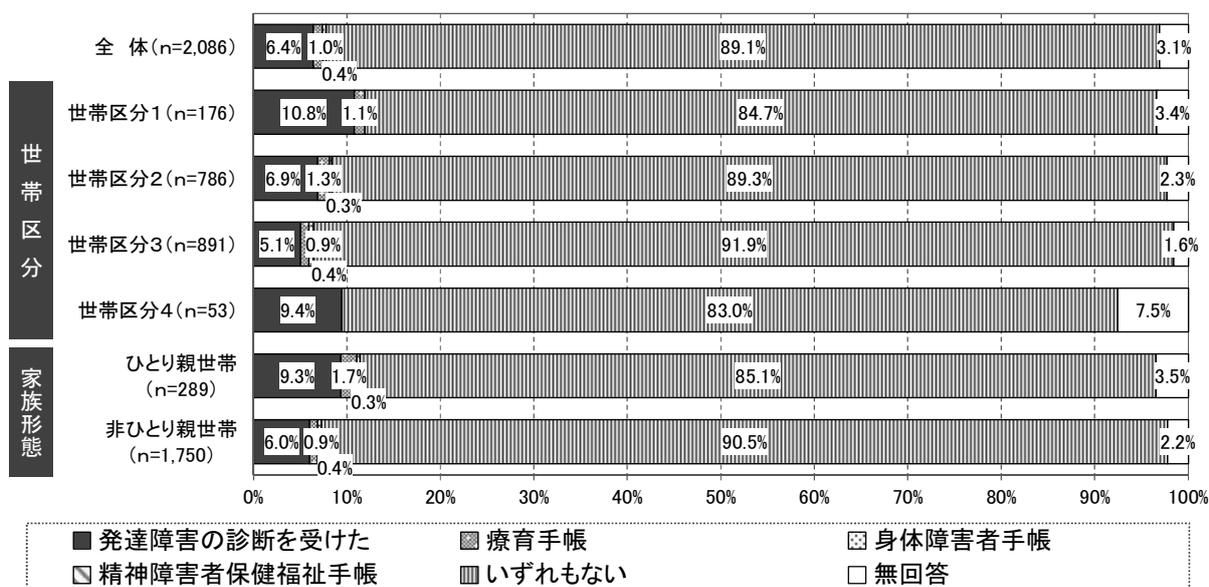
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「いずれもない」が87.4%と最も高く、次いで、「発達障害の診断を受けた」(8.5%)、「療育手帳」(1.2%)の順となっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

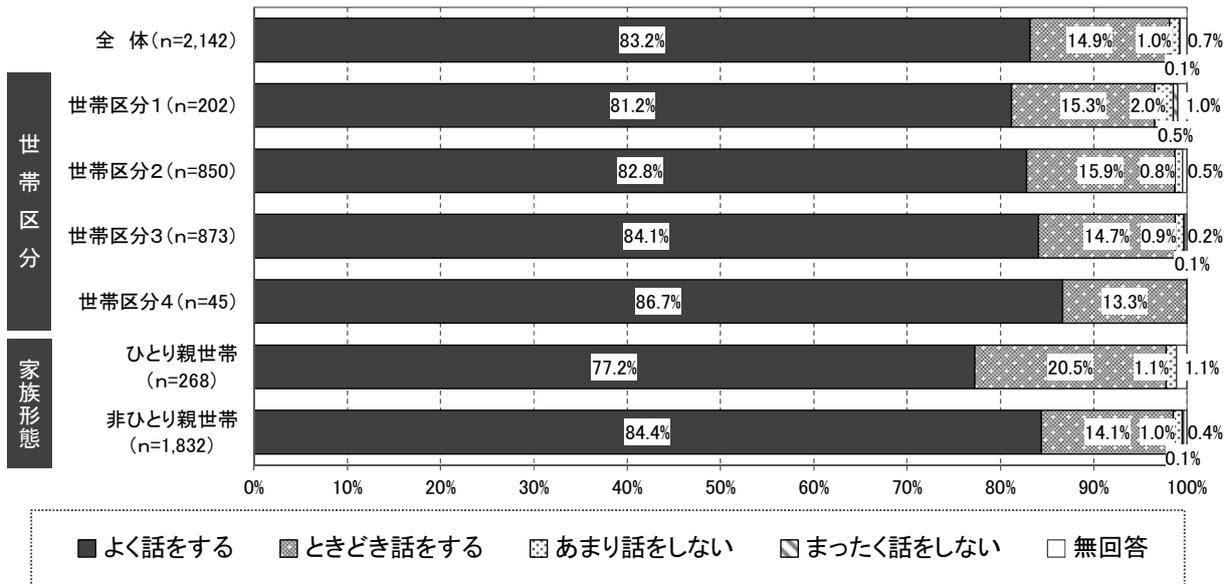
全体では、「いずれもない」が89.1%と最も高く、次いで、「発達障害の診断を受けた」(6.4%)、「療育手帳」(1.0%)の順となっています。



問 18 (1) : 子どもとの会話の頻度

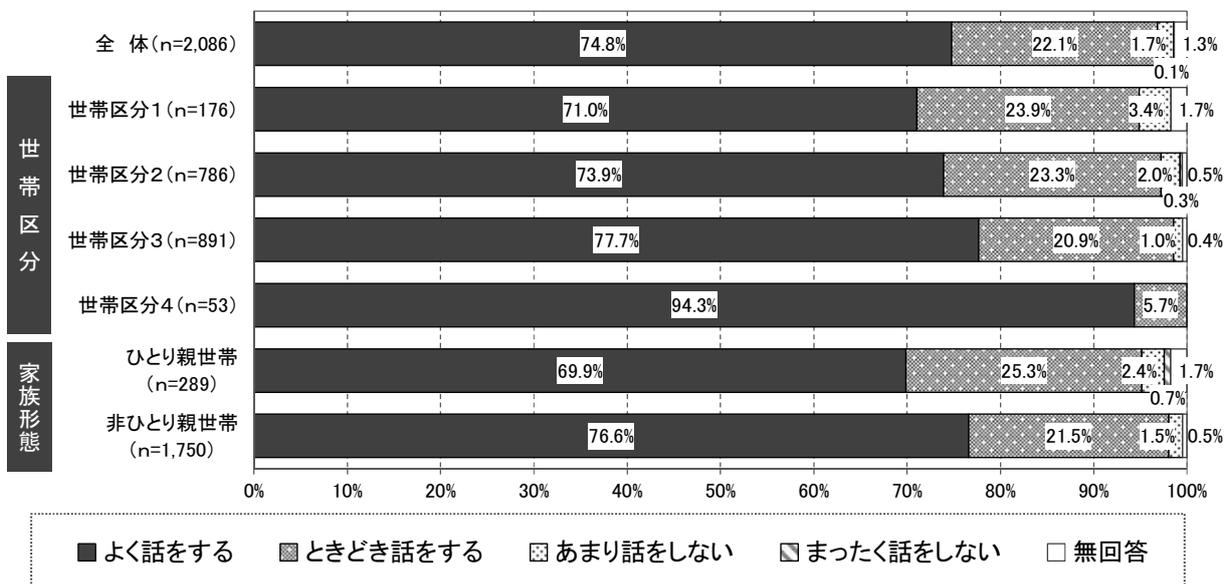
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「よく話をする」が 83.2%と最も高く、次いで、「ときどき話をする」(14.9%)、「あまり話をしない」(1.0%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よく話をする」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よく話をする」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

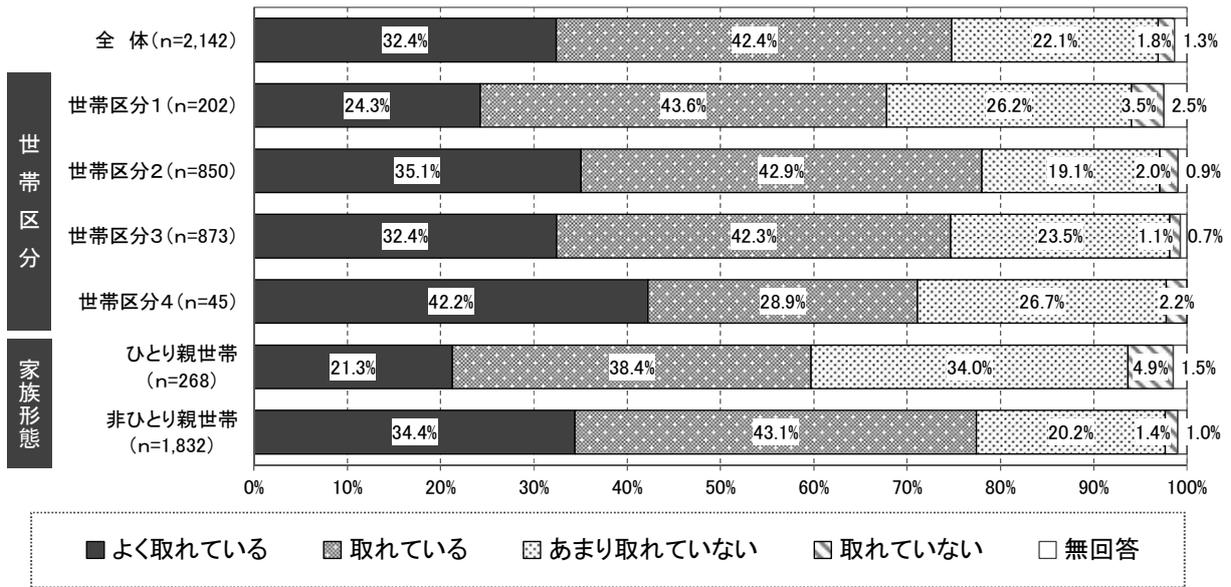
全体では、「よく話をする」が 74.8%と最も高く、次いで、「ときどき話をする」(22.1%)、「あまり話をしない」(1.7%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よく話をする」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よく話をする」の割合が低くなっています。



問 18 (2) : 子どもと一緒に過ごす時間

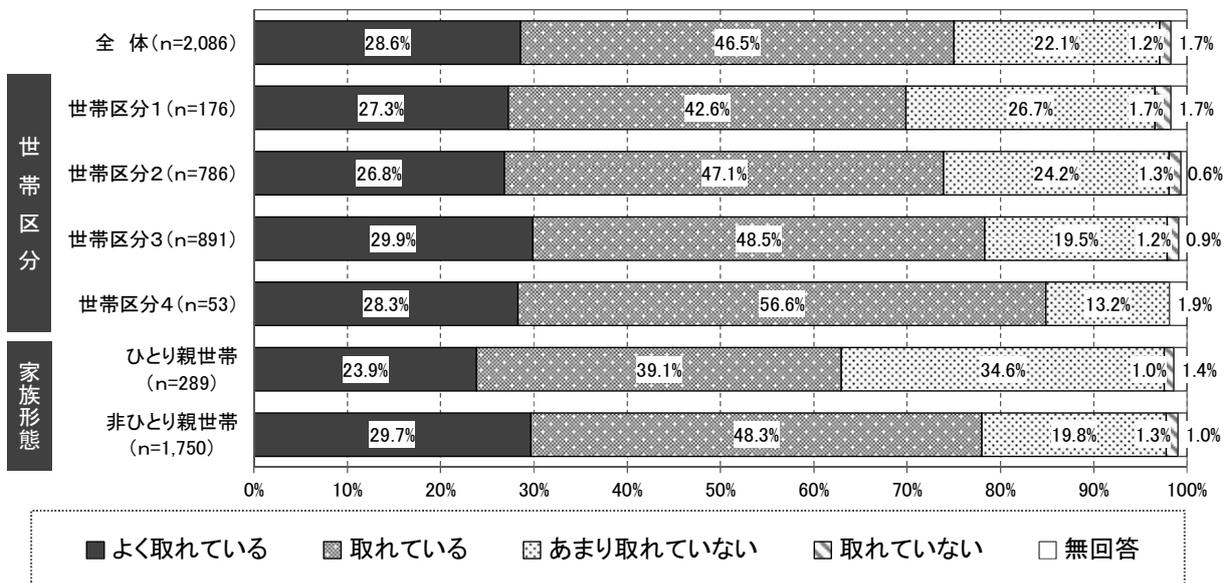
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「取れている」が42.4%と最も高く、次いで、「よく取れている」(32.4%)、「あまり取れていない」(22.1%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よく取れている」の割合が低い傾向にあり、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よく取れている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「取れている」が46.5%と最も高く、次いで、「よく取れている」(28.6%)、「あまり取れていない」(22.1%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よく取れている」と「取れている」を合わせた“取れている”の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が“取れている”の割合が低くなっています。



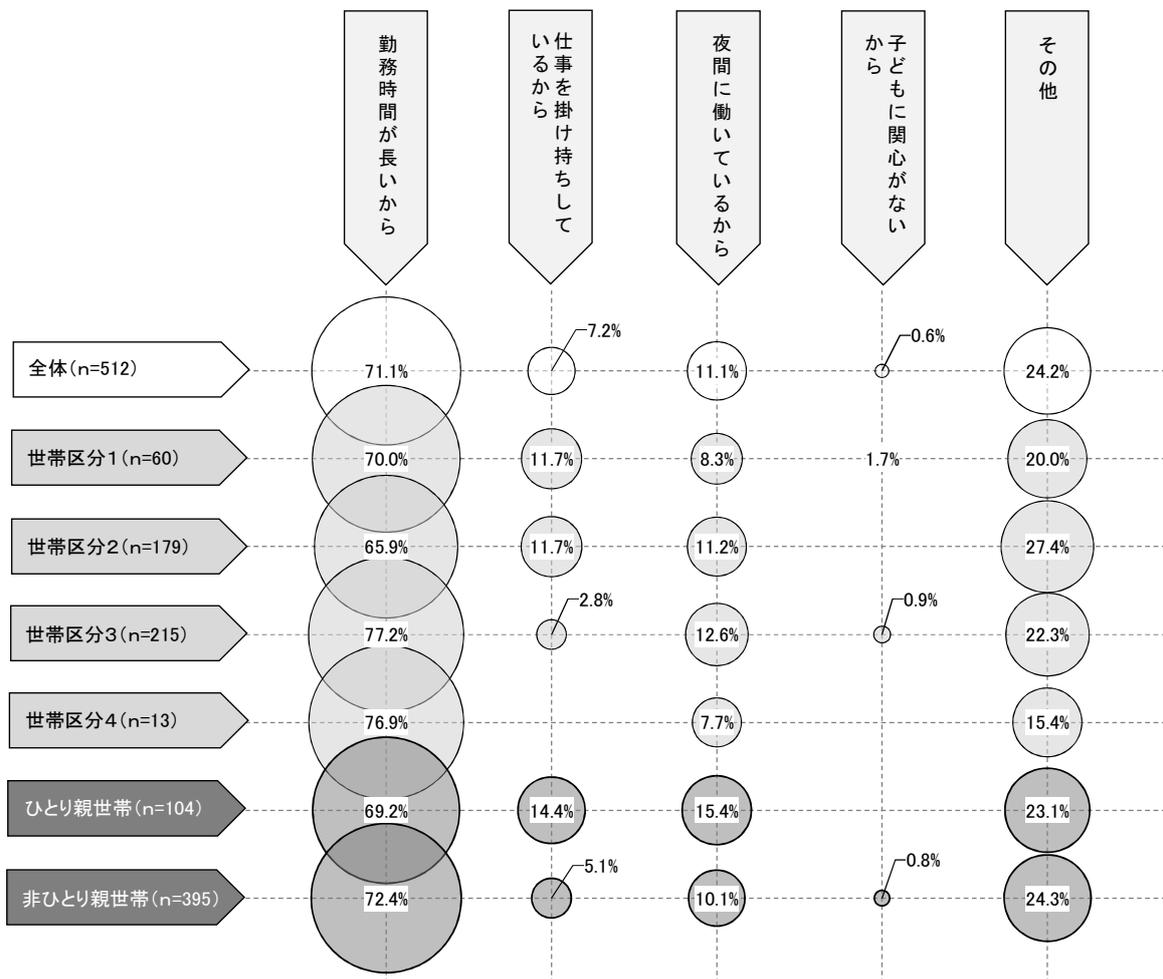
【問 18（2）で「あまり取れていない」「取れていない」と答えた方のみ】

問 18（3）：その理由は何か 【MA】

◆ 小学5年生の保護者 ◆

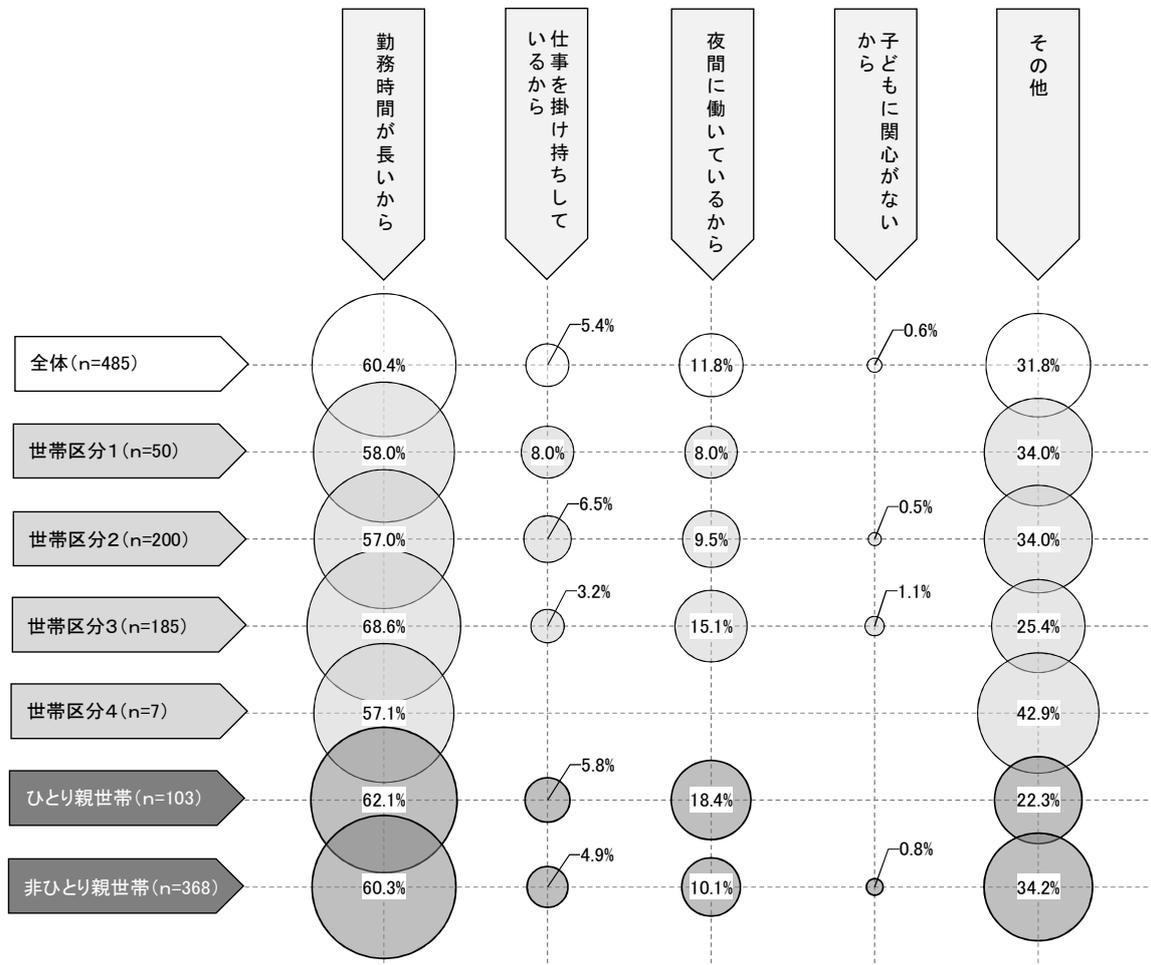
全体では、「勤務時間が長いから」が71.1%と最も高く、次いで、「その他」（24.2%）、「夜間に働いているから」（11.1%）の順となっています。

世帯区分でみると、世帯区分1と2で「仕事を掛け持ちしているから」の割合が高く、世帯区分3と4で「勤務時間が長いから」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「仕事を掛け持ちしているから」・「夜間に働いているから」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

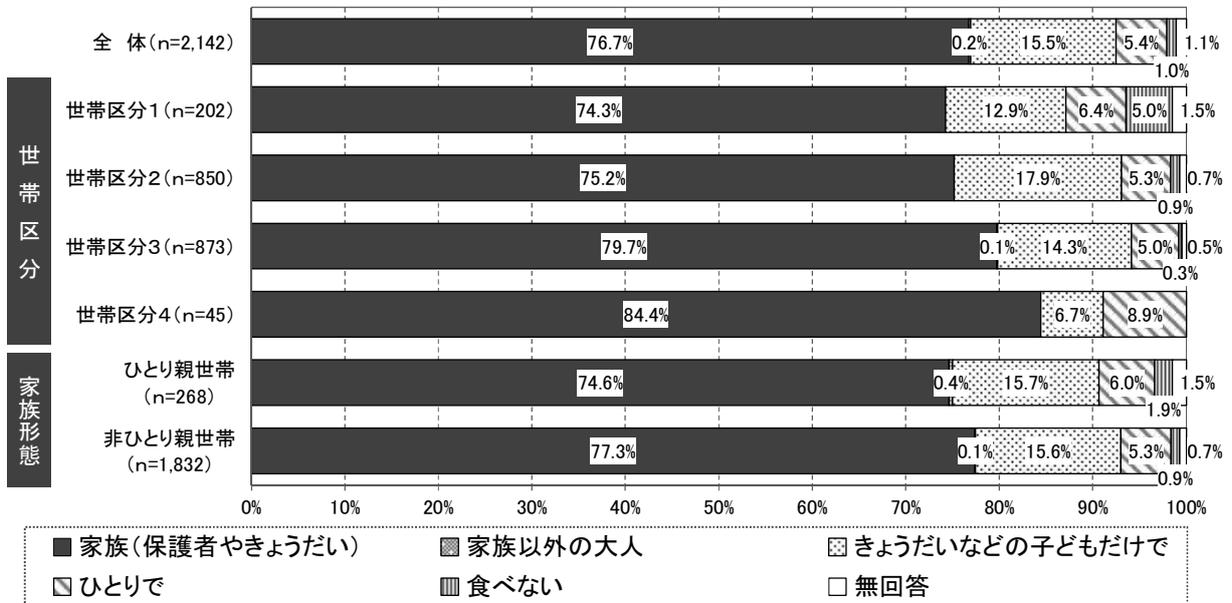
全体では、「勤務時間が長いから」が60.4%と最も高く、次いで、「その他」(31.8%)、「夜間に働いているから」(11.8%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分3で「勤務時間が長いから」・「夜間に働いているから」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「夜間に働いているから」の割合が高くなっています。



問 19 (1) : 普段、子どもは誰と一緒に食事をとっているか (ア) 朝食

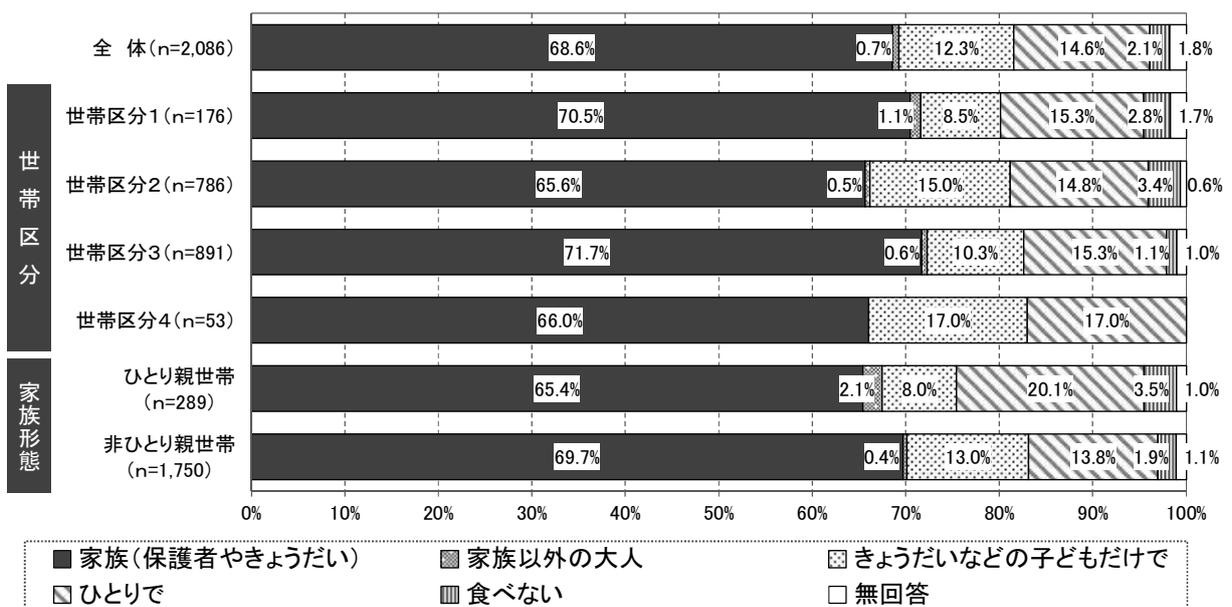
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「家族(保護者やきょうだい)」が76.7%と最も高く、次いで、「きょうだいなどの子どもだけで」(15.5%)、「ひとりで」(5.4%)の順となっています。世帯区分で見ると、世帯区分1で「食べない」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

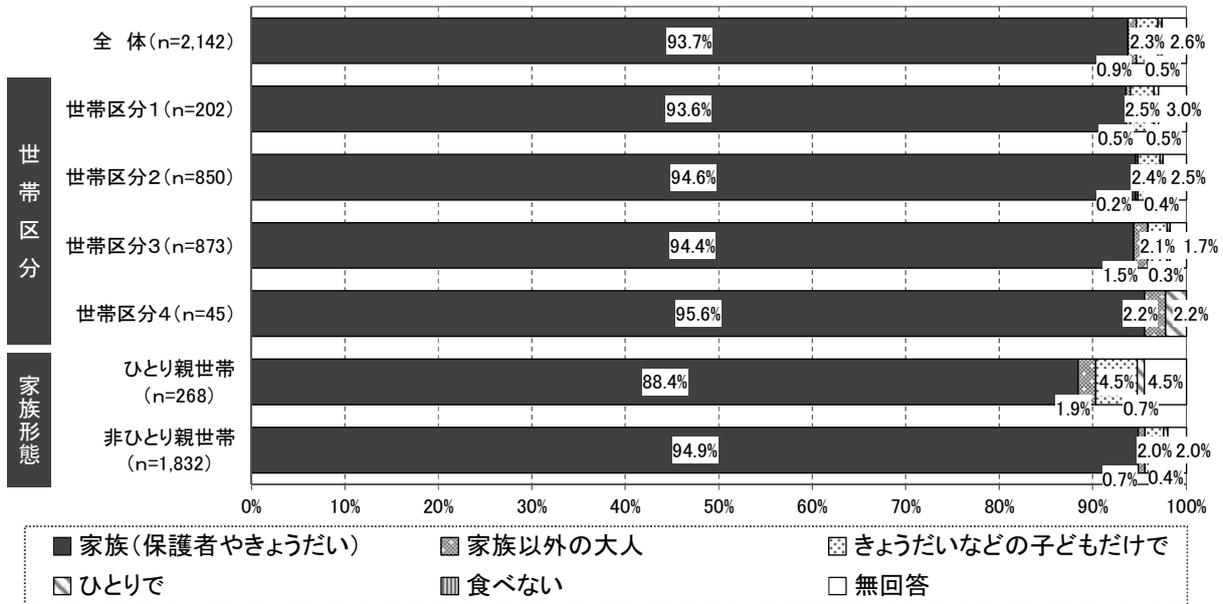
全体では、「家族(保護者やきょうだい)」が68.6%と最も高く、次いで、「ひとりで」(14.6%)、「きょうだいなどの子どもだけで」(12.3%)の順となっています。



問 19 (1) : 普段、子どもは誰と一緒に食事をとっているか (イ) 夕食

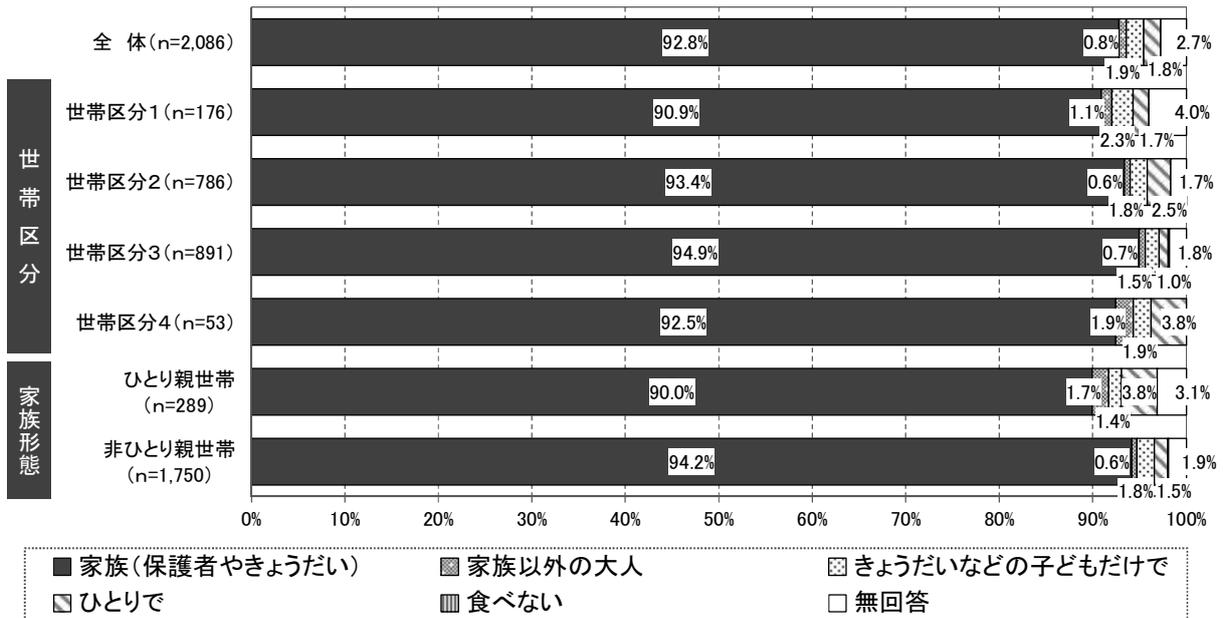
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「家族(保護者やきょうだい)」が93.7%と最も高く、次いで、「きょうだいなどの子どもだけで」(2.3%)、「家族以外の大人」(0.9%)の順となっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「家族(保護者やきょうだい)」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

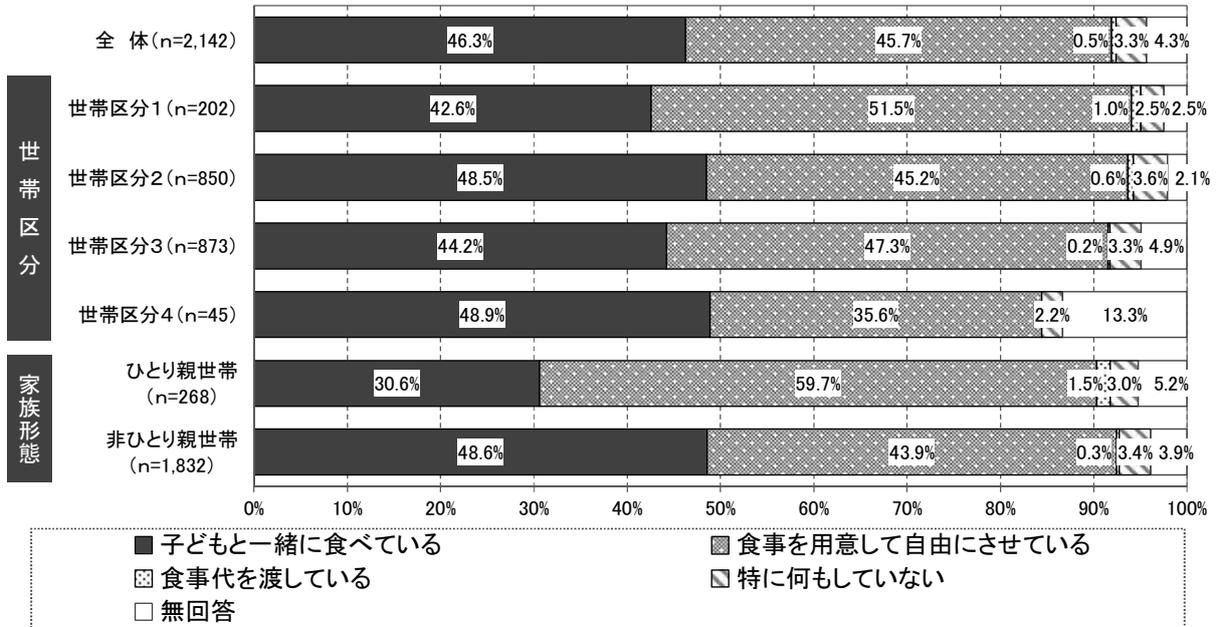
全体では、「家族(保護者やきょうだい)」が92.8%と最も高く、次いで、「きょうだいなどの子どもだけで」(1.9%)、「ひとりで」(1.8%)の順となっています。



問 19 (2) : 夏休みなど長期休暇のときの子どもの昼食

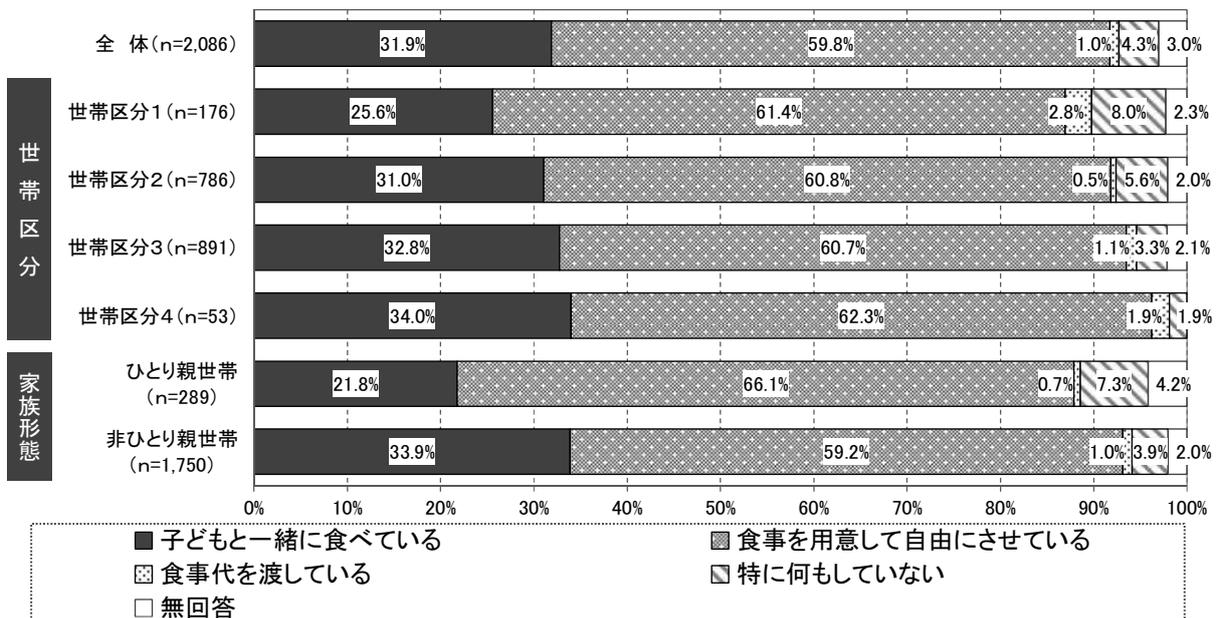
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「子どもと一緒に食べている」が46.3%と最も高く、次いで、「食事を用意して自由にさせている」(45.7%)、「特に何もしていない」(3.3%)の順となっています。家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「子どもと一緒に食べている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

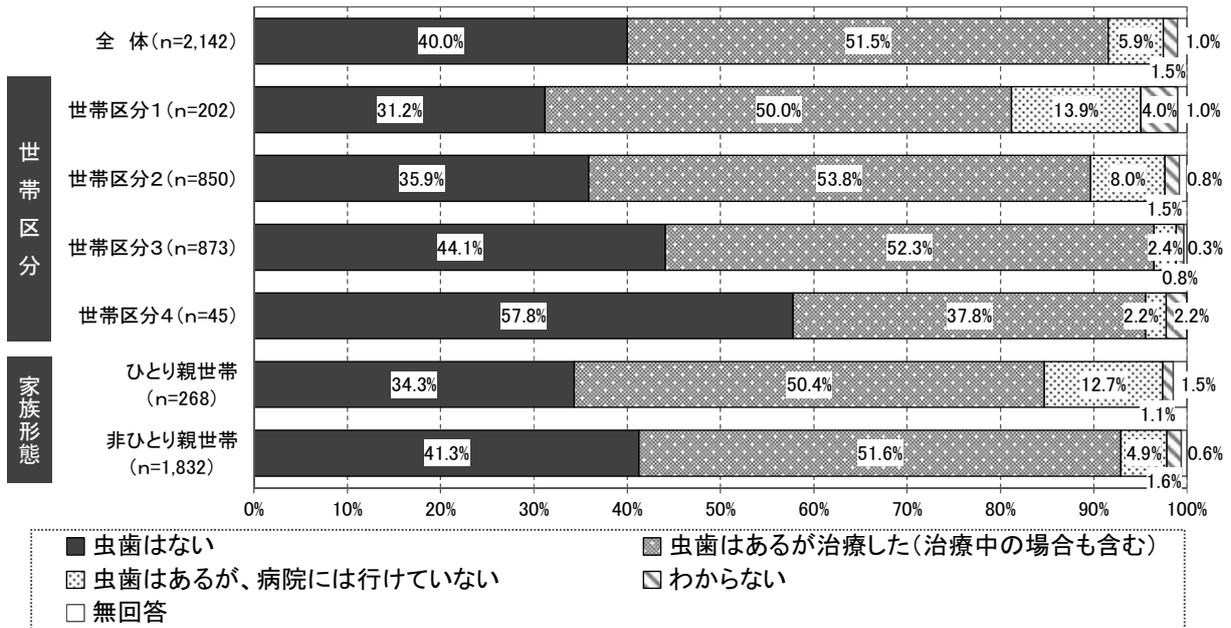
全体では、「食事を用意して自由にさせている」が59.8%と最も高く、次いで、「子どもと一緒に食べている」(31.9%)、「特に何もしていない」(4.3%)の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「子どもと一緒に食べている」の割合が低くなっています。



問 20 : 子どもに虫歯はあるか

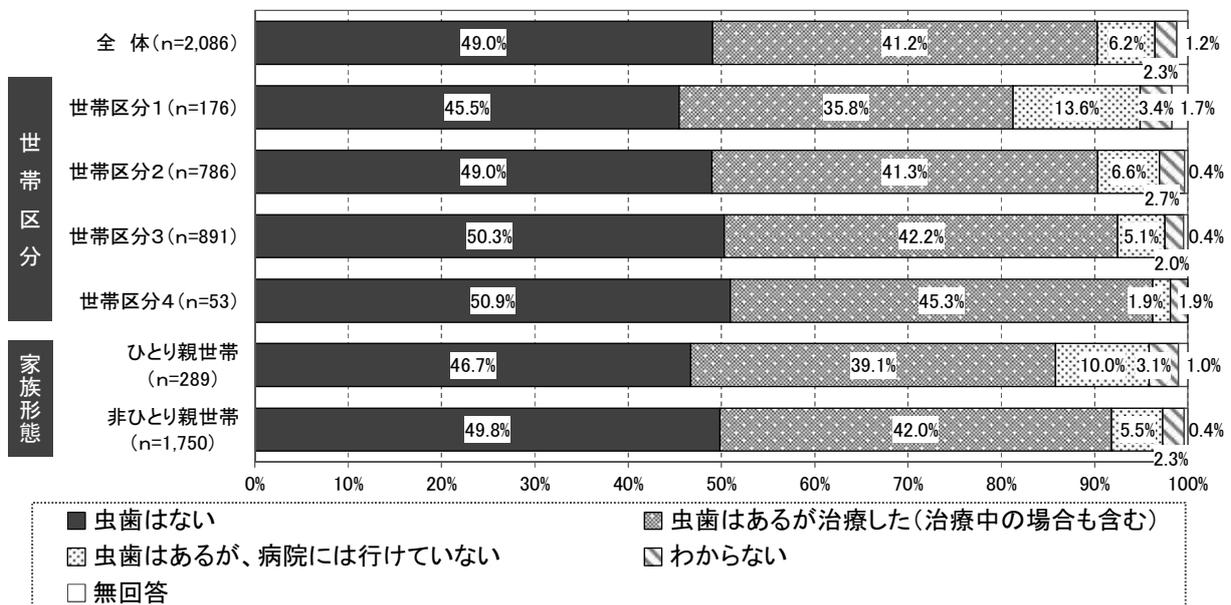
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「虫歯はあるが治療した（治療中の場合も含む）」が51.5%と最も高く、次いで、「虫歯はない」（40.0%）、「虫歯はあるが、病院には行けていない」（5.9%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「虫歯はない」の割合が低く「虫歯はあるが、病院には行けていない」の割合が高くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「虫歯はない」の割合が低く「虫歯はあるが、病院には行けていない」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

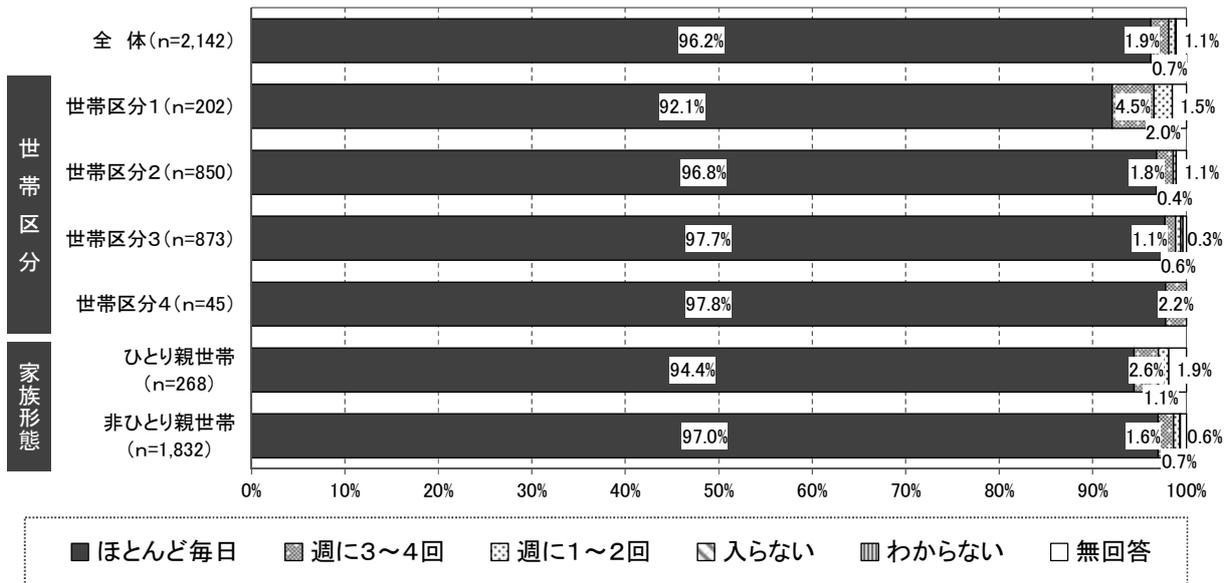
全体では、「虫歯はない」が49.0%と最も高く、次いで、「虫歯はあるが治療した（治療中の場合も含む）」(41.2%)、「虫歯はあるが、病院には行けていない」(6.2%)の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「虫歯はあるが、病院には行けていない」の割合が高くなっています。



問 21 : 子どもの風呂（シャワーを含む）に入る頻度

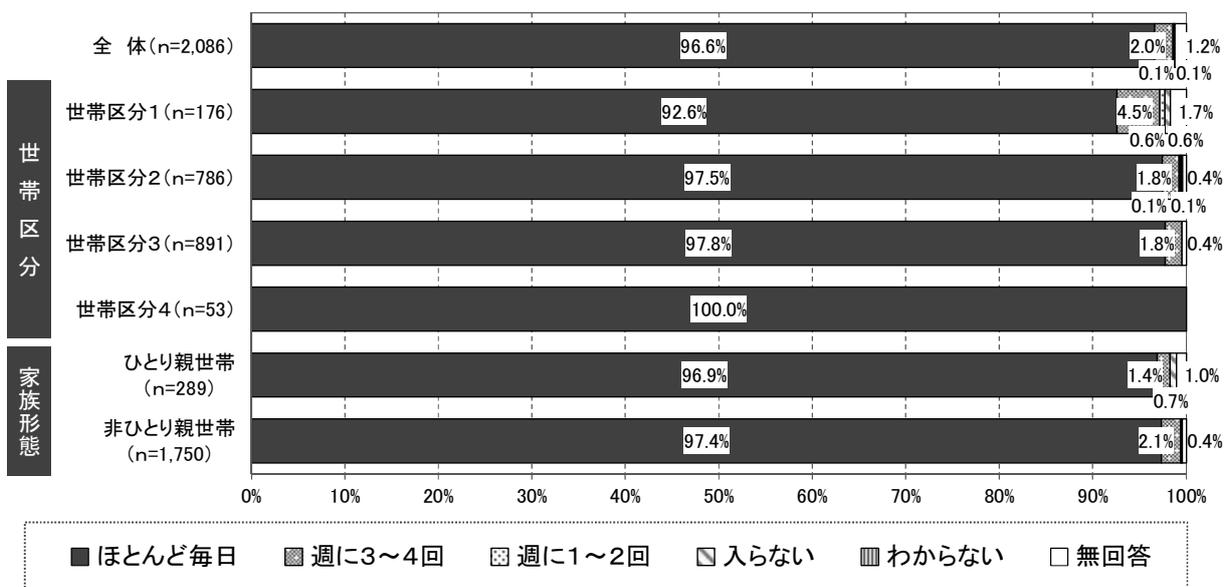
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「ほとんど毎日」が 96.2%と最も高く、次いで、「週に3～4回」(1.9%)、「週に1～2回」(0.7%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

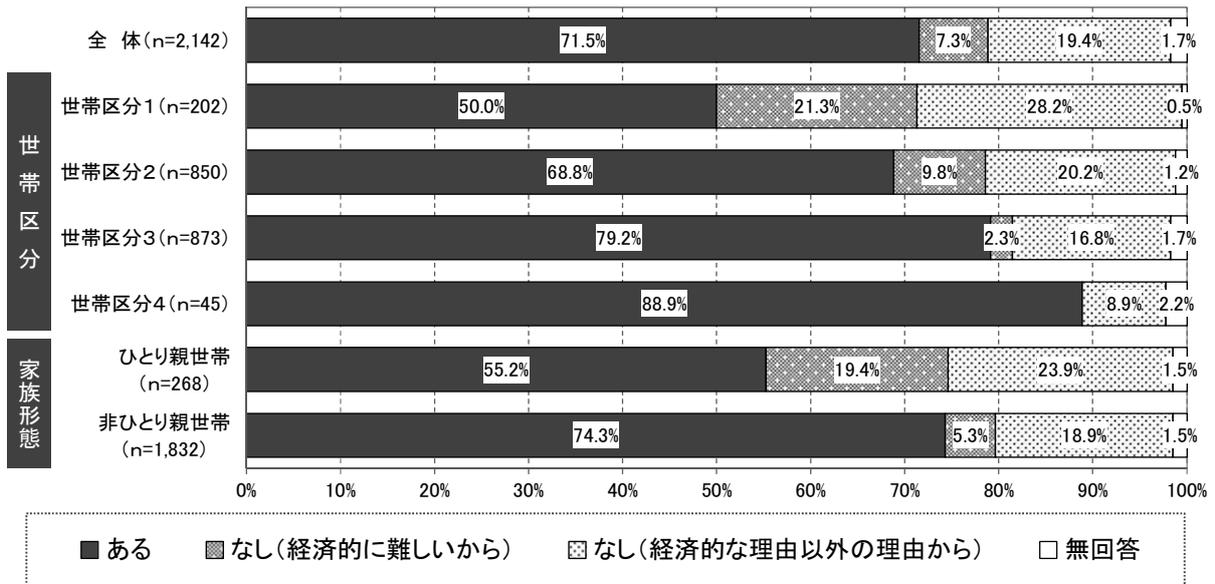
全体では、「ほとんど毎日」が 96.6%と最も高く、次いで、「週に3～4回」(2.0%)、「週に1～2回」・「入らない」(0.1%で同率)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。



問 22 (1) : 子どもの年齢・知的水準に適した本があるか

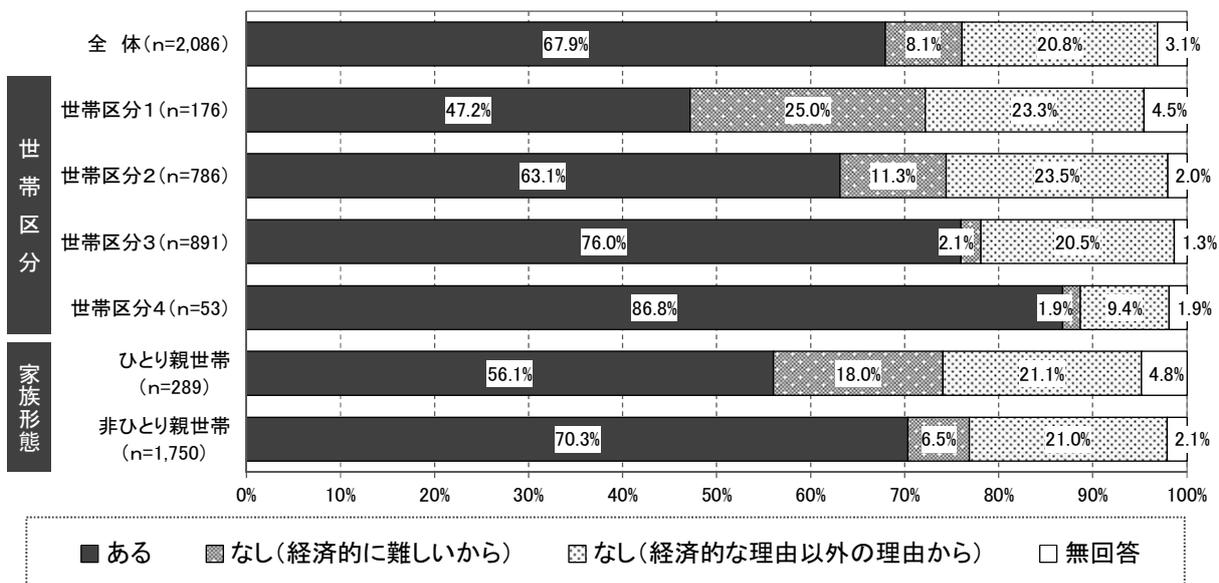
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「ある」が71.5%と最も高く、次いで、「なし（経済的な理由以外の理由から）」（19.4%）、「なし（経済的に難しいから）」（7.3%）となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「なし（経済的に難しいから）」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「なし（経済的に難しいから）」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

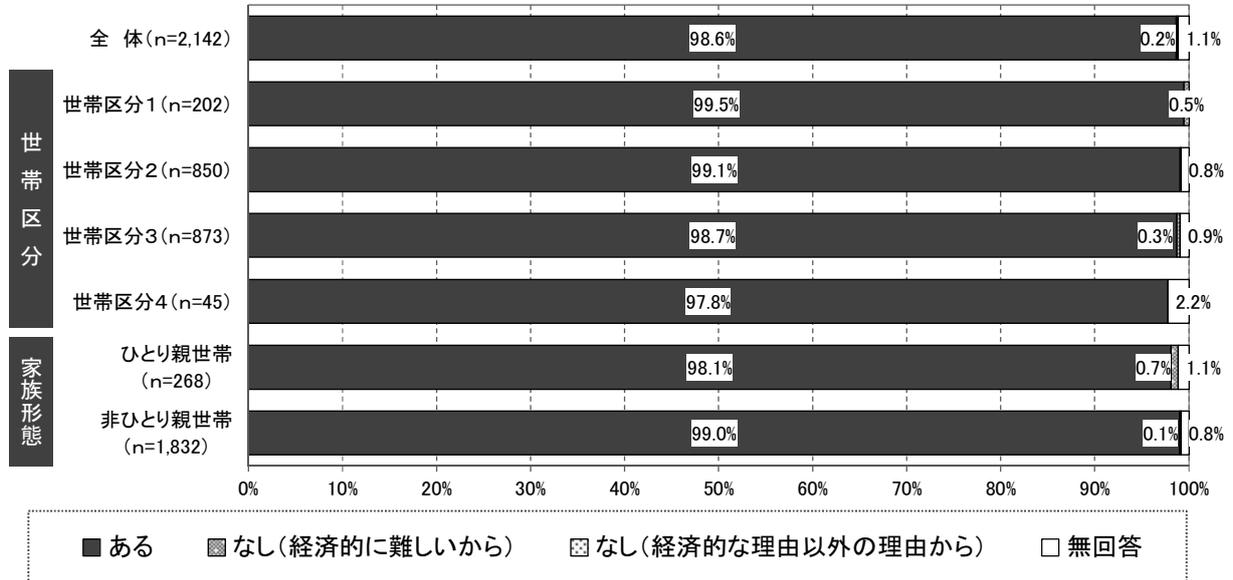
全体では、「ある」が67.9%と最も高く、次いで、「なし（経済的な理由以外の理由から）」（20.8%）、「なし（経済的に難しいから）」（8.1%）となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「なし（経済的に難しいから）」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「なし（経済的に難しいから）」の割合が高くなっています。



問 22 (2) : たいていの子どもがもっている文房具があるか

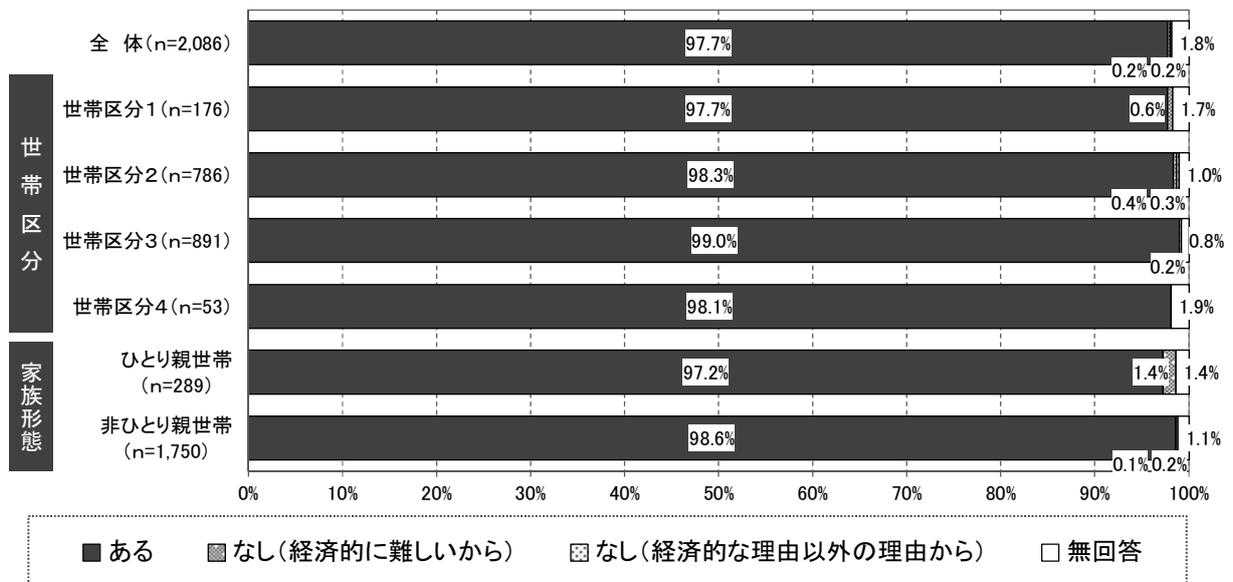
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「ある」が98.6%と最も高く、次いで、「なし(経済的に難しいから)」が0.2%となっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

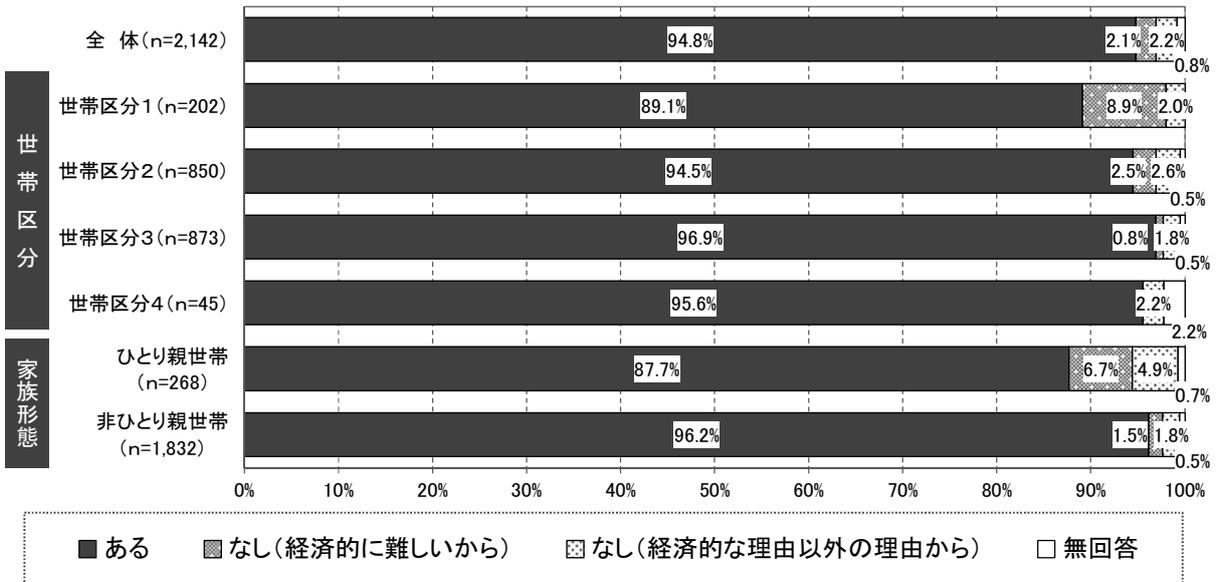
全体では、「ある」が97.7%と最も高く、次いで、「なし(経済的に難しいから)」・「なし(経済的な理由以外の理由から)」(0.2%で同率)となっています。



問 22 (3) : たいていの子どもがもっている屋外レジャー・スポーツ用品があるか

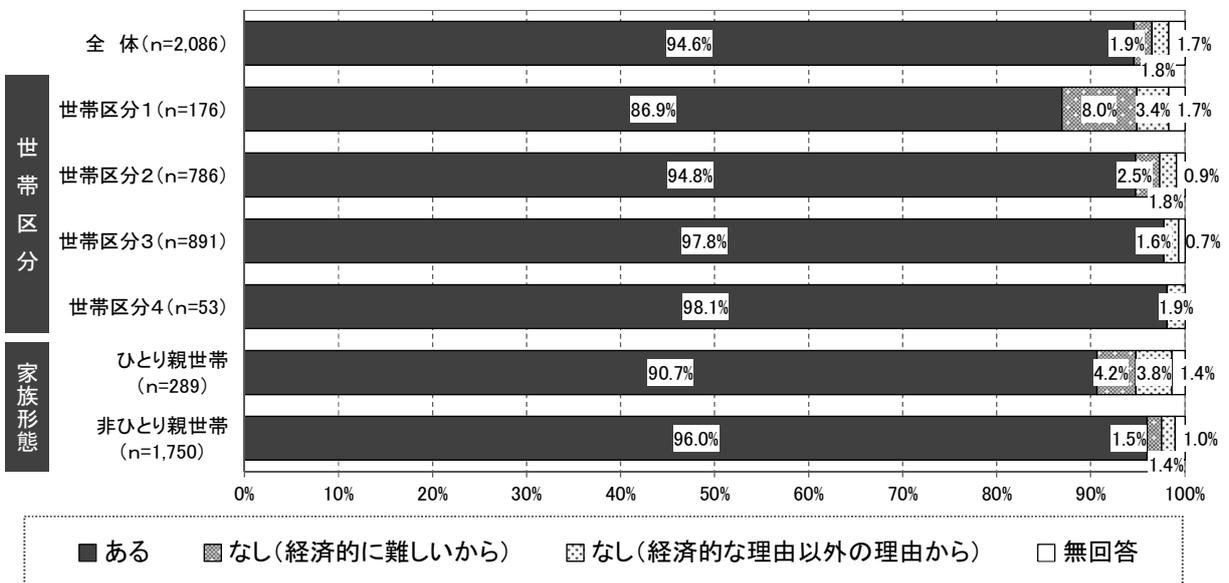
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「ある」が94.8%と最も高く、次いで、「なし(経済的な理由以外の理由から)」(2.2%)、「なし(経済的に難しいから)」(2.1%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「なし(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「なし(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

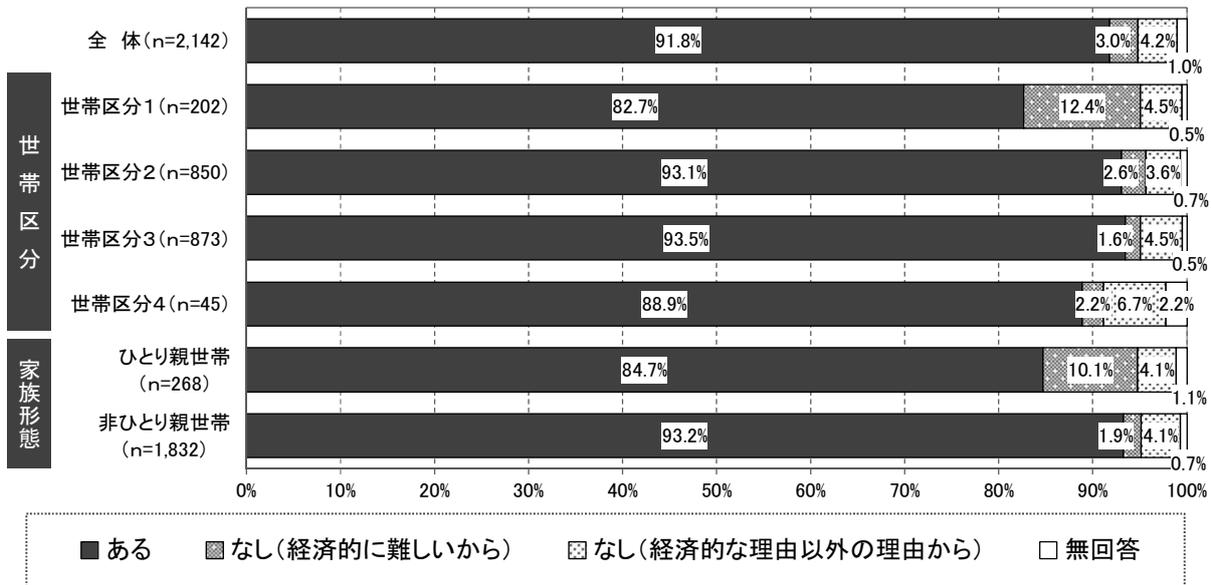
全体では、「ある」が94.6%と最も高く、次いで、「なし(経済的に難しいから)」(1.9%)、「なし(経済的な理由以外の理由から)」(1.8%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「なし(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「ある」が低くなっています。



問 22 (4) : たいていの子どもがもっているおもちゃがあるか

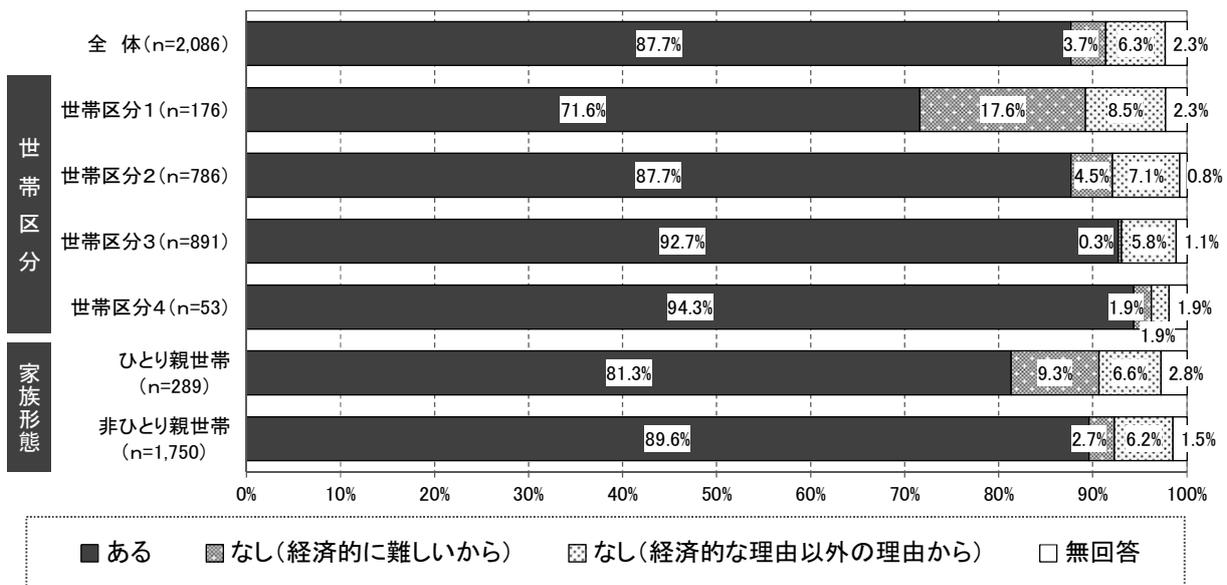
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「ある」が91.8%と最も高く、次いで、「なし(経済的な理由以外の理由から)」(4.2%)、「なし(経済的に難しいから)」(3.0%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「なし(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

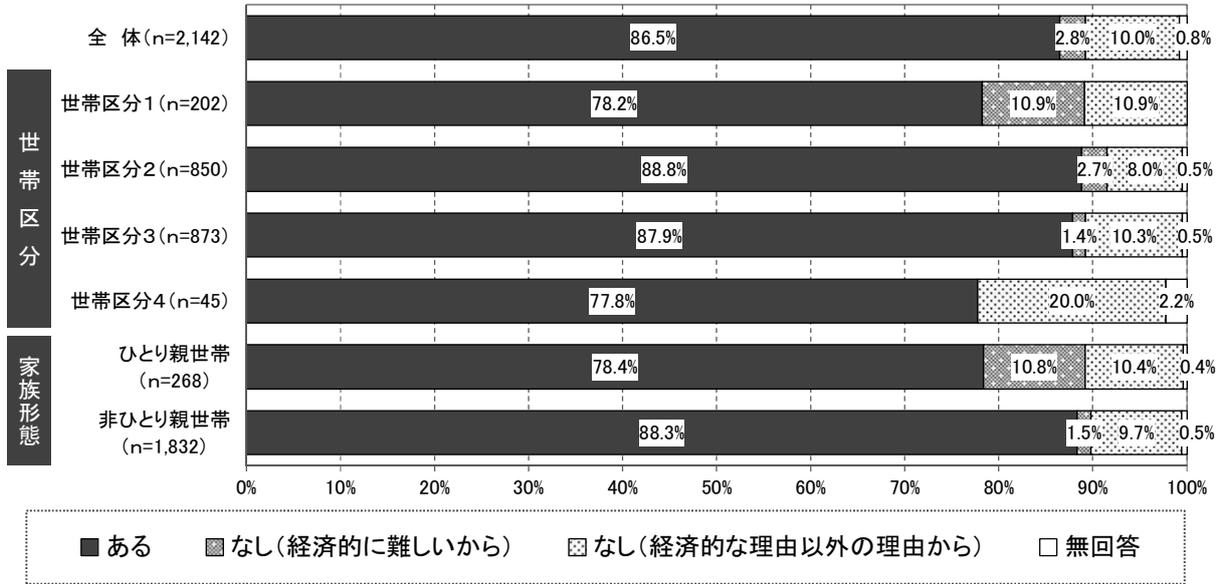
全体では、「ある」が87.7%と最も高く、次いで、「なし(経済的な理由以外の理由から)」(6.3%)、「なし(経済的に難しいから)」(3.7%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「なし(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



問 22 (5) : コンピューターゲーム機があるか

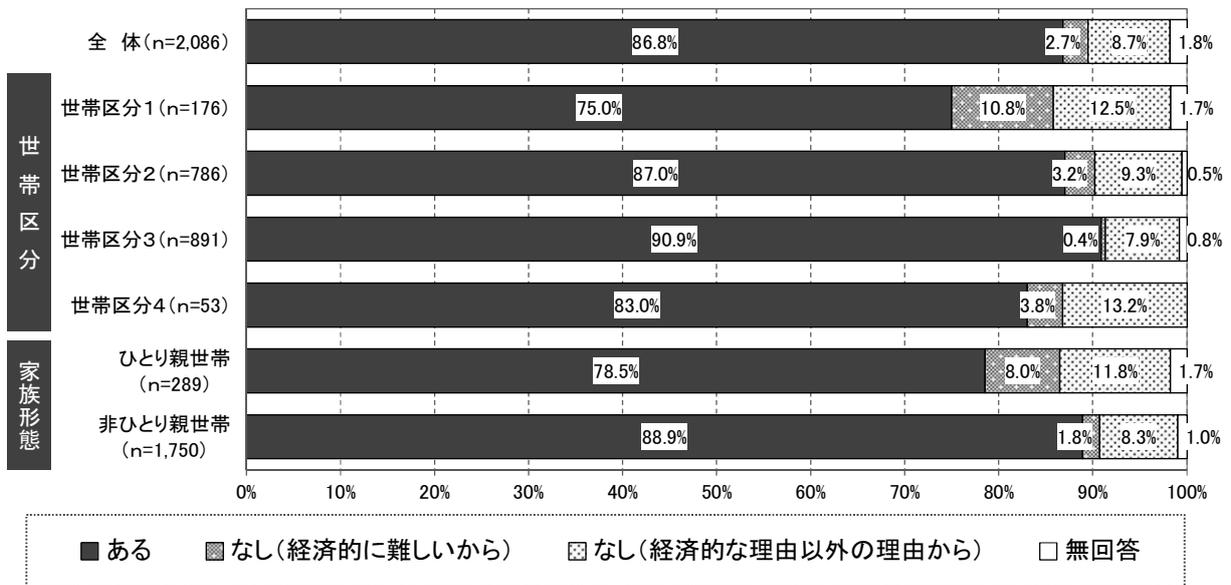
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「ある」が 86.5%と最も高く、次いで、「なし（経済的な理由以外の理由から）」（10.0%）、「なし（経済的に難しいから）」（2.8%）となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「なし（経済的に難しいから）」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

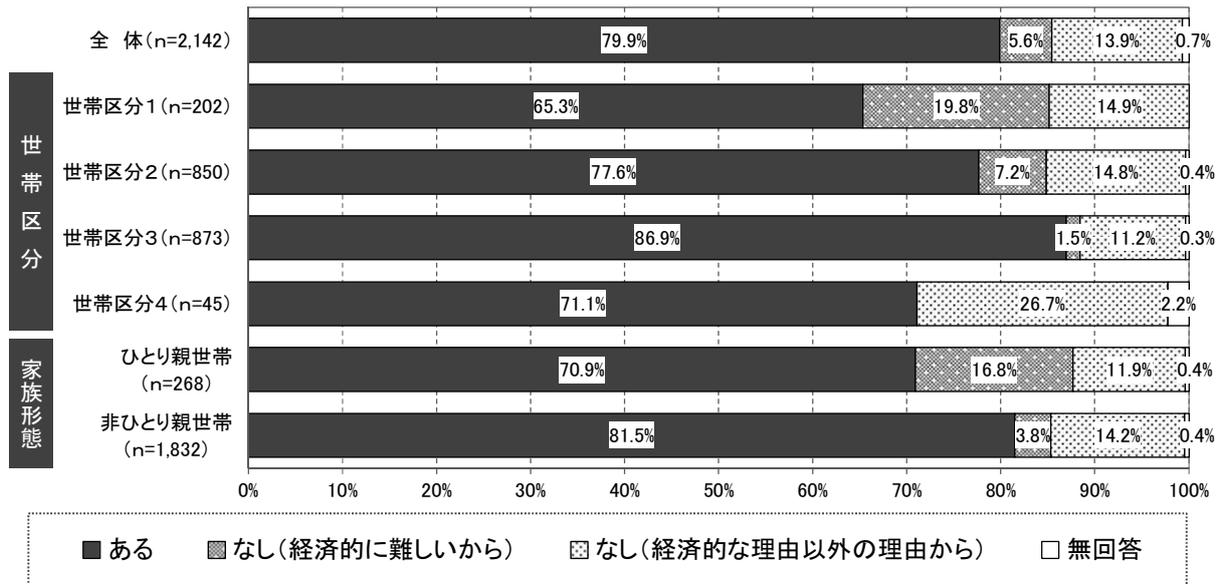
全体では、「ある」が 86.8%と最も高く、次いで、「なし（経済的な理由以外の理由から）」（8.7%）、「なし（経済的に難しいから）」（2.7%）となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「なし（経済的に難しいから）」の割合が高くなっています。



問 22 (6) : 子ども部屋 (きょうだいと共有を含む) があるか

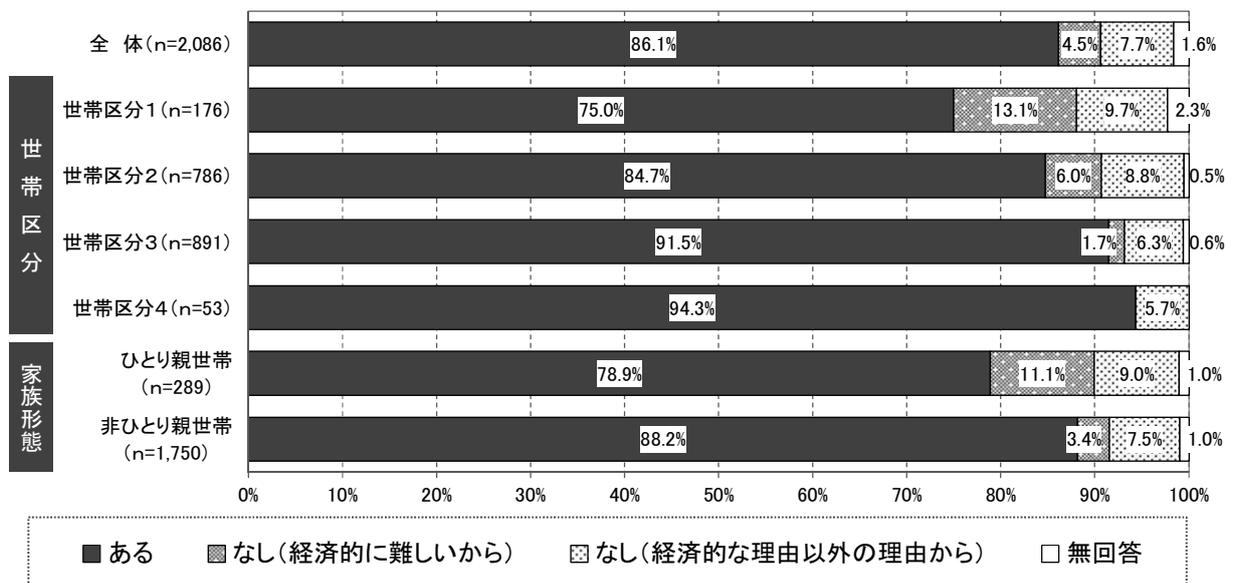
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「ある」が79.9%と最も高く、次いで、「なし(経済的な理由以外の理由から)」(13.9%)、「なし(経済的に難しいから)」(5.6%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「なし(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「なし(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

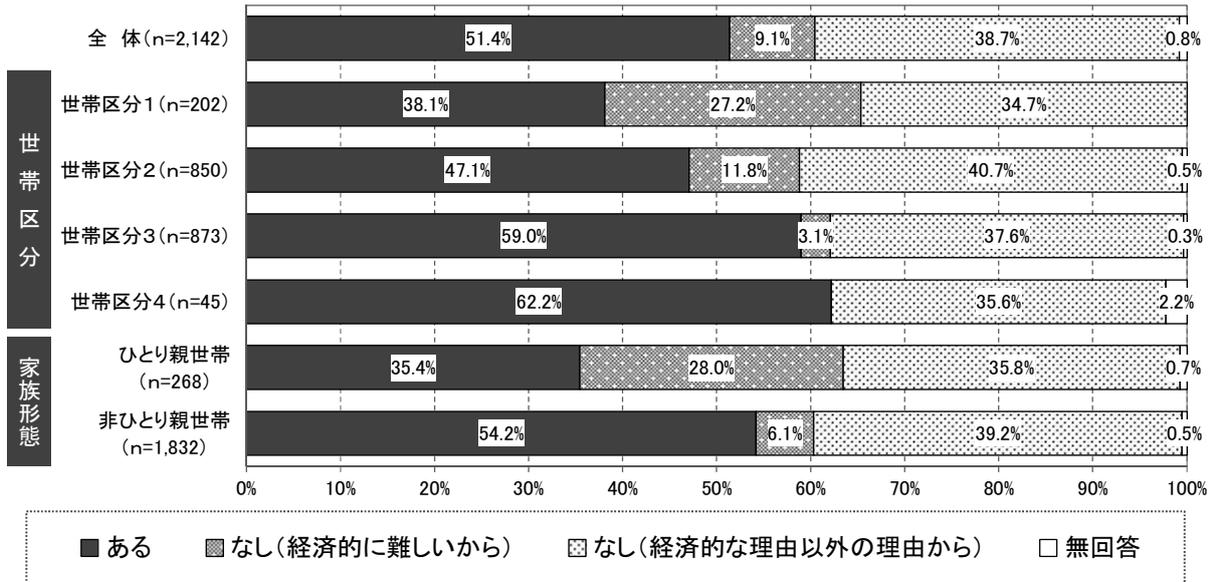
全体では、「ある」が86.1%と最も高く、次いで、「なし(経済的な理由以外の理由から)」(7.7%)、「なし(経済的に難しいから)」(4.5%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「なし(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「なし(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



問 22 (7) : 子どもが使えるインターネットにつながったパソコンがあるか

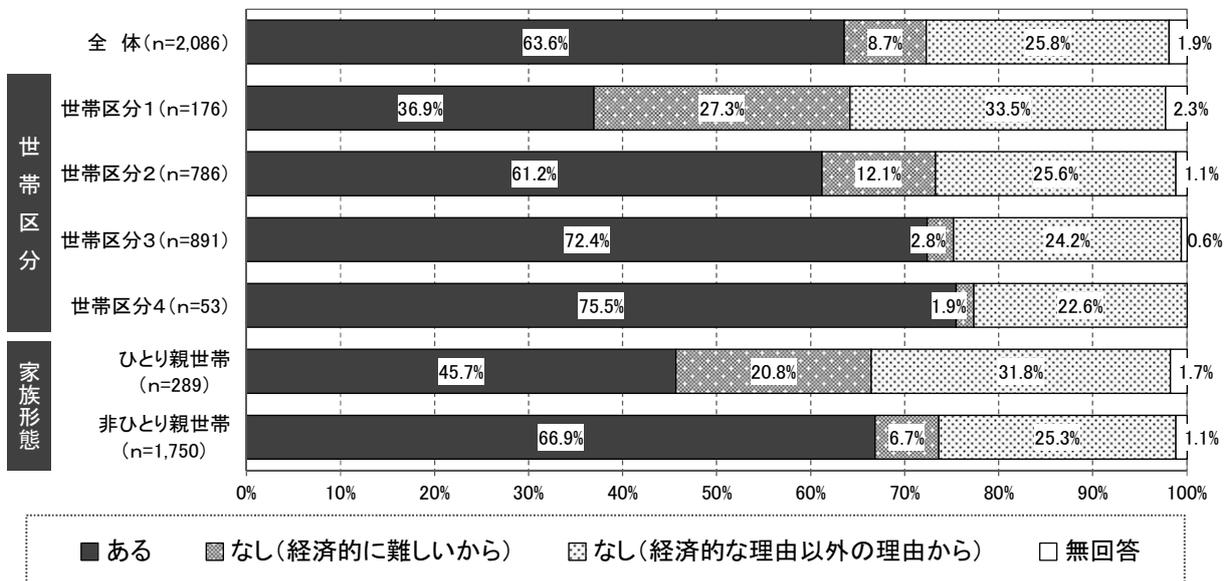
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「ある」が 51.4%と最も高く、次いで、「なし（経済的な理由以外の理由から）」（38.7%）、「なし（経済的に難しいから）」（9.1%）となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「なし（経済的に難しいから）」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「なし（経済的に難しいから）」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

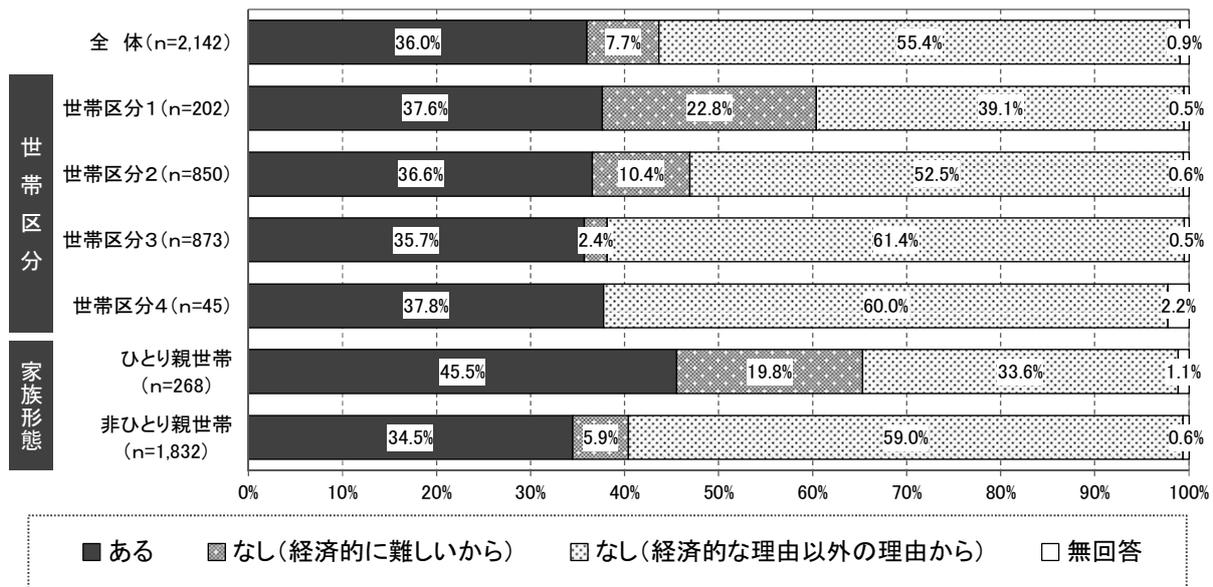
全体では、「ある」が 63.6%と最も高く、次いで、「なし（経済的な理由以外の理由から）」（25.8%）、「なし（経済的に難しいから）」（8.7%）となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「なし（経済的に難しいから）」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「なし（経済的に難しいから）」の割合が高くなっています。



問 22 (8) : 子ども専用のスマートフォン・携帯電話があるか

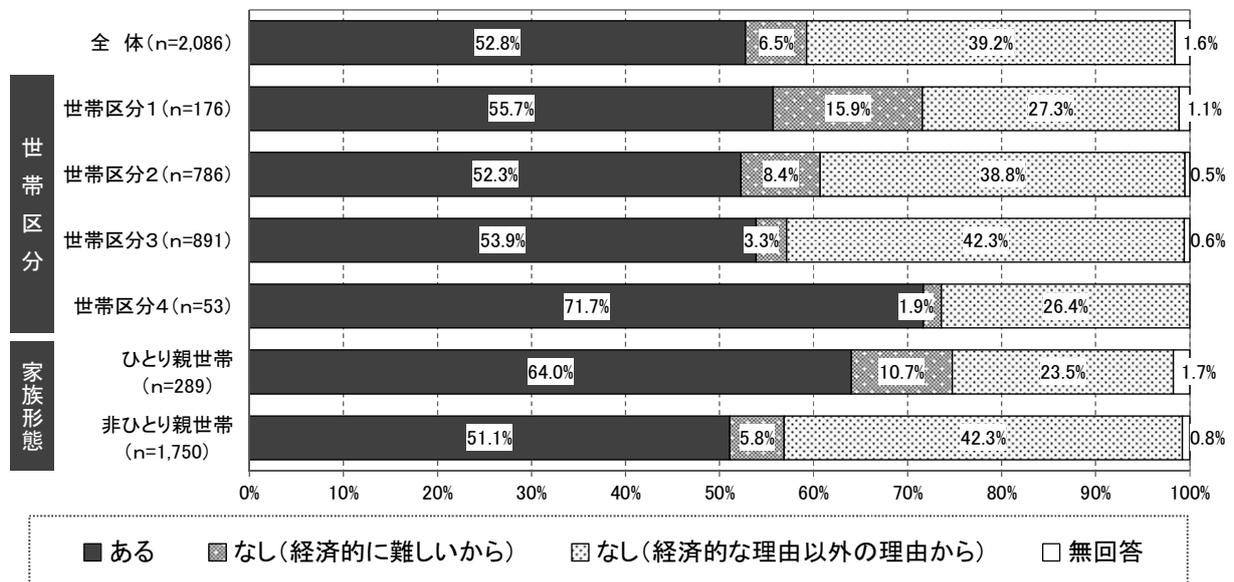
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「なし（経済的な理由以外の理由から）」が 55.4%と最も高く、次いで、「ある」（36.0%）、「なし（経済的に難しいから）」（7.7%）となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「なし（経済的に難しいから）」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯では「なし（経済的に難しいから）」の割合が高い一方で「ある」の割合も高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

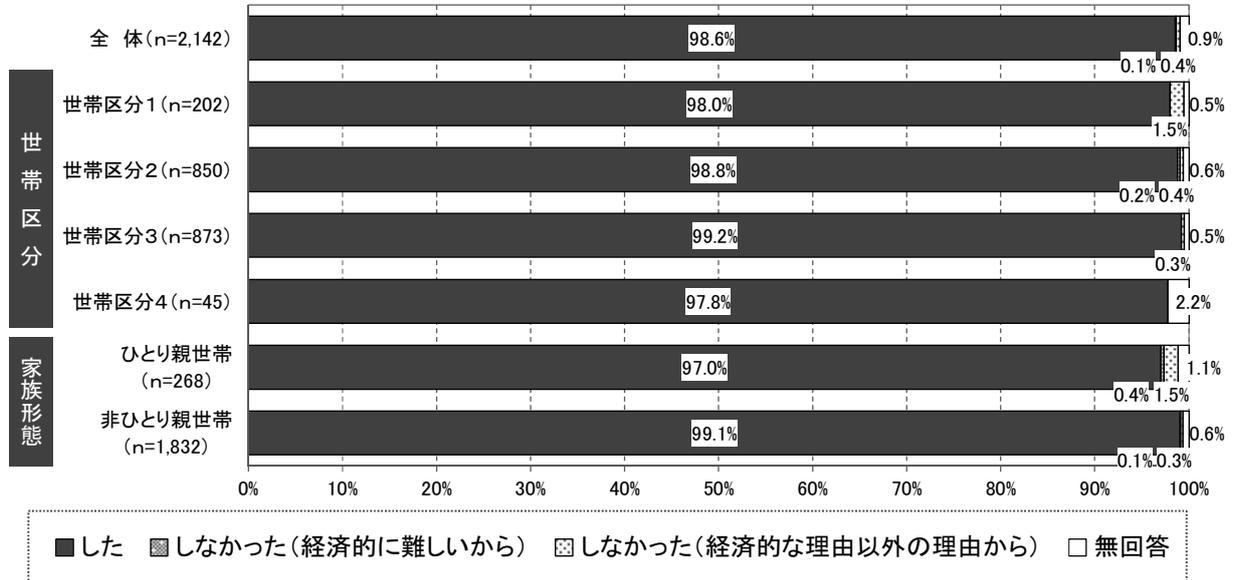
全体では、「ある」が 52.8%と最も高く、次いで、「なし（経済的な理由以外の理由から）」（39.2%）、「なし（経済的に難しいから）」（6.5%）となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「なし（経済的に難しいから）」の割合が高く、世帯区分4で「ある」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯では「なし（経済的に難しいから）」の割合が高い一方で「ある」の割合も高くなっています。



問 23 (1) : 保育所または幼稚園の通園について

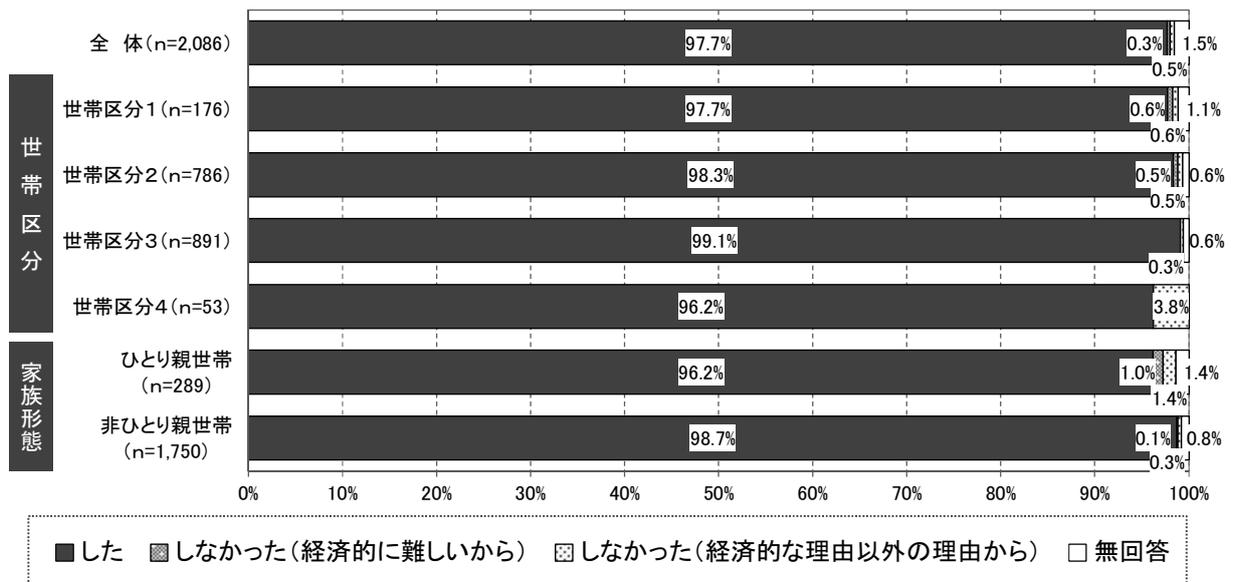
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「した」が98.6%と最も高く、次いで、「しなかった(経済的な理由以外の理由から)」(0.4%)、「しなかった(経済的に難しいから)」(0.1%)となっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

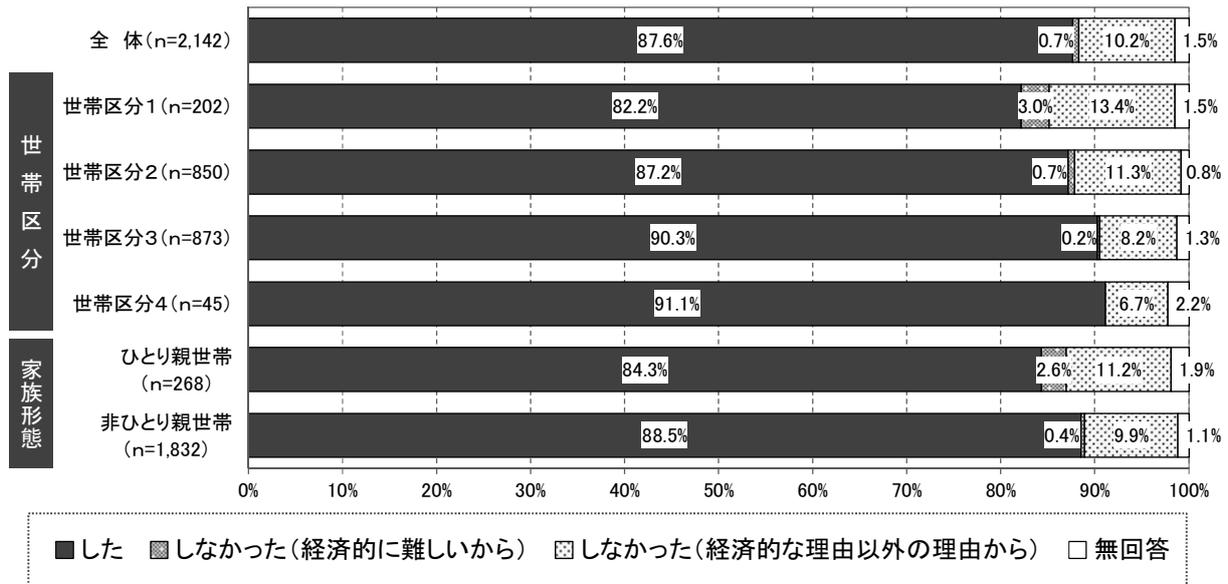
全体では、「した」が97.7%と最も高く、次いで、「しなかった(経済的な理由以外の理由から)」(0.5%)、「しなかった(経済的に難しいから)」(0.3%)となっています。



問 23 (2) : 子どもが小さいころの絵本の読み聞かせについて

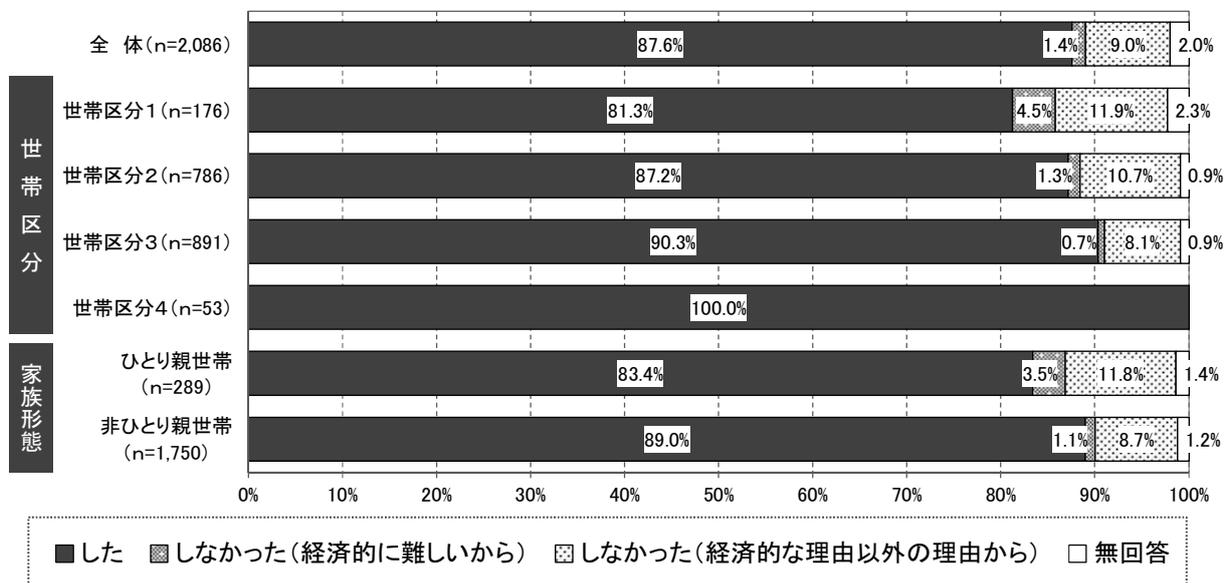
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「した」が87.6%と最も高く、次いで、「しなかった(経済的な理由以外の理由から)」(10.2%)、「しなかった(経済的に難しいから)」(0.7%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「した」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「した」の割合がやや低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

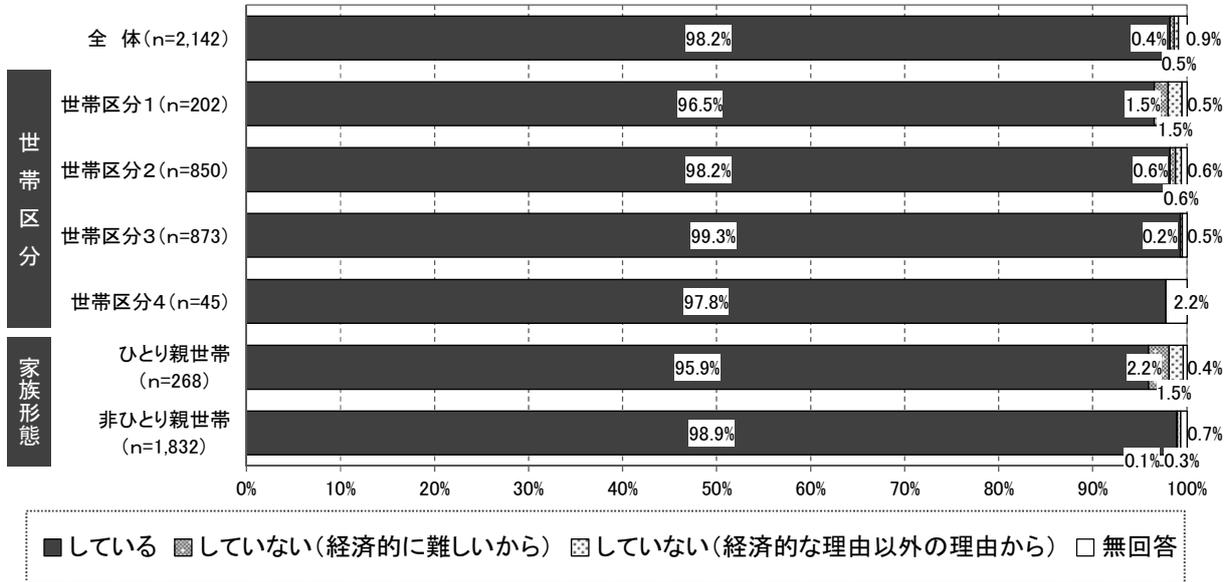
全体では、「した」が87.6%と最も高く、次いで、「しなかった(経済的な理由以外の理由から)」(9.0%)、「しなかった(経済的に難しいから)」(1.4%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「した」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「した」の割合が低くなっています。



問 23 (3) : 誕生日や記念日などでのお祝いごとについて

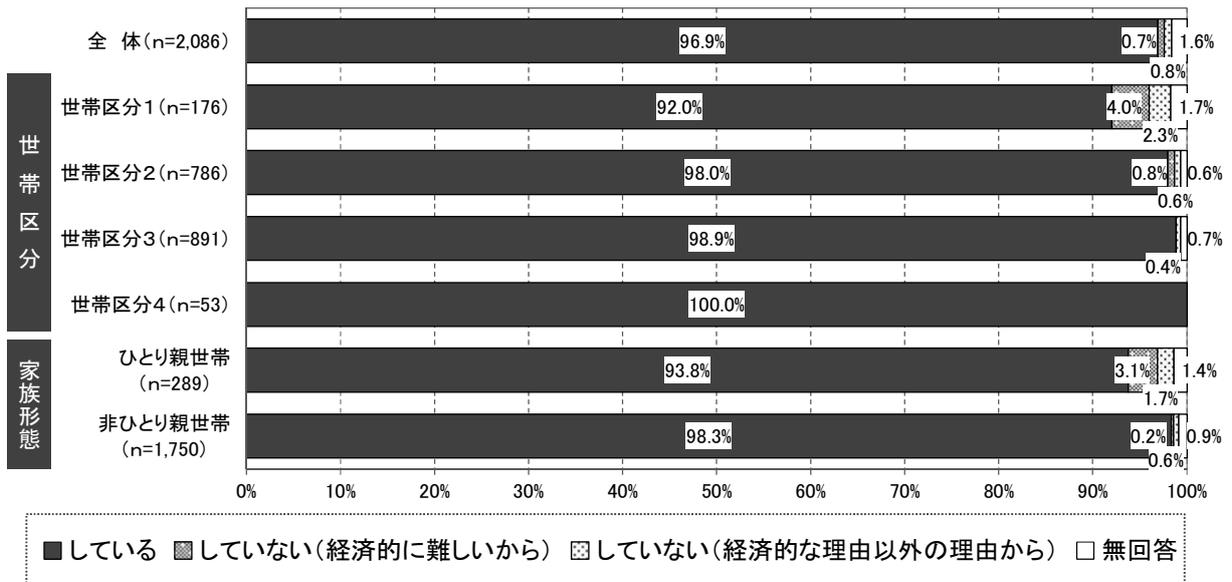
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「している」が98.2%と最も高く、次いで、「していない（経済的な理由以外の理由から）」(0.5%)、「していない（経済的に難しいから）」(0.4%)となっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

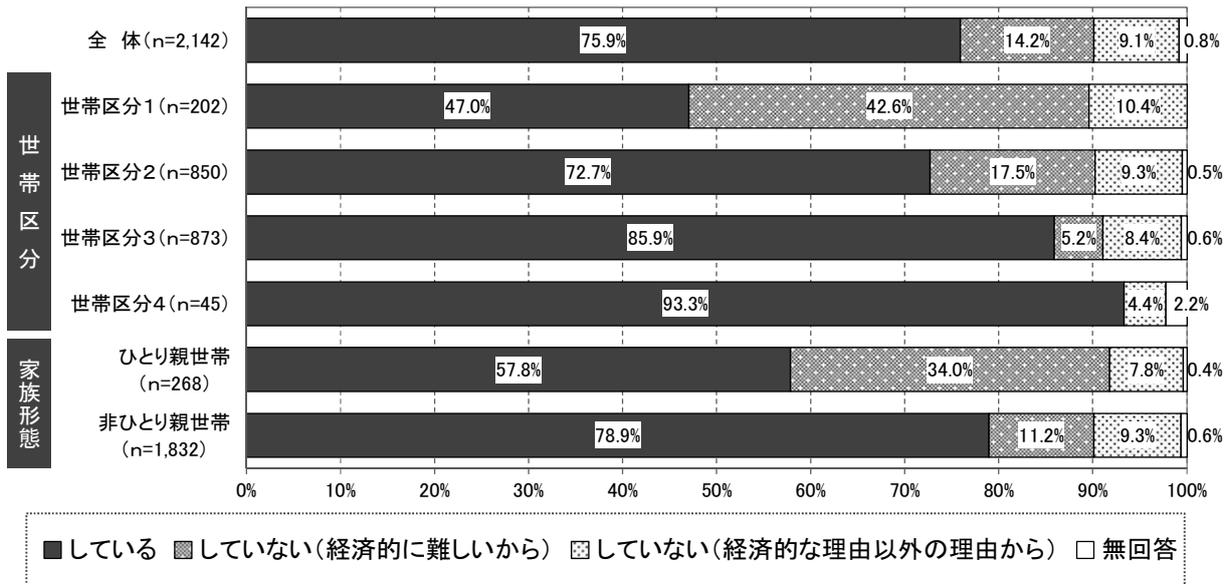
全体では、「している」が96.9%と最も高く、次いで、「していない（経済的な理由以外の理由から）」(0.8%)、「していない（経済的に難しいから）」(0.7%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「している」の割合が低くなっています。



問 23 (4) : 家族旅行について

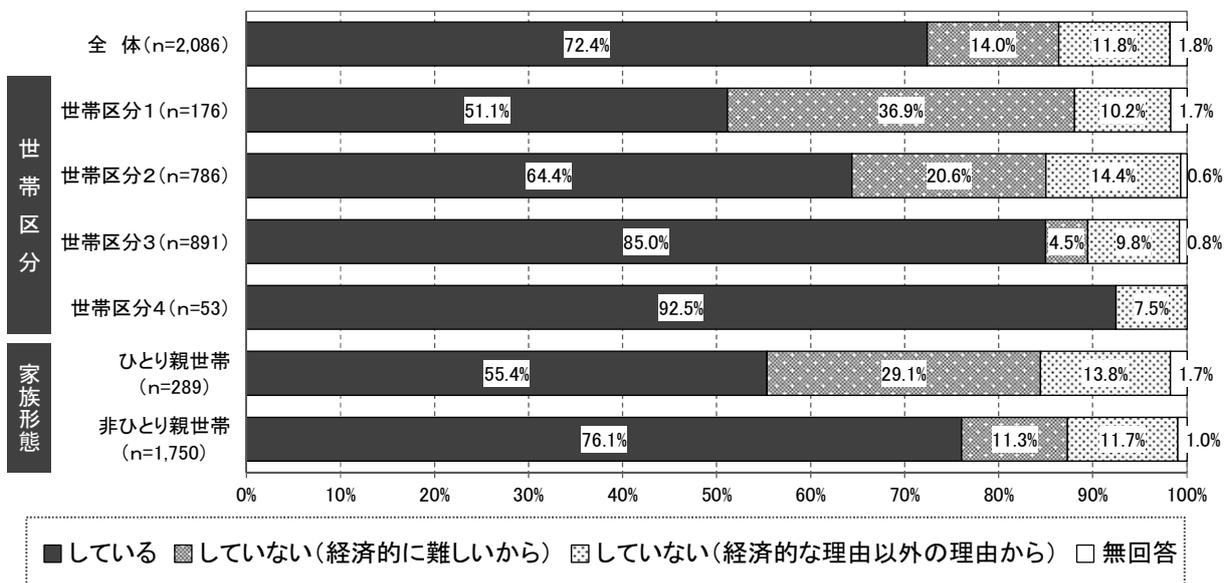
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「している」が75.9%と最も高く、次いで、「していない(経済的に難しいから)」(14.2%)、「していない(経済的な理由以外の理由から)」(9.1%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「していない(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「していない(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

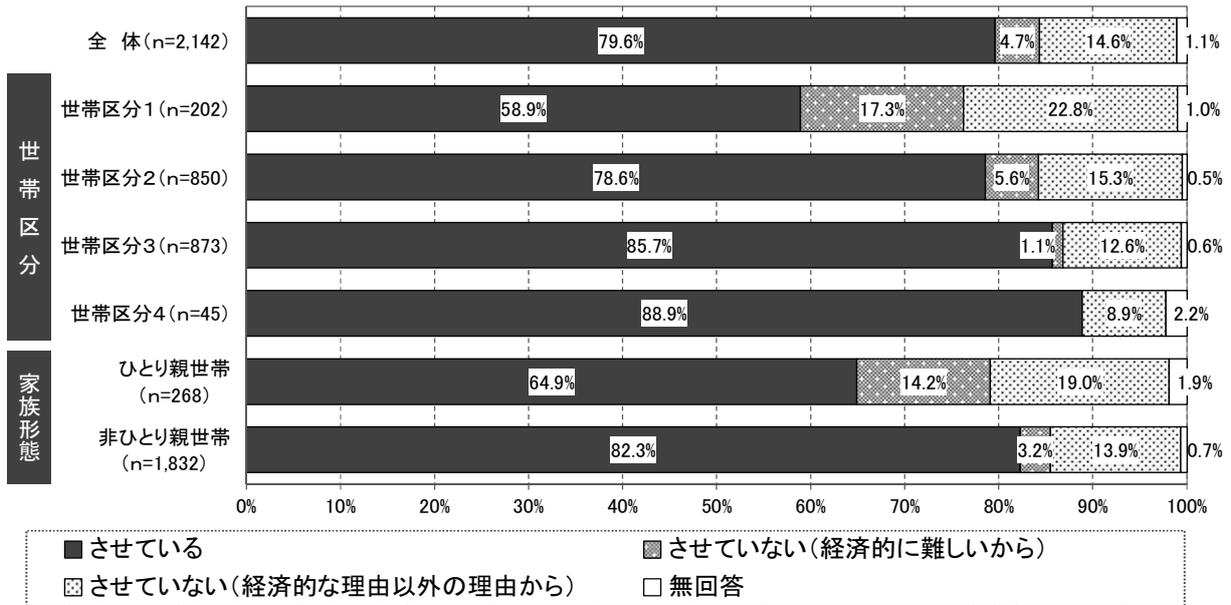
全体では、「している」が72.4%と最も高く、次いで、「していない(経済的に難しいから)」(14.0%)、「していない(経済的な理由以外の理由から)」(11.8%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「していない(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「していない(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



問 23 (5) : 文化的な体験 (美術館・音楽鑑賞・映画鑑賞など) について

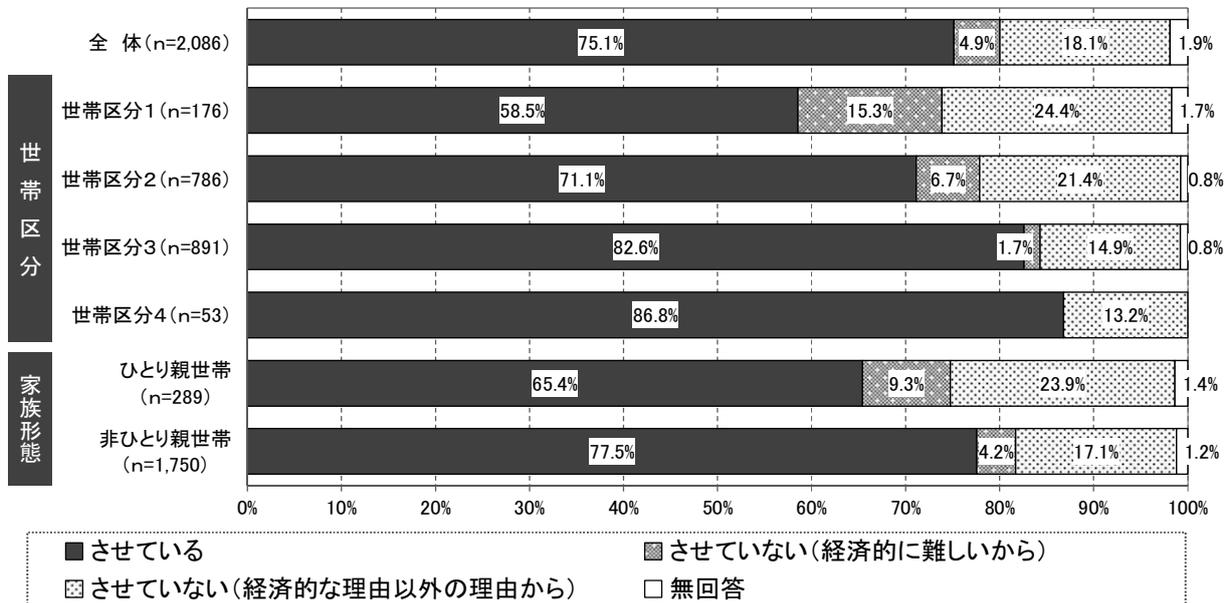
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「させている」が79.6%と最も高く、次いで、「させていない(経済的な理由以外の理由から)」(14.6%)、「させていない(経済的に難しいから)」(4.7%)となっています。世帯区分で見ると、所得が少ないほど「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

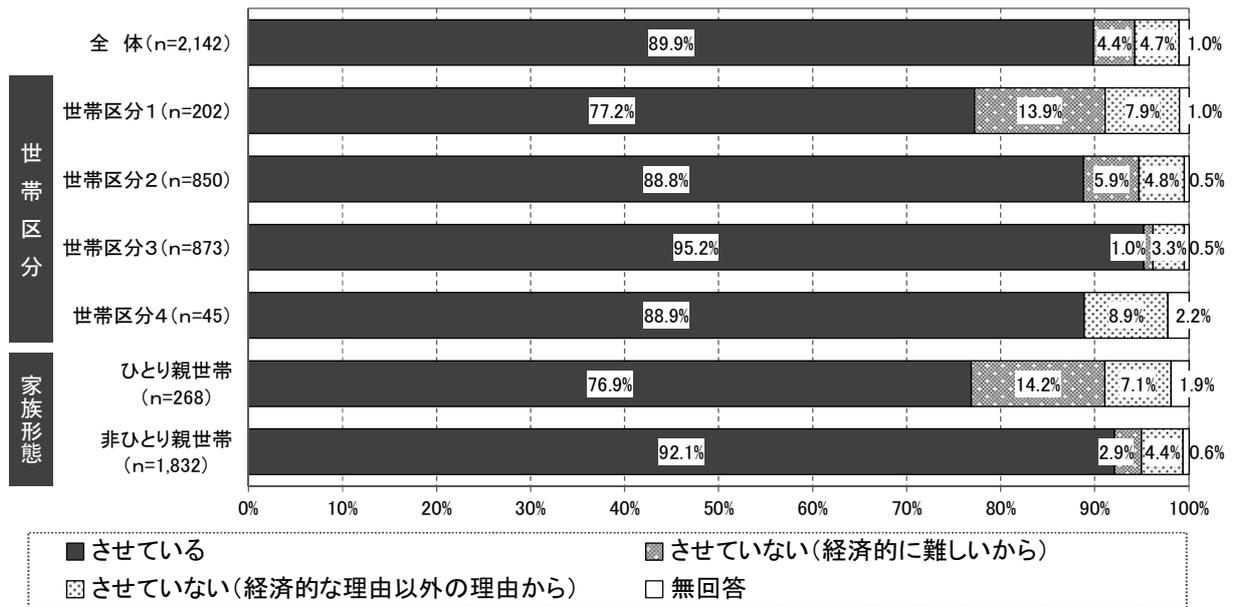
全体では、「させている」が75.1%と最も高く、次いで、「させていない(経済的な理由以外の理由から)」(18.1%)、「させていない(経済的に難しいから)」(4.9%)となっています。世帯区分で見ると、所得が少ないほど「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



問 23 (6) : 野外体験 (動物園・遊園地・アスレチックなど) について

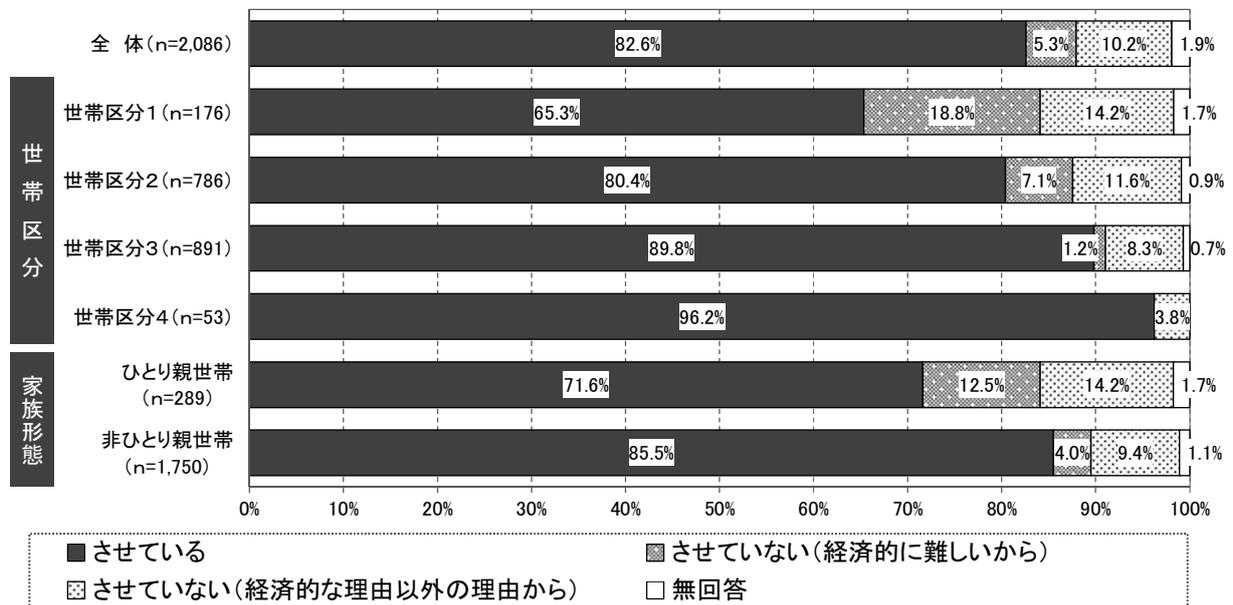
◆ 小学 5 年生の保護者 ◆

全体では、「させている」が 89.9%と最も高く、次いで、「させていない (経済的な理由以外の理由から) 」 (4.7%) 、 「させていない (経済的に難しいから) 」 (4.4%) となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「させていない (経済的に難しいから) 」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「させていない (経済的に難しいから) 」の割合が高くなっています。



◇ 中学 2 年生の保護者 ◇

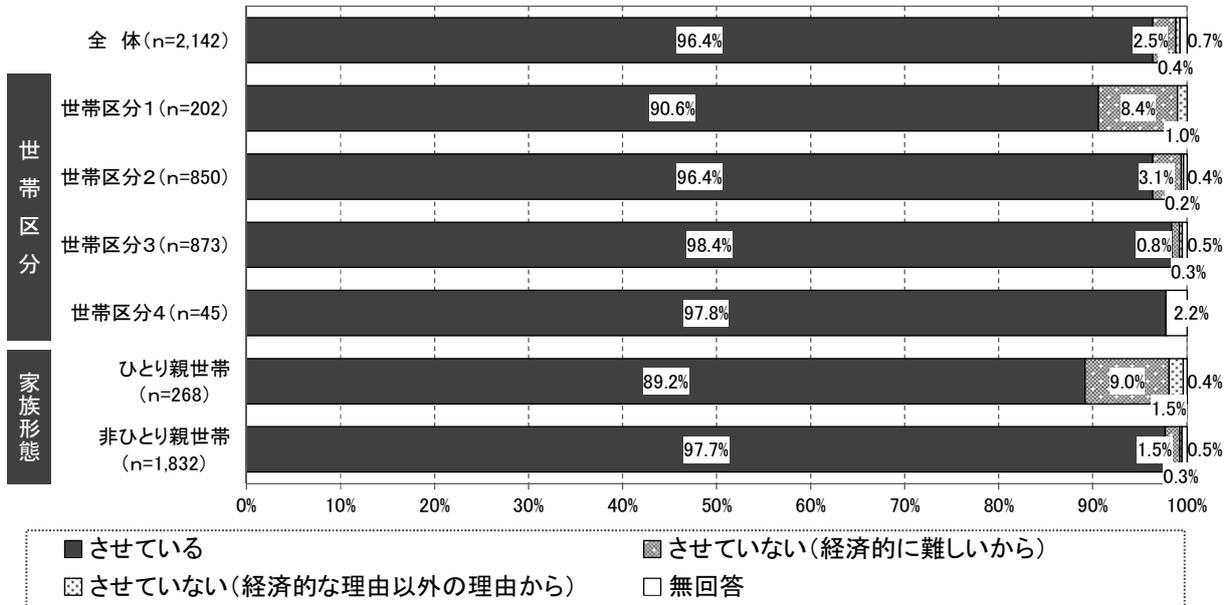
全体では、「させている」が 82.6%と最も高く、次いで、「させていない (経済的な理由以外の理由から) 」 (10.2%) 、 「させていない (経済的に難しいから) 」 (5.3%) となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「させていない (経済的に難しいから) 」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「させていない (経済的に難しいから) 」の割合が高くなっています。



問 23 (7) : 家族での外食・買い物について

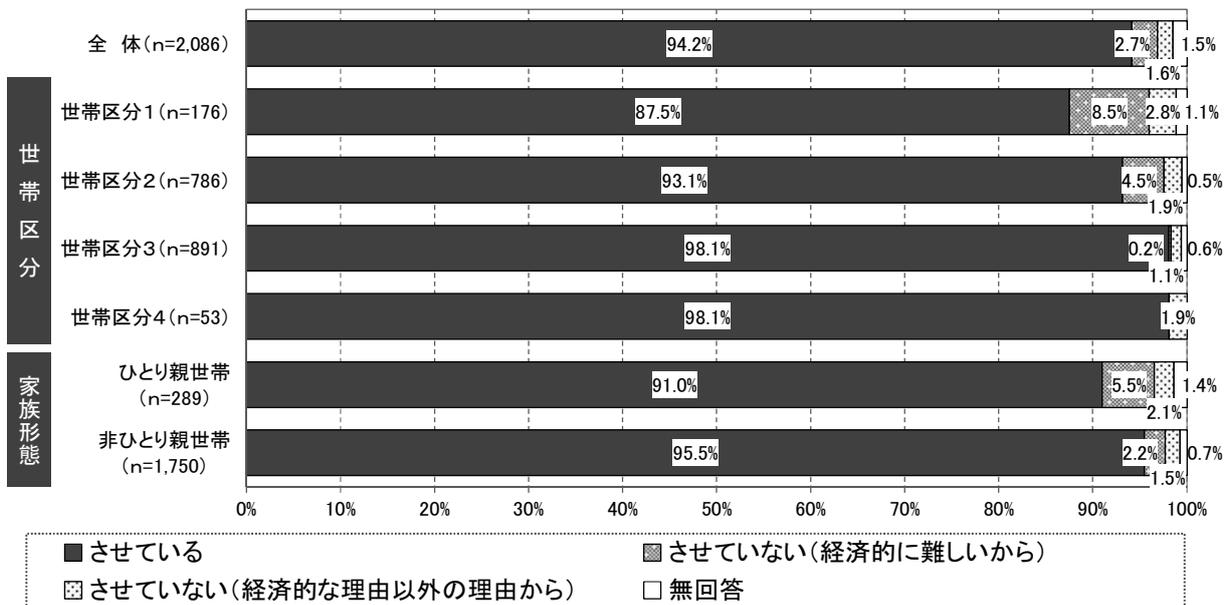
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「させている」が96.4%と最も高く、次いで、「させていない(経済的に難しいから)」(2.5%)、「させていない(経済的な理由以外の理由から)」(0.4%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

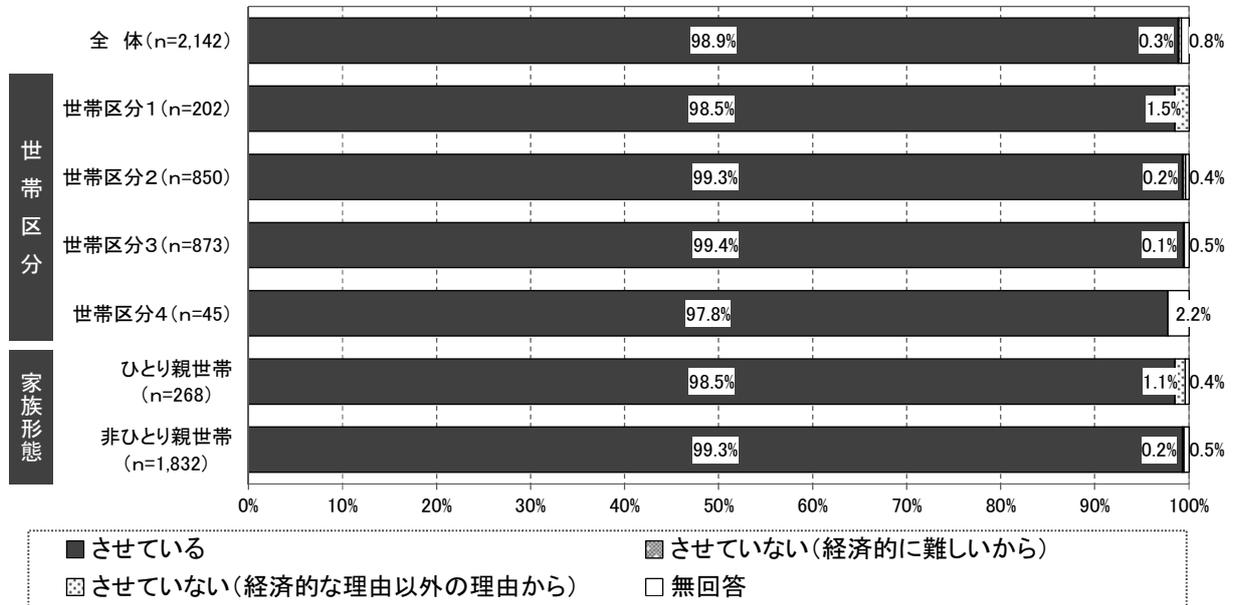
全体では、「させている」が94.2%と最も高く、次いで、「させていない(経済的に難しいから)」(2.7%)、「させていない(経済的な理由以外の理由から)」(1.6%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



問 23 (8) : 学校の宿泊行事 (修学旅行・山の学校・海の学校など) について

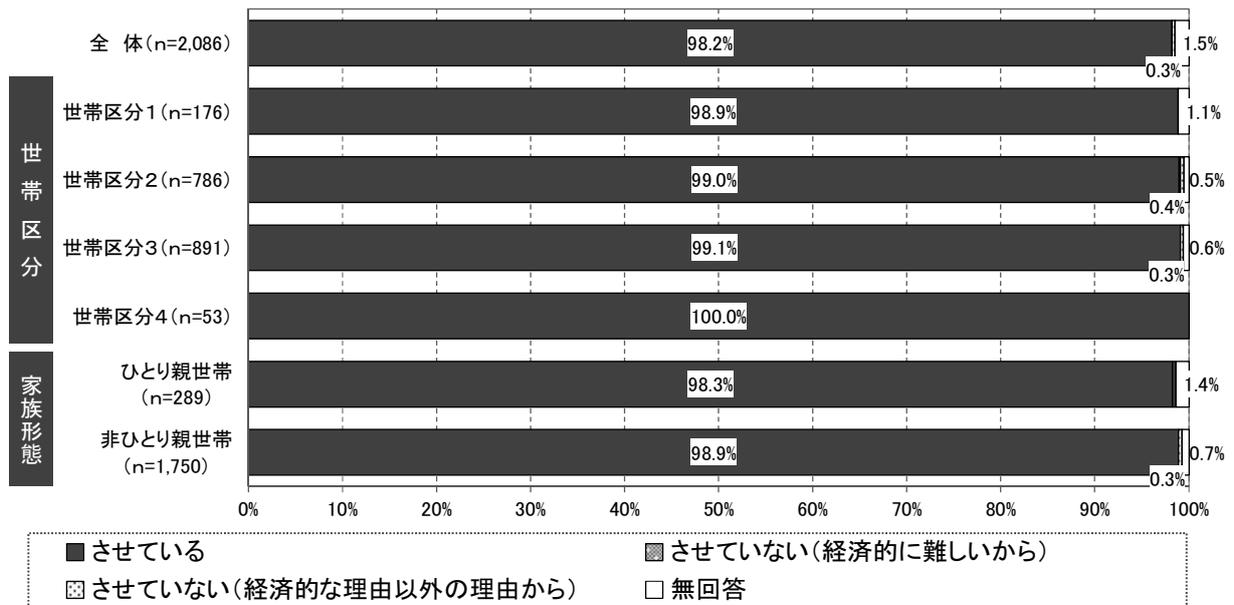
◆ 小学 5 年生の保護者 ◆

全体では、「させている」が 98.9% と最も高く、次いで、「させていない (経済的な理由以外の理由から) 」 (0.3%) となっています。



◇ 中学 2 年生の保護者 ◇

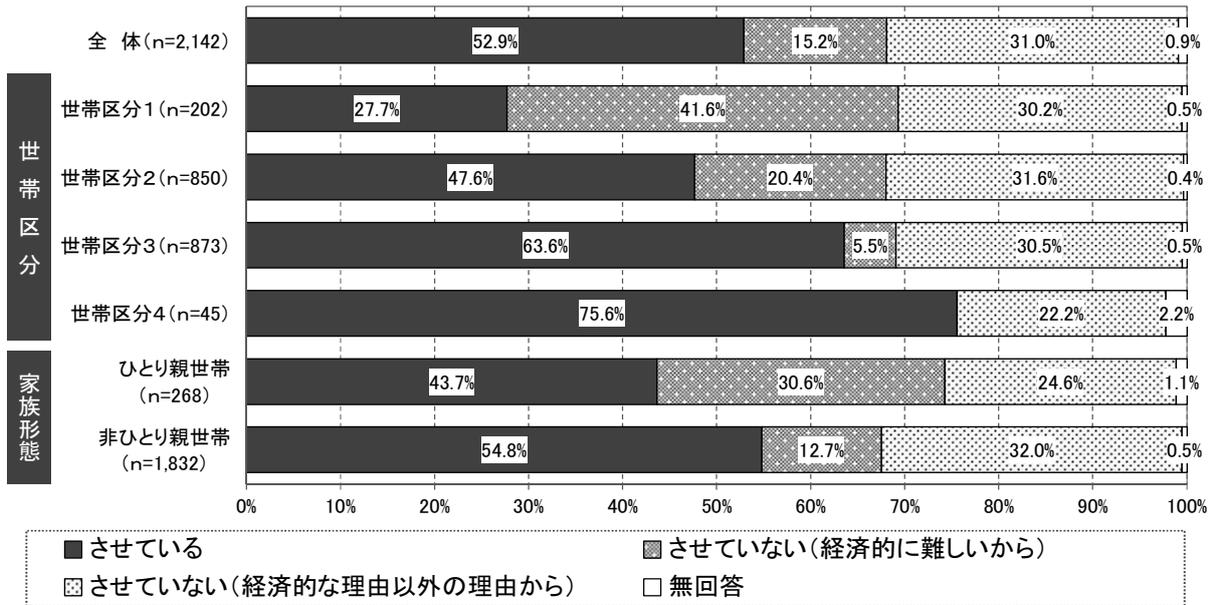
全体では、「させている」が 98.2% と最も高く、次いで、「させていない (経済的な理由以外の理由から) 」 (0.3%) となっています。



問 23 (9) : 学習塾・通信教育・家庭教師（英語教室を含む）について

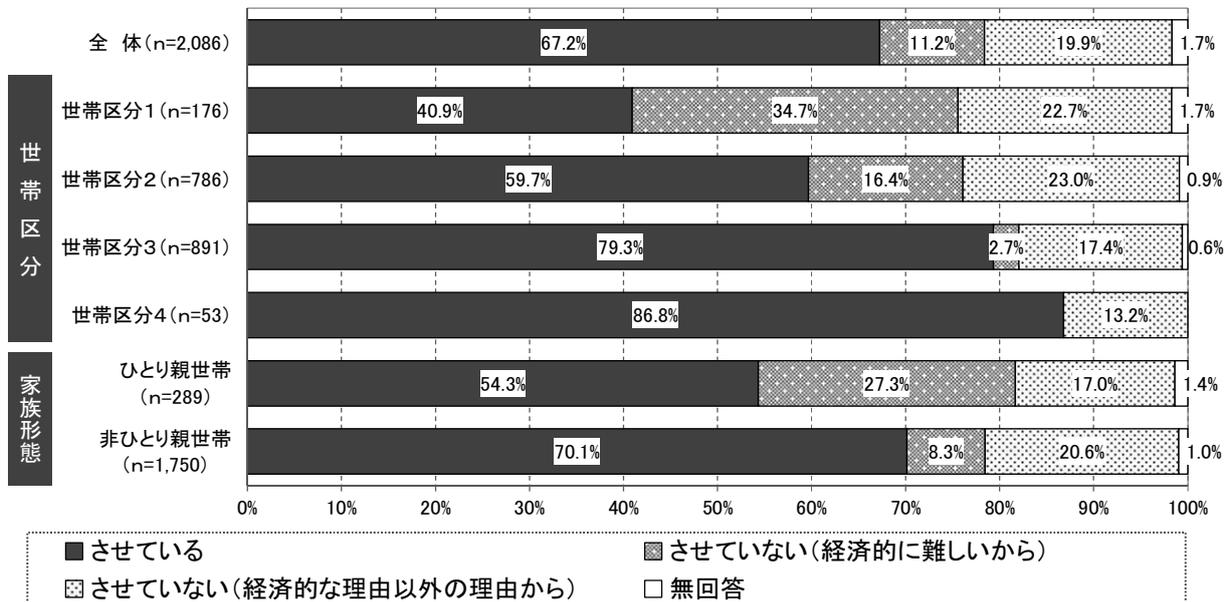
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「させている」が52.9%と最も高く、次いで、「させていない（経済的な理由以外の理由から）」（31.0%）、「させていない（経済的に難しいから）」（15.2%）となっています。世帯区分で見ると、所得が少ないほど「させていない（経済的に難しいから）」の割合が高く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「させていない（経済的に難しいから）」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

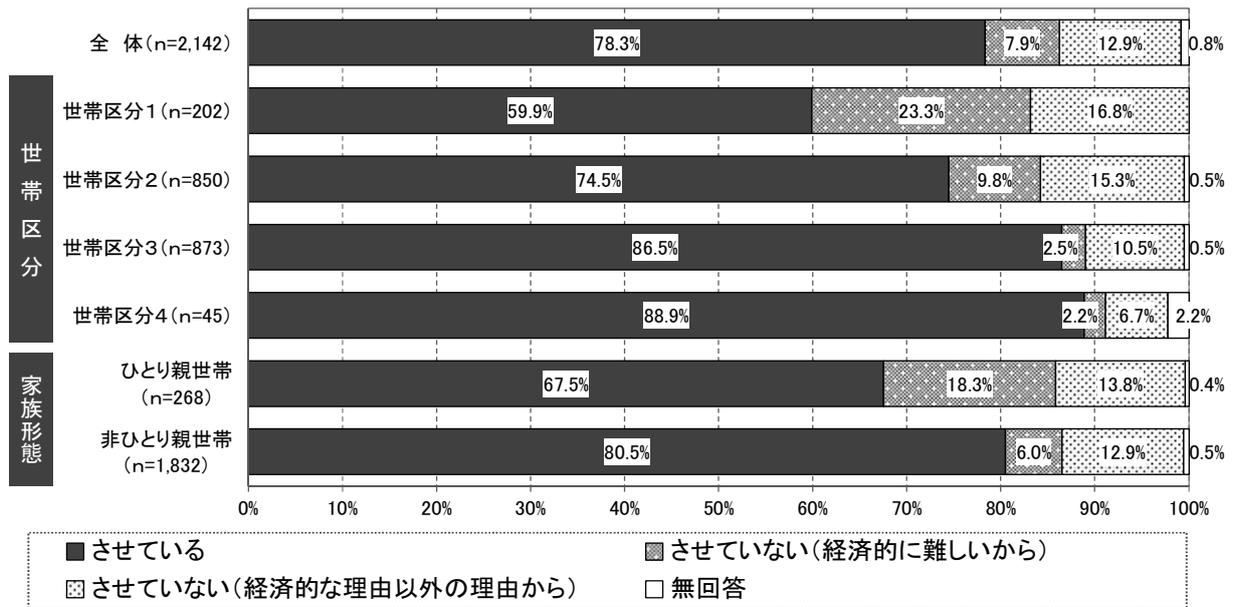
全体では、「させている」が67.2%と最も高く、次いで、「させていない（経済的な理由以外の理由から）」（19.9%）、「させていない（経済的に難しいから）」（11.2%）となっています。世帯区分で見ると、所得が少ないほど「させていない（経済的に難しいから）」の割合が高く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「させていない（経済的に難しいから）」の割合が高くなっています。



問 23 (10) : 勉強以外の習い事 (スポーツ・ピアノ・習字など) について

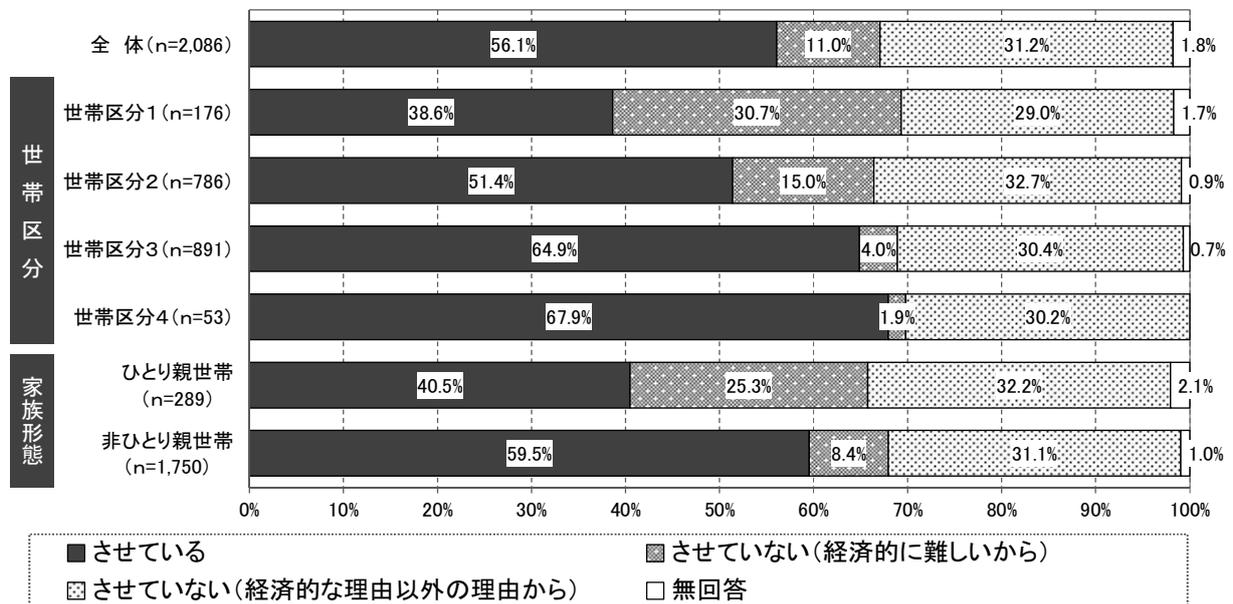
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「させている」が78.3%と最も高く、次いで、「させていない(経済的な理由以外の理由から)」(12.9%)、「させていない(経済的に難しいから)」(7.9%)となっています。世帯区分で見ると、所得が少ないほど「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

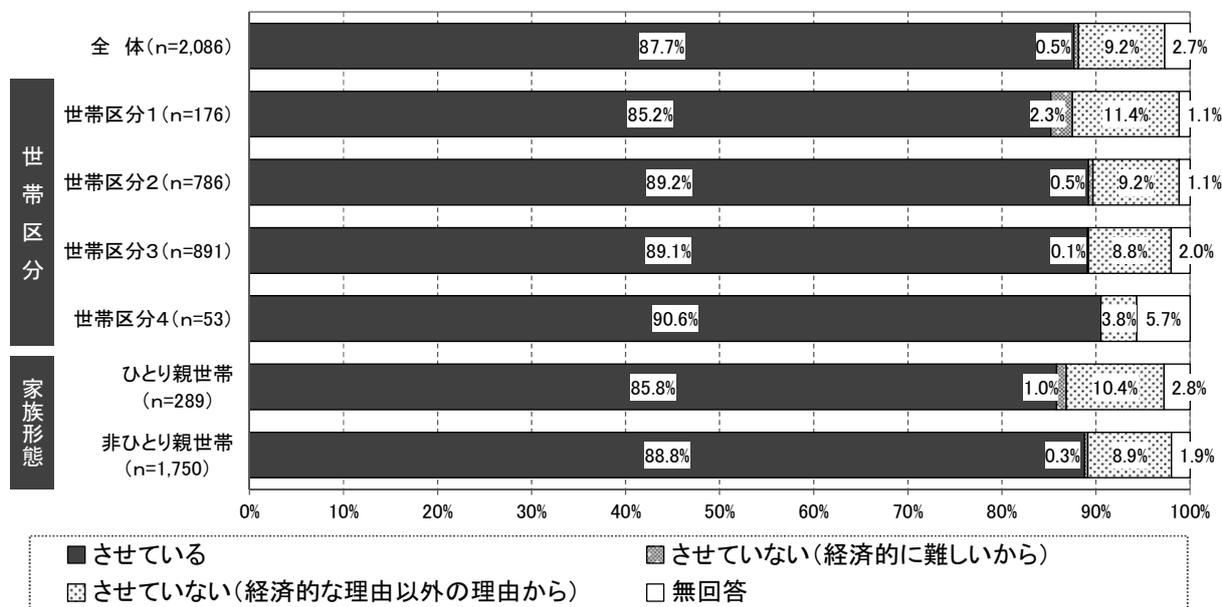
全体では、「させている」が56.1%と最も高く、次いで、「させていない(経済的な理由以外の理由から)」(31.2%)、「させていない(経済的に難しいから)」(11.0%)となっています。世帯区分で見ると、所得が少ないほど「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「させていない(経済的に難しいから)」の割合が高くなっています。



問 23 (11) : 学校の部活動について 【中学生の保護者のみ】

◇ 中学2年生の保護者 ◇

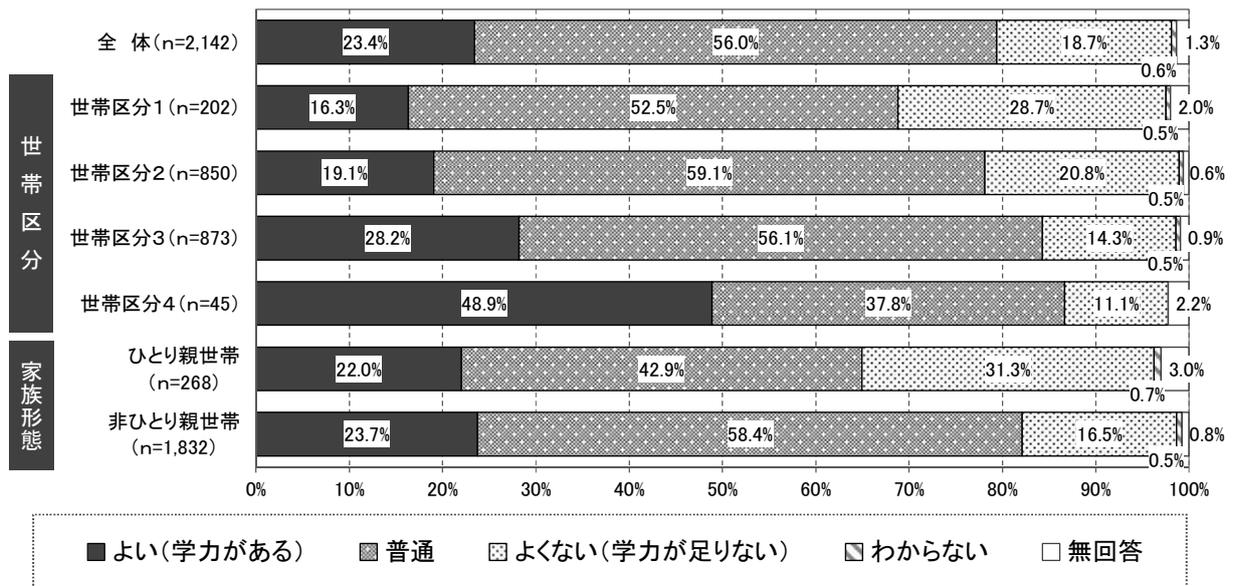
全体では、「させている」が87.7%と最も高く、次いで、「させていない（経済的な理由以外の理由から）」(9.2%)、「させていない（経済的に難しいから）」(0.5%) となっています。



問 24：子どもの学校の成績（学力）を客観的にみて、どのように感じるか

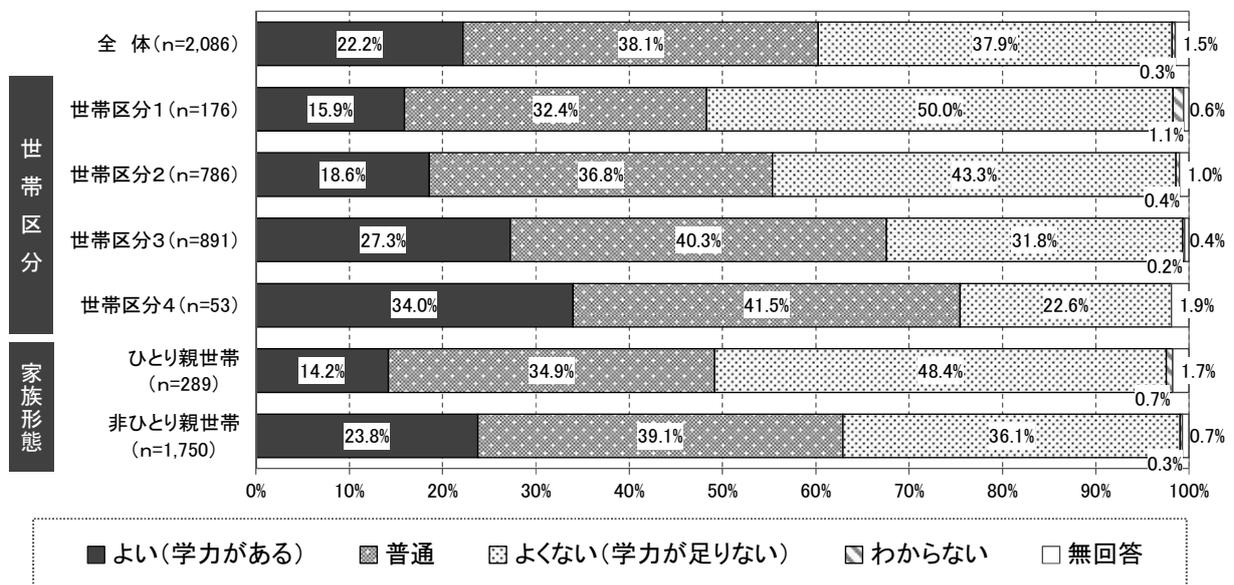
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「普通」が56.0%と最も高く、次いで、「よい（学力がある）」（23.4%）、「よくない（学力が足りない）」（18.7%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よくない（学力が足りない）」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よくない（学力が足りない）」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

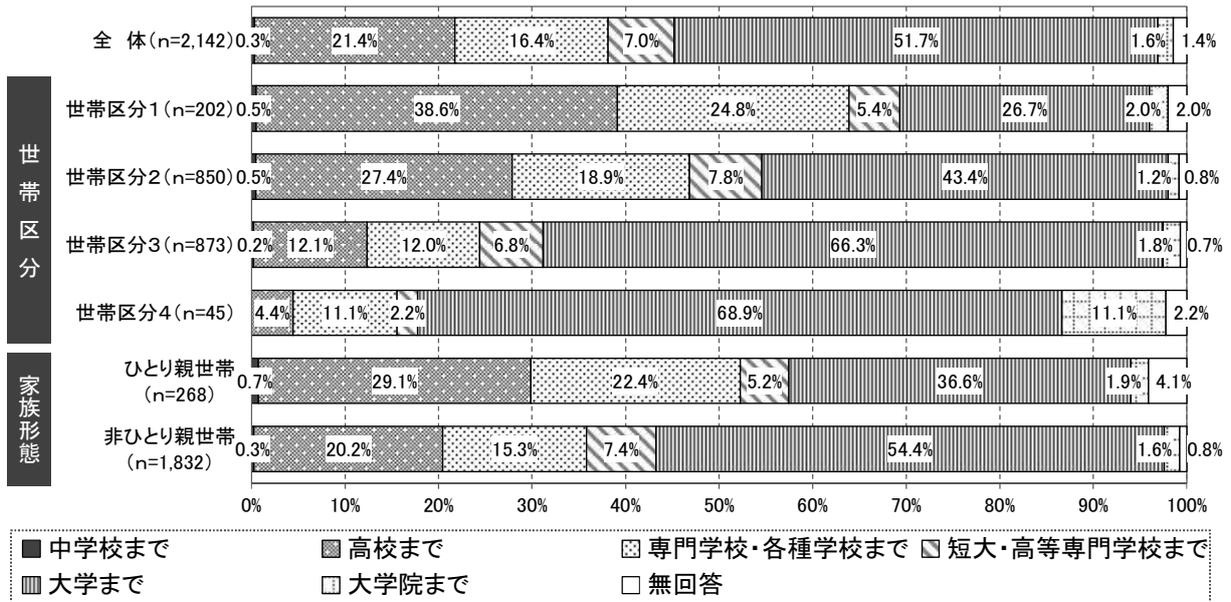
全体では、「普通」が38.1%と最も高く、次いで、「よくない（学力が足りない）」（37.9%）、「よい（学力がある）」（22.2%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よくない（学力が足りない）」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よくない（学力が足りない）」の割合が高くなっています。



問 25 (1) : 子どもの進学・進路の希望について

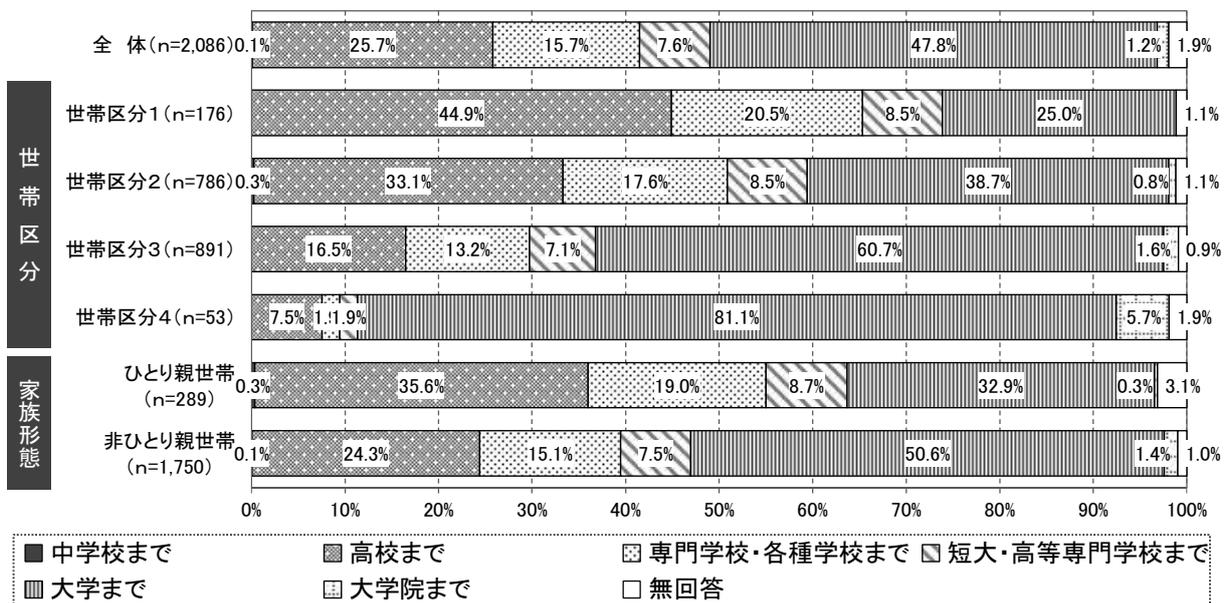
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「大学まで」が51.7%と最も高く、次いで、「高校まで」(21.4%)、「専門学校・各種学校まで」(16.4%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「高校まで」の割合が高く「大学まで」の割合が低くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「高校まで」の割合が高く「大学まで」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

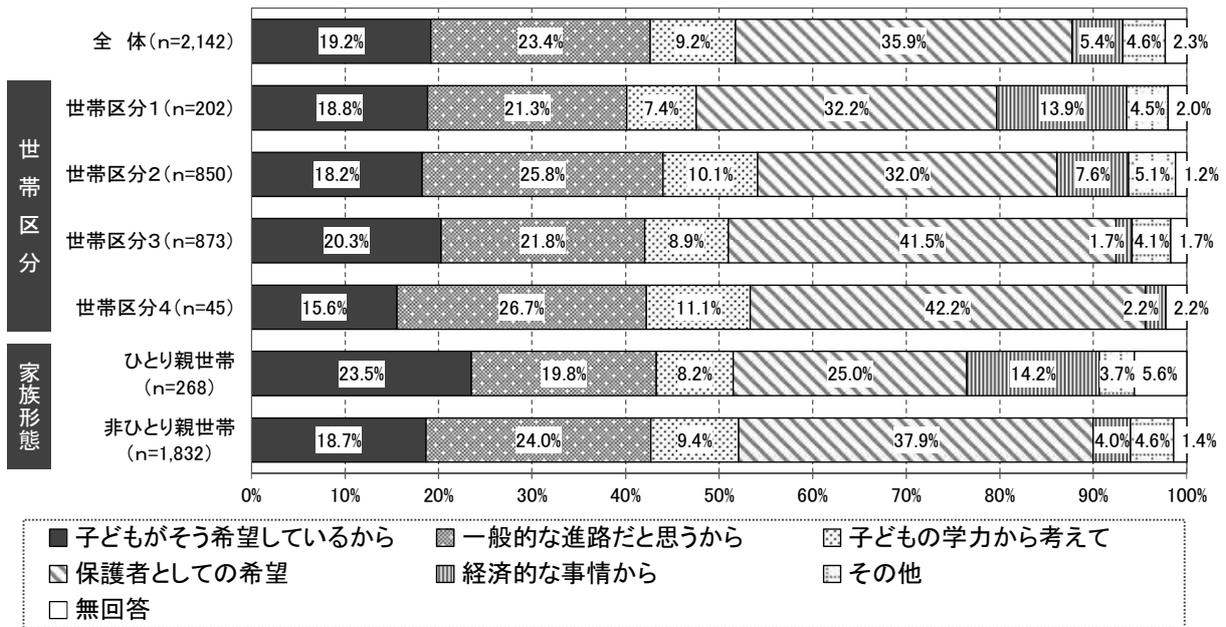
全体では、「大学まで」が47.8%と最も高く、次いで、「高校まで」(25.7%)、「専門学校・各種学校まで」(15.7%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「高校まで」の割合が高く「大学まで」の割合が低くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「高校まで」の割合が高く「大学まで」の割合が低くなっています。



問 25 (2) : 問 25 (1) のように考える理由

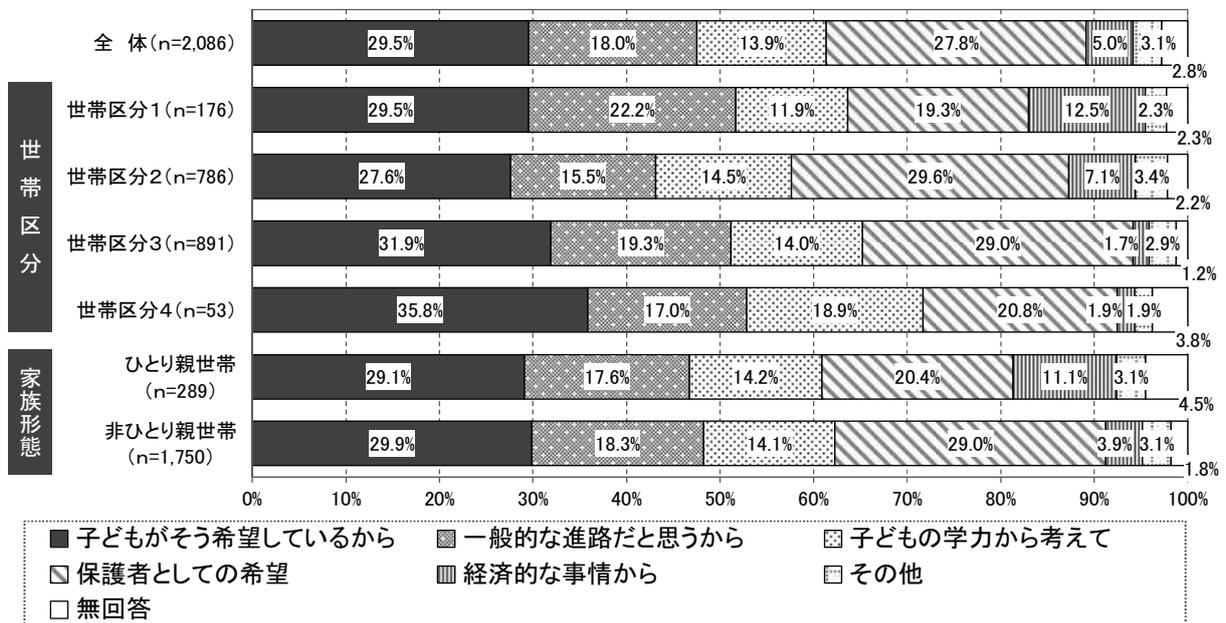
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「保護者としての希望」が35.9%と最も高く、次いで、「一般的な進路だと思うから」(23.4%)、「子どもがそう希望しているから」(19.2%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「経済的な事情から」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「経済的な事情から」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

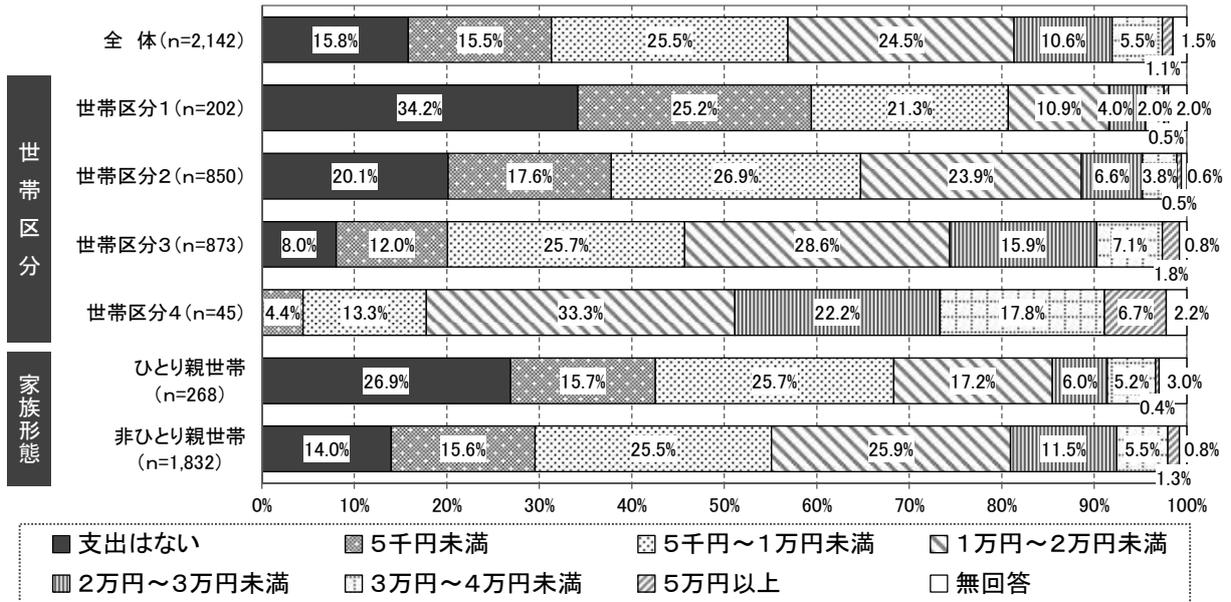
全体では、「子どもがそう希望しているから」が29.5%と最も高く、次いで、「保護者としての希望」(27.8%)、「一般的な進路だと思うから」(18.0%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「経済的な事情から」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「経済的な事情から」の割合が高くなっています。



問 26：学習塾や習い事にかかる1か月あたりの平均の支出

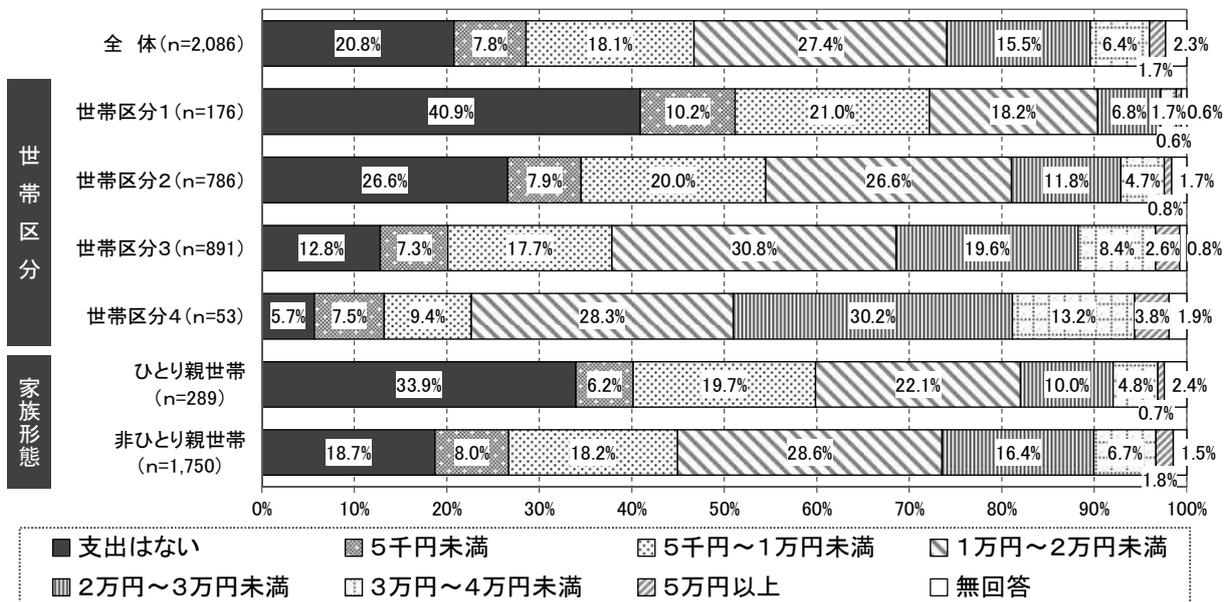
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「5千円～1万円未満」が25.5%と最も高く、次いで、「1万円～2万円未満」(24.5%)、「支出はない」(15.8%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「支出はない」の割合が高く、世帯区分1では5千円未満の割合が約6割となっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「支出はない」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

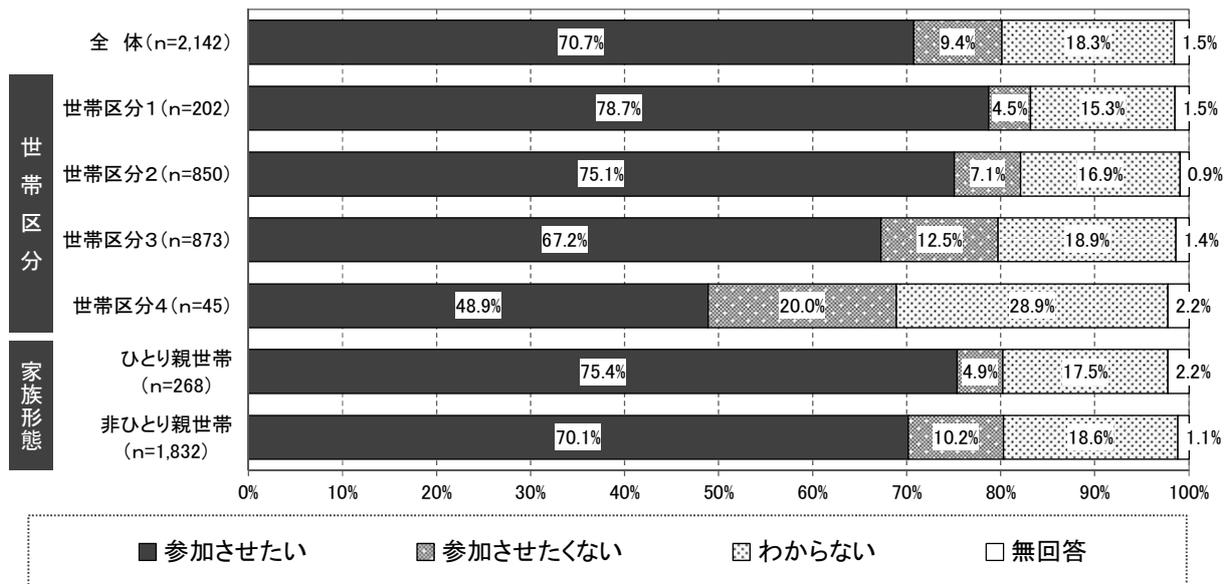
全体では、「1万円～2万円未満」が27.4%と最も高く、次いで、「支出はない」(20.8%)、「5千円～1万円未満」(18.1%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「支出はない」の割合が高く、世帯区分1では5千円未満の割合が5割を超えています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「支出はない」の割合が高くなっています。



問 27 (1) : 地域での無料の学習支援がある場合、参加させたいか

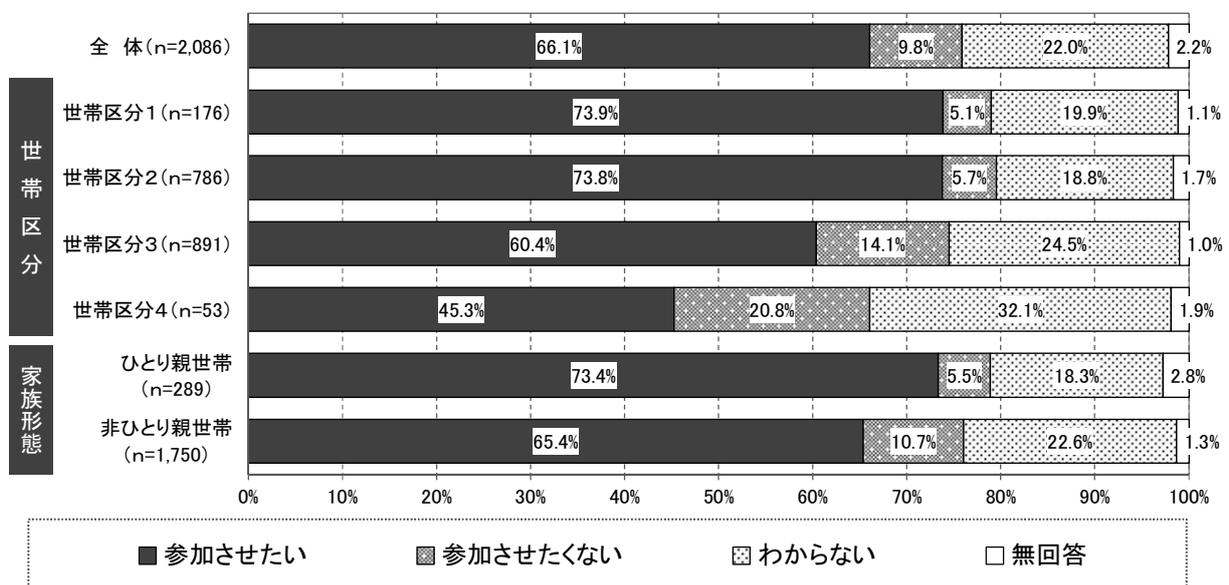
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「参加させたい」が70.7%と最も高く、次いで、「わからない」(18.3%)、「参加させたくない」(9.4%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「参加させたい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「参加させたい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「参加させたい」が66.1%と最も高く、次いで、「わからない」(22.0%)、「参加させたくない」(9.8%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「参加させたい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「参加させたい」の割合が高くなっています。

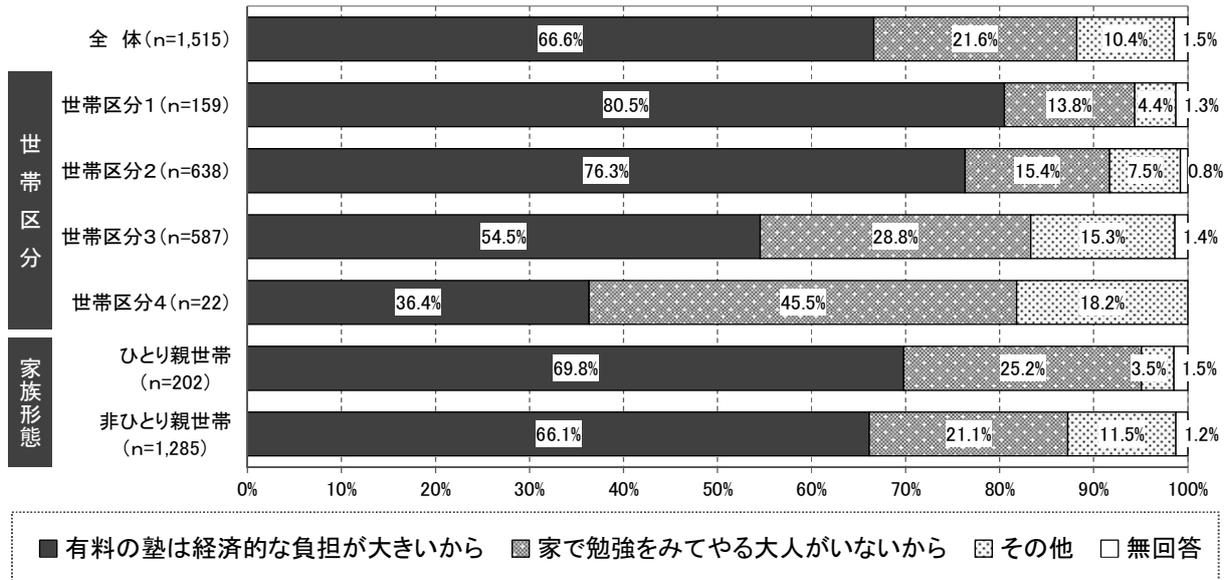


【問 27（1）で「参加させたい」と答えた方のみ】

問 27（2）：その理由は何か

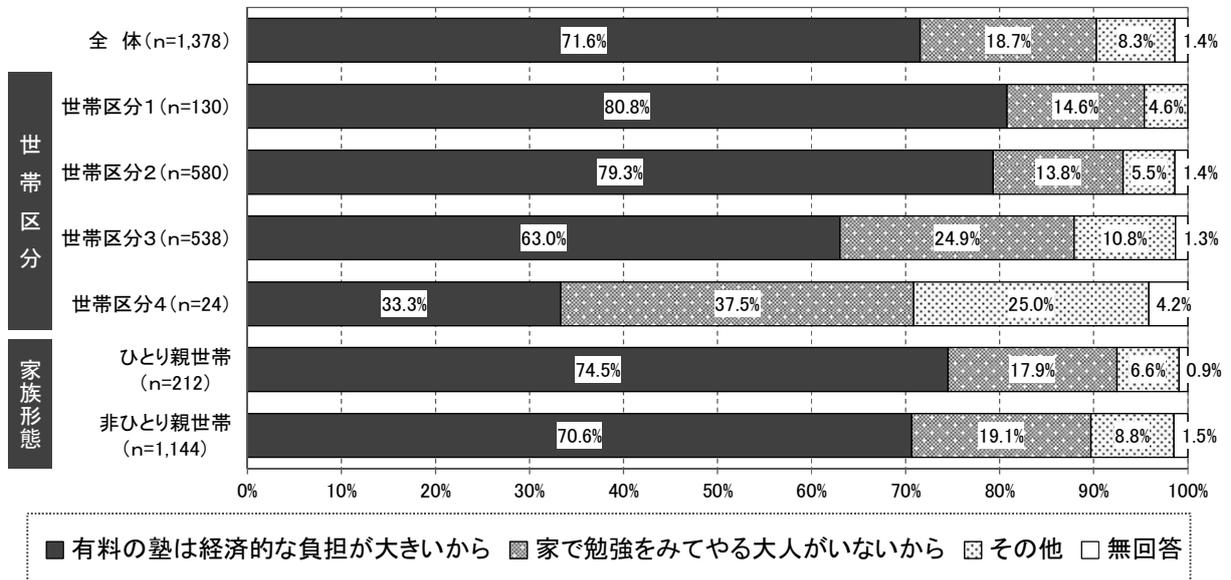
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「有料の塾は経済的な負担が大きいから」が 66.6%と最も高く、次いで、「家で勉強をみてやる大人がいないから」（21.6%）、「その他」（10.4%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「有料の塾は経済的な負担が大きいから」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「有料の塾は経済的な負担が大きいから」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「有料の塾は経済的な負担が大きいから」が 71.6%と最も高く、次いで、「家で勉強をみてやる大人がいないから」（18.7%）、「その他」（8.3%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「有料の塾は経済的な負担が大きいから」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「有料の塾は経済的な負担が大きいから」の割合が高くなっています。

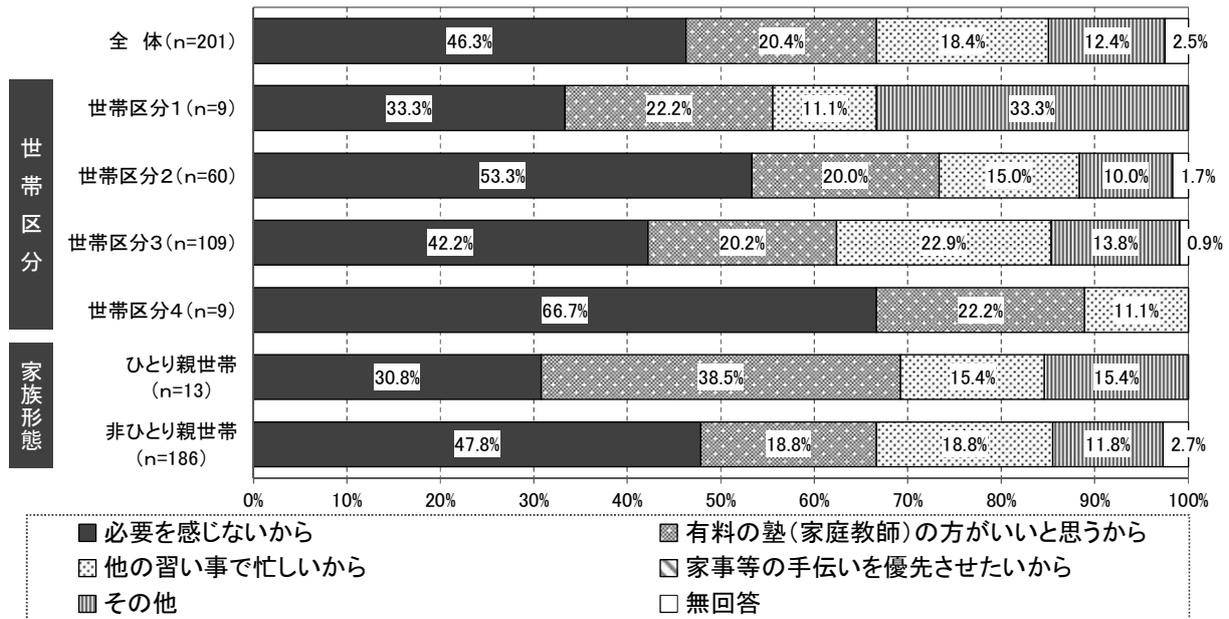


【問 27（1）で「参加させたくない」と答えた方のみ】

問 27（3）：その理由は何か

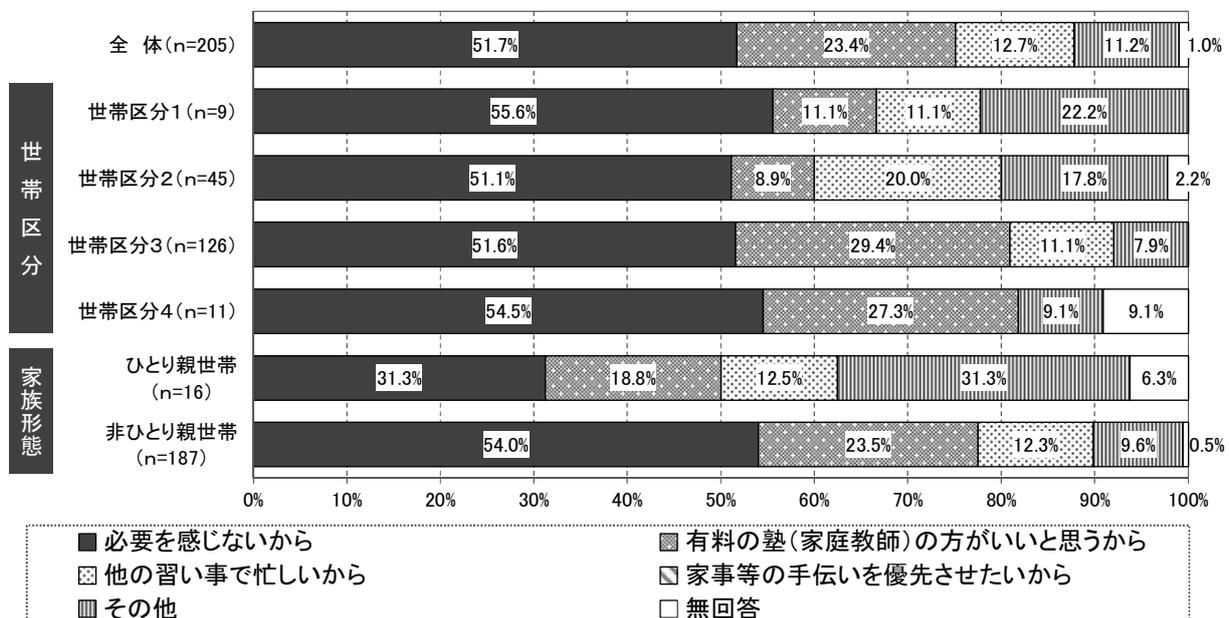
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「必要を感じないから」が46.3%と最も高く、次いで、「有料の塾（家庭教師）の方がいいと思うから」（20.4%）、「他の習い事で忙しいから」（18.4%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「必要を感じないから」の割合が低い傾向にあり、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「必要を感じないから」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

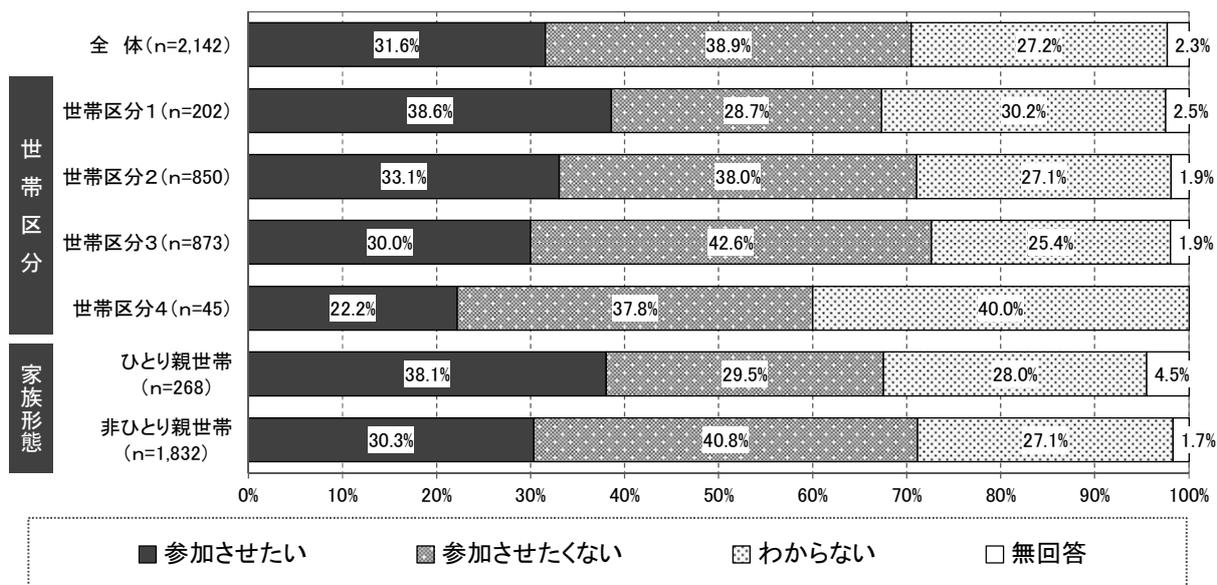
全体では、「必要を感じないから」が51.7%と最も高く、次いで、「有料の塾（家庭教師）の方がいいと思うから」（23.4%）、「他の習い事で忙しいから」（12.7%）の順となっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「必要を感じないから」の割合が低くなっています。



問 28 (1) : 放課後、無料または低料金で子どもの面倒をみてもらえる居場所
(子ども食堂など)があれば、子どもを参加させたいか

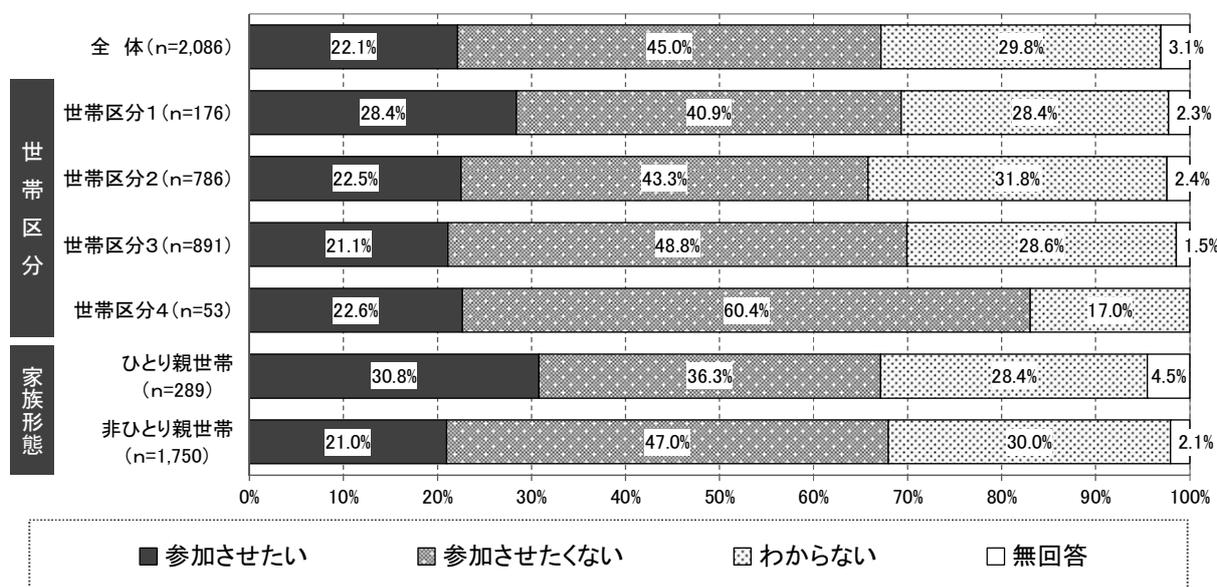
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「参加させたくない」が38.9%と最も高く、次いで、「参加させたい」(31.6%)、「わからない」(27.2%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「参加させたい」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「参加させたい」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「参加させたくない」が45.0%と最も高く、次いで、「わからない」(29.8%)、「参加させたい」(22.1%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「参加させたい」の割合が高くなっています。

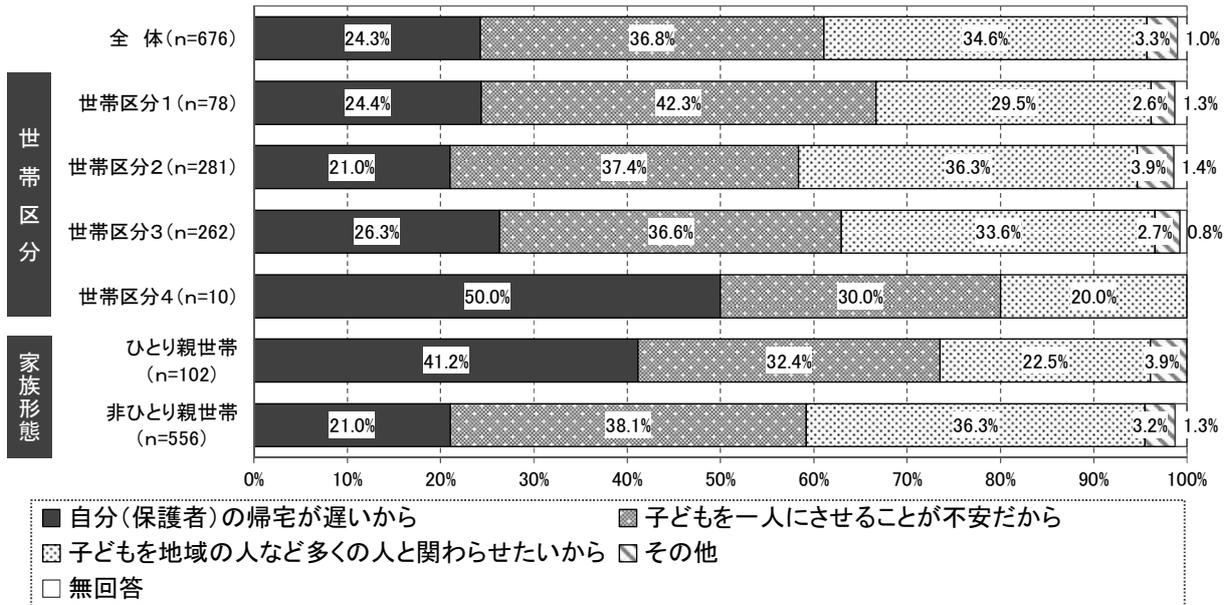


【問 28（1）で「参加させたい」と答えた方のみ】

問 28（2）：その理由は何か

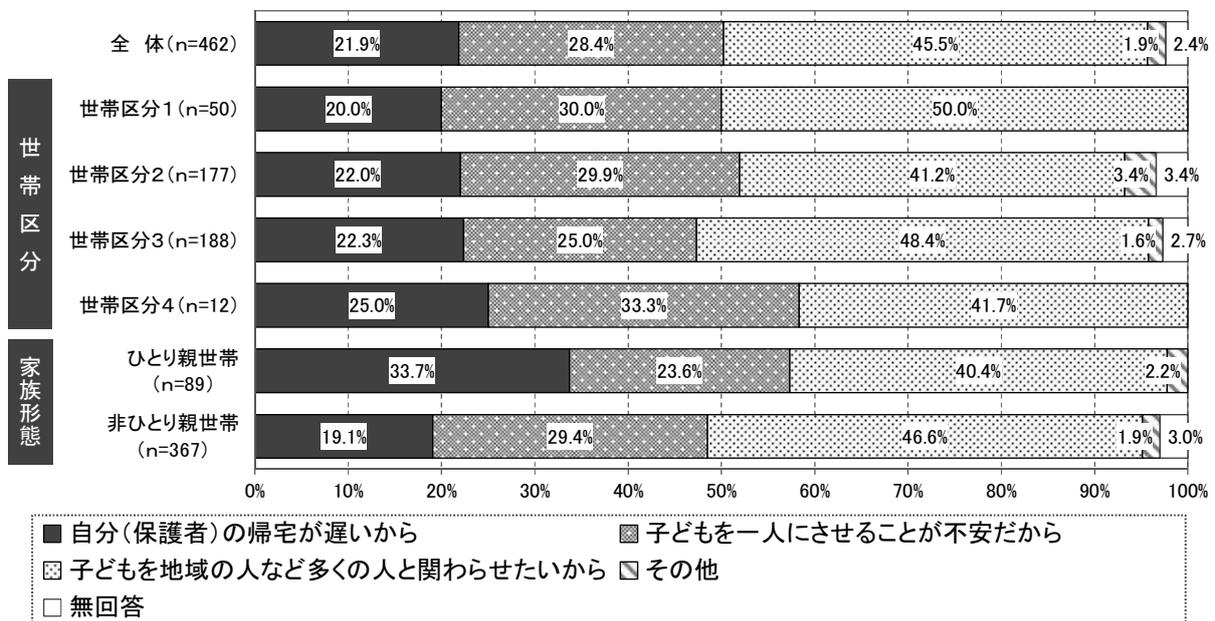
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「子どもを一人にさせることが不安だから」が36.8%と最も高く、次いで、「子どもを地域の人など多くの人と関わらせたいから」（34.6%）、「自分（保護者）の帰宅が遅いから」（24.3%）の順となっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「自分（保護者）の帰宅が遅いから」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「子どもを地域の人など多くの人と関わらせたいから」が45.5%と最も高く、次いで、「子どもを一人にさせることが不安だから」（28.4%）、「自分（保護者）の帰宅が遅いから」（21.9%）の順となっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「自分（保護者）の帰宅が遅いから」の割合が高くなっています。

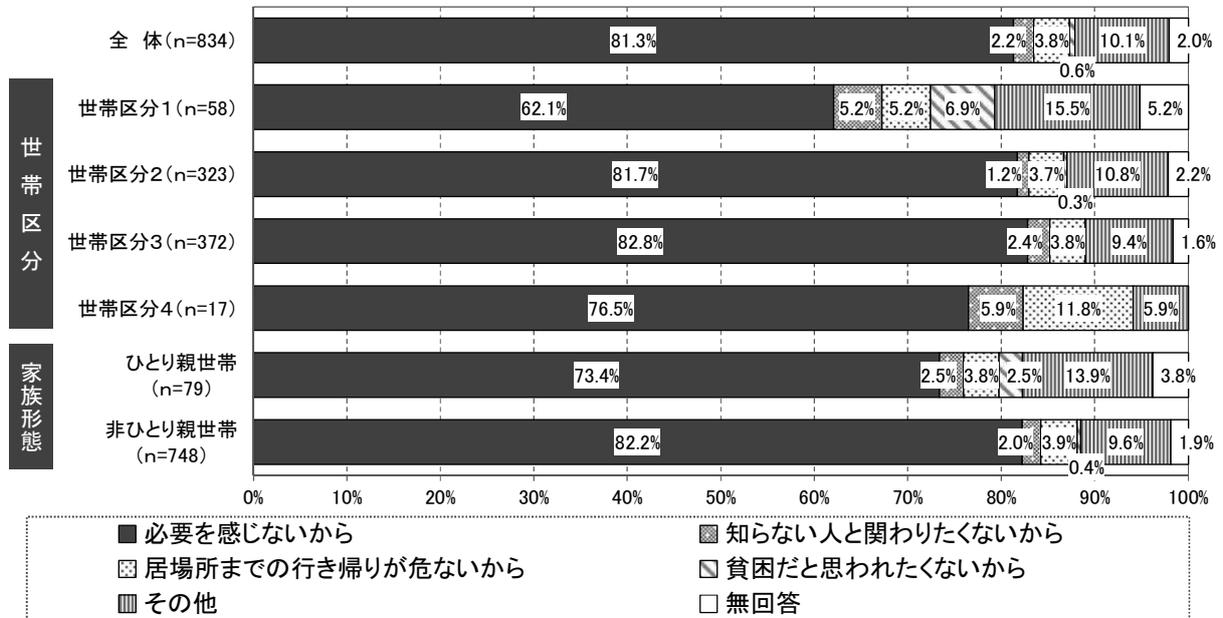


【問 28（1）で「参加させたくない」と答えた方のみ】

問 28（3）：その理由は何か

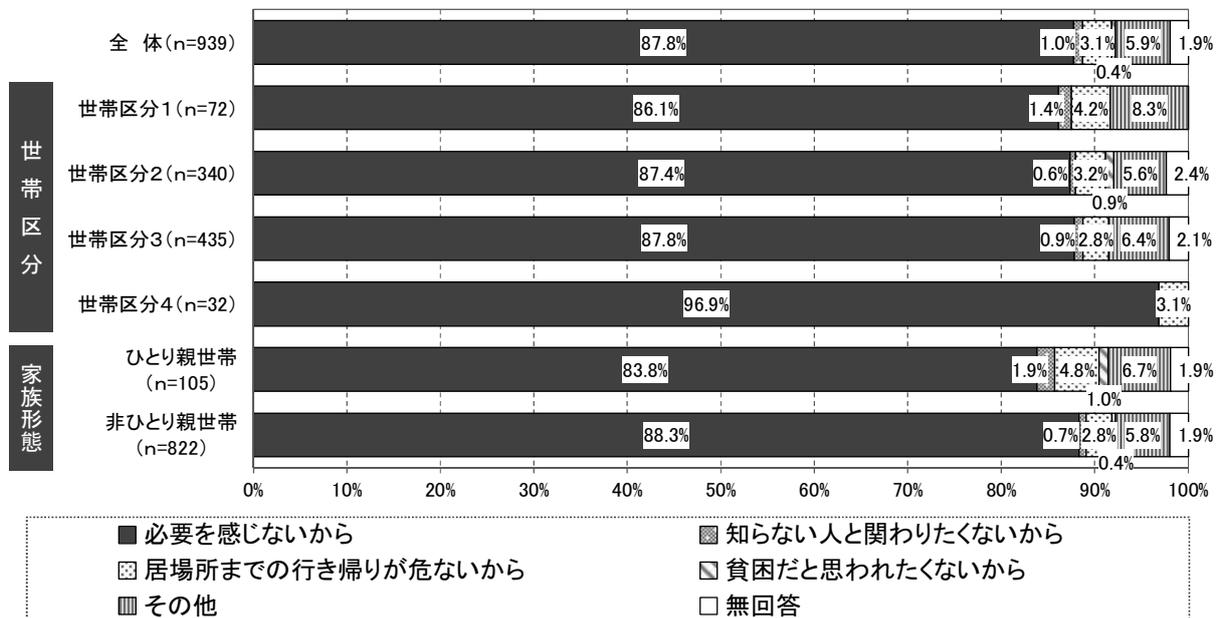
◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「必要を感じないから」が81.3%と最も高く、次いで、「その他」（10.1%）、「居場所までの行き帰りが危ないから」（3.8%）の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「必要を感じないから」が低くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「必要を感じないから」が87.8%と最も高く、次いで、「その他」（5.9%）、「居場所までの行き帰りが危ないから」（3.1%）の順となっています。世帯区分で見ると、世帯区分4で「必要を感じないから」の割合が高く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「必要を感じないから」の割合が低くなっています。

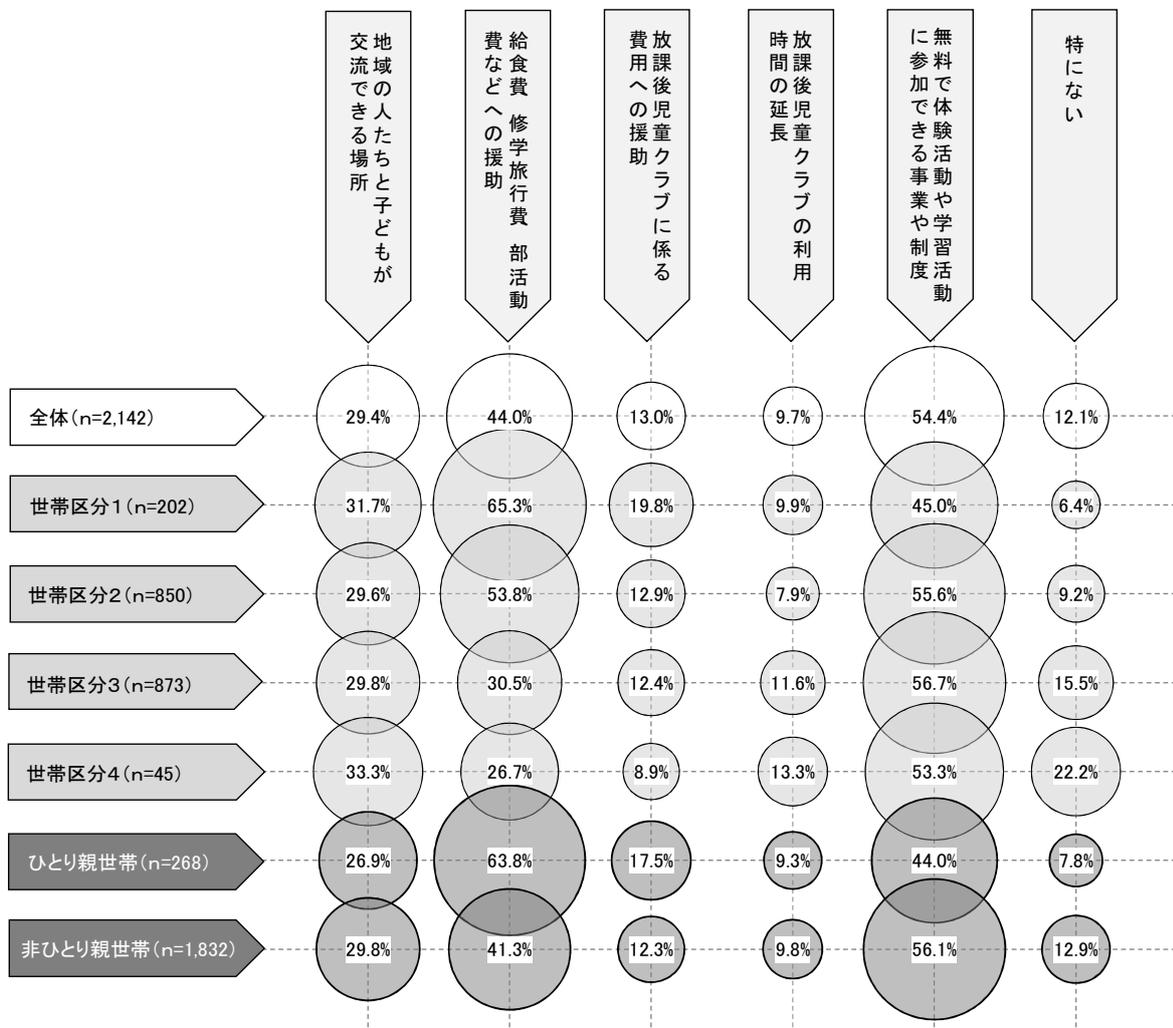


問 29：子どもを育てるうえで必要だと感じる支援や、地域があればすぐにでも利用したいと思うものはどれか 【MA】

◆ 小学5年生の保護者 ◆

全体では、「無料で体験活動や学習活動に参加できる事業や制度」が54.4%と最も高く、次いで、「給食費、修学旅行費、部活動費などへの援助」(44.0%)、「地域の人たちと子どもが交流できる場所」(29.4%)の順となっています。

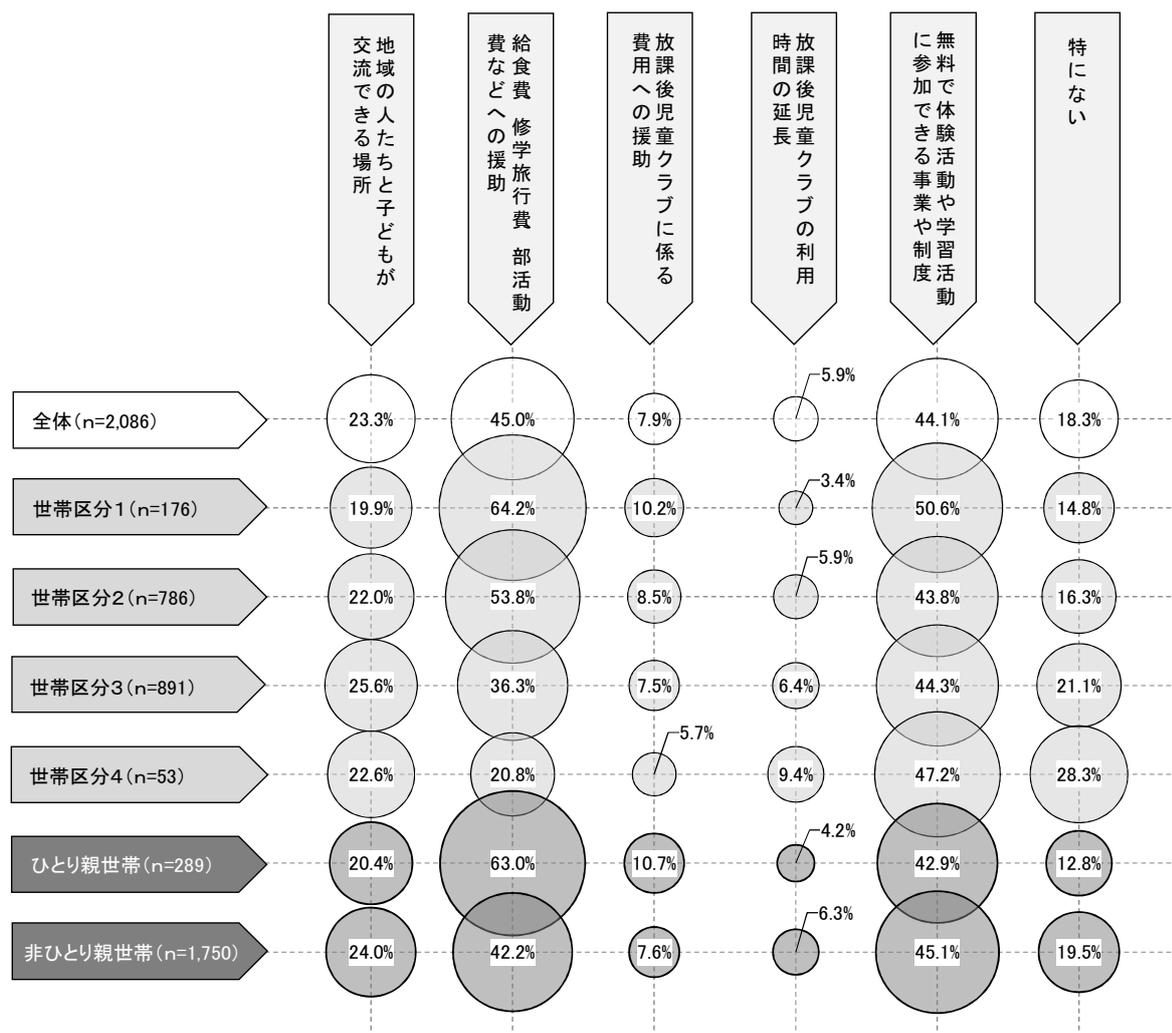
世帯区分でみると、所得が少ないほど「給食費、修学旅行費、部活動費などへの援助」・「放課後児童クラブに係る費用への援助」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「給食費、修学旅行費、部活動費などへの援助」・「放課後児童クラブに係る費用への援助」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生の保護者 ◇

全体では、「給食費、修学旅行費、部活動費などへの援助」が45.0%と最も高く、次いで、「無料で体験活動や学習活動に参加できる事業や制度」(44.1%)、「地域の人たちと子どもが交流できる場所」(23.3%)の順となっています。

世帯区分でみると、所得が少ないほど「給食費、修学旅行費、部活動費などへの援助」の割合が高くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「給食費、修学旅行費、部活動費などへの援助」の割合が高くなっています。



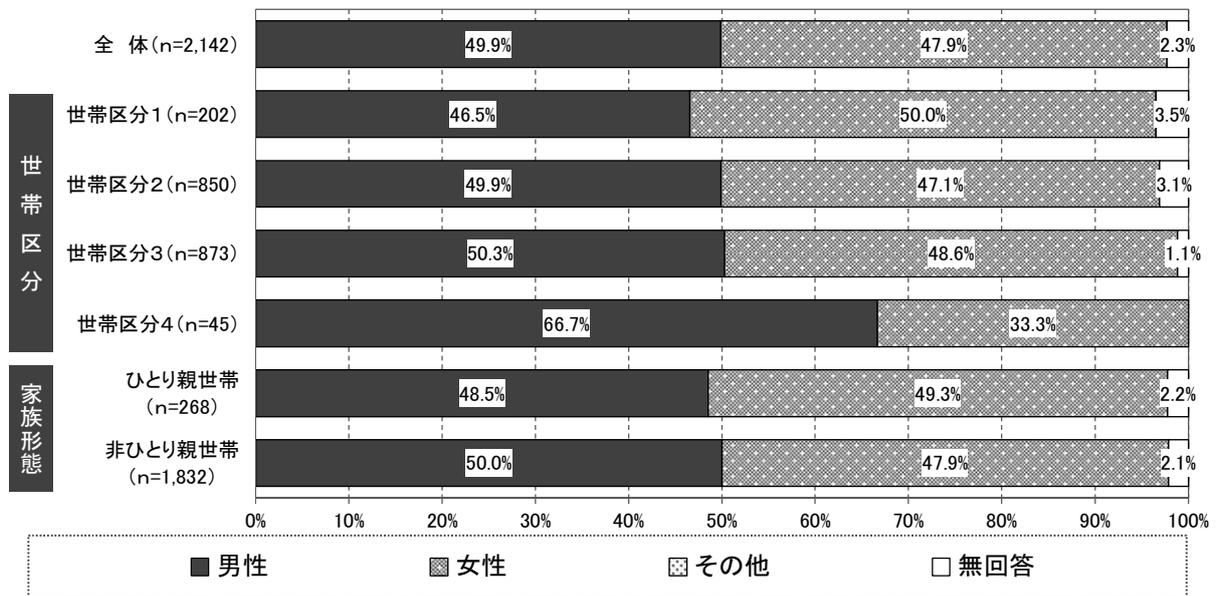
Ⅲ 「子ども用」アンケートの結果

1 子どものことと一緒に住んでいる人のことについて

問1-2：性別

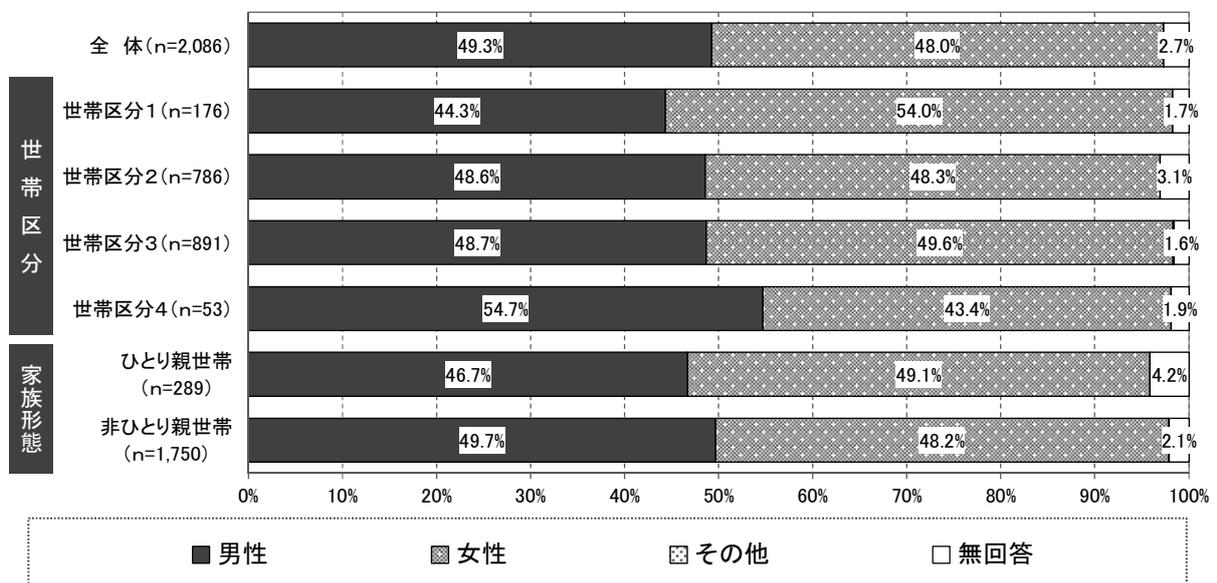
◆ 小学5年生 ◆

回答者の性別は、「男性」が49.9%、「女性」が47.9%となっています。



◇ 中学2年生 ◇

回答者の性別は、「男性」が49.3%、「女性」が48.0%となっています。

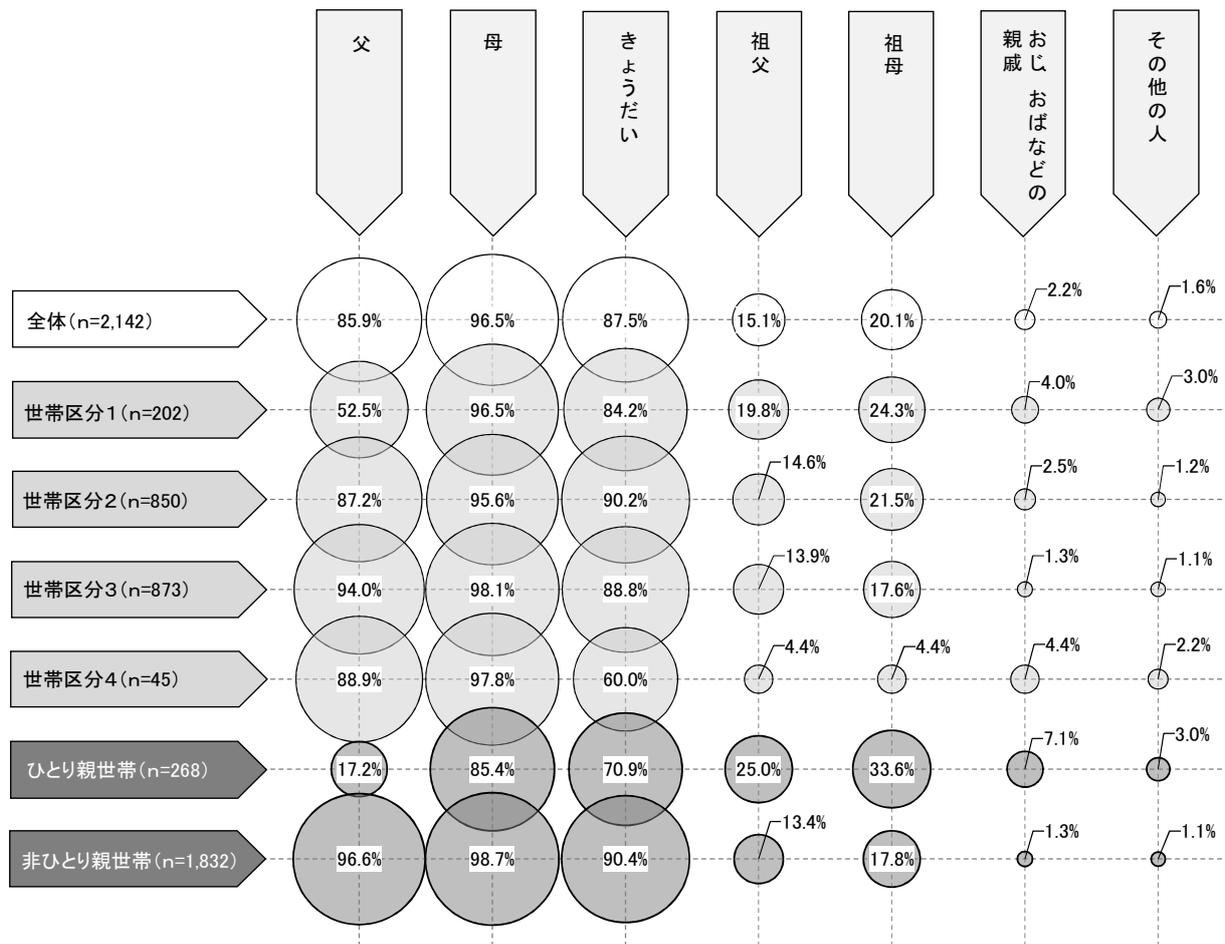


問2：一緒に住んでいる人 【MA】

◆ 小学5年生 ◆

全体では、一緒に住んでいる人は「母」が96.5%と最も高く、次いで、「きょうだい」(87.5%)、「父」(85.9%)の順となっています。

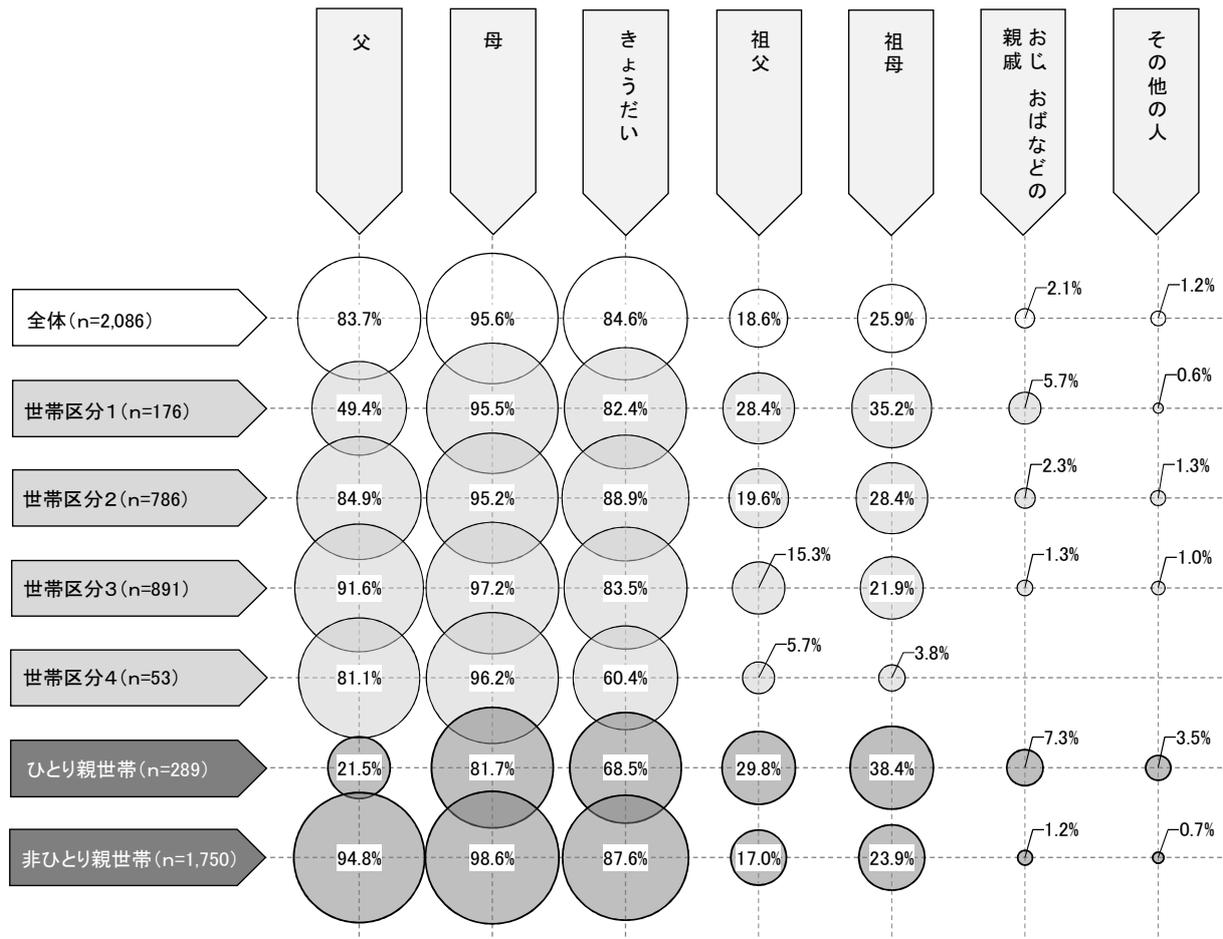
世帯区分で見ると、世帯区分1で「父」の割合が低く、世帯区分4で「祖父」・「祖母」の割合が低くなっています。家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「父」の割合が低く「祖父」・「祖母」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、一緒に住んでいる人は「母」が95.6%と最も高く、次いで、「きょうだい」(84.6%)、「父」(83.7%)の順となっています。

世帯区分でみると、世帯区分1で「父」の割合が低く、世帯区分4で「祖父」・「祖母」の割合が低くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「父」の割合が低く「祖父」・「祖母」の割合が高くなっています。

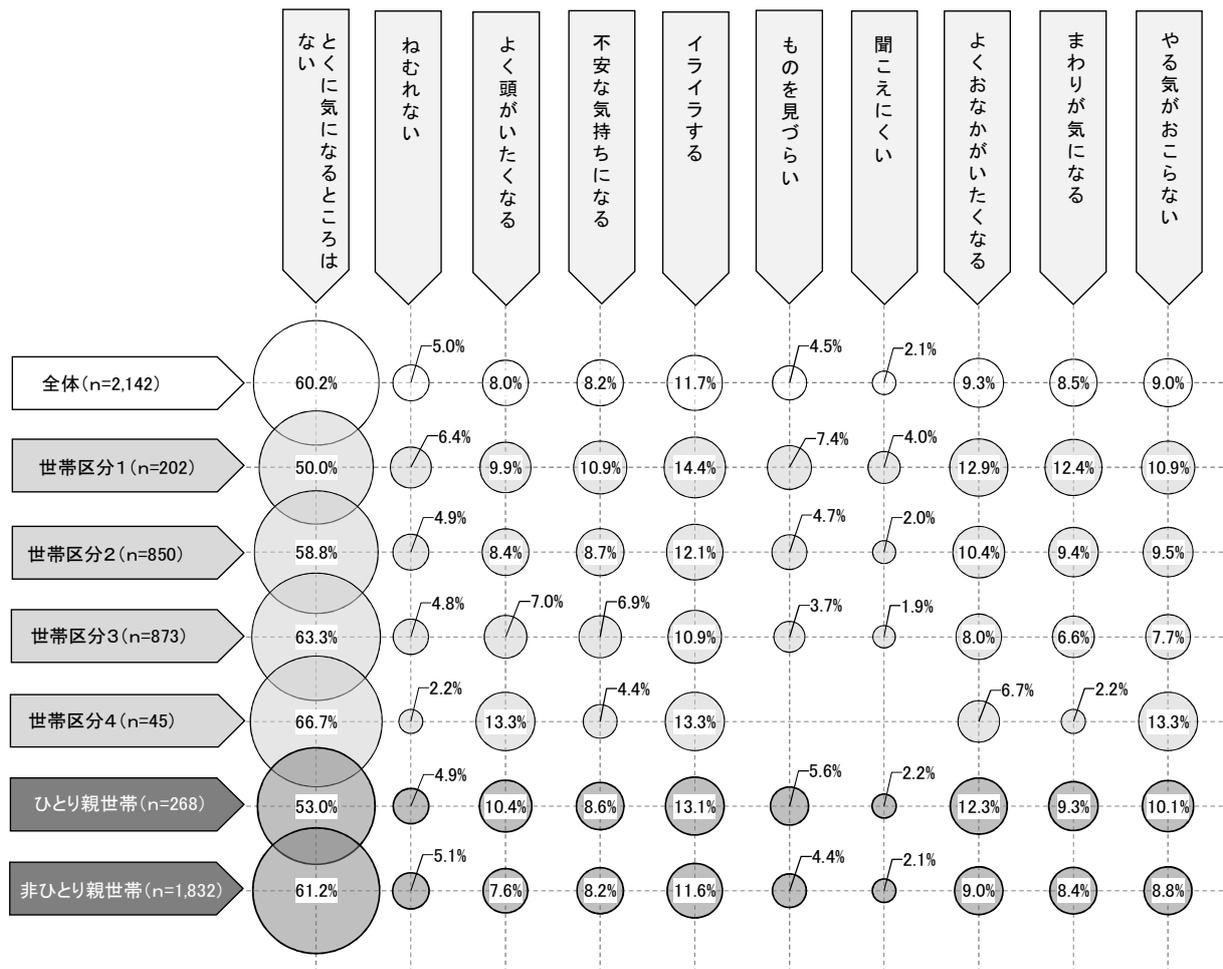


問3：体や気持ちで気になることはあるか 【MA】

◆ 小学5年生 ◆

全体では、「とくに気になるところはない」が60.2%と最も高く、次いで、「イライラする」(11.7%)、「よくおなかがいたくなる」(9.3%)の順となっています。

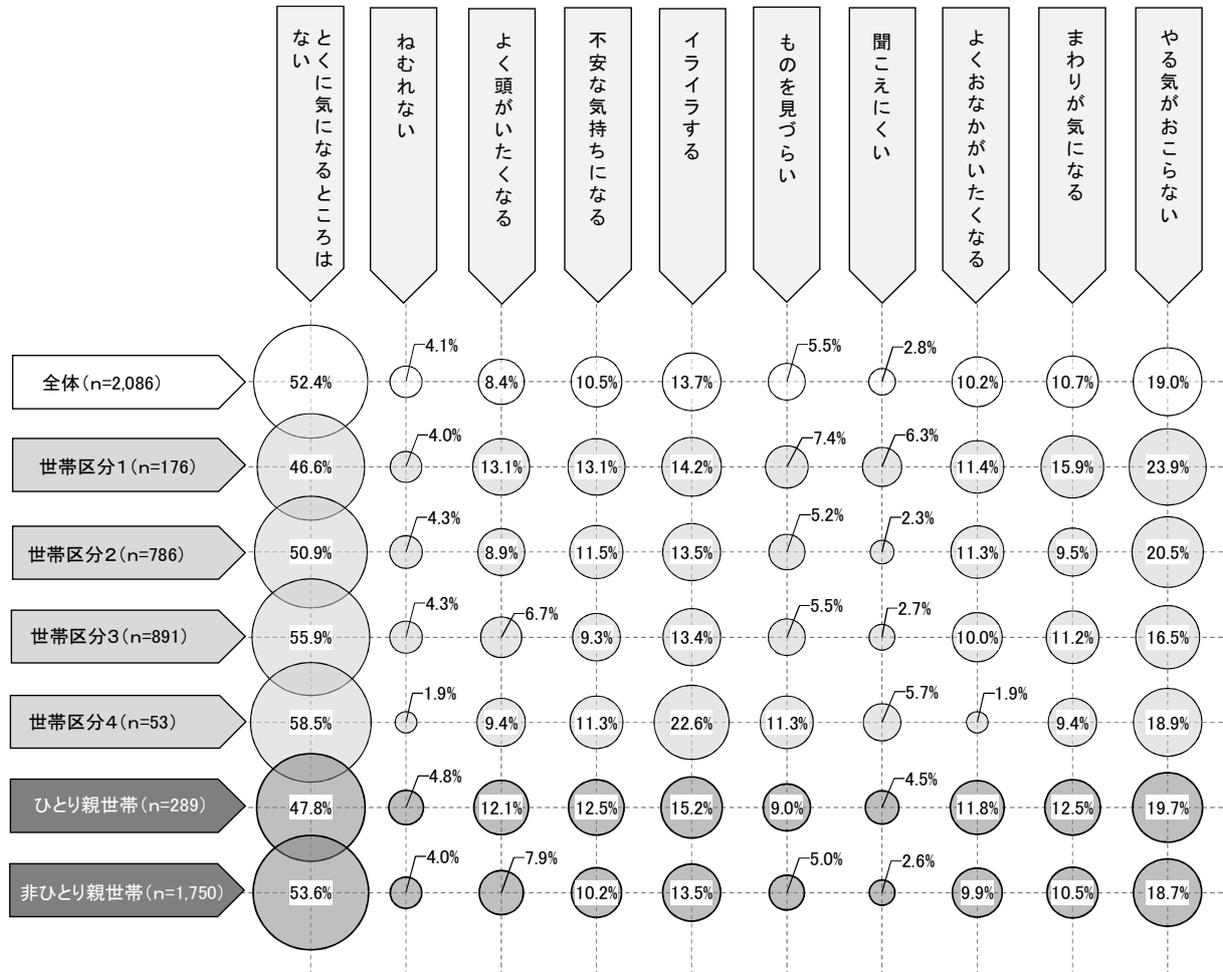
世帯区分でみると、所得が少ないほど「不安な気持ちになる」・「ものを見づらい」・「よくおなかがいたくなる」・「まわりが気になる」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「とくに気になるところはない」が52.4%と最も高く、次いで、「やる気がおこらない」(19.0%)、「イライラする」(13.7%)の順となっています。

世帯区分でみると、世帯区分1で「よく頭が痛くなる」・「まわりが気になる」・「やる気が起こらない」、世帯区分4で「イライラする」・「ものを見づらい」の割合が高くなっています。

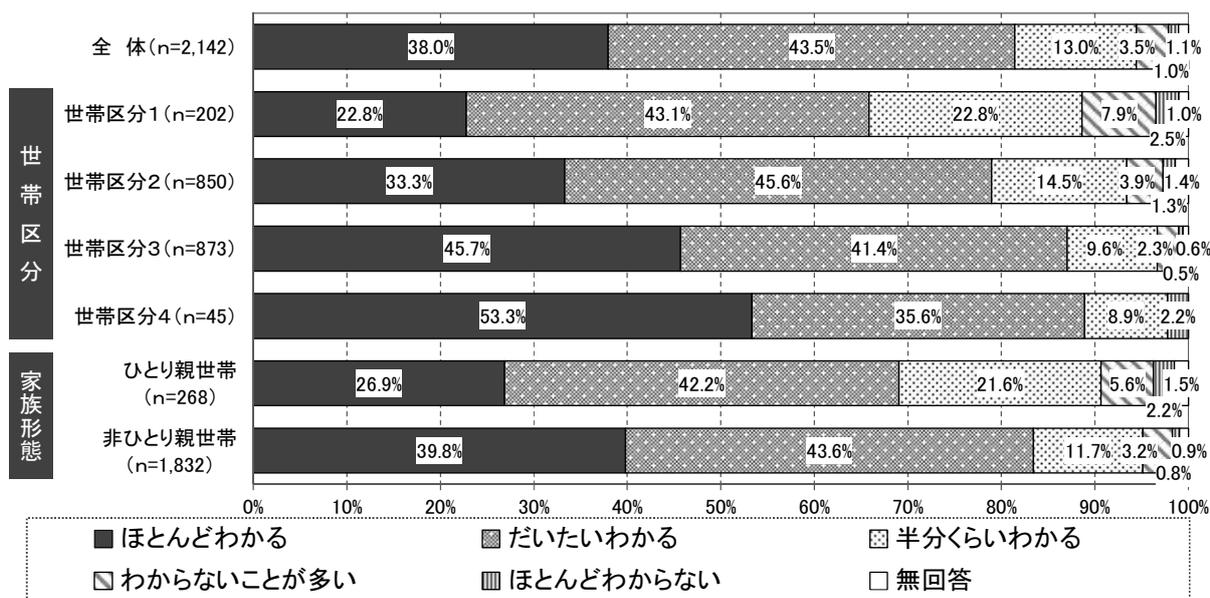


2 学校や勉強のことについて

問4：学校の授業がどのくらいわかるか

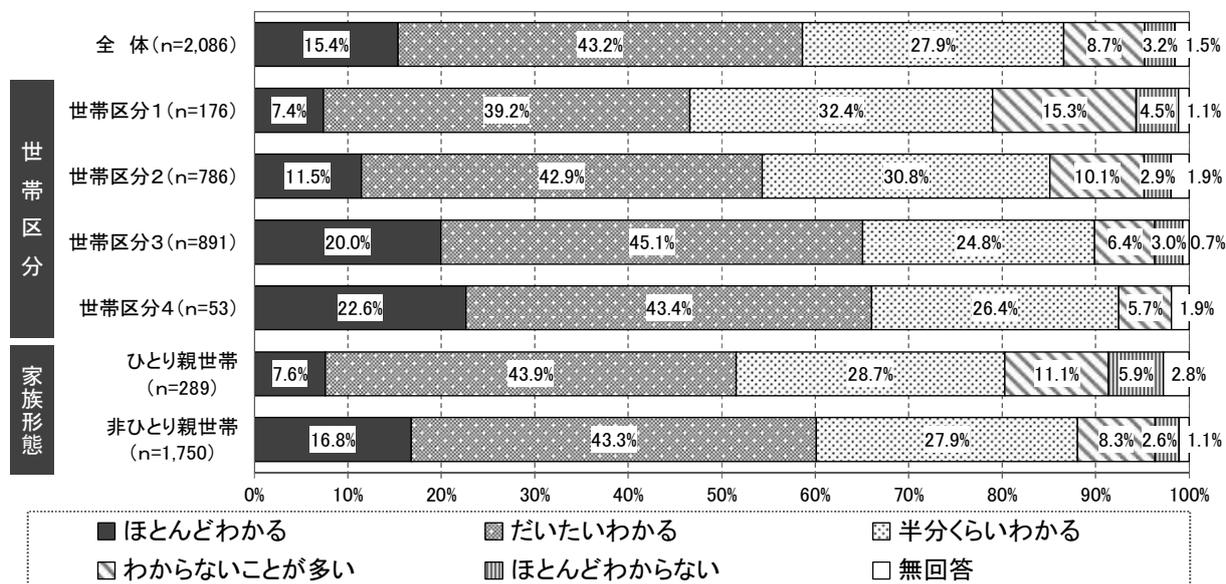
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「だいたいわかる」が43.5%と最も高く、次いで、「ほとんどわかる」(38.0%)、「半分くらいわかる」(13.0%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「ほとんどわかる」の割合が低く「わからないことが多い」の割合が高くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「ほとんどわかる」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

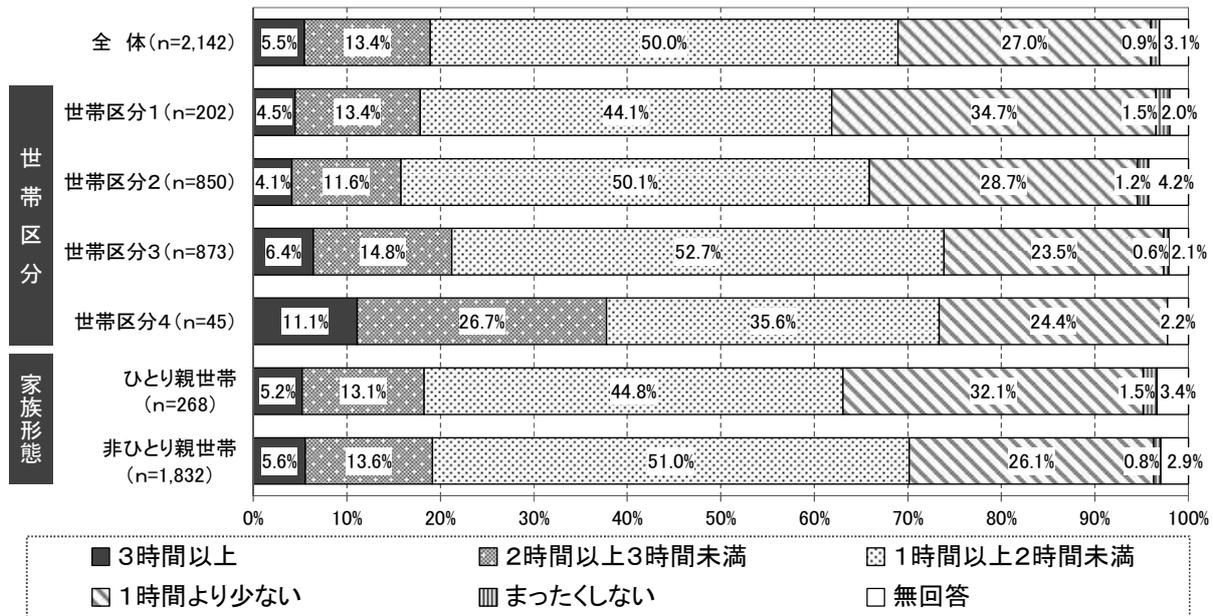
全体では、「だいたいわかる」が43.2%と最も高く、次いで、「半分くらいわかる」(27.9%)、「ほとんどわかる」(15.4%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「ほとんどわかる」の割合が低く「わからないことが多い」の割合が高くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「ほとんどわかる」の割合が低くなっています。



問5：学校終了後、どのくらいの時間、勉強するか

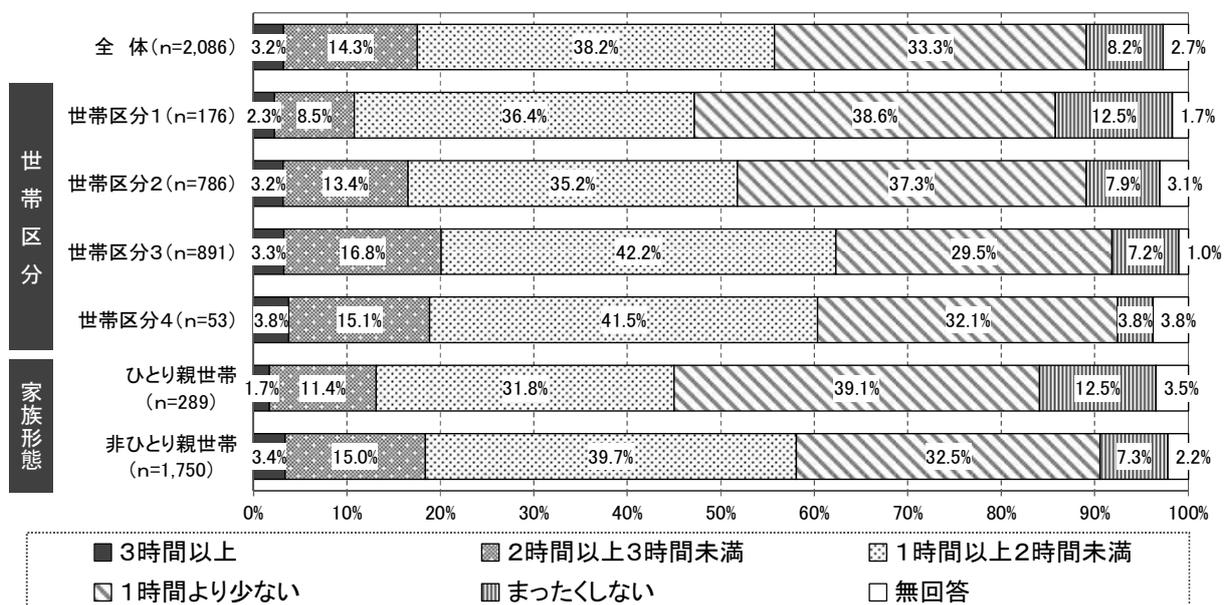
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「1時間以上2時間未満」が50.0%と最も高く、次いで、「1時間より少ない」(27.0%)、「2時間以上3時間未満」(13.4%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど1時間未満の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が1時間未満の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「1時間以上2時間未満」が38.2%と最も高く、次いで、「1時間より少ない」(33.3%)、「2時間以上3時間未満」(14.3%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど1時間未満の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が1時間未満の割合が高くなっています。



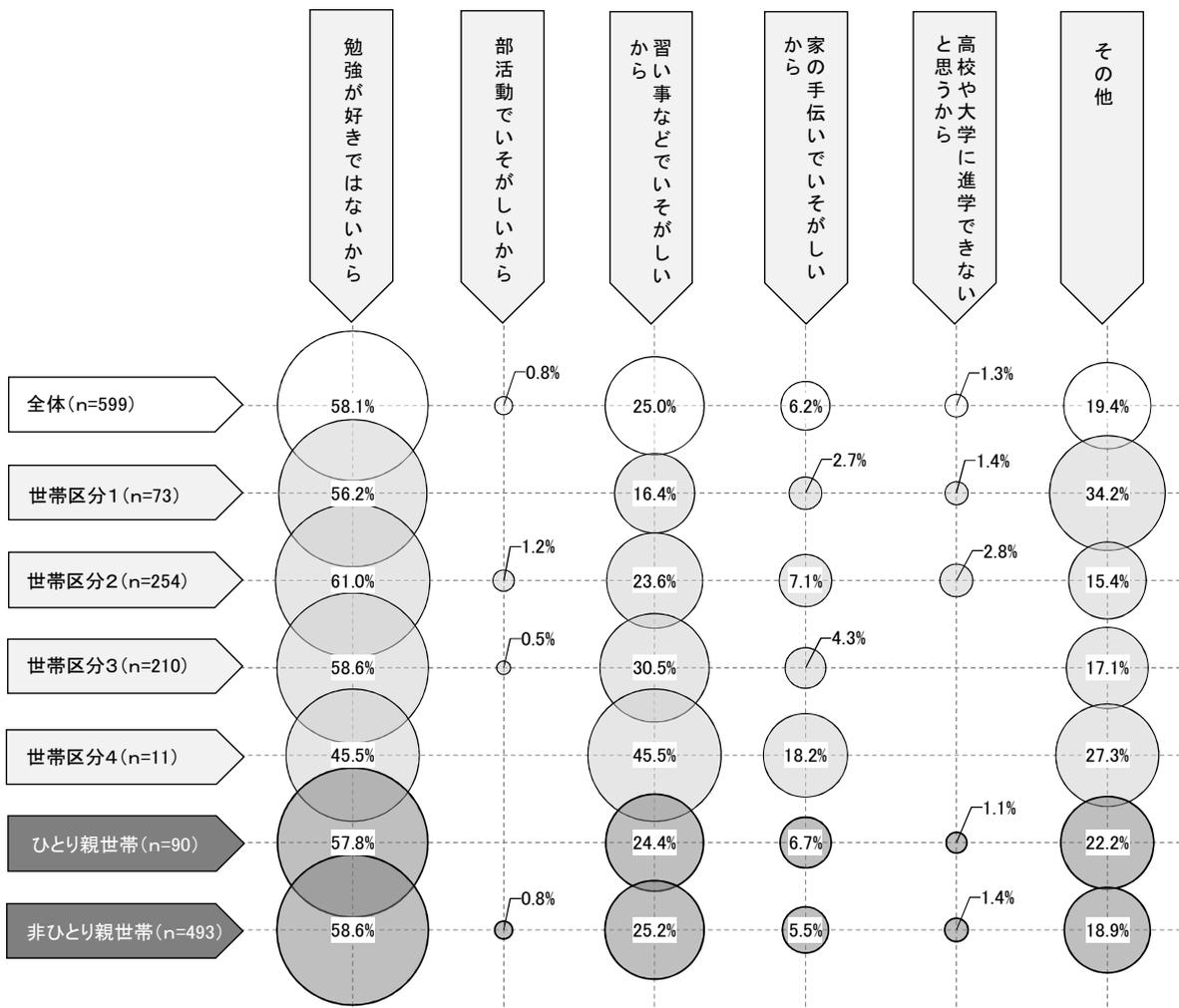
【問5で「1時間より少ない」、「まったくしない」と答えた方のみ】

問6：その理由として近いものは何か 【MA】

◆ 小学5年生 ◆

「勉強が好きではないから」が58.1%と最も高く、次いで、「習い事などでいそがしいから」(25.0%)、「その他」(19.4%)の順となっています。

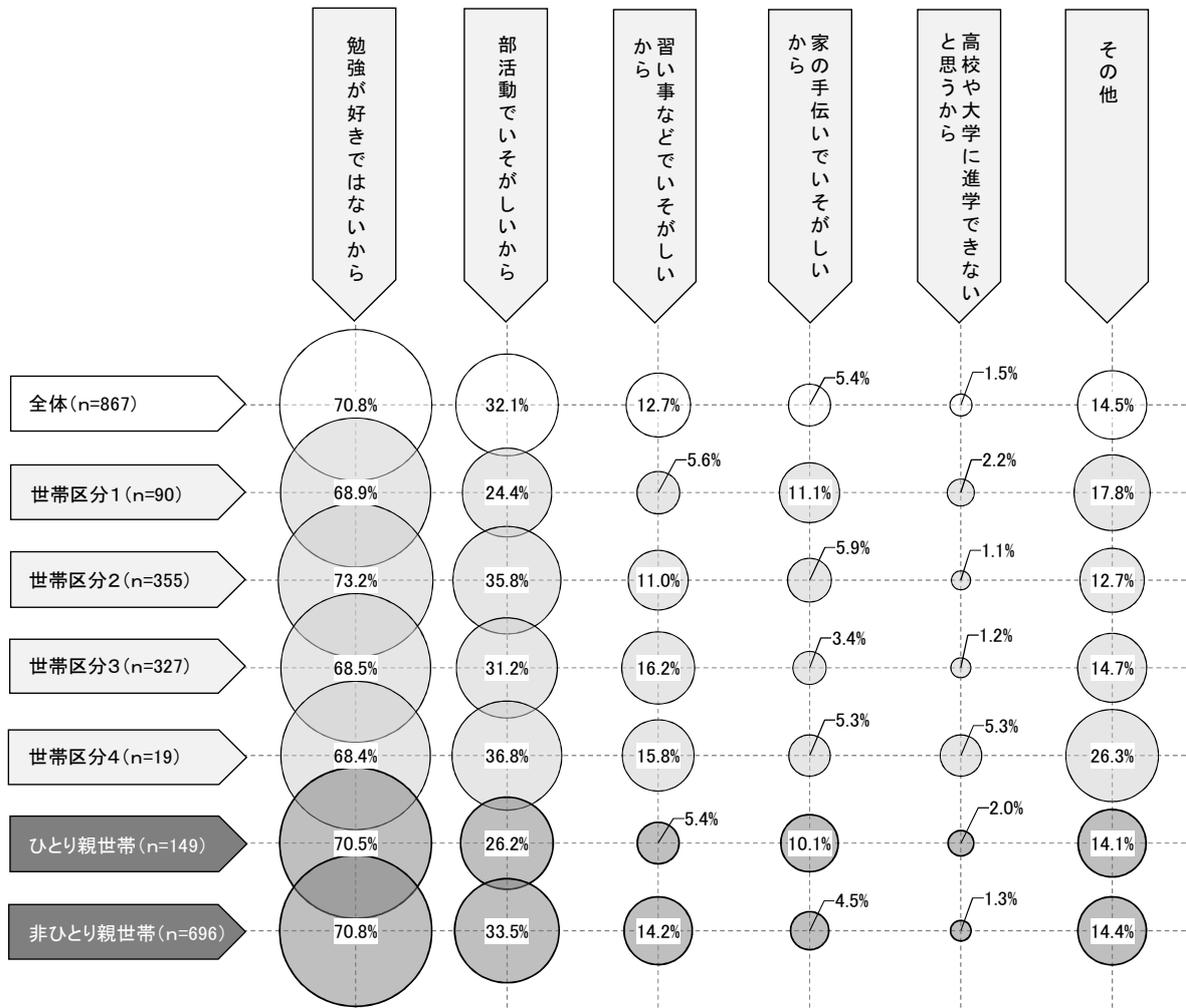
世帯区分でみると、所得が少ないほど「習い事などでいそがしいから」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

「勉強が好きではないから」が70.8%と最も高く、次いで、「部活動で忙しいから」(32.1%)、「その他」(14.5%)の順となっています。

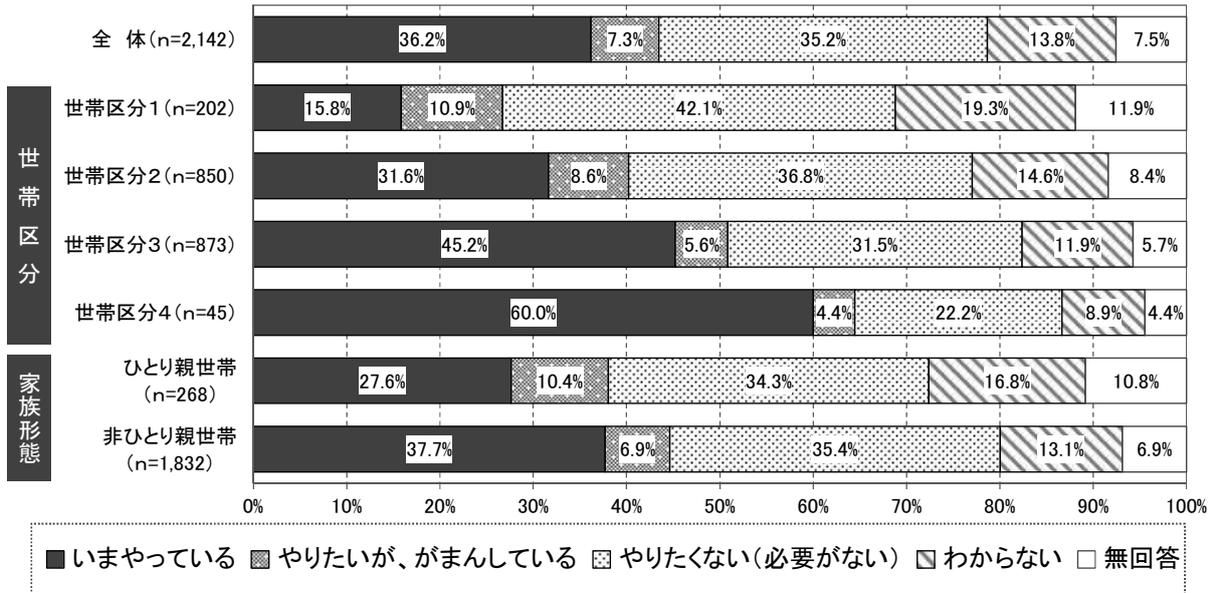
世帯区分1及びひとり親世帯で「習い事などでいそがしいから」の割合が低く「家の手伝いでいそがしいから」の割合が高くなっています。



問7(1) : 塾や家庭教師について

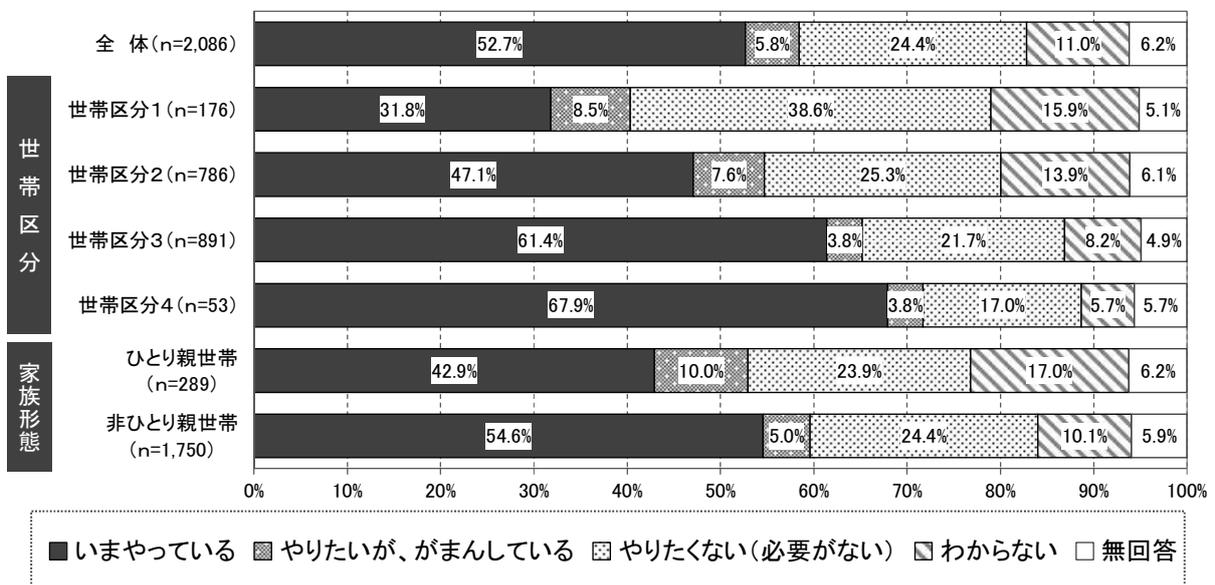
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「いまやっている」が36.2%と最も高く、次いで、「やりたくない(必要がない)」(35.2%)、「わからない」(13.8%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「いまやっている」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「いまやっている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

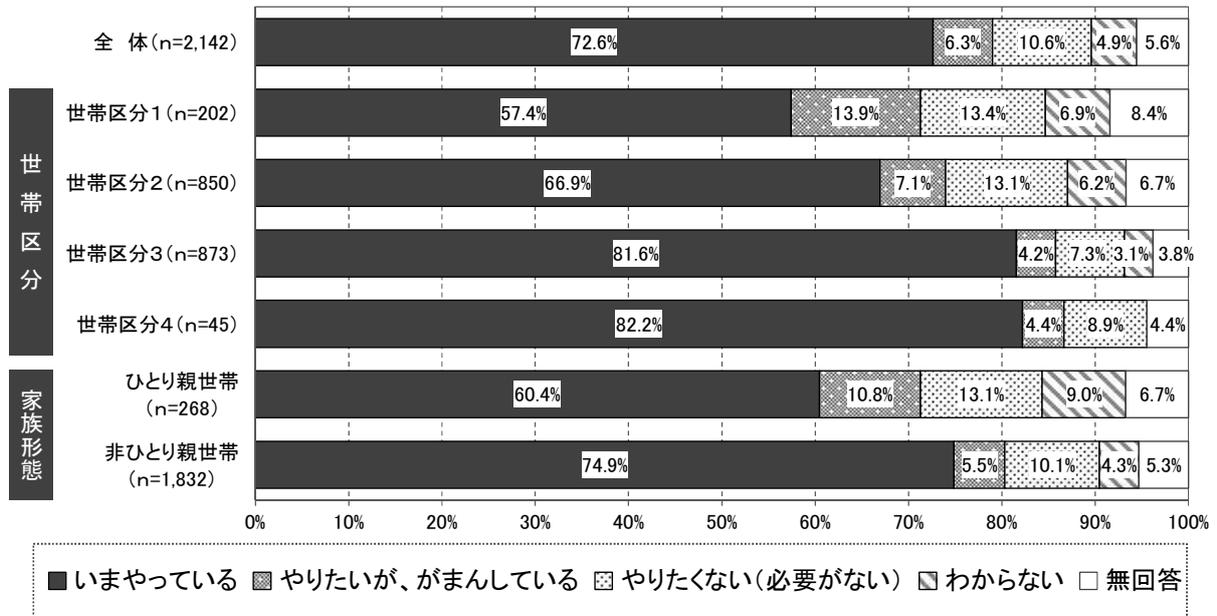
全体では、「いまやっている」が52.7%と最も高く、次いで、「やりたくない(必要がない)」(24.4%)、「わからない」(11.0%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「いまやっている」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「いまやっている」の割合が低くなっています。



問7(2)：勉強以外の習い事（スポーツ、音楽教室、習字など）について

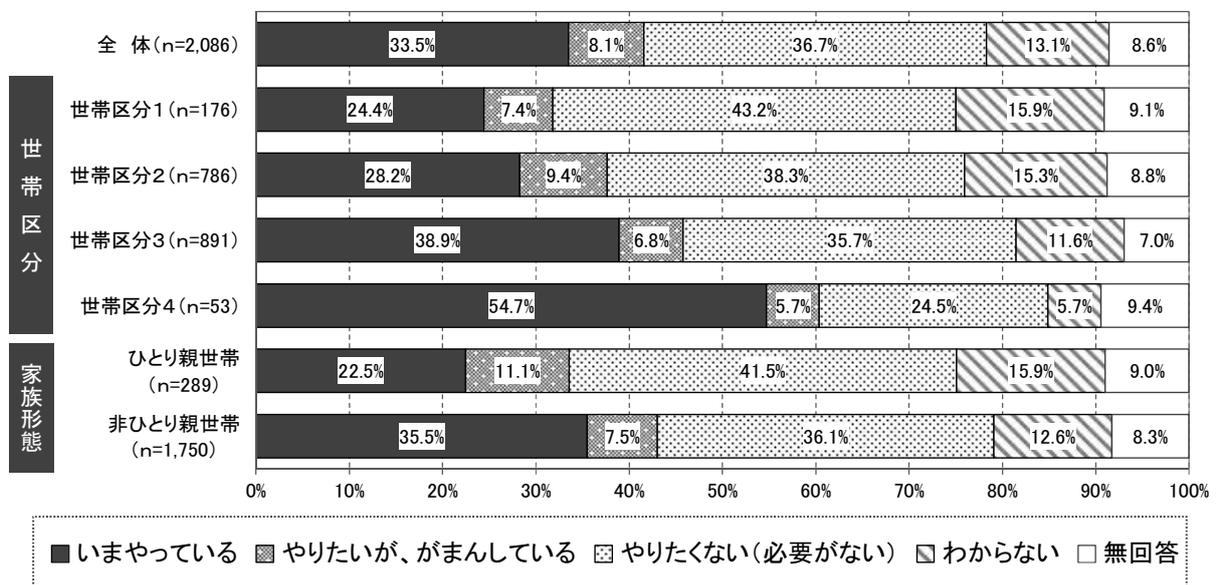
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「いまやっている」が72.6%と最も高く、次いで、「やりたくない（必要がない）」（10.6%）、「やりたいが、がまんしている」（6.3%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「いまやっている」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「いまやっている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

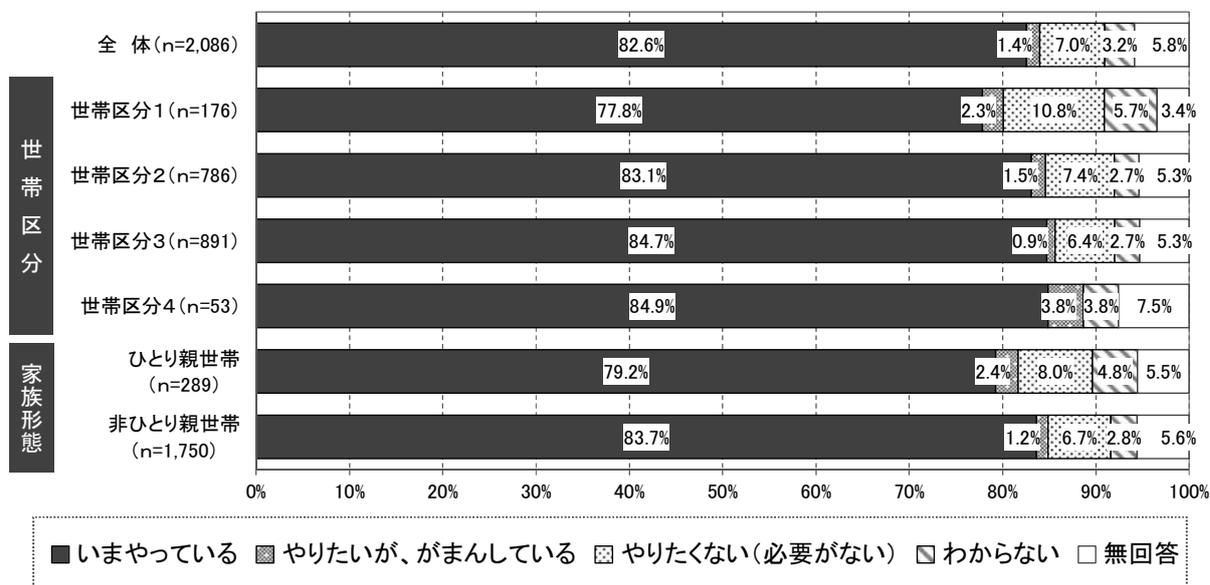
全体では、「やりたくない（必要がない）」が36.7%と最も高く、次いで、「いまやっている」（33.5%）、「わからない」（13.1%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「いまやっている」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「いまやっている」の割合が低くなっています。



問7(3) : 部活動について 【中学生のみ】

◇ 中学2年生 ◇

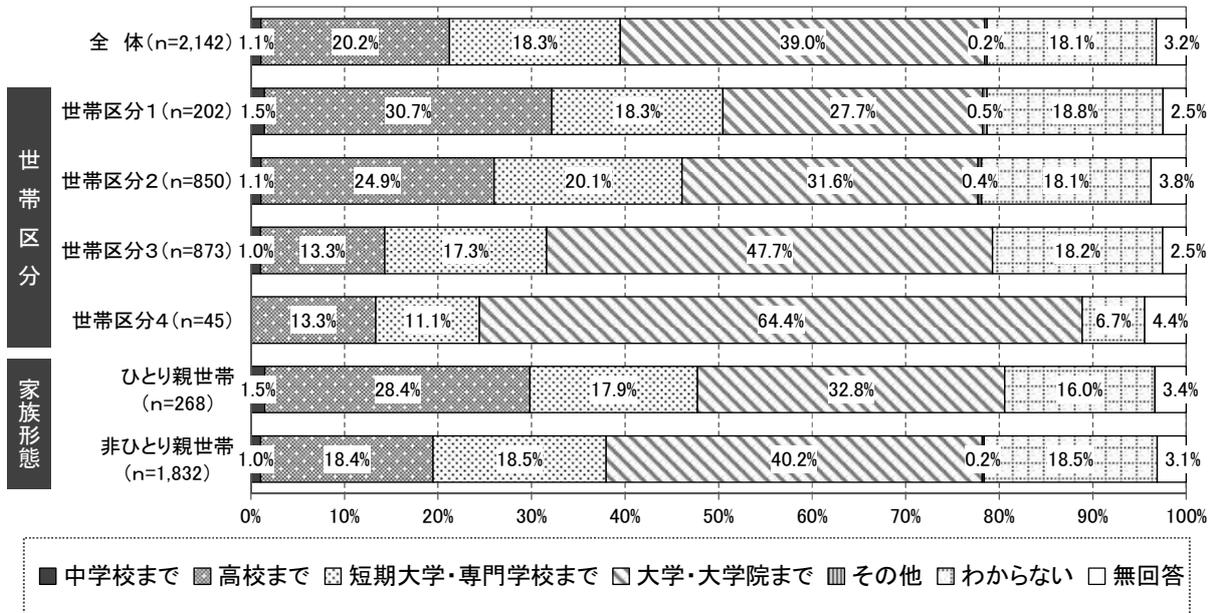
全体では、「いまやっている」が82.6%と最も高く、次いで、「やりたくない(必要がない)」(7.0%)、「わからない」(3.2%)となっています。



問8：将来、どの学校まで行きたいと思うか

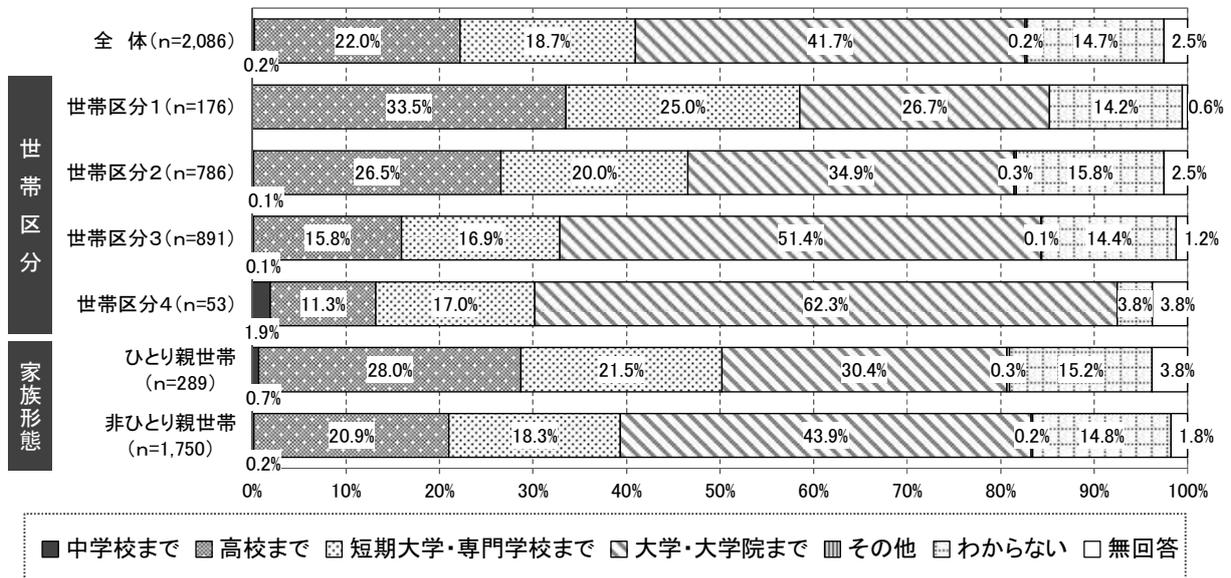
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「大学・大学院まで」が39.0%と最も高く、次いで、「高校まで」(20.2%)、「短期大学・専門学校まで」(18.3%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「高校まで」の割合が高く「大学・大学院まで」の割合が低くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「高校まで」の割合が高く「大学・大学院まで」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「大学・大学院まで」が41.7%と最も高く、次いで、「高校まで」(22.0%)、「短期大学・専門学校まで」(18.7%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「高校まで」の割合が高く「大学・大学院まで」の割合が低くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「高校まで」の割合が高く「大学・大学院まで」の割合が低くなっています。

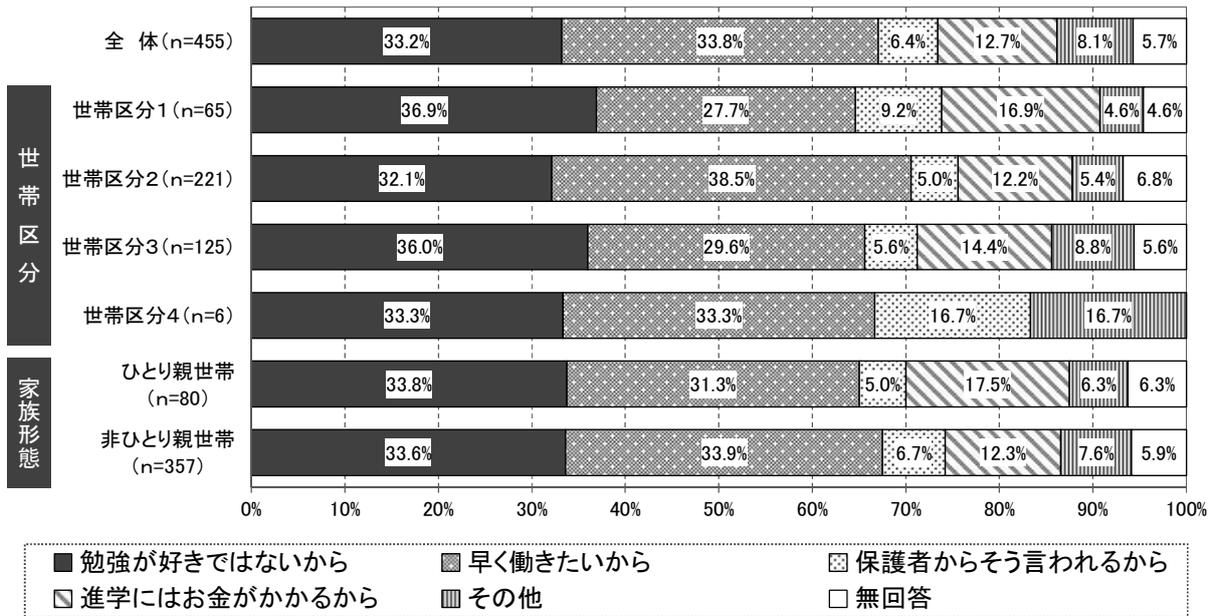


【問8で「中学校まで」、「高校まで」と答えた方のみ】

問9：その理由は何か

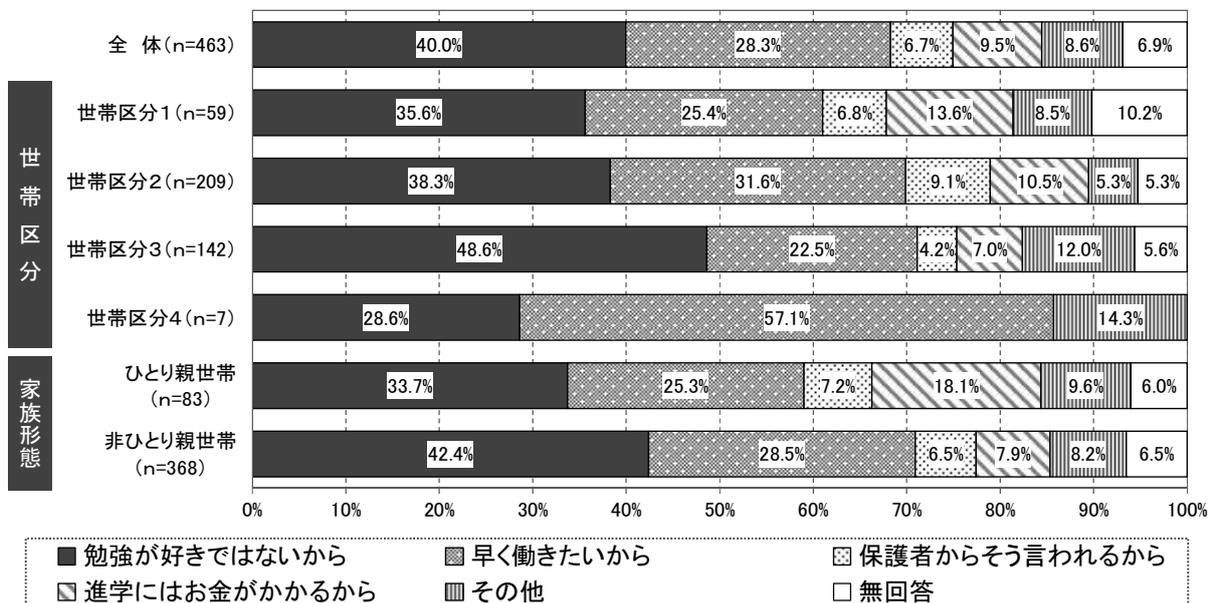
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「早く働きたいから」が33.8%と最も高く、次いで、「勉強が好きではないから」(33.2%)、「進学にはお金がかかるから」(12.7%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「進学にはお金がかかるから」の割合が高い傾向にあり、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「進学にはお金がかかるから」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「勉強が好きではないから」が40.0%と最も高く、次いで、「早く働きたいから」(28.3%)、「進学にはお金がかかるから」(9.5%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「進学にはお金がかかるから」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「進学にはお金がかかるから」の割合が高くなっています。

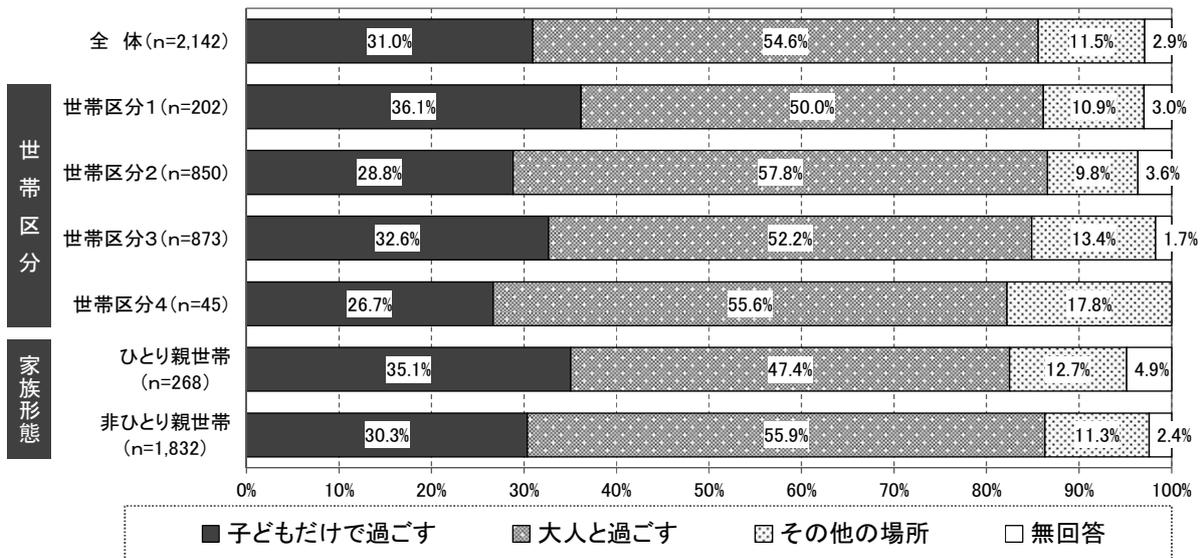


3 ふだんの生活について

問 10：放課後（部活動や放課後児童教室等の後）どこで過ごすことが多いか

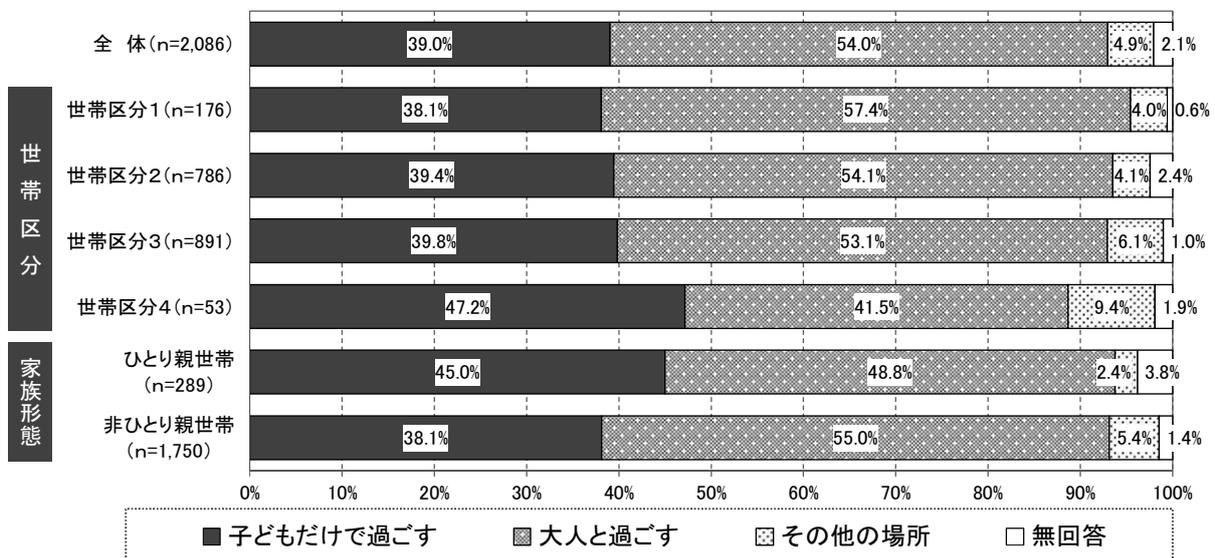
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「大人と過ごす」が54.6%と最も高く、次いで、「子どもだけで過ごす」(31.0%)、「その他の場所」(11.5%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「子どもだけで過ごす」の割合が高くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「子どもだけで過ごす」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

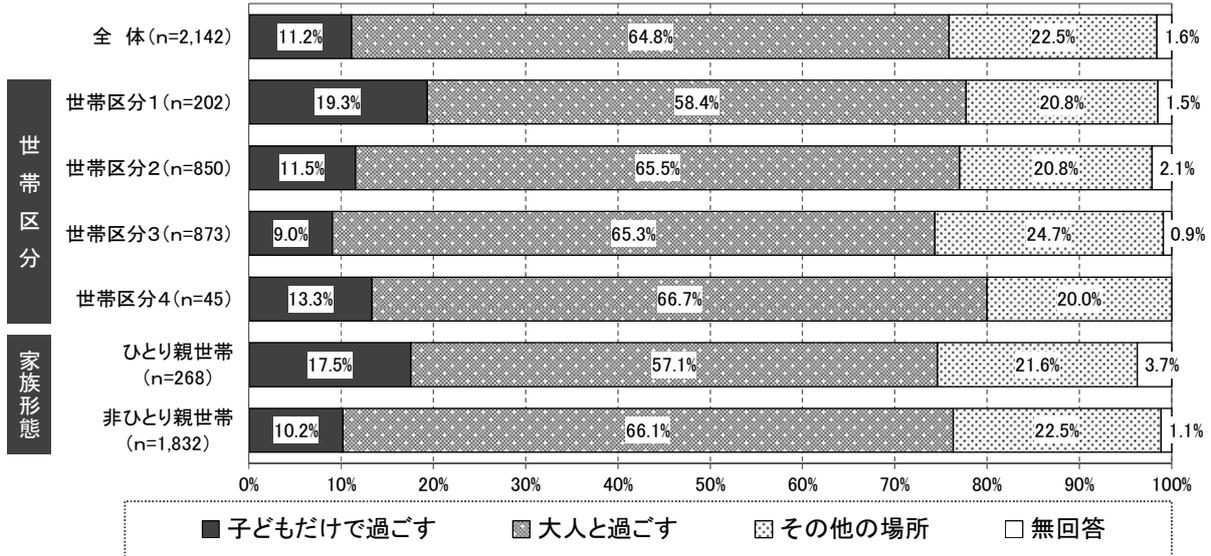
全体では、「大人と過ごす」が54.0%と最も高く、次いで、「子どもだけで過ごす」(39.0%)、「その他の場所」(4.9%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「子どもだけで過ごす」の割合が高くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「子どもだけで過ごす」の割合が高くなっています。



問 11：休日（学校が休みの日）は、どこで過ごすことが多いか

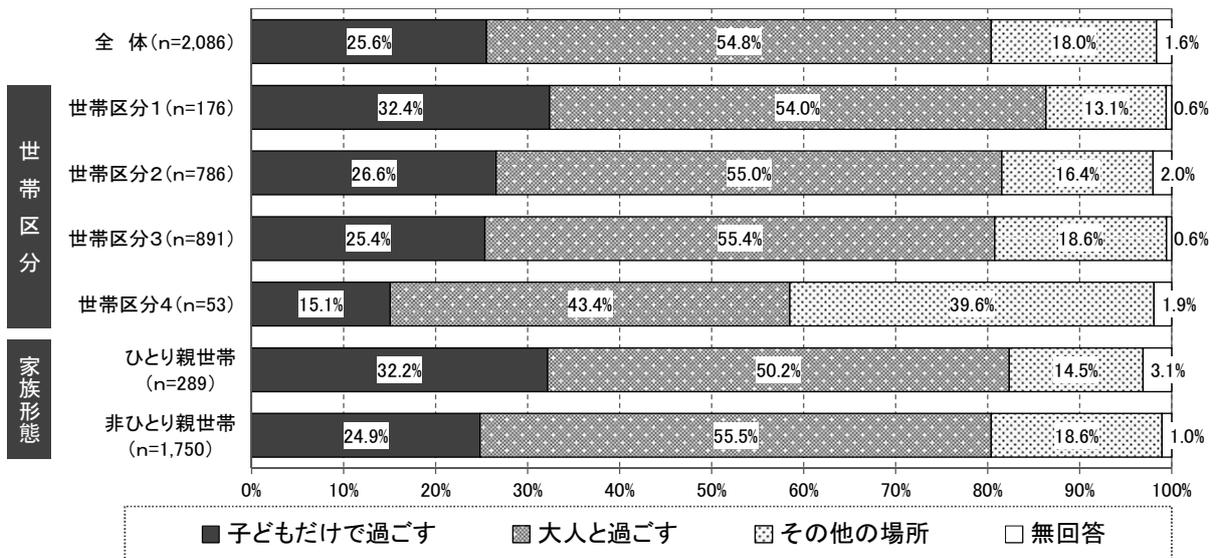
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「大人と過ごす」が64.8%と最も高く、次いで、「その他の場所」（22.5%）、「子どもだけで過ごす」（11.2%）となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「子どもだけで過ごす」の割合が高くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「子どもだけで過ごす」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「大人と過ごす」が54.8%と最も高く、次いで、「子どもだけで過ごす」（25.6%）、「その他の場所」（18.0%）となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「子どもだけで過ごす」の割合が高く「その他の場所」の割合が低くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「子どもだけで過ごす」の割合が高くなっています。

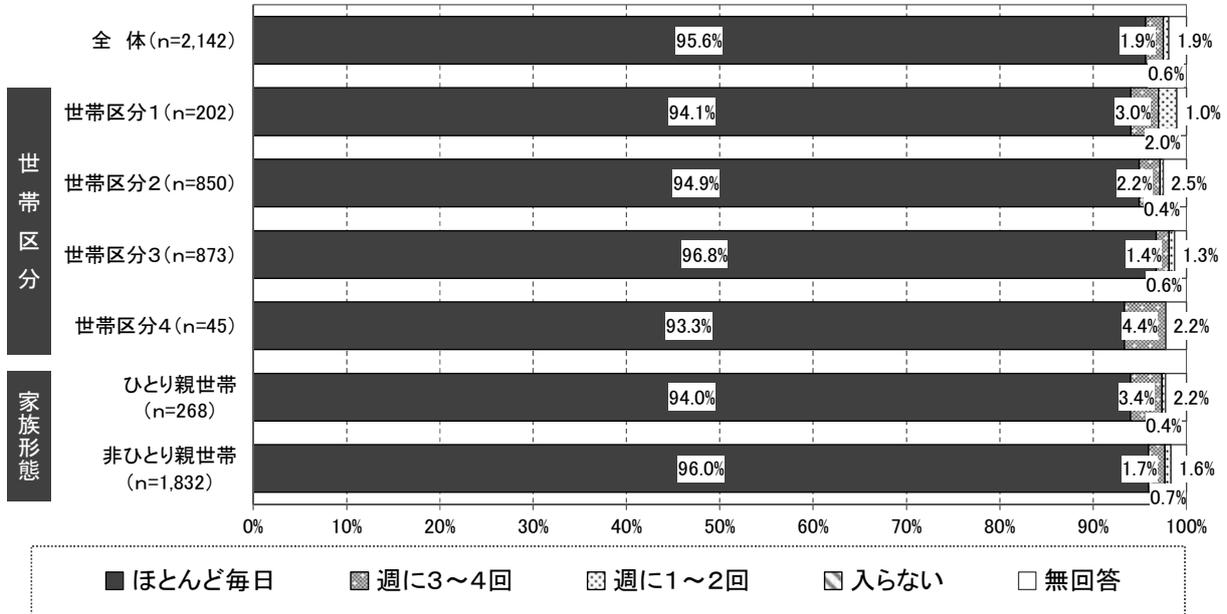


※問 10 及び問 11 の選択肢については、次の通りの3区分でグラフ化しています。（巻末のアンケートを参照してください）
 「子どもだけで過ごす」：選択肢①、③、④、⑥ 「大人と過ごす」：選択肢②、⑤、⑦ 「その他の場所」：選択肢⑧～⑩

問 12：風呂（シャワーを含む）に入る頻度

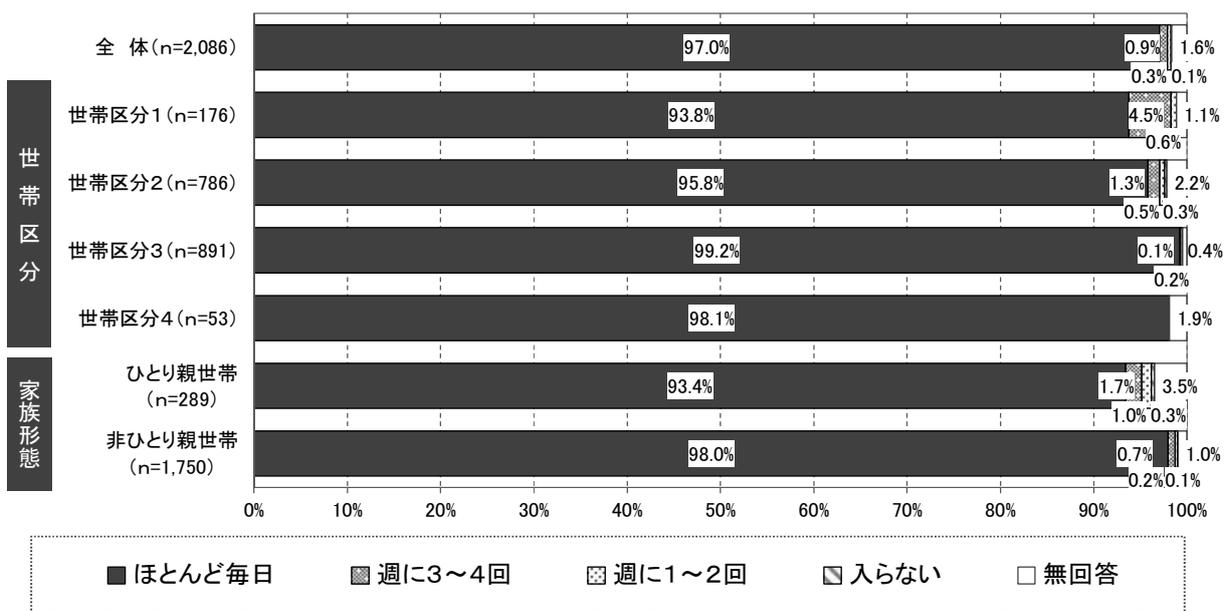
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「ほとんど毎日」が 95.6%と最も高く、次いで、「週に3～4回」(1.9%)、「週に1～2回」(0.6%)の順となっています。



◇ 中学2年生 ◇

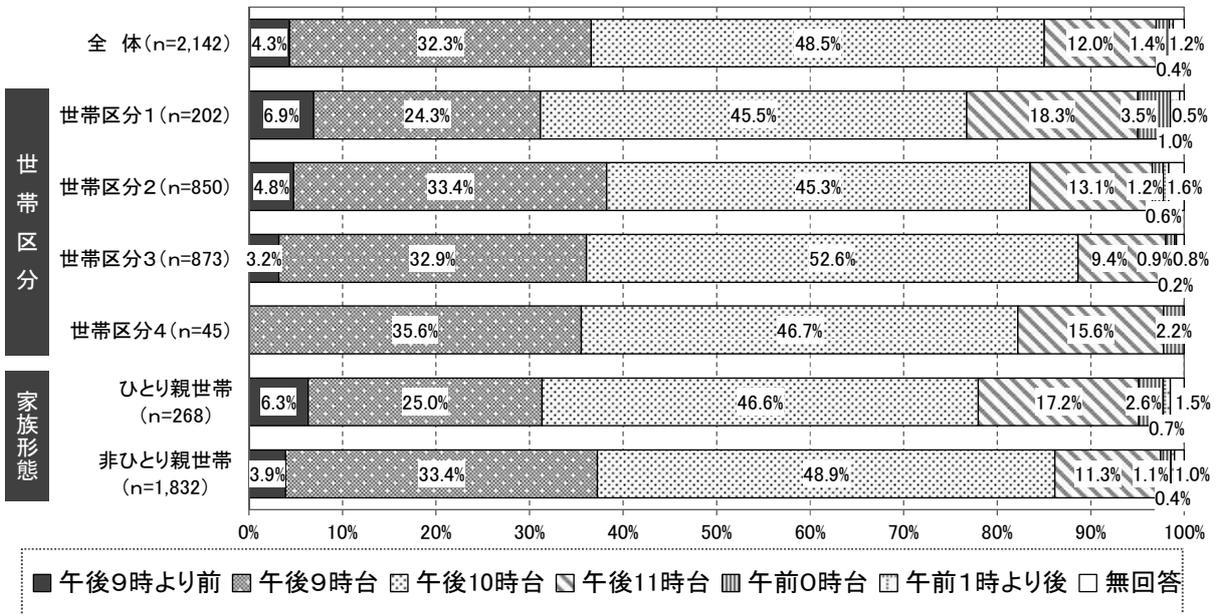
全体では、「ほとんど毎日」が 97.0%と最も高く、次いで、「週に3～4回」(0.9%)、「週に1～2回」(0.3%)の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「ほとんど毎日」の割合がやや低くなっています。



問 13：平日（学校のある日）は何時頃に寝るか

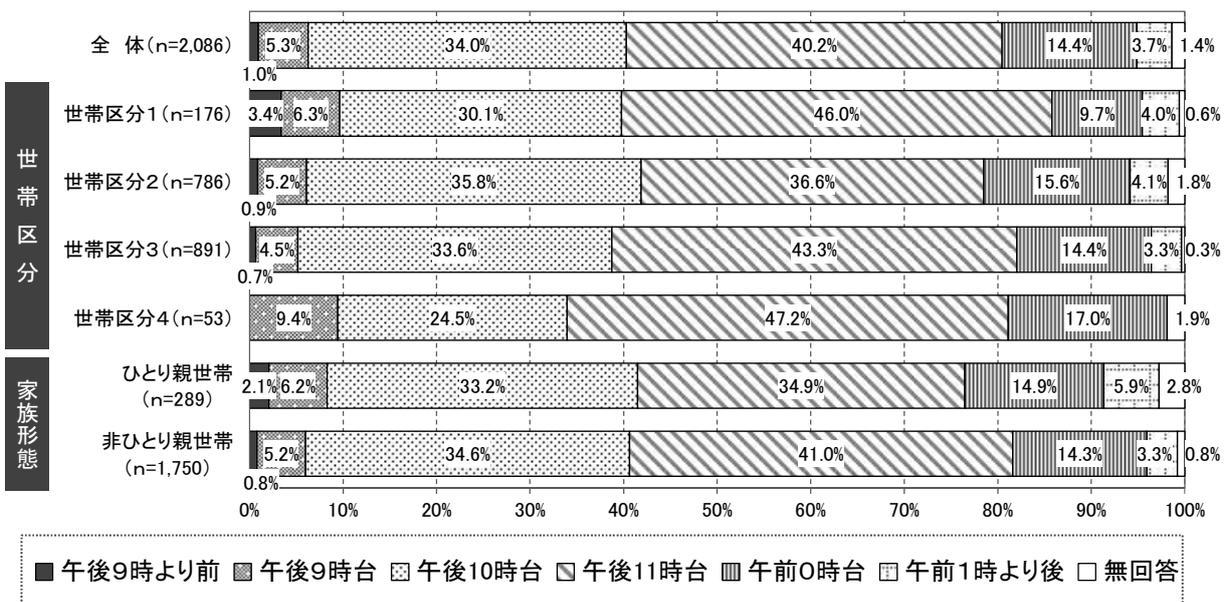
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「午後 10 時台」が 48.5%と最も高く、次いで、「午後9時台」（32.3%）、「午後 11 時台」（12.0%）の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で午後 11 時以降に就寝する割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

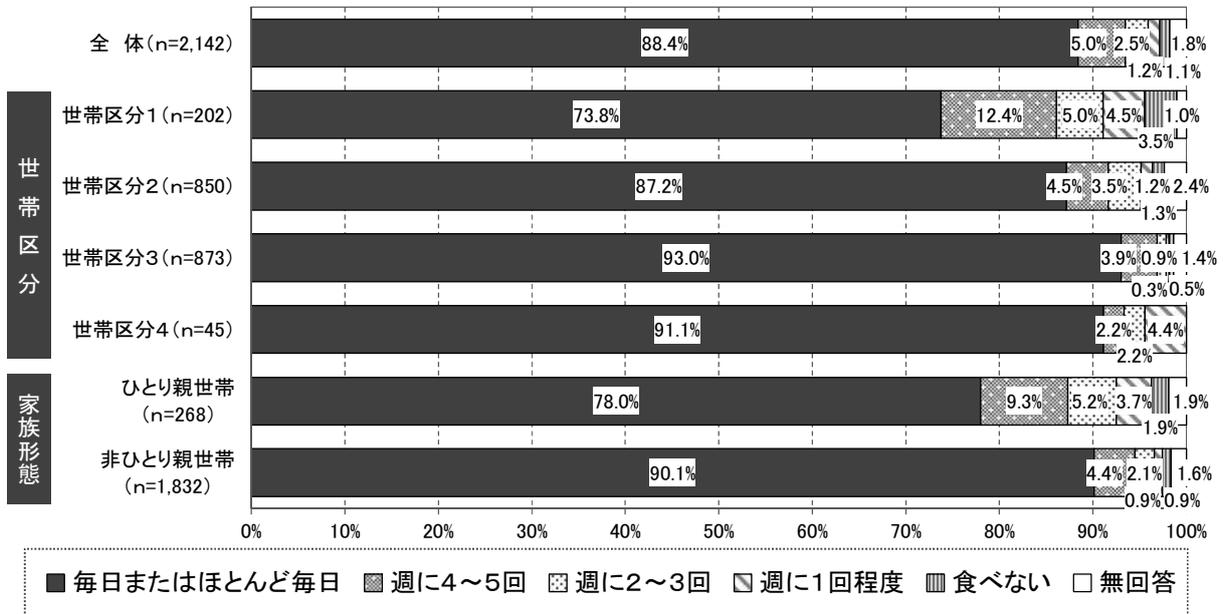
全体では、「午後 11 時台」が 40.2%と最も高く、次いで、「午後 10 時台」（34.0%）、「午前 0 時台」（14.4%）の順となっており、世帯区分4で午後 11 時以降に就寝する割合が高くなっています。



問 14：朝食を食べる頻度

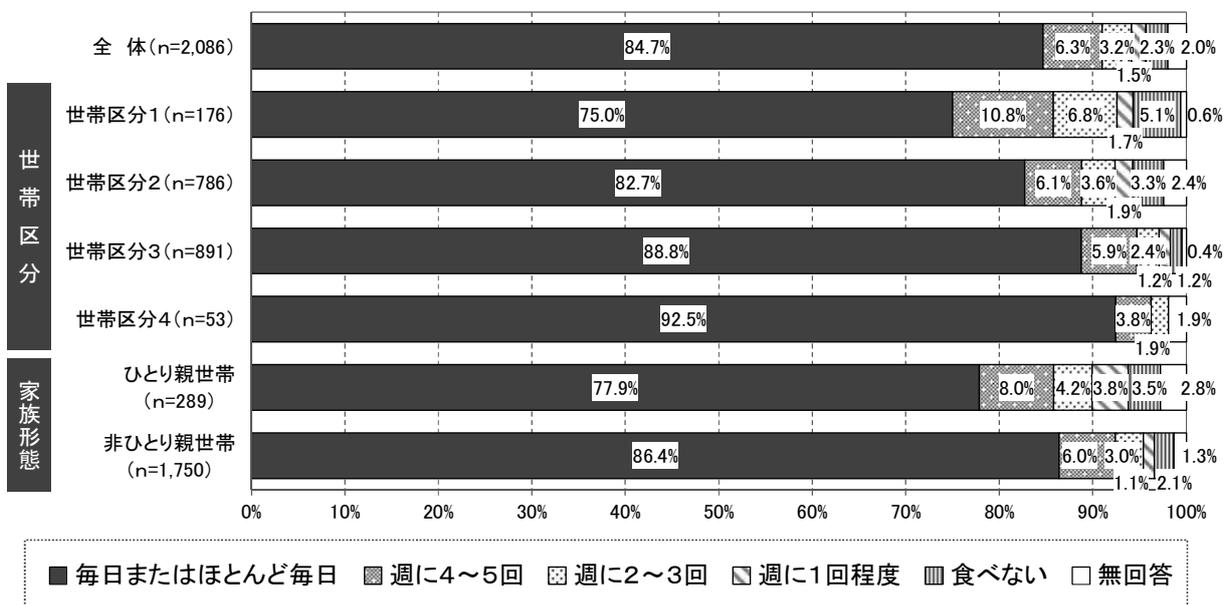
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「毎日またはほとんど毎日」が88.4%と最も高く、次いで、「週に4～5回」(5.0%)、「週に2～3回」(2.5%)の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「毎日またはほとんど毎日」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「毎日またはほとんど毎日」が84.7%と最も高く、次いで、「週に4～5回」(6.3%)、「週に2～3回」(3.2%)の順となっています。世帯区分で見ると、所得が少ないほど「毎日またはほとんど毎日」の割合が低く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「毎日またはほとんど毎日」の割合が低くなっています。

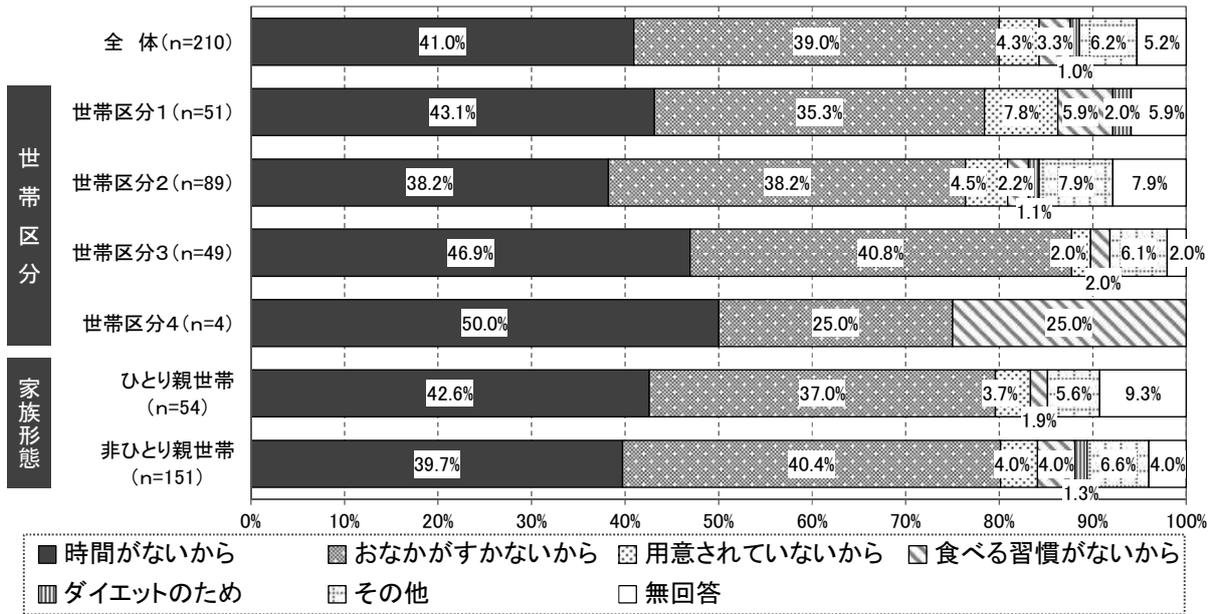


【問 14 で「毎日またはほとんど毎日」以外に答えた方のみ】

問 15：朝食を食べない理由

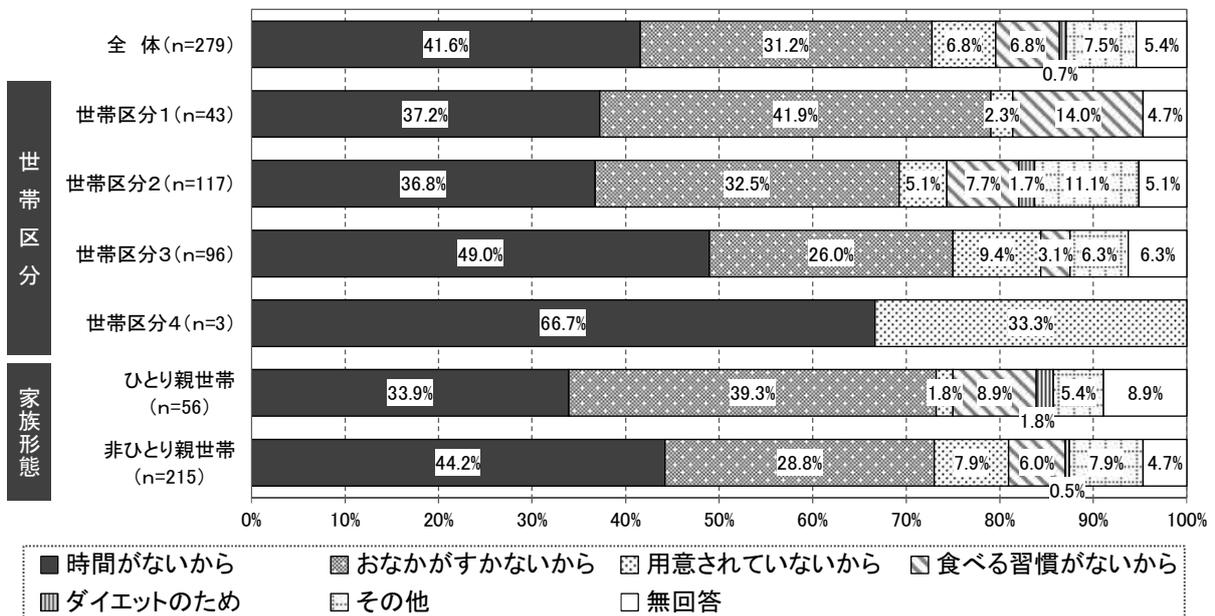
◆ 小学 5 年生 ◆

全体では、「時間がないから」が 41.0%と最も高く、次いで、「おなかがすかないから」(39.0%)、「その他」(6.2%) の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分 1 で「用意されていないから」の割合が高くなっています。



◇ 中学 2 年生 ◇

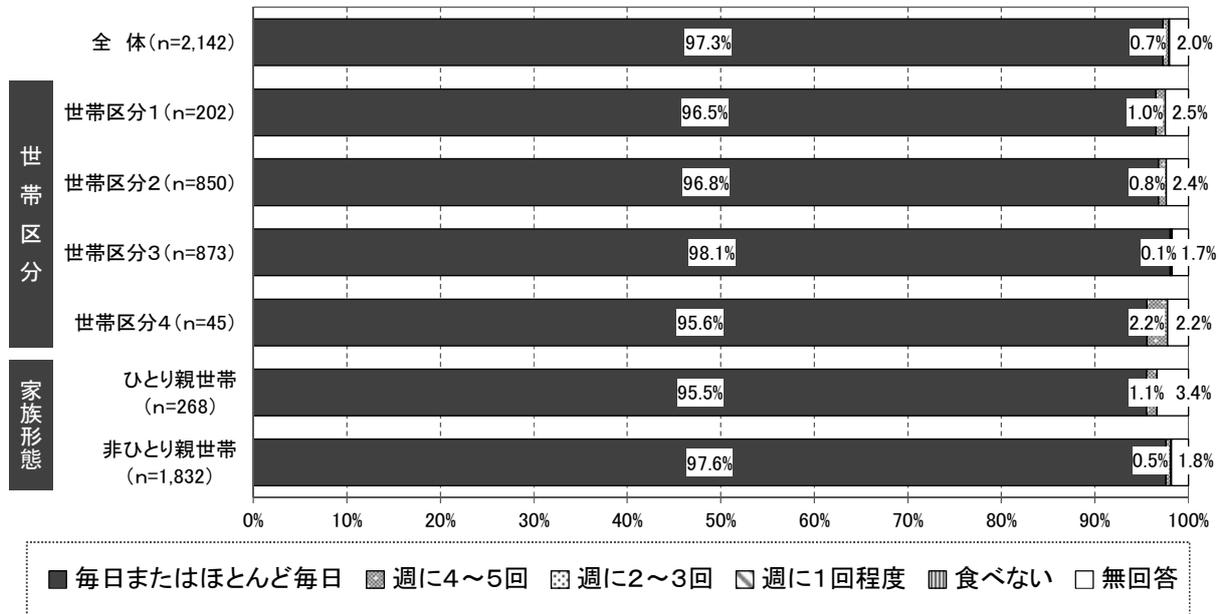
全体では、「時間がないから」が 41.6%と最も高く、次いで、「おなかがすかないから」(31.2%)、「その他」(7.5%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「食べる習慣がないから」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「おなかがすかないから」の割合が高くなっています。



問 16：夕食を食べる頻度

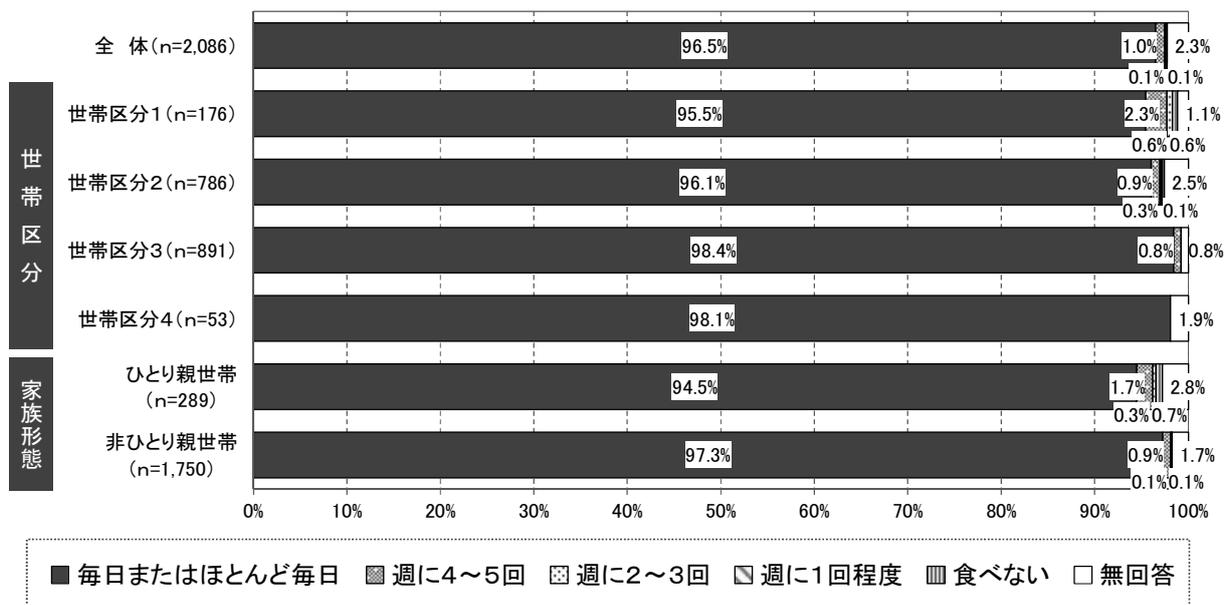
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「毎日またはほとんど毎日」が97.3%で、「週に4～5回」が0.7%となっており、週3回以下の回答はありませんでした。無回答を除くと、概ねほとんどの子どもが夕食を食べています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「毎日またはほとんど毎日」が96.5%と最も高く、次いで、「週に4～5回」(1.0%)、「週に2～3回」・「週に1回程度」(同率で0.1%)となっています。無回答を除くと、概ねほとんどの子どもが夕食を食べています。

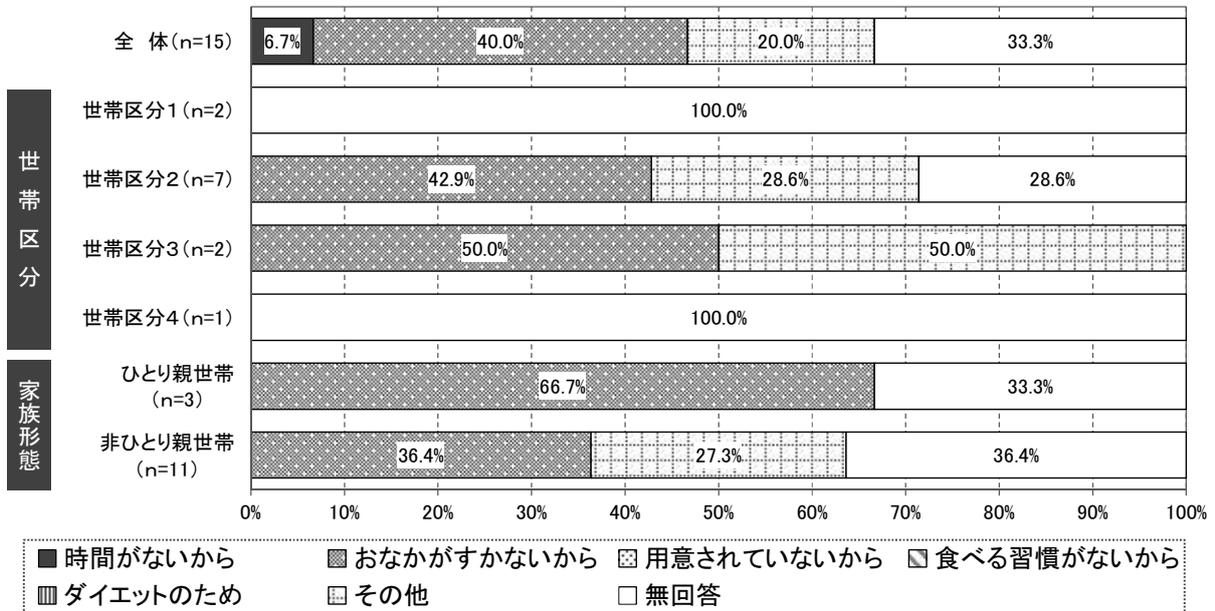


【問 16 で「毎日またはほとんど毎日」以外に答えた方のみ】

問 17：夕食を食べない理由

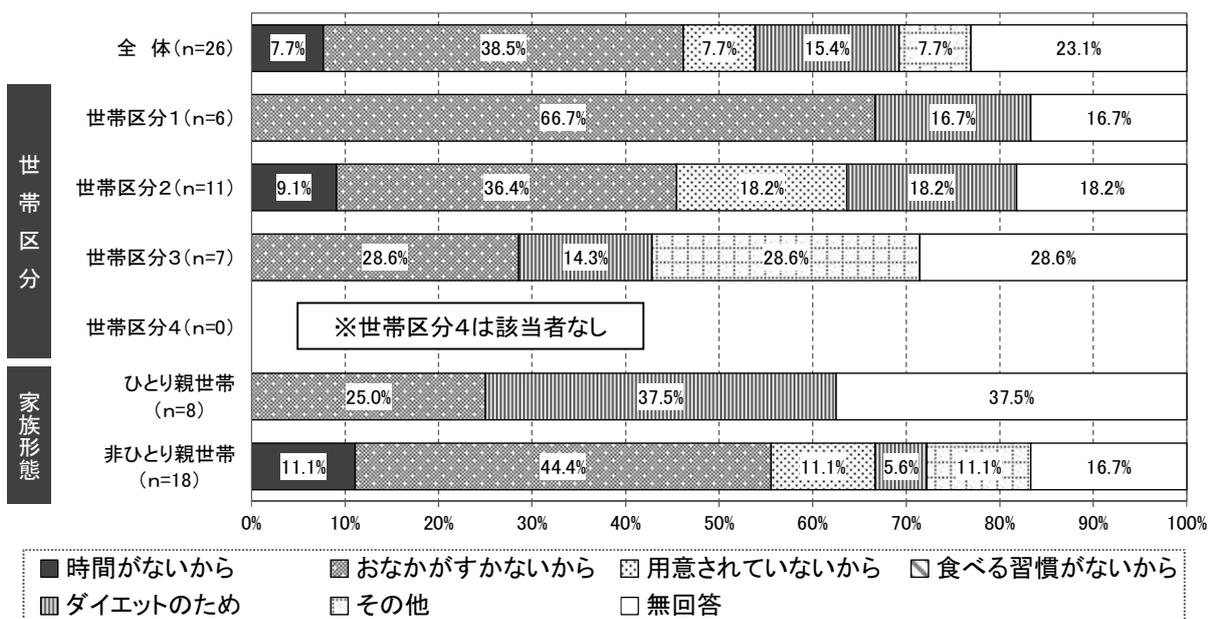
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「おなかがすかないから」が 40.0%と最も高く、次いで「その他」(20.0%)、「時間がないから」(6.7%) となっています。



◇ 中学2年生 ◇

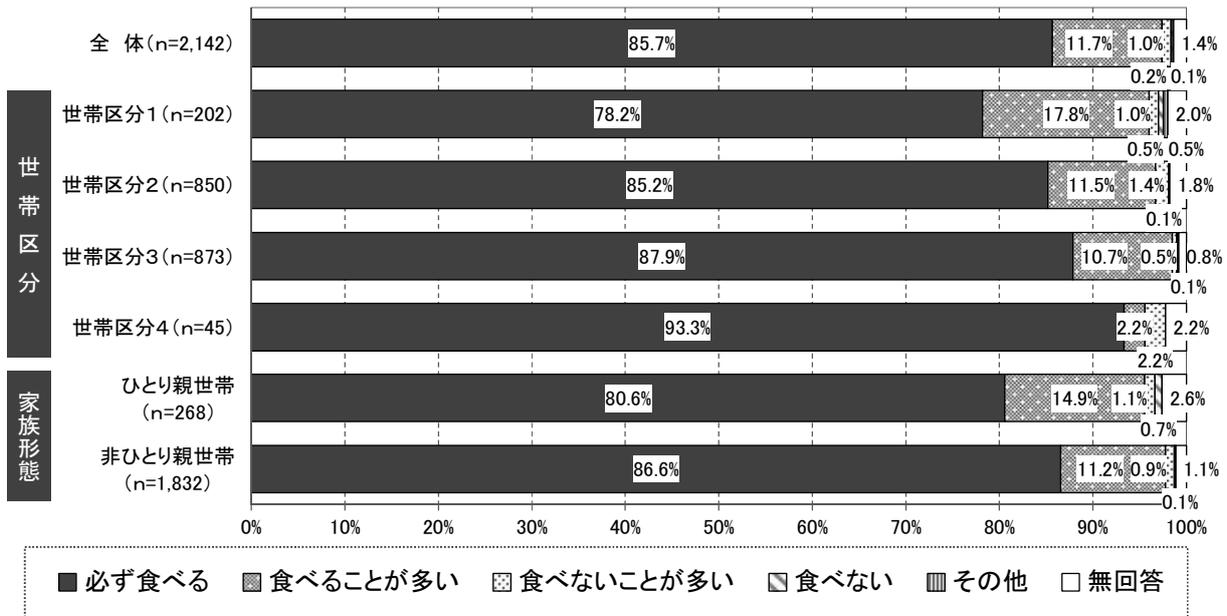
全体では、「おなかがすかないから」が 38.5%と最も高く、次いで、「ダイエットのため」(15.4%)、「時間がないから」・「用意されていないから」・「その他」(同率で 7.7%) の順となっています。



問 18：学校が休みのときに昼食を食べる頻度

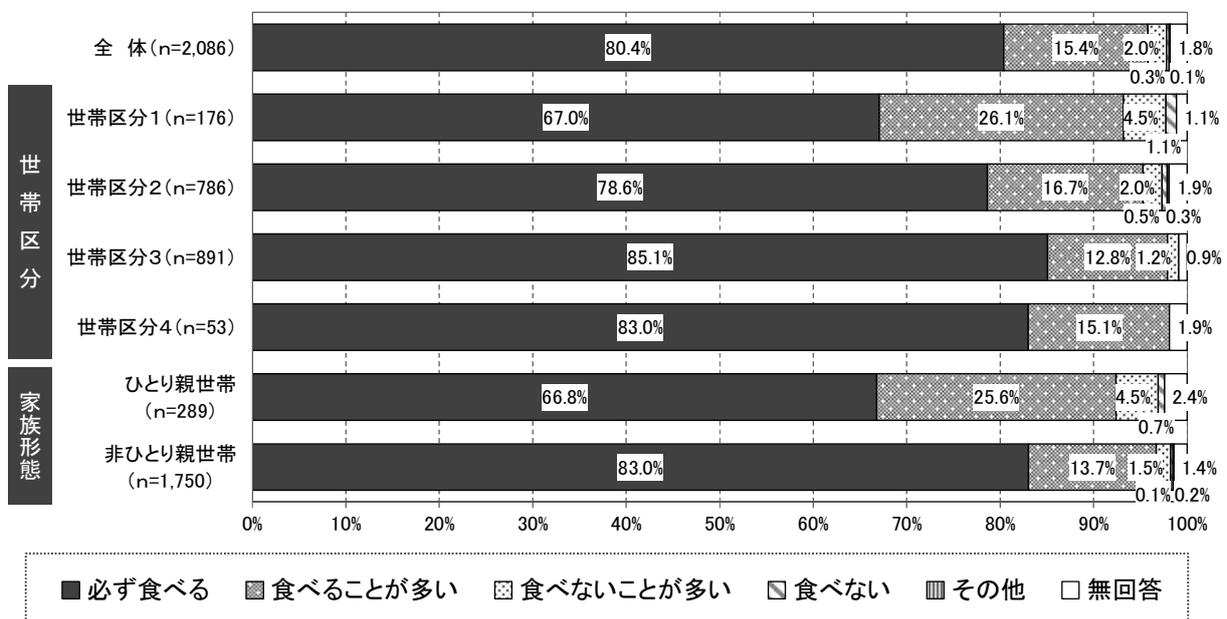
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「必ず食べる」が85.7%と最も高く、次いで、「食べることが多い」(11.7%)、「食べないことが多い」(1.0%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「必ず食べる」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「必ず食べる」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

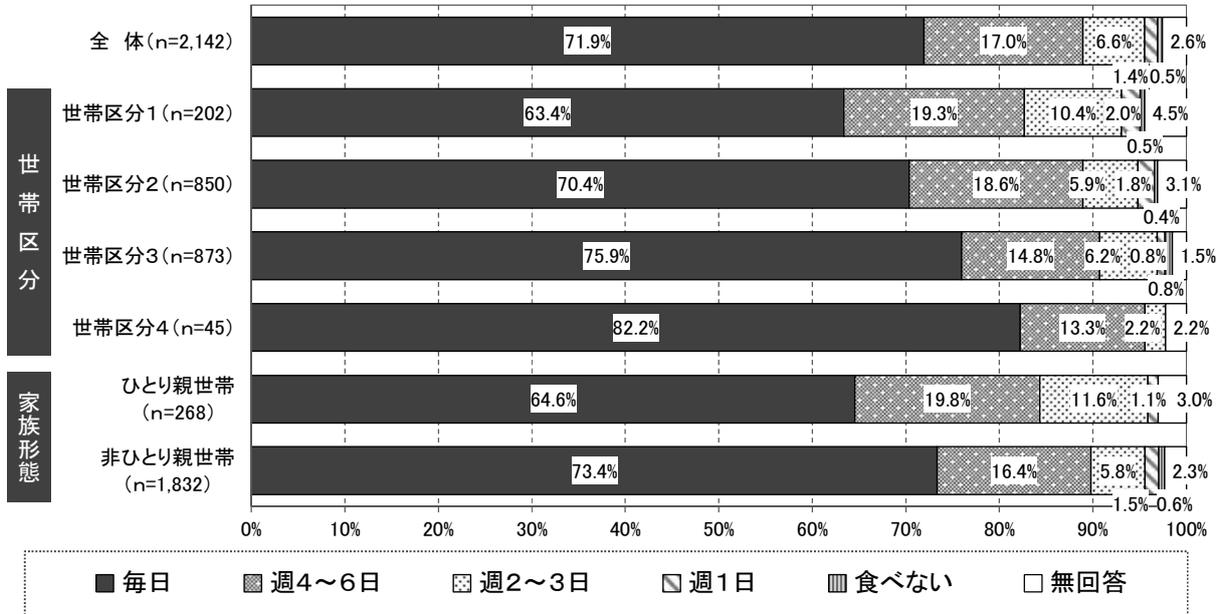
全体では、「必ず食べる」が80.4%と最も高く、次いで、「食べることが多い」(15.4%)、「食べないことが多い」(2.0%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「必ず食べる」の割合が低い傾向にあり、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「必ず食べる」の割合が低くなっています。



問 19 (1) : 給食以外で食べる頻度 (魚・肉・卵・とうふなど)

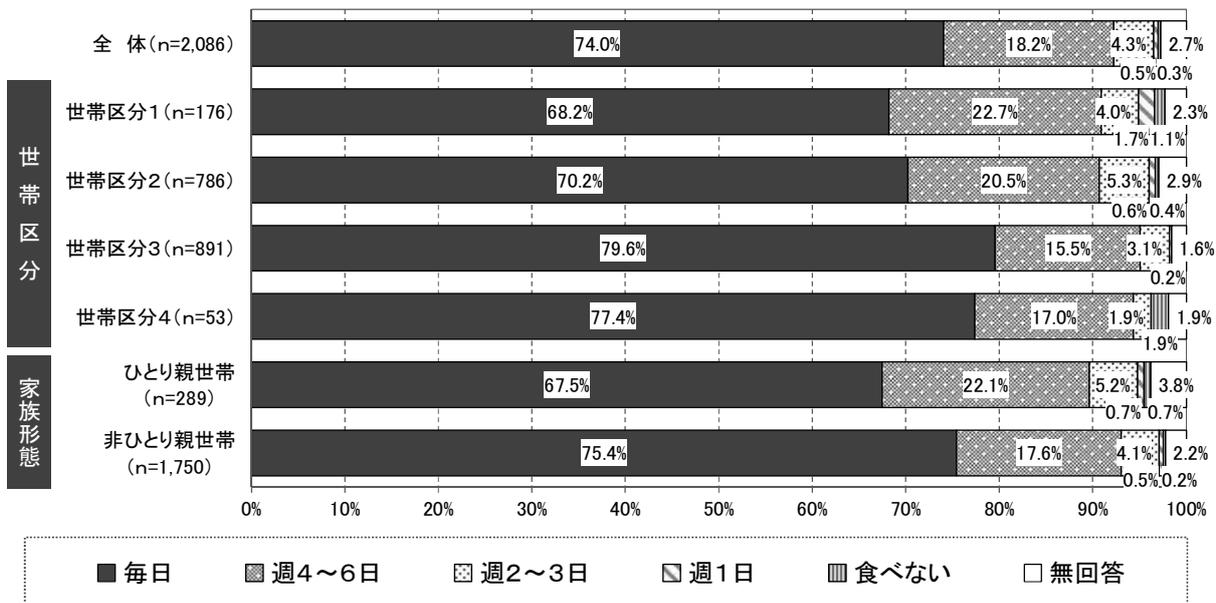
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「毎日」が71.9%と最も高く、次いで、「週4～6日」(17.0%)、「週2～3日」(6.6%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「毎日」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「毎日」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

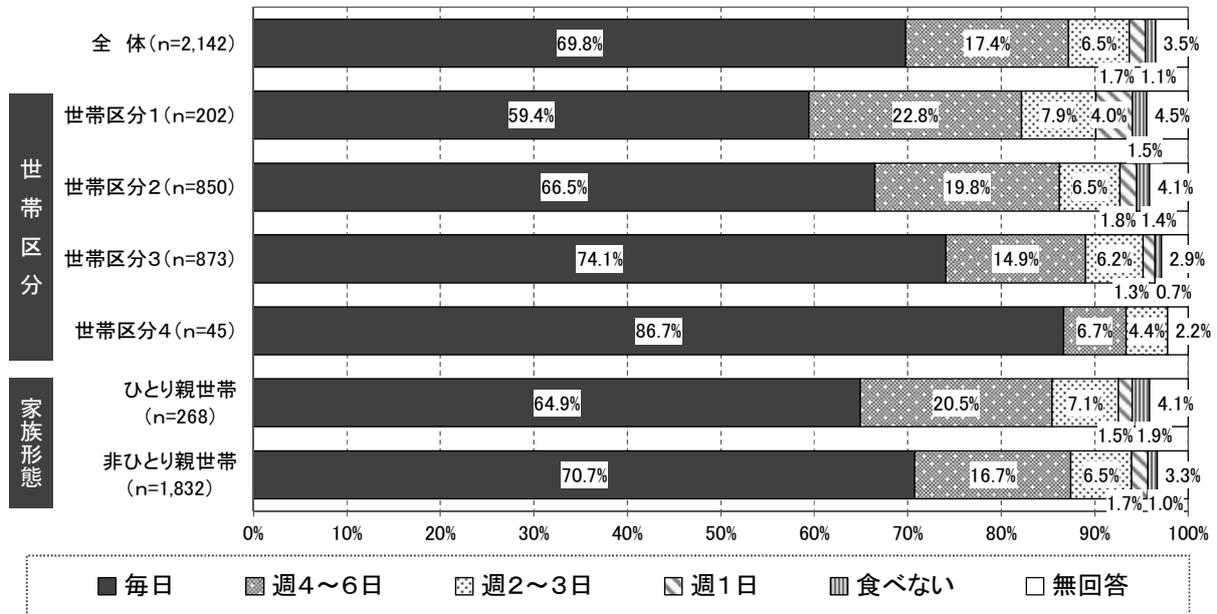
全体では、「毎日」が74.0%と最も高く、次いで、「週4～6日」(18.2%)、「週2～3日」(4.3%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「毎日」の割合が低い傾向にあり、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「毎日」の割合が低くなっています。



問 19 (2) : 給食以外で食べる頻度 (野菜やくだもの)

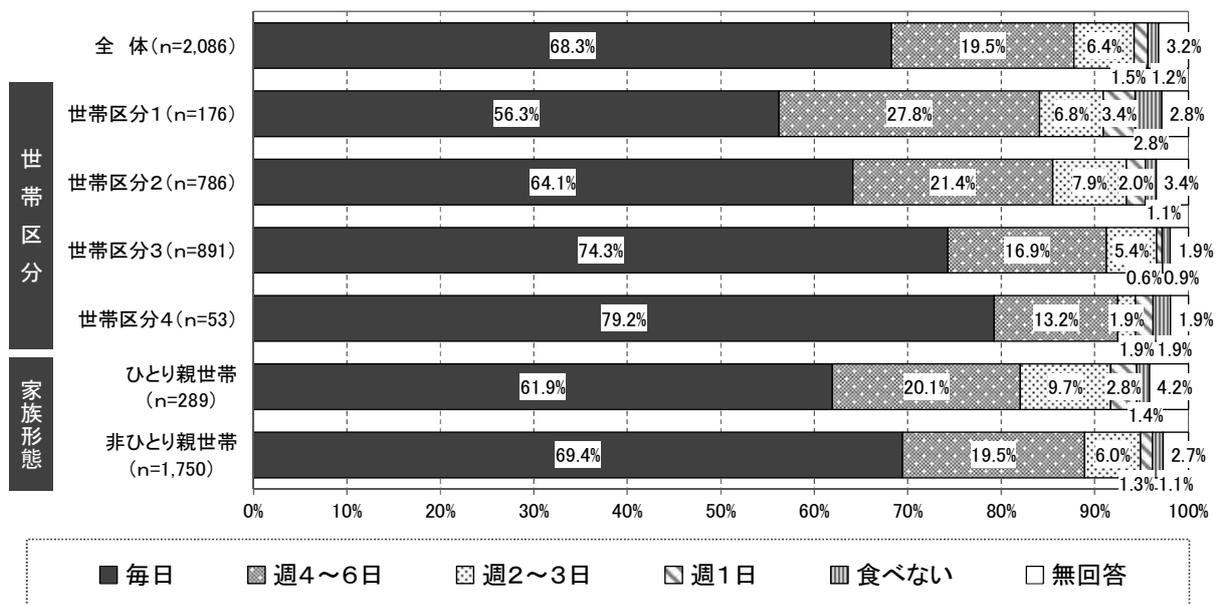
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「毎日」が69.8%と最も高く、次いで、「週4～6日」(17.4%)、「週2～3日」(6.5%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「毎日」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「毎日」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

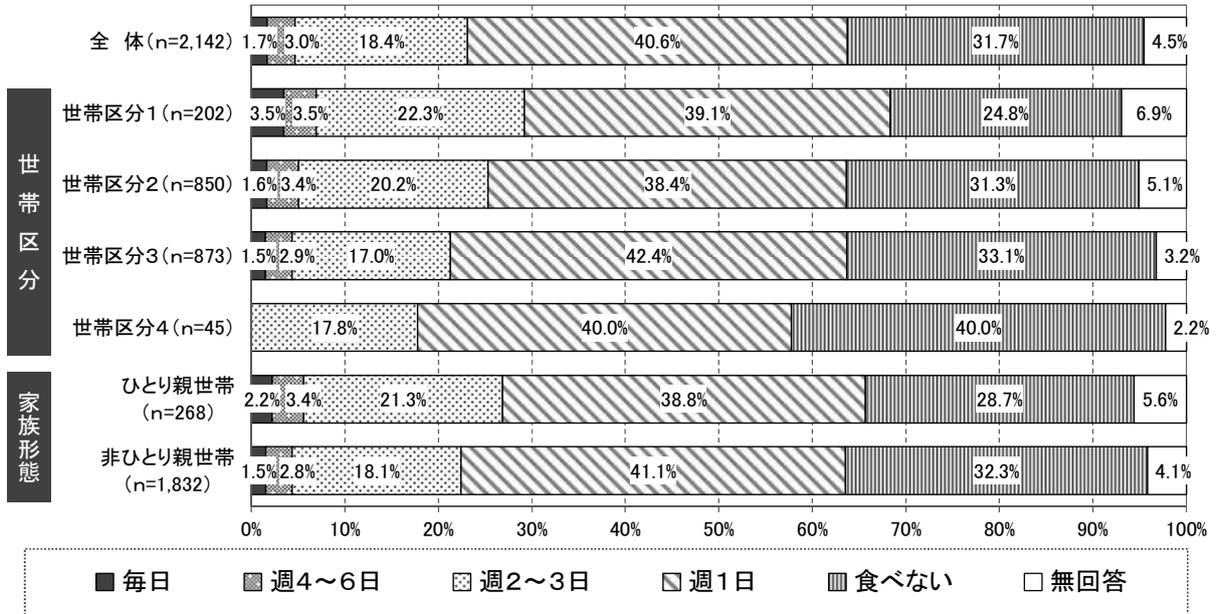
全体では、「毎日」が68.3%と最も高く、次いで、「週4～6日」(19.5%)、「週2～3日」(6.4%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「毎日」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「毎日」の割合が低くなっています。



問 19 (3) : 給食以外で食べる頻度 (インスタント食品 ・ レトルト食品)

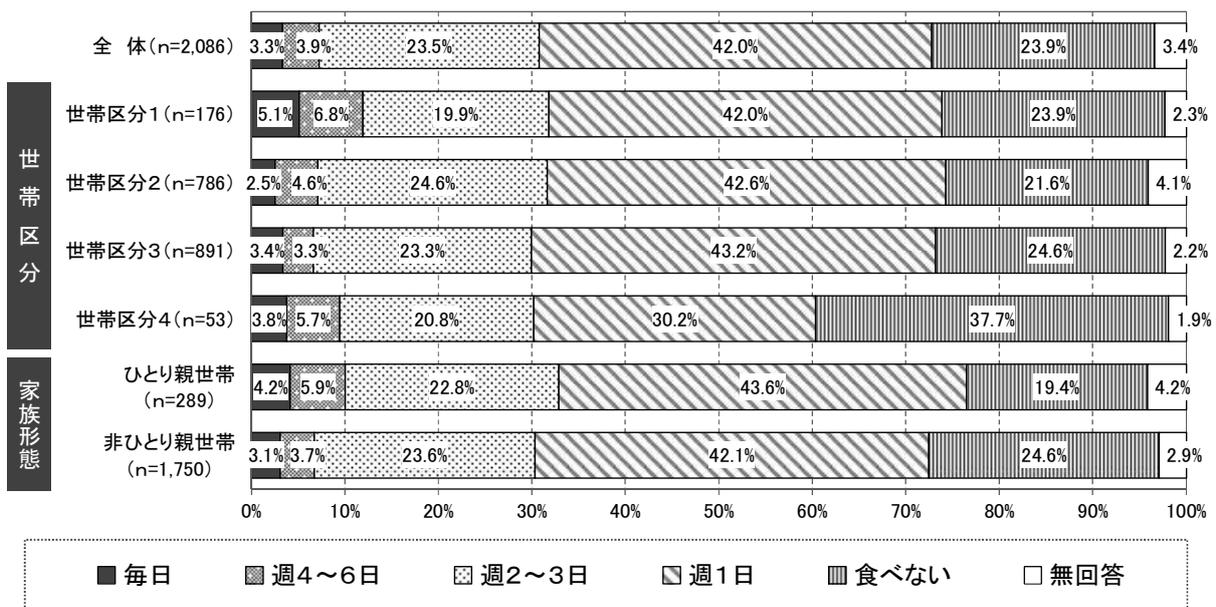
◆ 小学 5 年生 ◆

全体では、「週 1 回」が 40.6% と最も高く、次いで、「食べない」(31.7%)、「週 2 ～ 3 日」(18.4%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「週 2 ～ 3 日」以上の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「週 2 ～ 3 日」以上の割合が高くなっています。



◇ 中学 2 年生 ◇

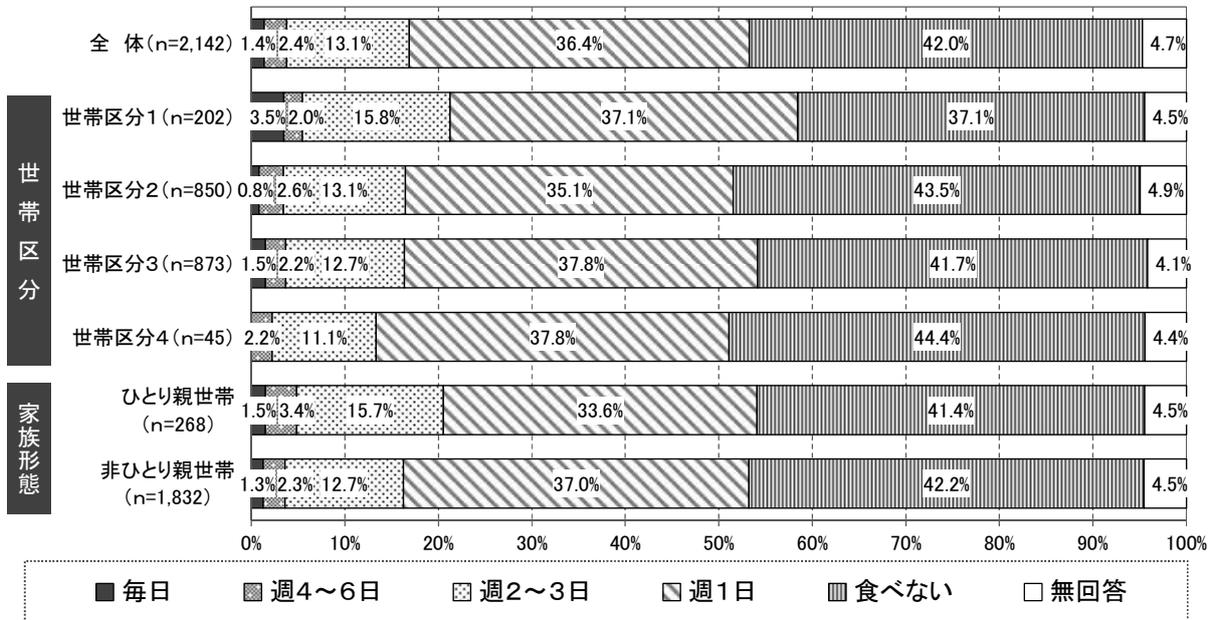
全体では、「週 1 日」が 42.0% と最も高く、次いで、「食べない」(23.9%)、「週 2 ～ 3 日」(23.5%) の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分 4 で「食べない」の割合が高くなっています。



問 19 (4) : 給食以外で食べる頻度 (スーパーやコンビニの弁当や惣菜)

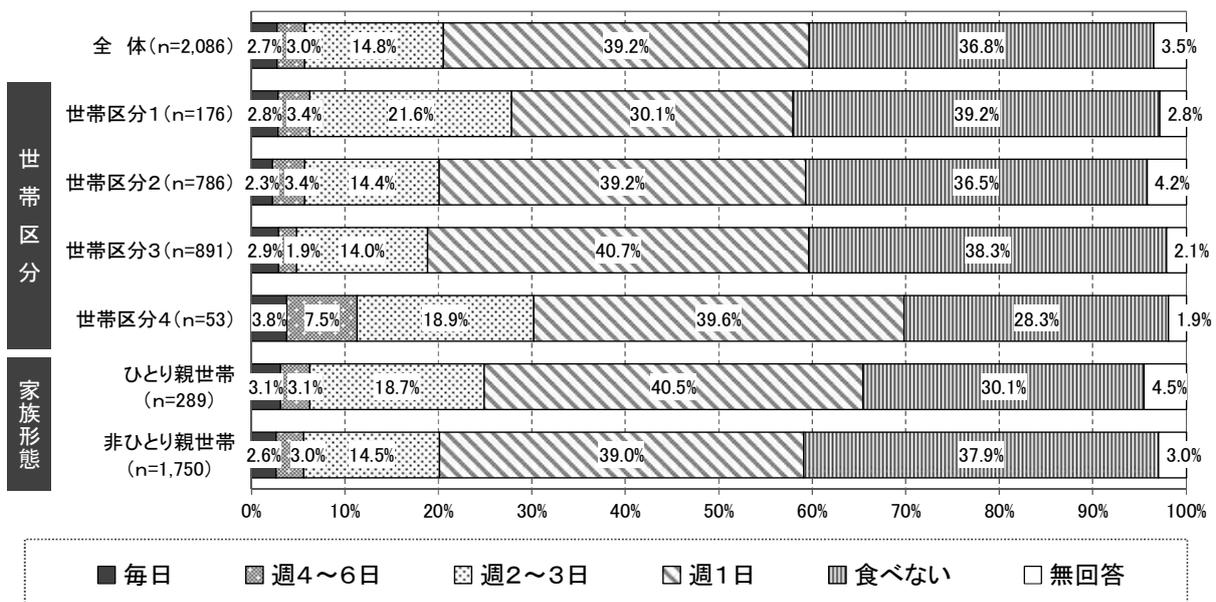
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「食べない」が42.0%と最も高く、次いで、「週1日」(36.4%)、「週2～3日」(13.1%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「週2～3日」以上の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「週2～3日」以上の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

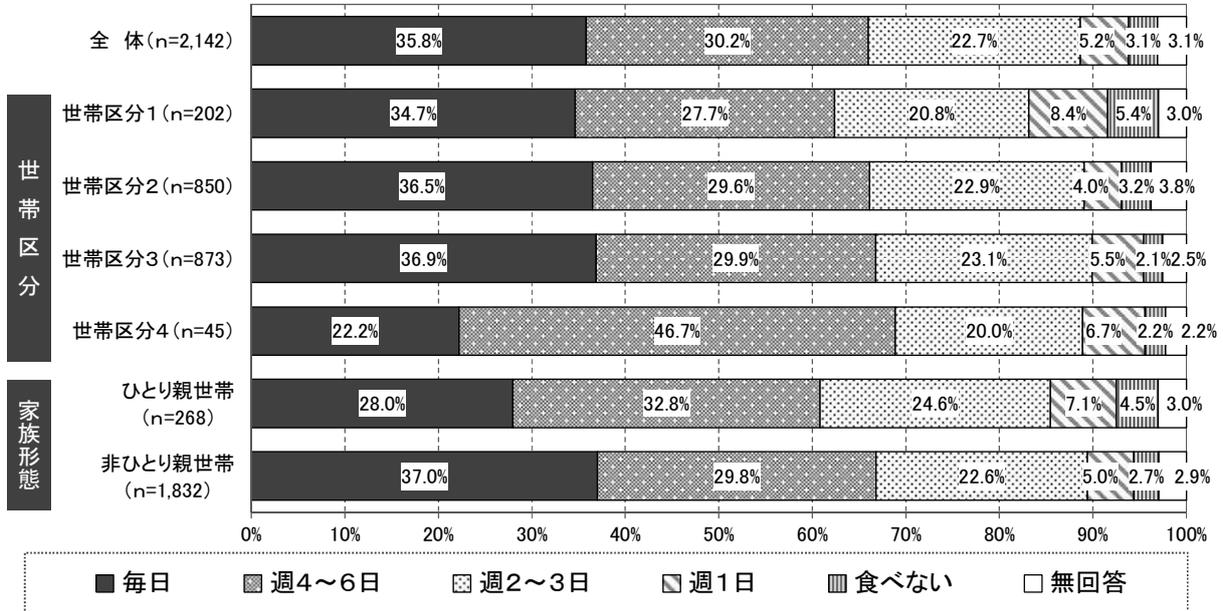
全体では、「週1日」が39.2%と最も高く、次いで、「食べない」(36.8%)、「週2～3日」(14.8%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1と4で「週2～3日」以上の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「週2～3日」以上の割合が高くなっています。



問 19 (5) : 給食以外で食べる頻度 (菓子)

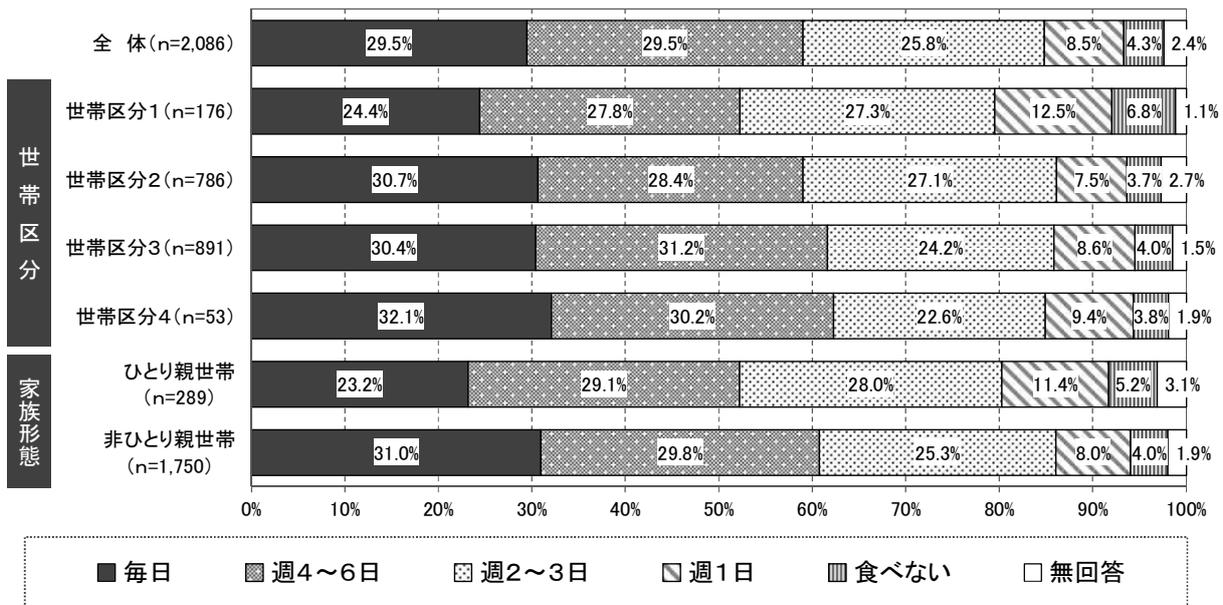
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「毎日」が35.8%と最も高く、次いで、「週4～6日」(30.2%)、「週2～3日」(22.7%)の順となっており、世帯区分4及びひとり親世帯で「毎日」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

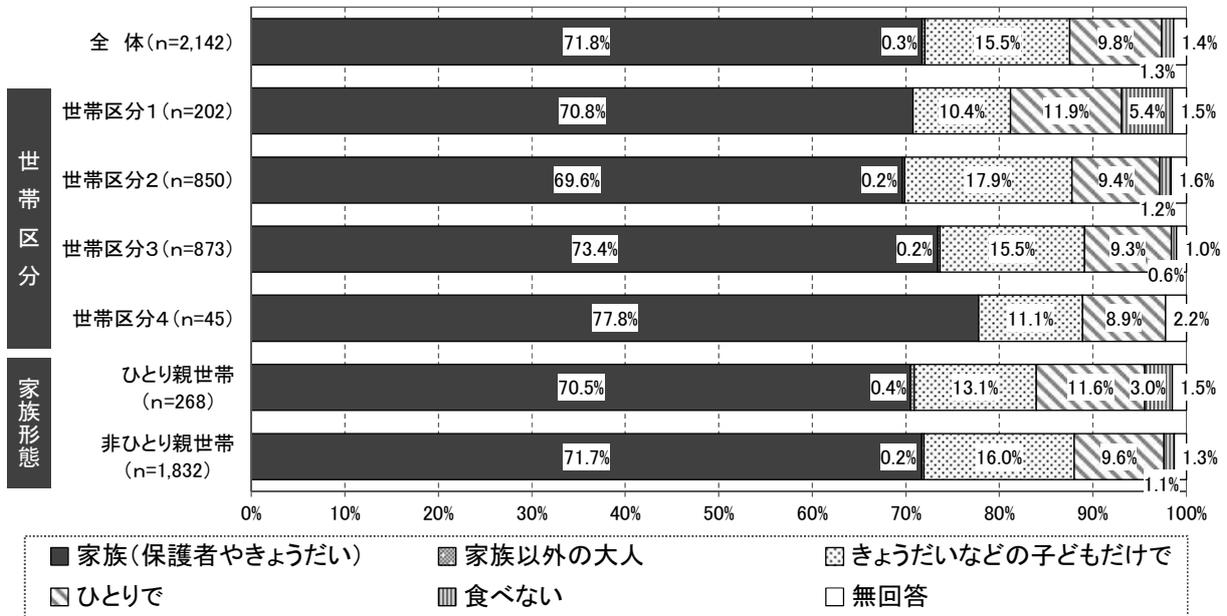
全体では、「毎日」と「週4～6日」が同率で29.5%と最も高く、次いで、「週2～3日」(25.8%)の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「毎日」の割合が低くなっています。



問 20 (1) : 誰と一緒にごはんを食べるか (朝食)

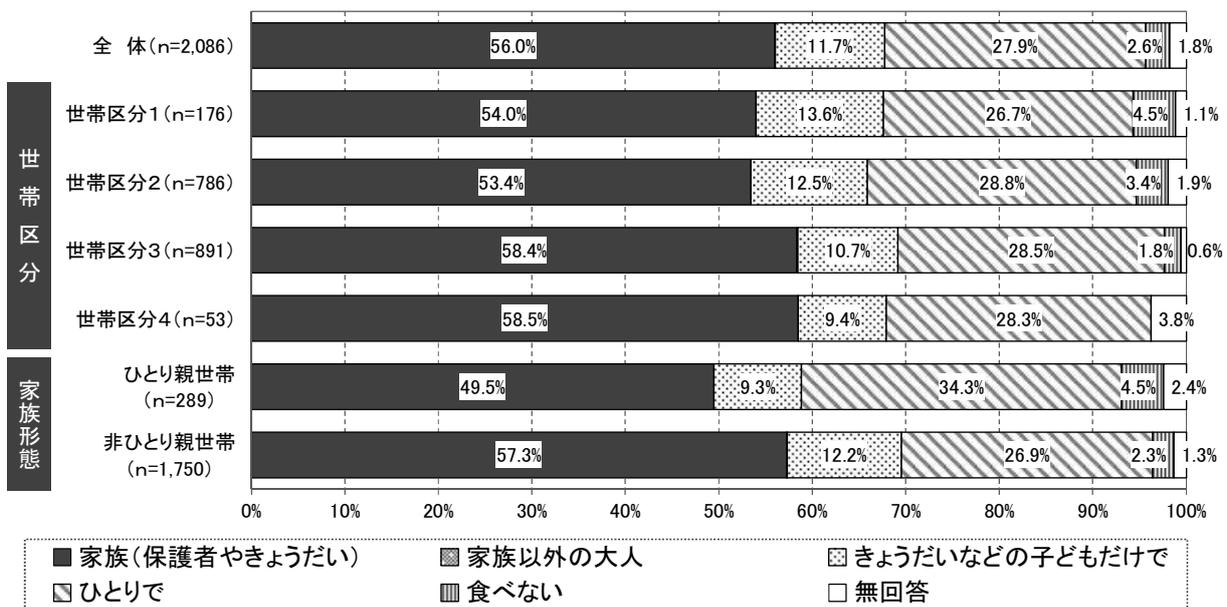
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「家族(保護者やきょうだい)」が71.8%と最も高く、次いで、「きょうだいなどの子どもだけで」(15.5%)、「ひとりで」(9.8%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「食べない」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

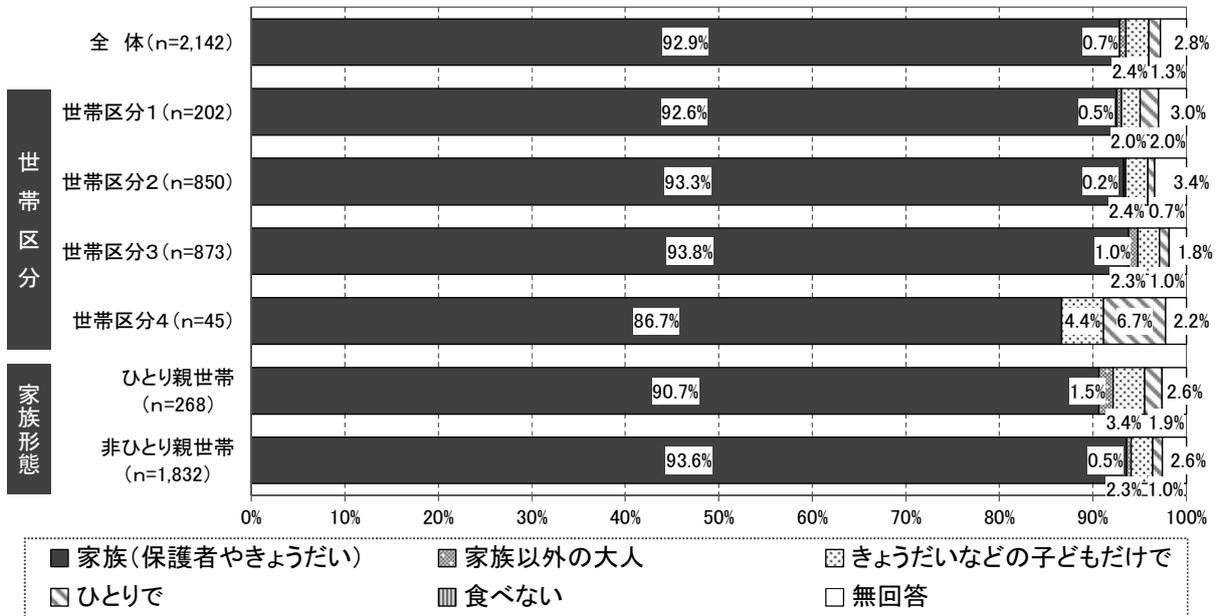
全体では、「家族(保護者やきょうだい)」が56.0%と最も高く、次いで、「ひとりで」(27.9%)、「きょうだいなどの子どもだけで」(11.7%)の順となっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「家族(保護者やきょうだい)」の割合が低くなっています。



問 20 (2) : 誰と一緒にごはんを食べるか (夕食)

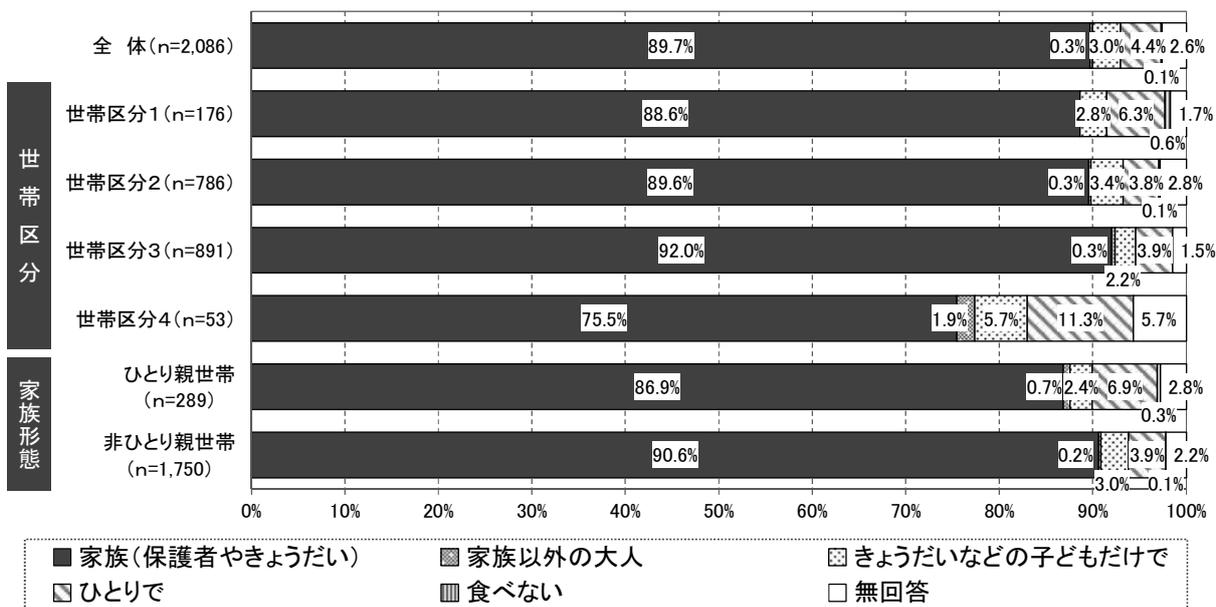
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「家族（保護者やきょうだい）」が92.9%と最も高く、次いで、「きょうだいなどの子どもだけで」（2.4%）、「ひとりで」（1.3%）の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「家族（保護者やきょうだい）」の割合が低く「ひとりで」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

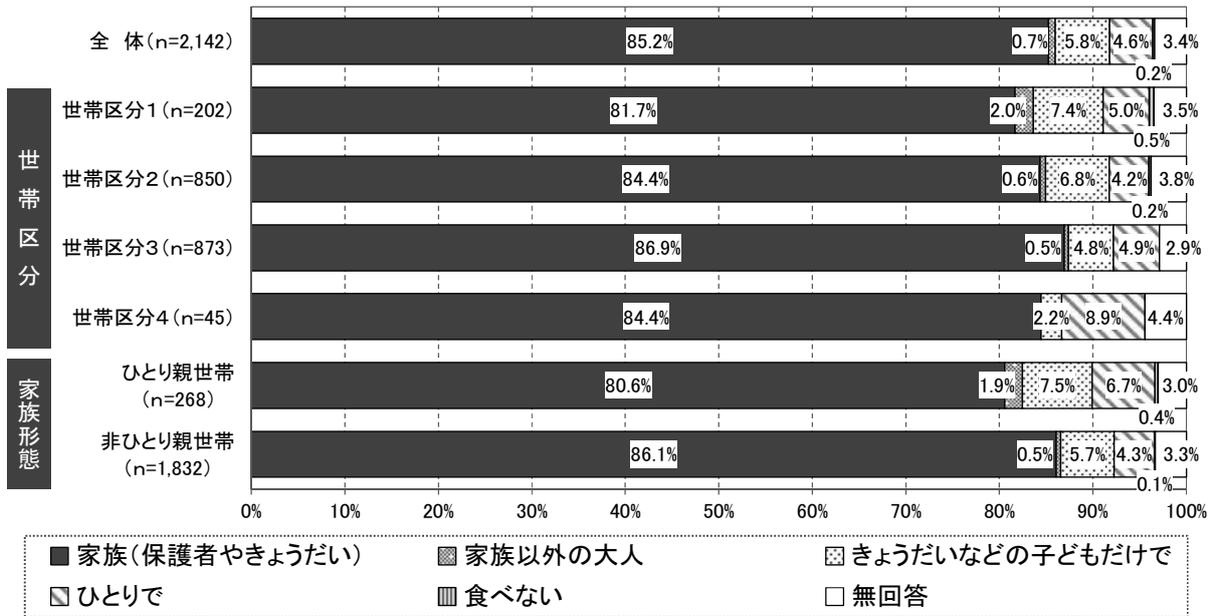
全体では、「家族（保護者やきょうだい）」が89.7%と最も高く、次いで、「ひとりで」（4.4%）、「きょうだいなどの子どもだけで」（3.0%）の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「家族（保護者やきょうだい）」の割合が低く「ひとりで」の割合が高くなっています。



問 20 (3) : 誰と一緒にごはんを食べるか (休みの日の昼食)

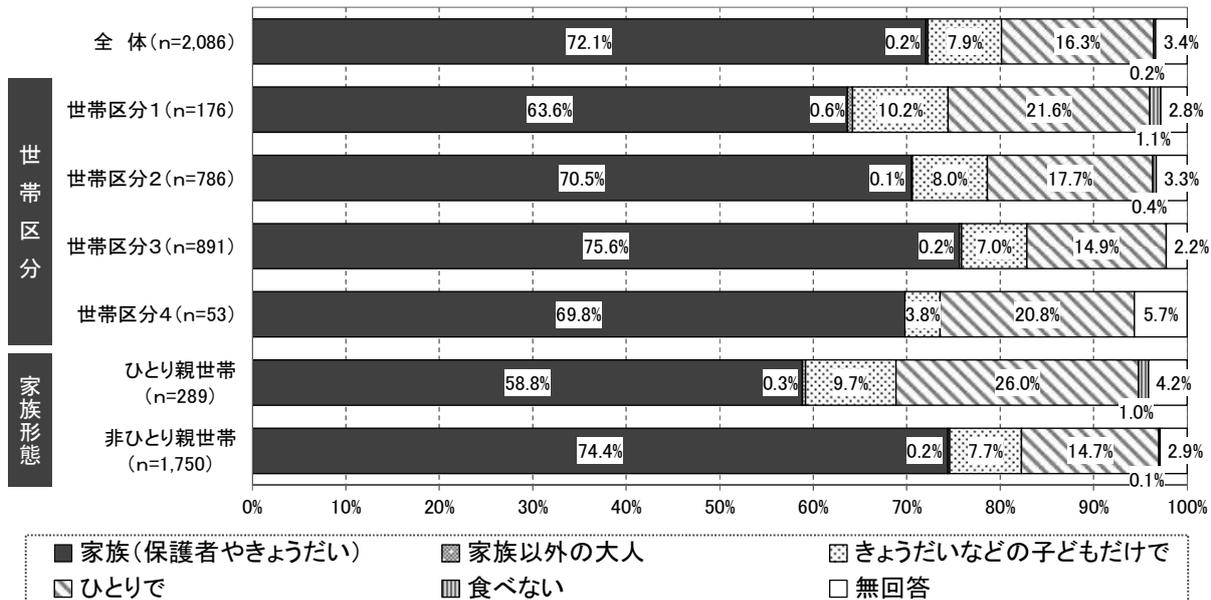
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「家族(保護者やきょうだい)」が85.2%と最も高く、次いで、「きょうだいなどの子どもだけで」(5.8%)、「ひとりで」(4.6%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「ひとりで」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「家族(保護者やきょうだい)」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

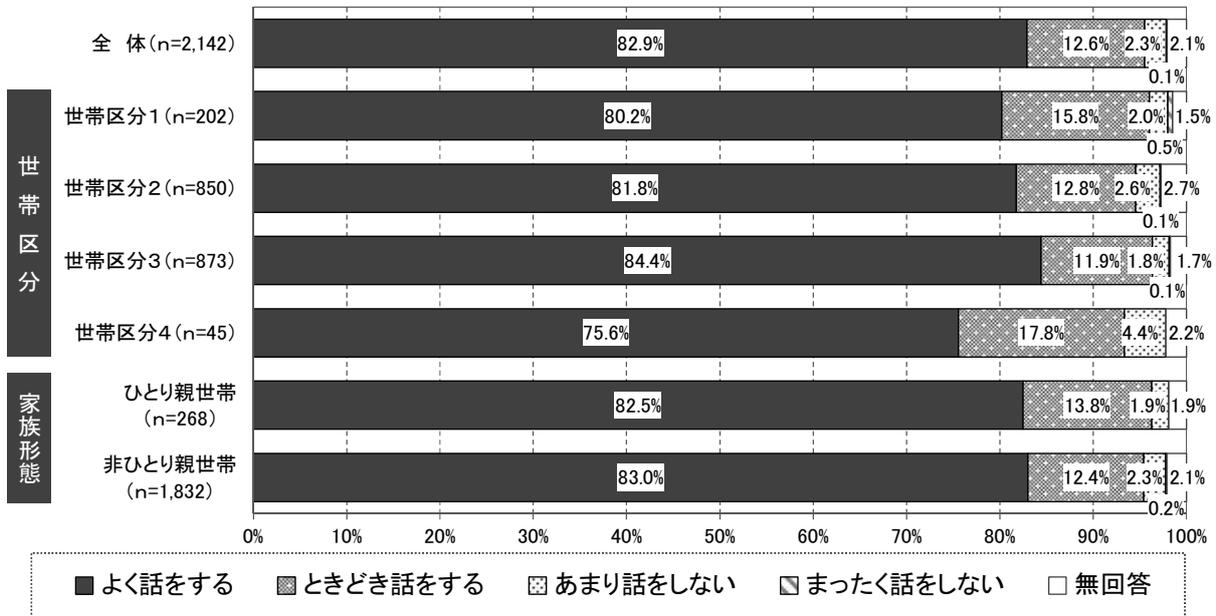
全体では、「家族(保護者やきょうだい)」が72.1%と最も高く、次いで、「ひとりで」(16.3%)、「きょうだいなどの子どもだけで」(7.9%)の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「家族(保護者やきょうだい)」の割合が低く「ひとりで」の割合が高くなっています。



問 21：家の大人との会話の頻度

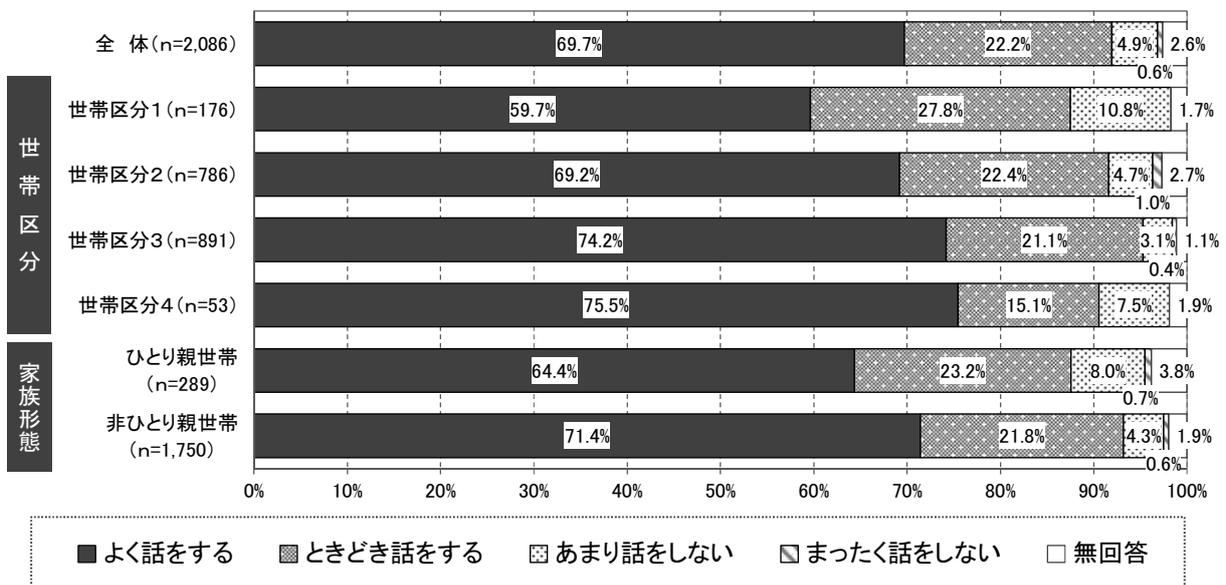
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「よく話をする」が 82.9%と最も高く、次いで、「ときどき話をする」(12.6%)、「あまり話をしない」(2.3%) の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「よく話をする」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「よく話をする」が 69.7%と最も高く、次いで、「ときどき話をする」(22.2%)、「あまり話をしない」(4.9%) となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「よく話をする」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「よく話をする」の割合が低くなっています。

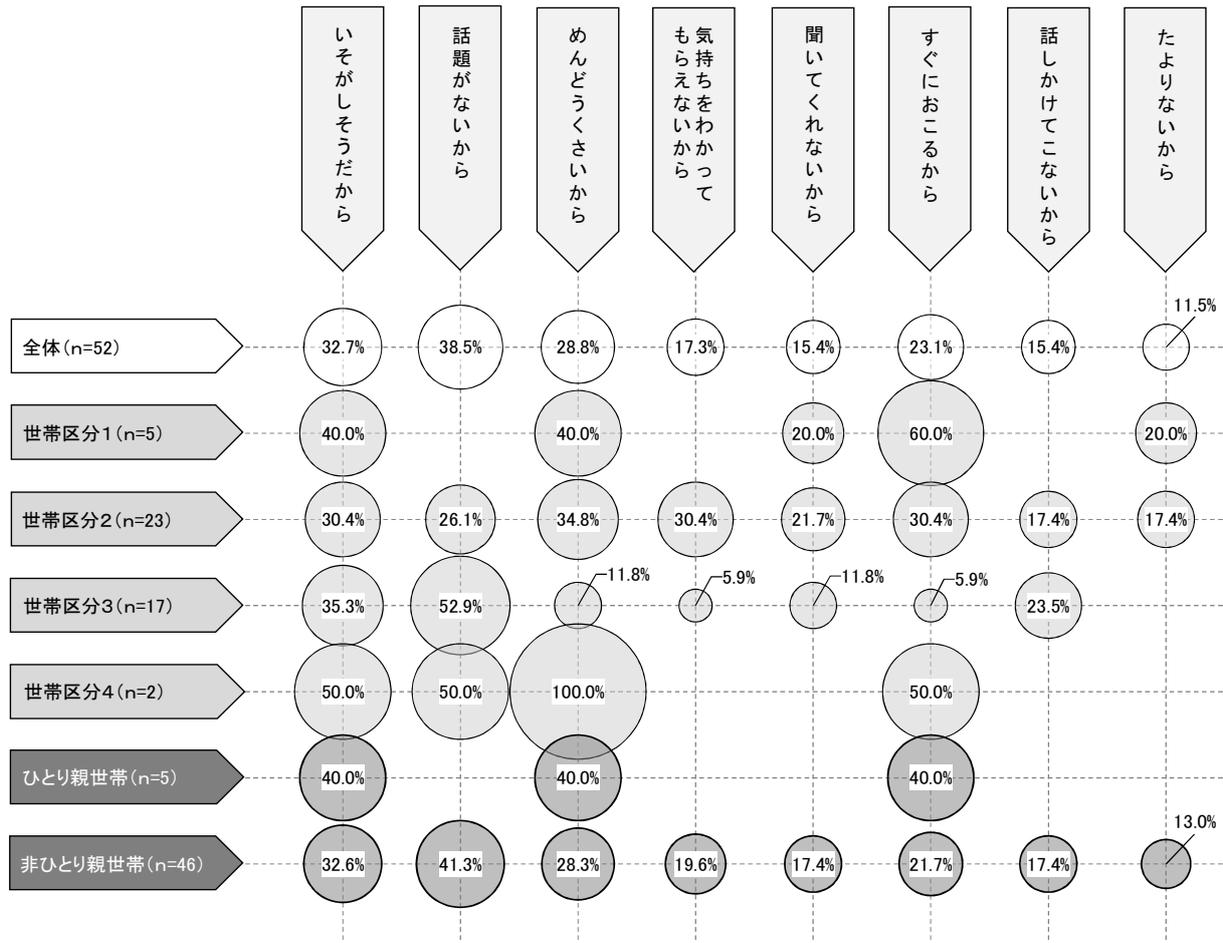


【問 21 で「あまり話をしない」「まったく話をしない」と答えた方のみ】

問 22：その理由は何か 【MA】

◆ 小学5年生 ◆

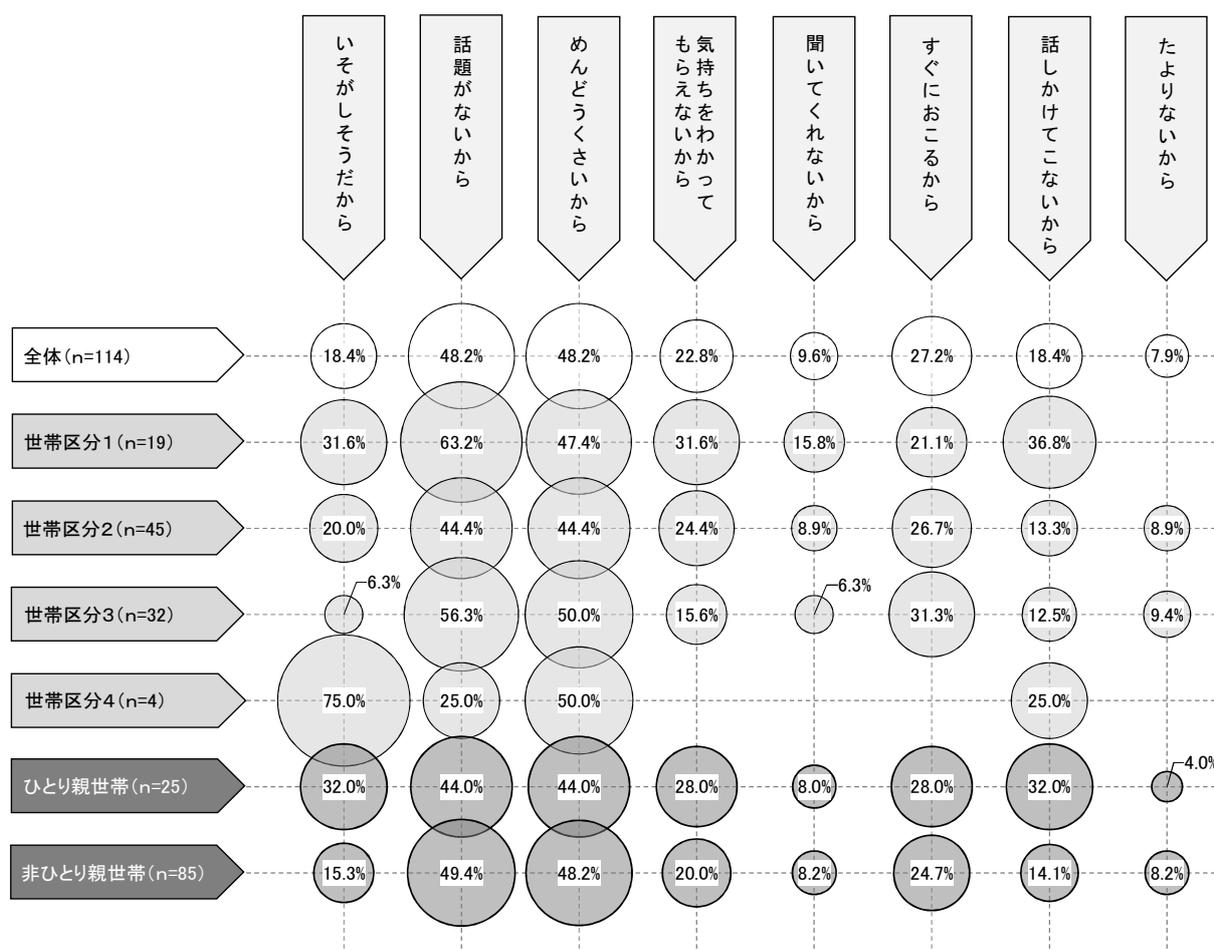
全体では、「話題がないから」が38.5%と最も高く、次いで、「いそがしそうだから」(32.7%)、「めんどくさいから」(28.8%)の順となっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「話題がないから」と「めんどくさいから」が同率で48.2%と最も高く、次いで、「すぐにおこるから」(27.2%)、「気持ちをわかってもらえないから」(22.8%)の順となっています。

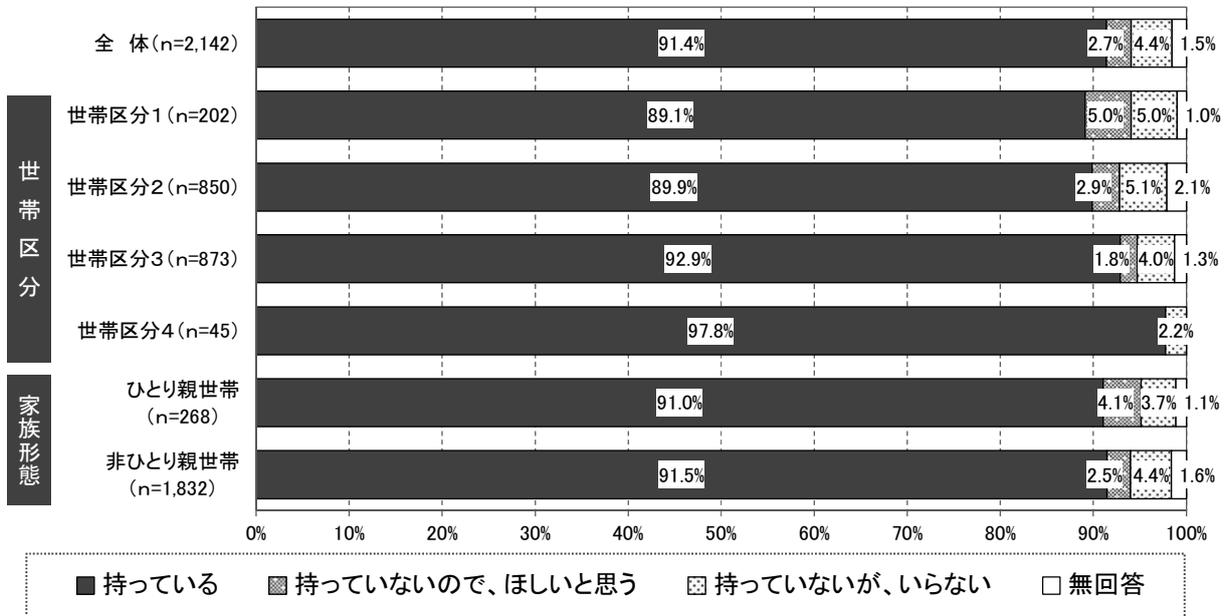
世帯区分でみると、世帯区分1で「話題がないから」・「気持ちをわかってもらえないから」・「話しかけてこないから」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「いそがしそうだから」・「気持ちをわかってもらえないから」・「話しかけてこないから」の割合が高くなっています。



問 23 (1) : 自分の持ち物や使えるものがあるか (本)

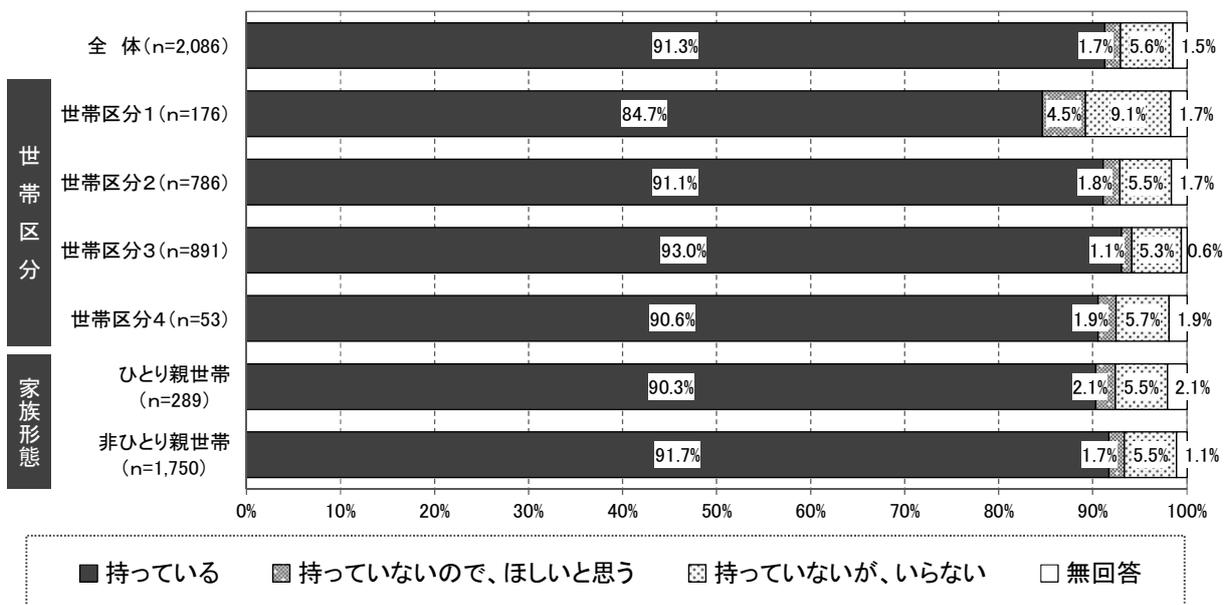
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「持っている」が91.4%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(4.4%)、「持っていないので、ほしいと思う」(2.7%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「持っている」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

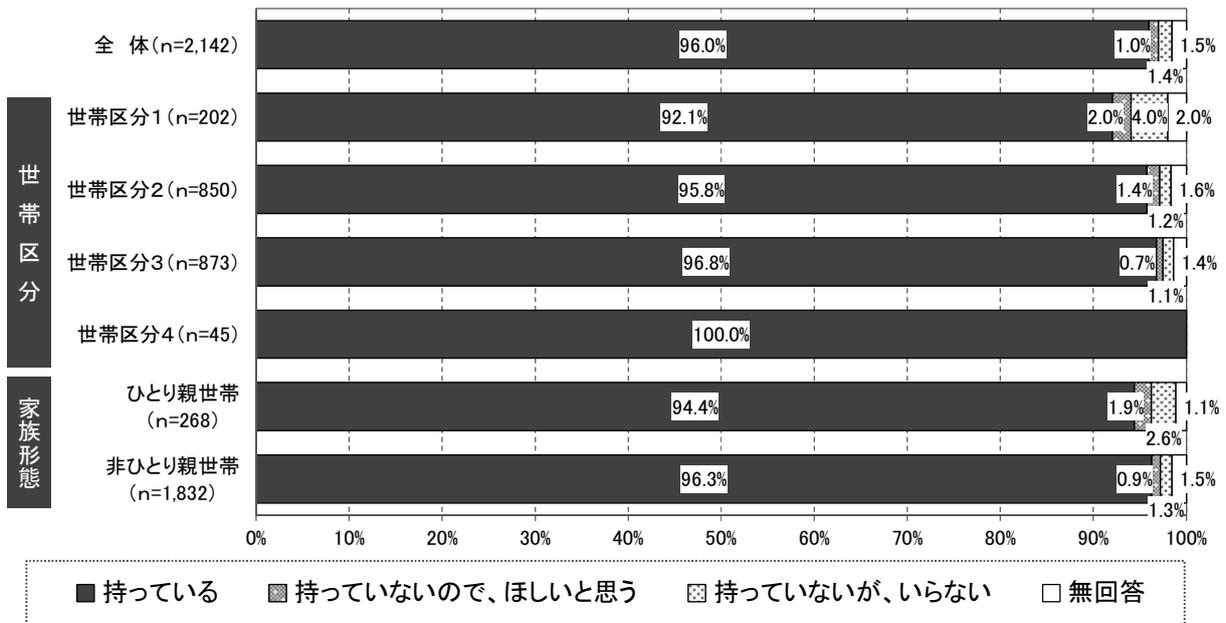
全体では、「持っている」が91.3%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(5.6%)、「持っていないので、ほしいと思う」(1.7%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「持っている」の割合が低くなっています。



問 23 (2) : 自分の持ち物や使えるものがあるか
(たいていの友達が持っている文房具)

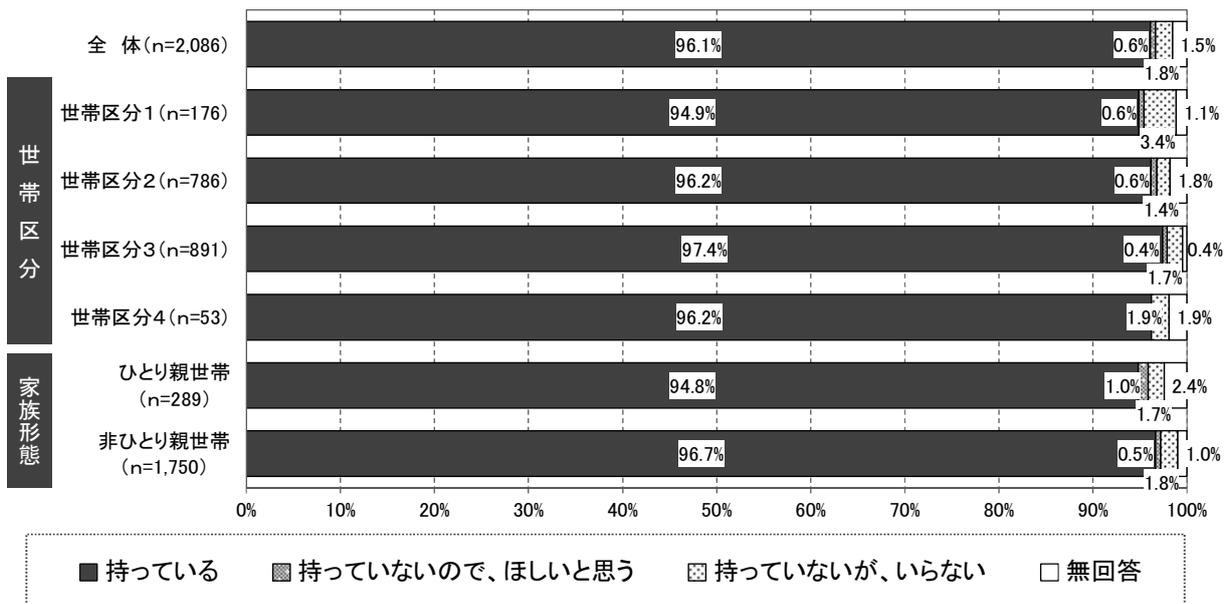
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「持っている」が96.0%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(1.4%)、「持っていないので、ほしいと思う」(1.0%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「持っている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

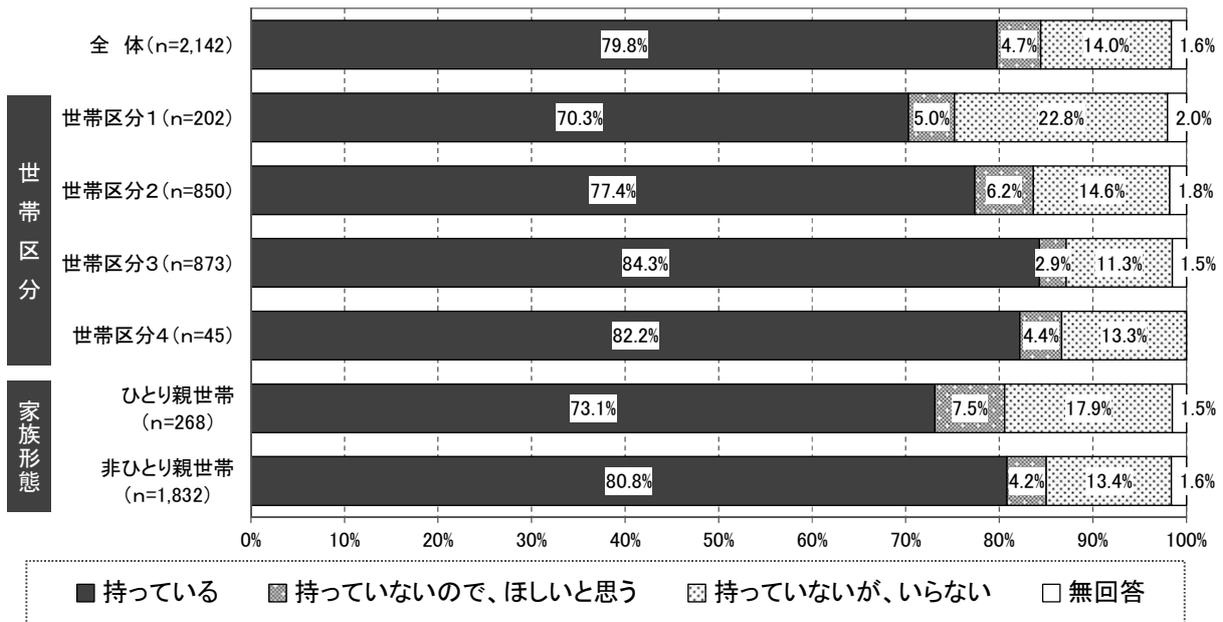
全体では、「持っている」が96.1%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(1.8%)、「持っていないので、ほしいと思う」(0.6%)となっています。



問 23 (3) : 自分の持ち物や使えるものがあるか
(スポーツ用品やレジャー用品)

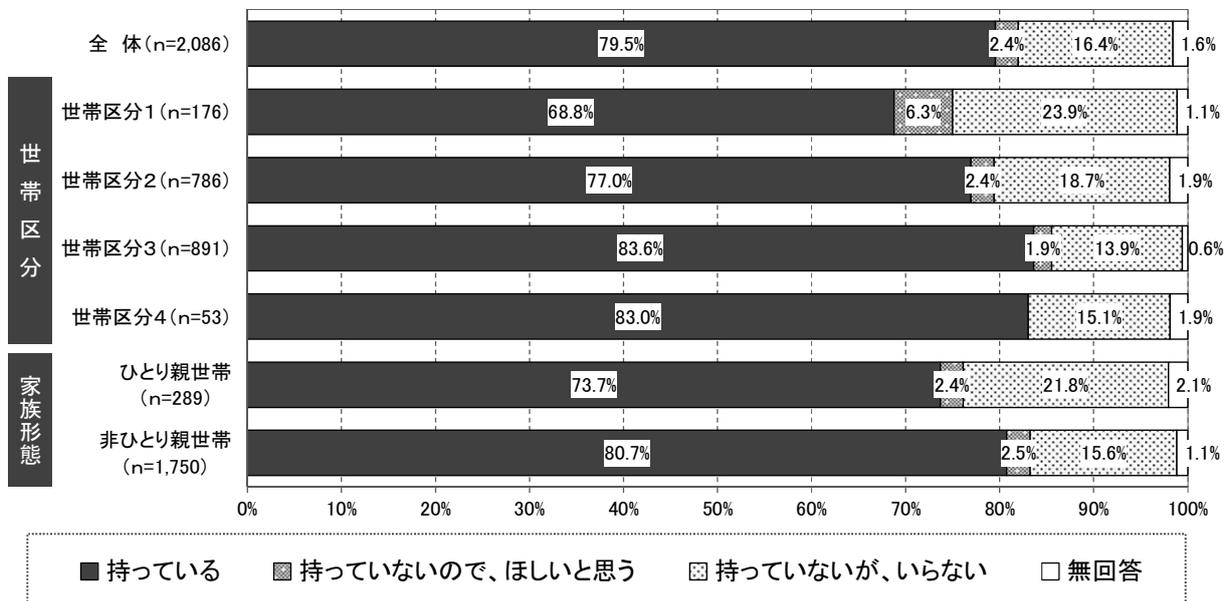
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「持っている」が79.8%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(14.0%)、「持っていないので、ほしいと思う」(4.7%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「持っている」の割合が低い傾向にあり、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

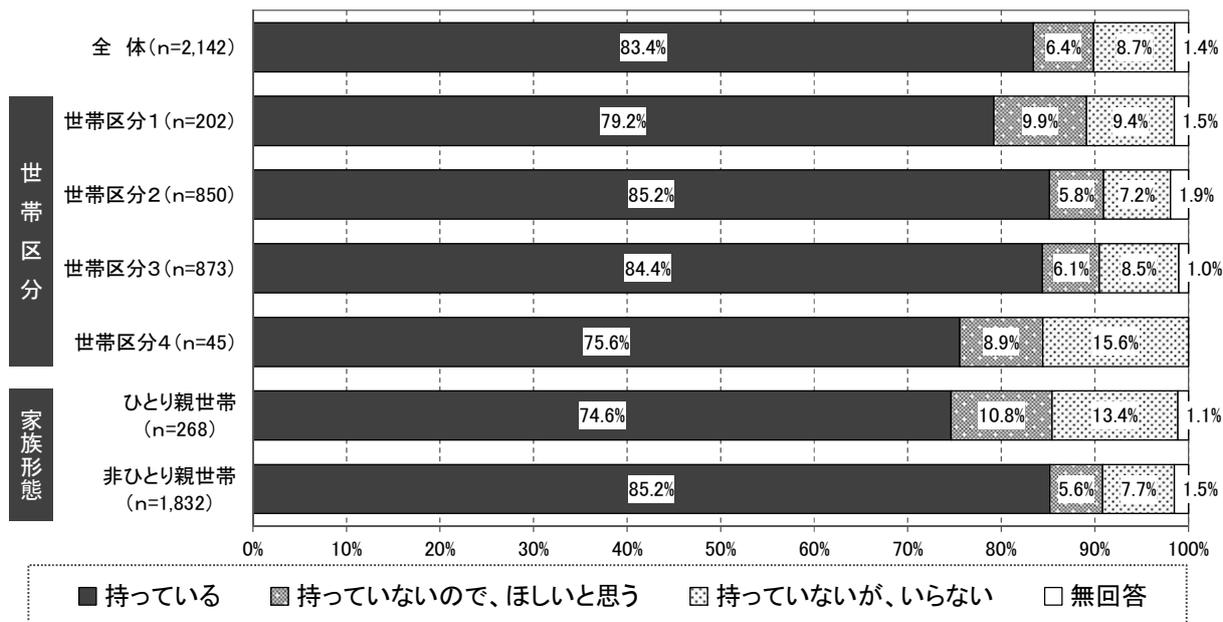
全体では、「持っている」が79.5%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(16.4%)、「持っていないので、ほしいと思う」(2.4%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「持っている」の割合が低い傾向にあり、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が低くなっています。



問 23 (4) : 自分の持ち物や使えるものがあるか (コンピューターゲーム機)

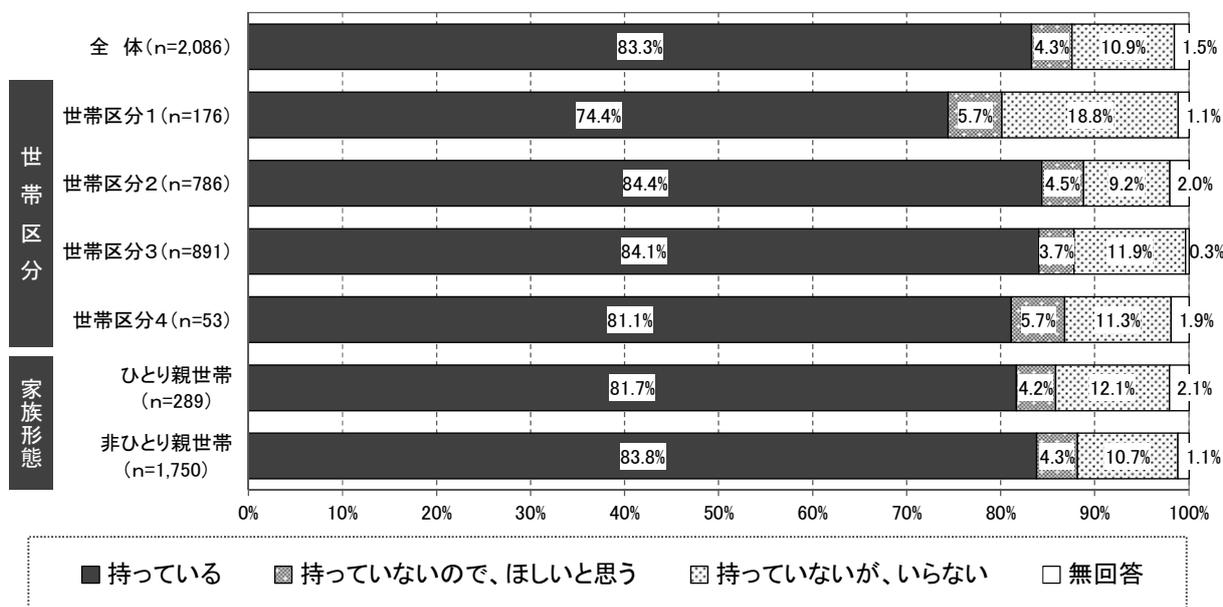
◆ 小学 5 年生 ◆

全体では、「持っている」が 83.4%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(8.7%)、「持っていないので、ほしいと思う」(6.4%) となっています。世帯区分でみると、世帯区分 1 と 4 で「持っている」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が低くなっています。



◇ 中学 2 年生 ◇

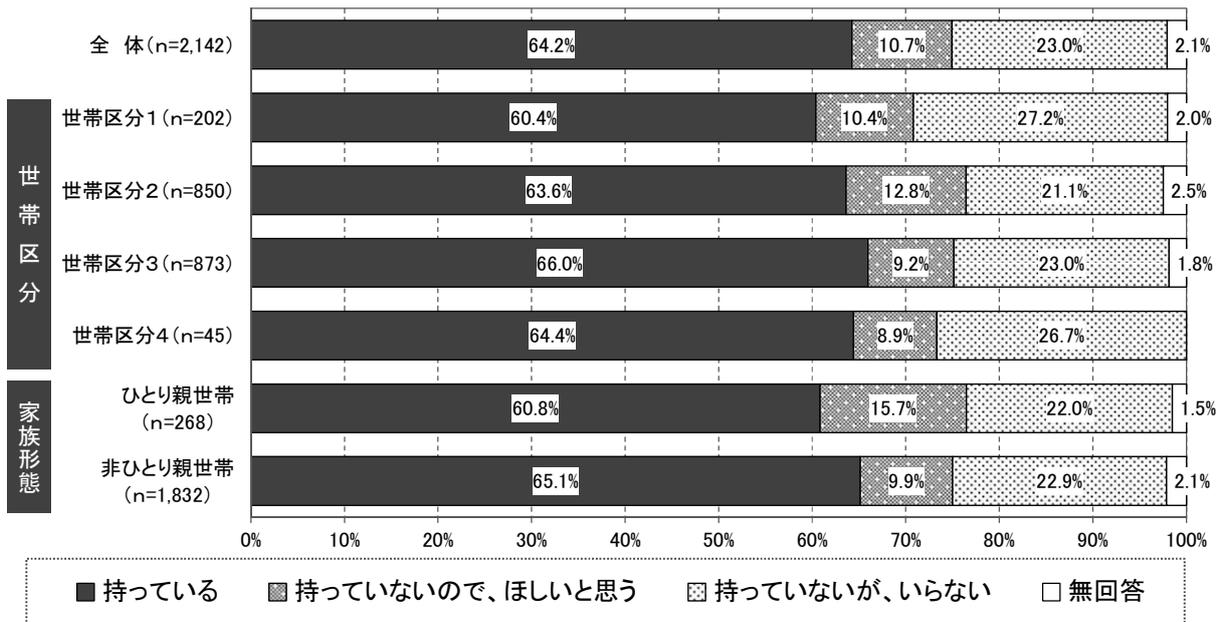
全体では、「持っている」が 83.3%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(10.9%)、「持っていないので、ほしいと思う」(4.3%) となっています。世帯区分でみると、世帯区分 1 で「持っている」の割合が低くなっています。



問 23 (5) : 自分の持ち物や使えるものがあるか
(たいていの友達が持っているおもちゃ)

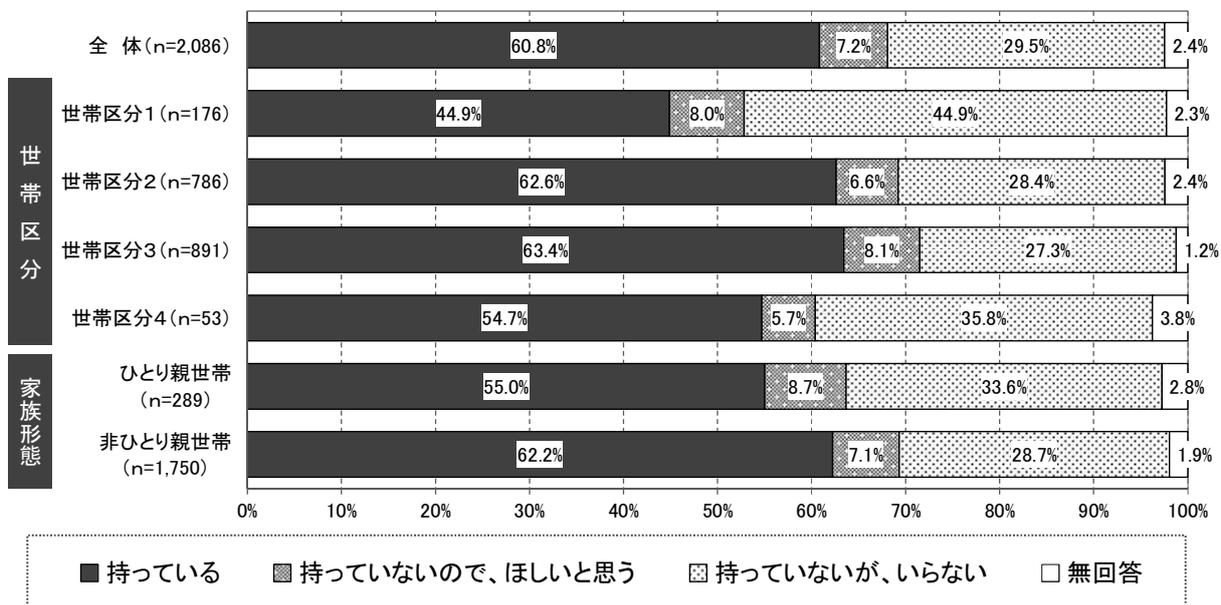
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「持っている」が64.2%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(23.0%)、「持っていないので、ほしいと思う」(10.7%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「持っている」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

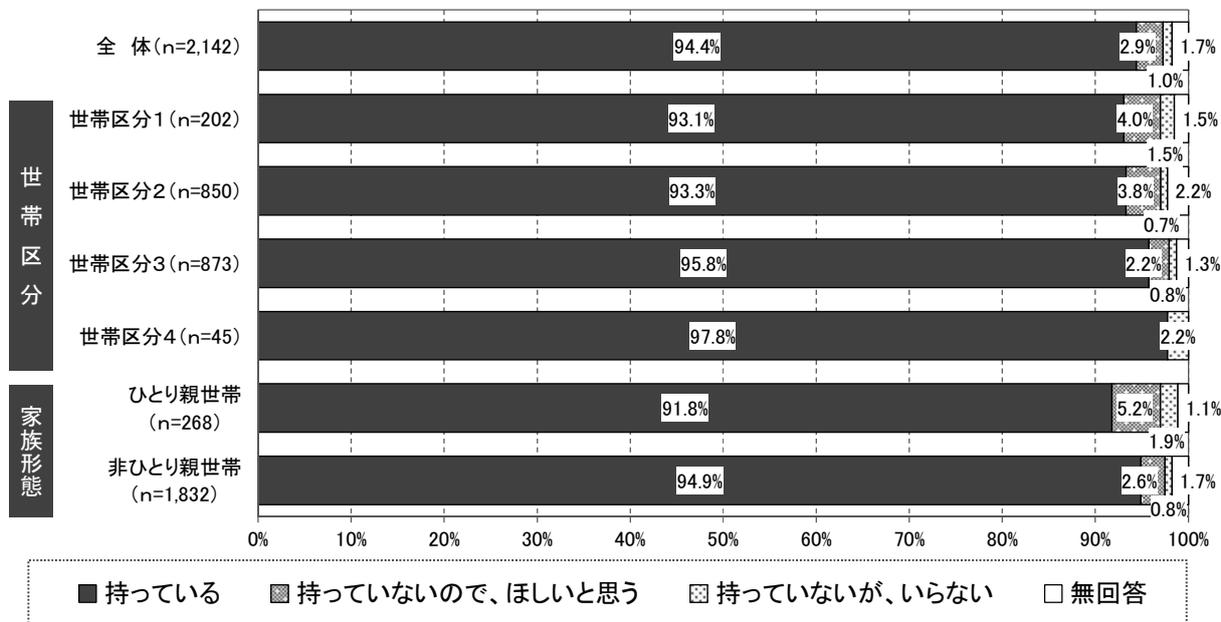
全体では、「持っている」が60.8%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(29.5%)、「持っていないので、ほしいと思う」(7.2%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分1と4で「持っている」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が低くなっています。



問 23 (6) : 自分の持ち物や使えるものがあるか (自転車)

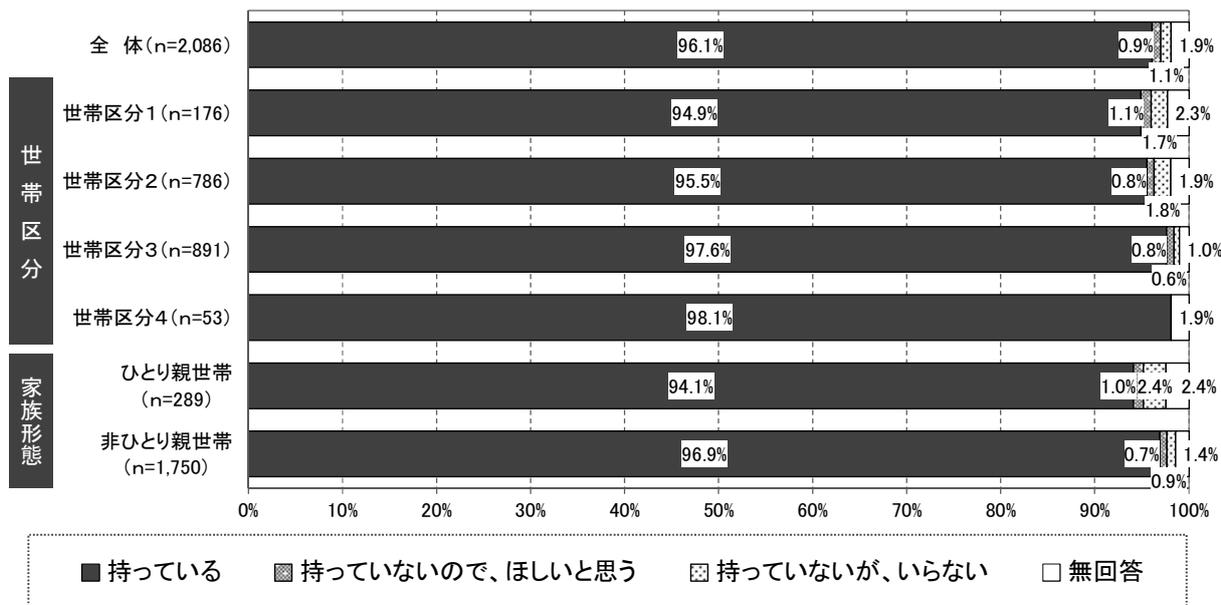
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「持っている」が94.4%と最も高く、次いで、「持っていないので、ほしいと思う」(2.9%)、「持っていないが、いらない」(1.0%)となっています。



◇ 中学2年生 ◇

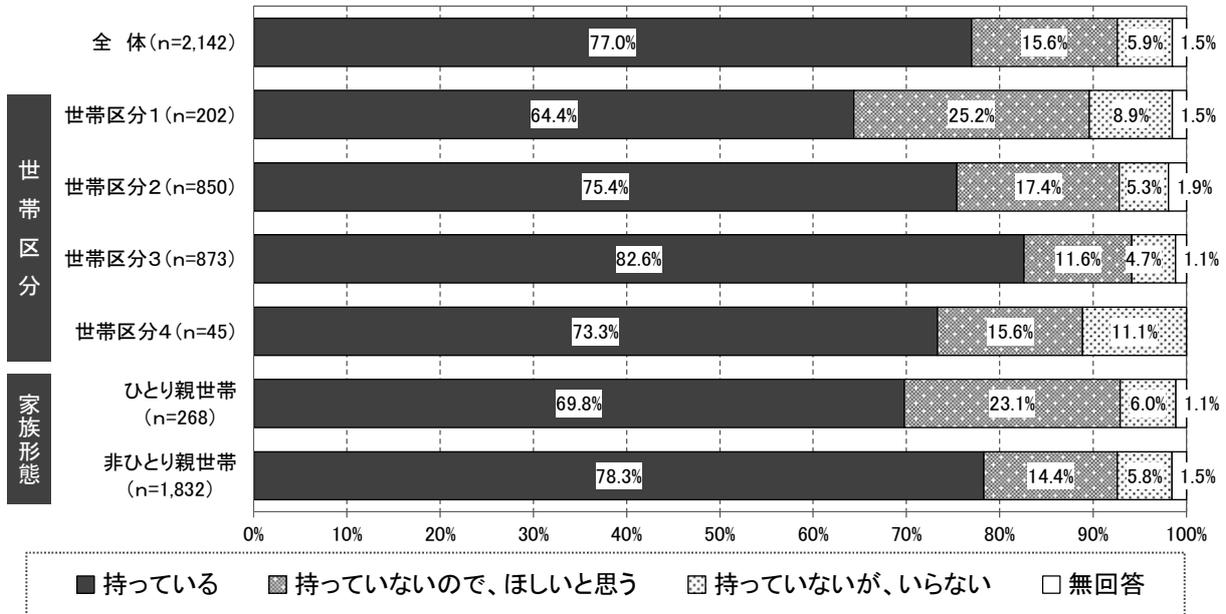
全体では、「持っている」が96.1%と最も高く、次いで、「持っていないが、いらない」(1.1%)、「持っていないので、ほしいと思う」(0.9%)となっています。



問 23 (7) : 自分の持ち物や使えるものがあるか (子ども部屋)

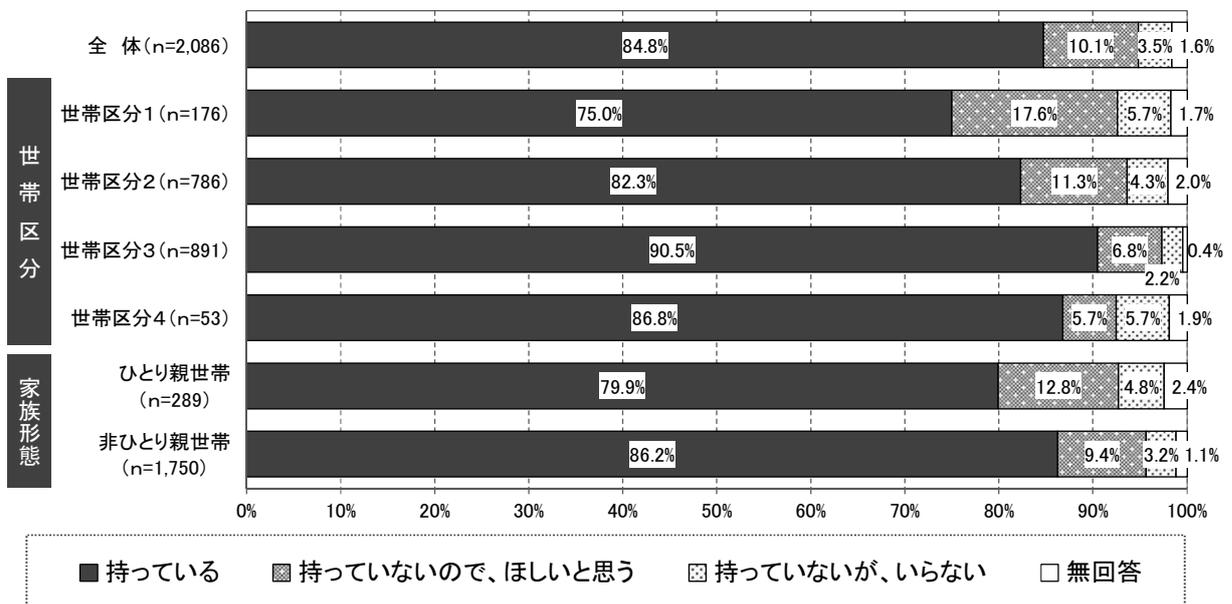
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「持っている」が77.0%と最も高く、次いで、「持っていないので、ほしいと思う」(15.6%)、「持っていないが、いらない」(5.9%)となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「持っている」の割合が低く「持っていないので、ほしいと思う」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

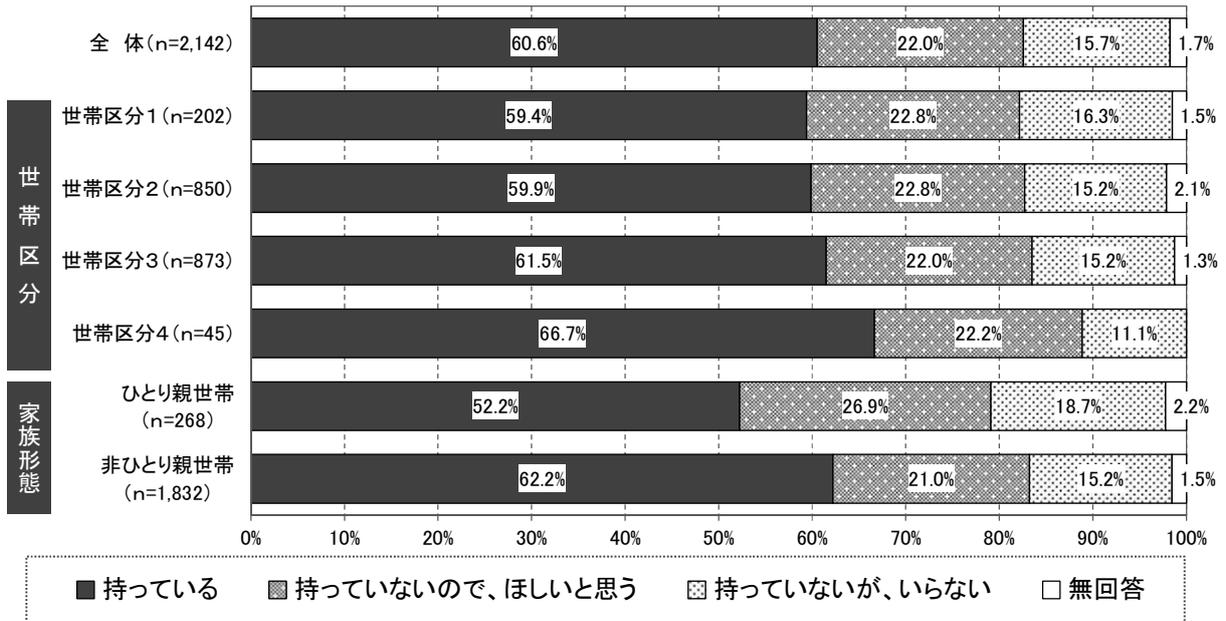
全体では、「持っている」が84.8%と最も高く、次いで、「持っていないので、ほしいと思う」(10.1%)、「持っていないが、いらない」(3.5%)となっています。世帯区分で見ると、世帯区分1で「持っている」の割合が低く「持っていないので、ほしいと思う」の割合が高くなっており、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が低くなっています。



問 23 (8) : 自分の持ち物や使えるものがあるか
(インターネットが使えるパソコンやタブレット機器)

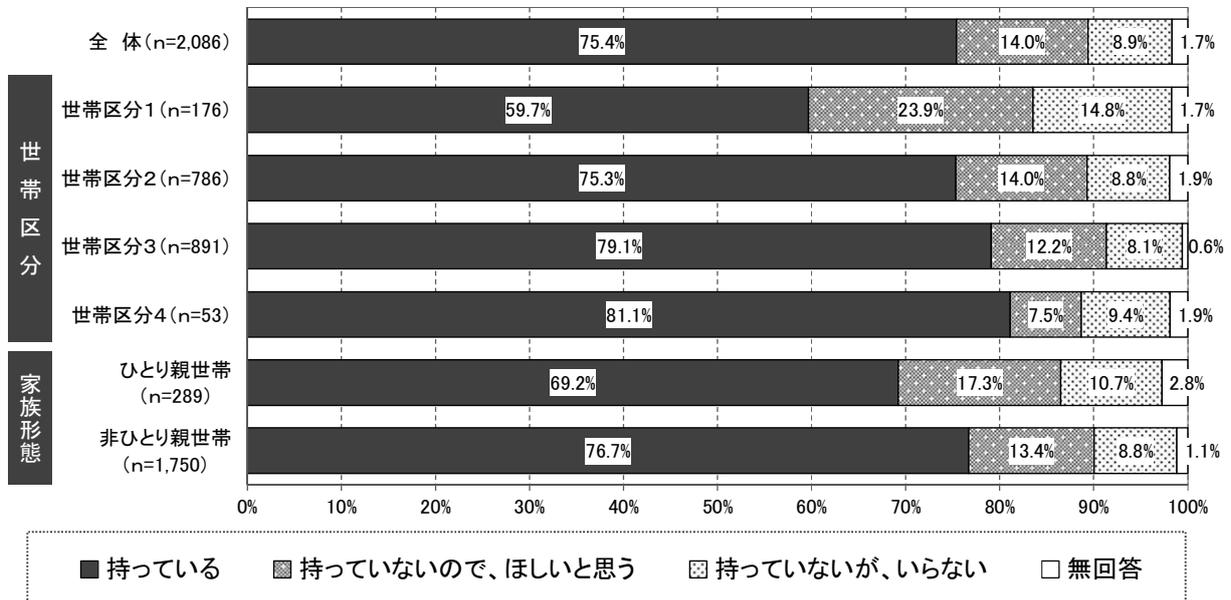
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「持っている」が60.6%と最も高く、次いで、「持っていないので、ほしいと思う」(22.0%)「持っていないが、いらない」(15.7%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「持っている」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

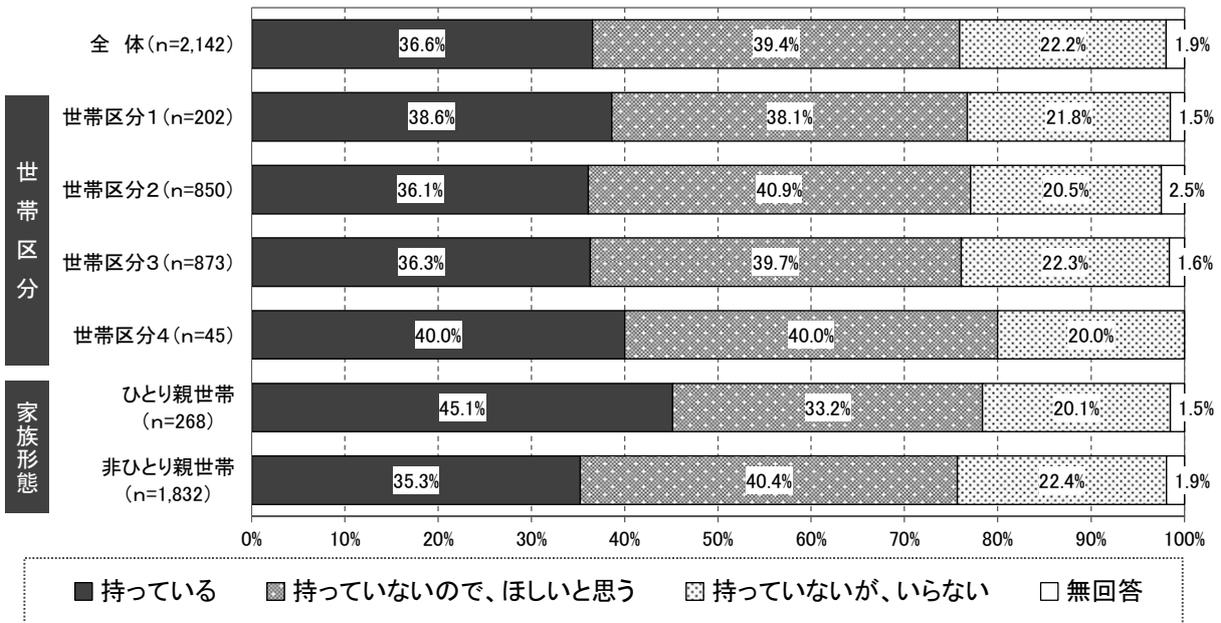
全体では、「持っている」が75.4%と最も高く、次いで、「持っていないので、ほしいと思う」(14.0%)「持っていないが、いらない」(8.9%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「持っている」の割合が低く「持っていないので、ほしいと思う」の割合が高くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が低くなっています。



問 23 (9) : 自分の持ち物や使えるものがあるか
(スマートフォン・携帯電話)

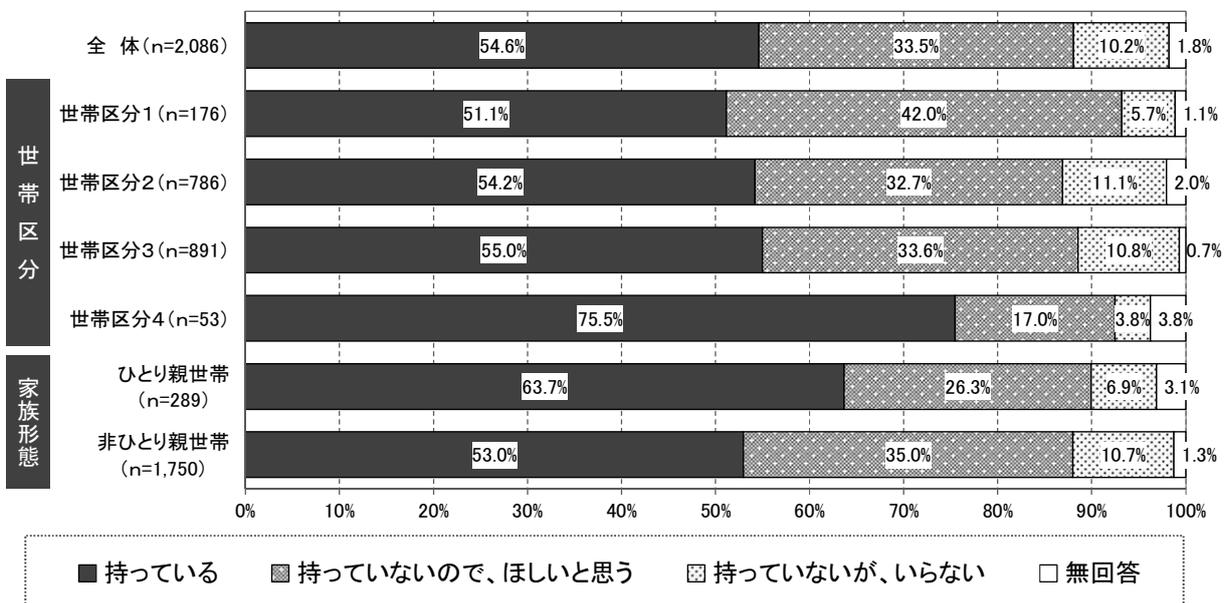
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「持っていないので、ほしいと思う」が39.4%と最も高く、次いで、「持っている」(36.6%)、「持っていないが、いらない」(22.2%)となっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

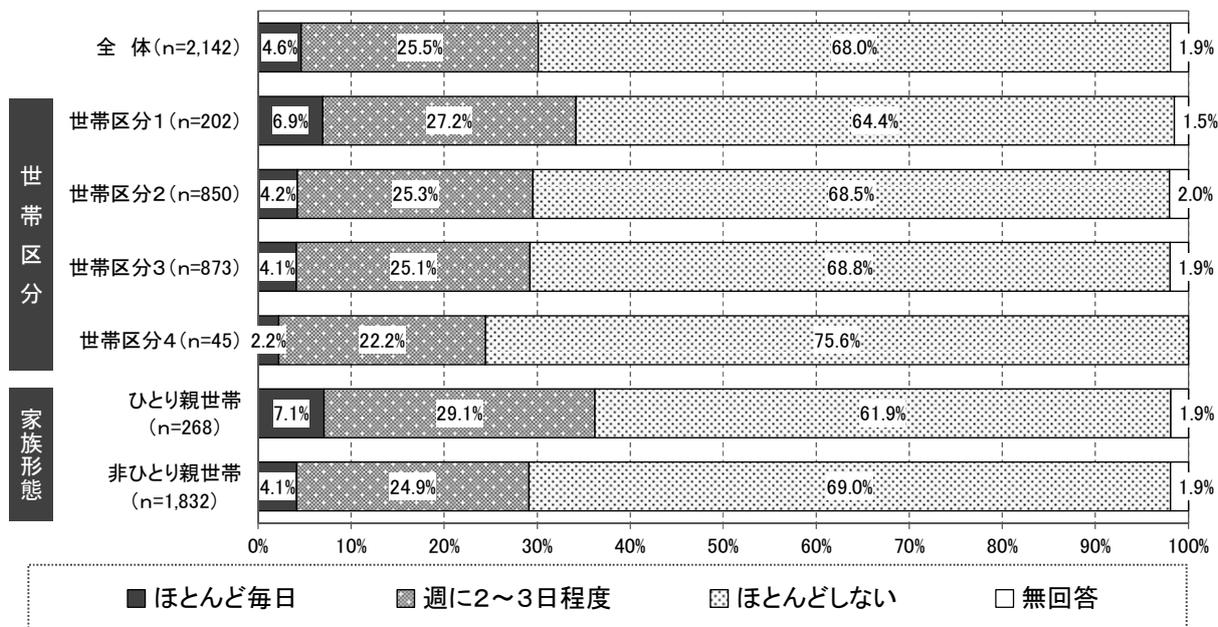
全体では、「持っている」が54.6%と最も高く、次いで、「持っていないので、ほしいと思う」(33.5%)、「持っていないが、いらない」(10.2%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「持っている」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「持っている」の割合が高くなっています。



問 24 (1) : 家の手伝い (食事の買い物)

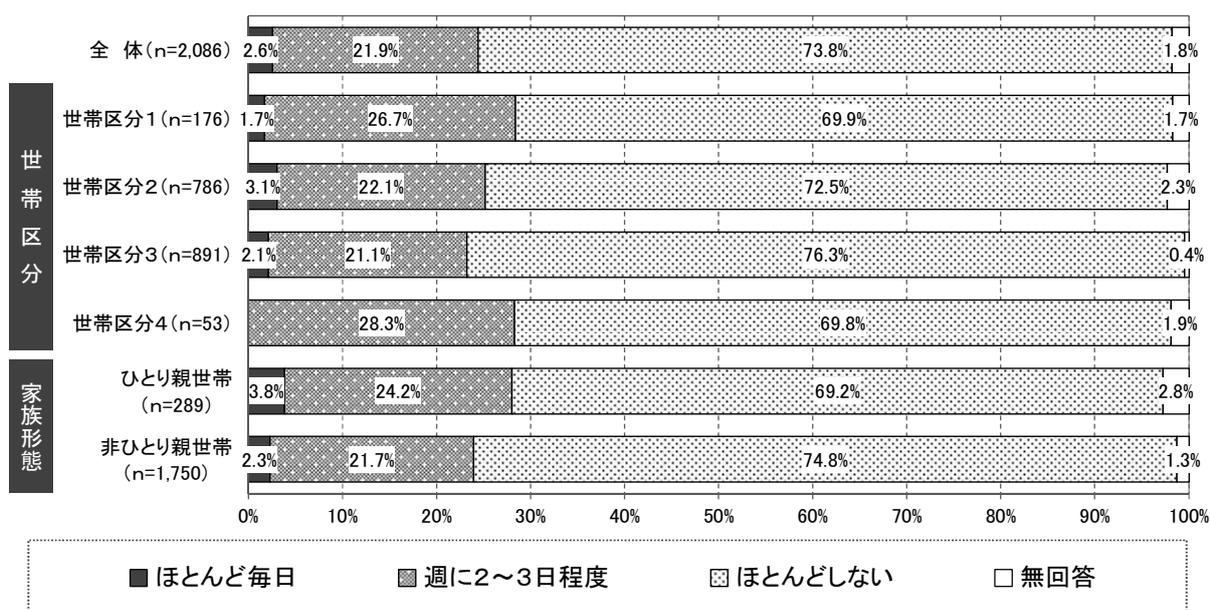
◆ 小学 5 年生 ◆

全体では、「ほとんどしない」が68.0%と最も高く、次いで、「週に2～3日程度」(25.5%)、「ほとんど毎日」(4.6%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど手伝う割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が手伝う割合が高くなっています。



◇ 中学 2 年生 ◇

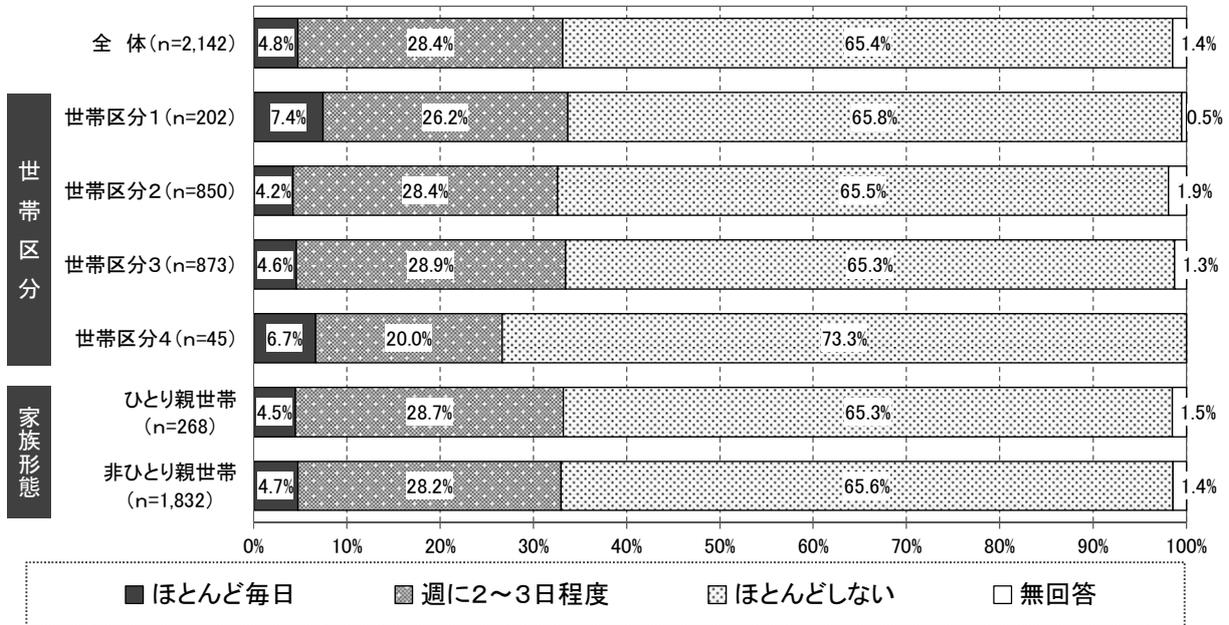
全体では、「ほとんどしない」が73.8%と最も高く、次いで、「週に2～3日程度」(21.9%)、「ほとんど毎日」(2.6%)となっています。



問 24 (2) : 家の手伝い (食事づくり)

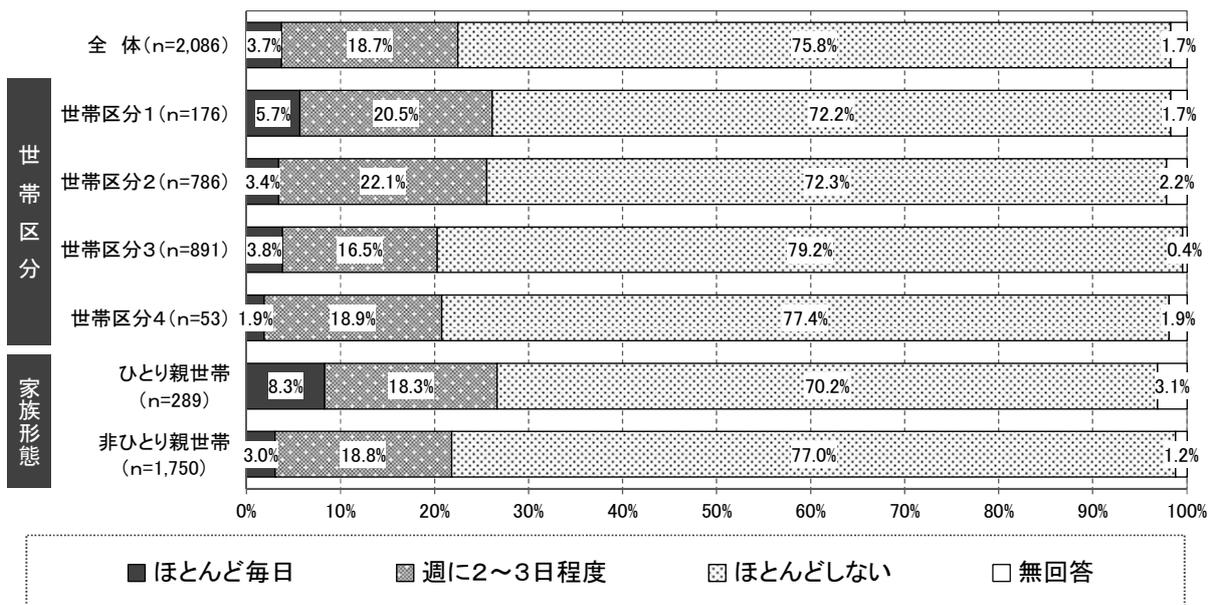
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「ほとんどしない」が65.4%と最も高く、次いで、「週に2～3日程度」(28.4%)、「ほとんど毎日」(4.8%)となっています。



◇ 中学2年生 ◇

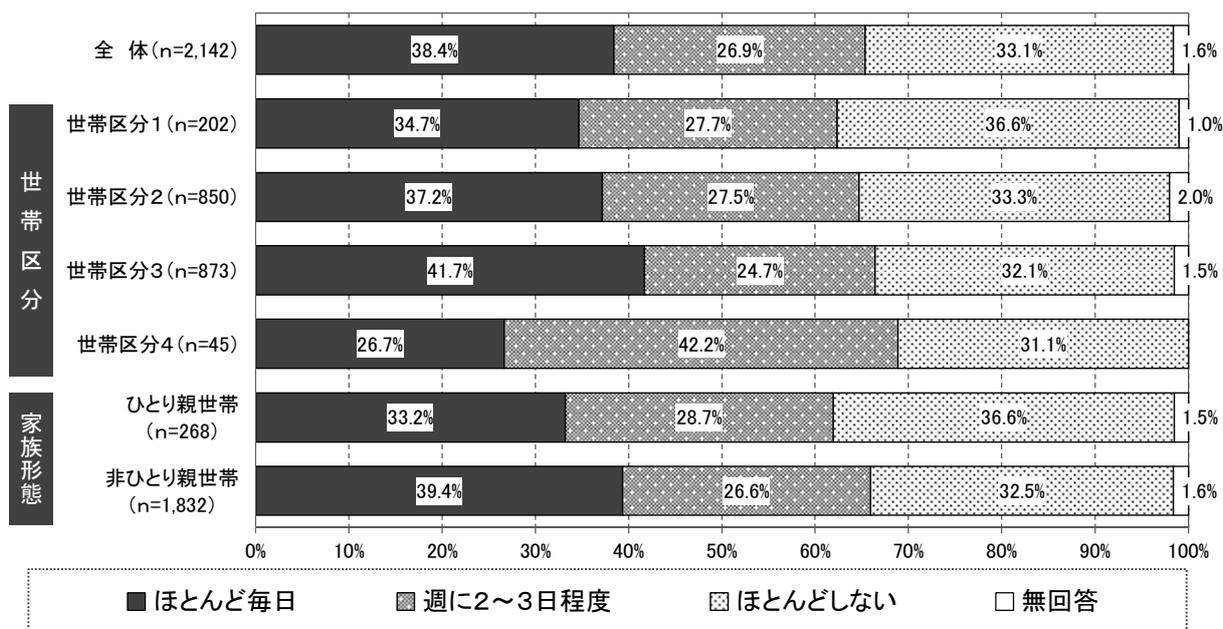
全体では、「ほとんどしない」が75.8%と最も高く、次いで、「週に2～3日程度」(18.7%)、「ほとんど毎日」(3.7%)となっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



問 24 (3) : 家の手伝い (食後の後片付け)

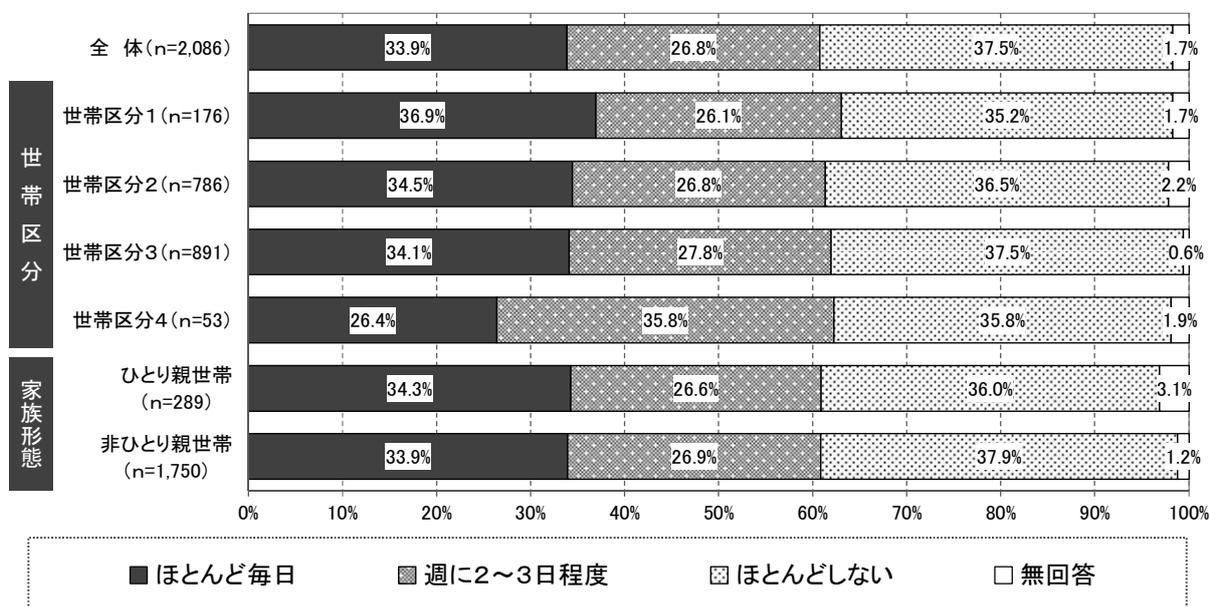
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「ほとんど毎日」が38.4%と最も高く、次いで、「ほとんどしない」(33.1%)、「週に2～3日程度」(26.9%)となっており、世帯区分4及びひとり親世帯で「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

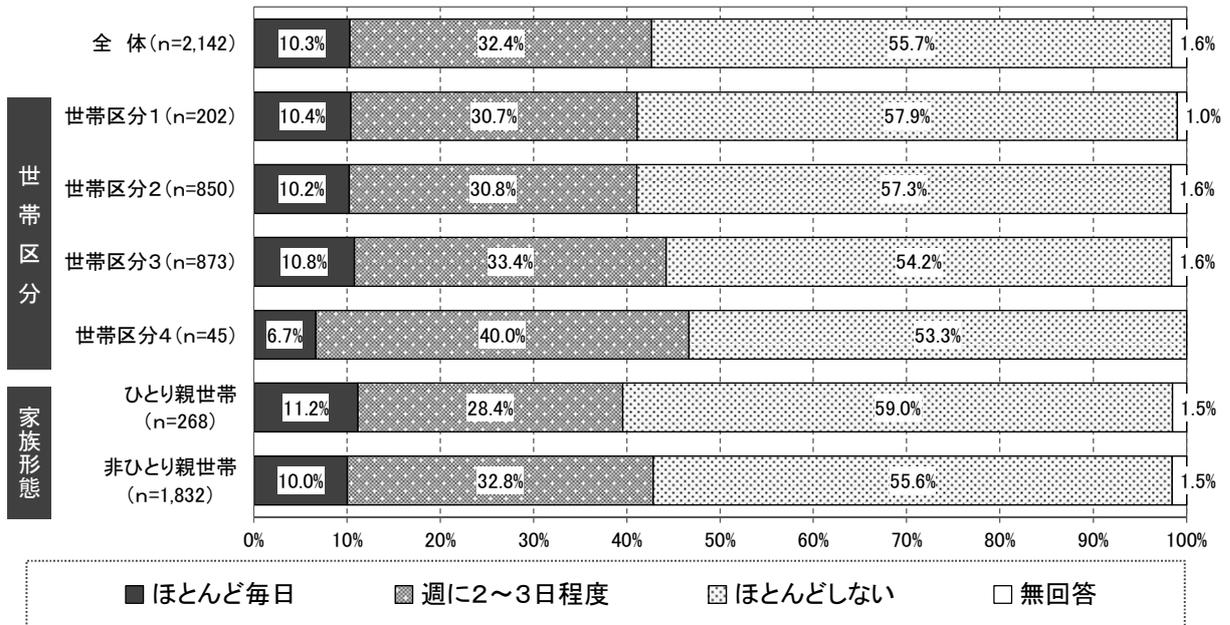
全体では、「ほとんどしない」が37.5%と最も高く、次いで、「ほとんど毎日」(33.9%)、「週に2～3日程度」(26.8%)となっています。世帯区分で見ると、世帯区分4で「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。



問 24 (4) : 家の手伝い (自分の部屋以外のそうじ)

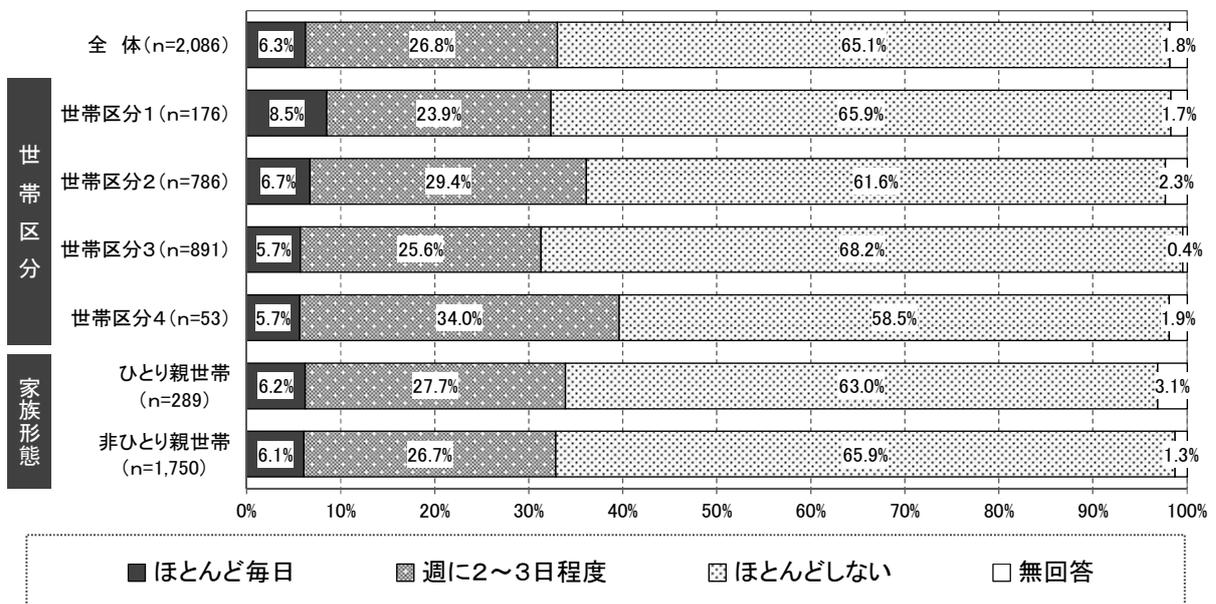
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「ほとんどしない」が55.7%と最も高く、次いで、「週に2～3日程度」(32.4%)、「ほとんど毎日」(10.3%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

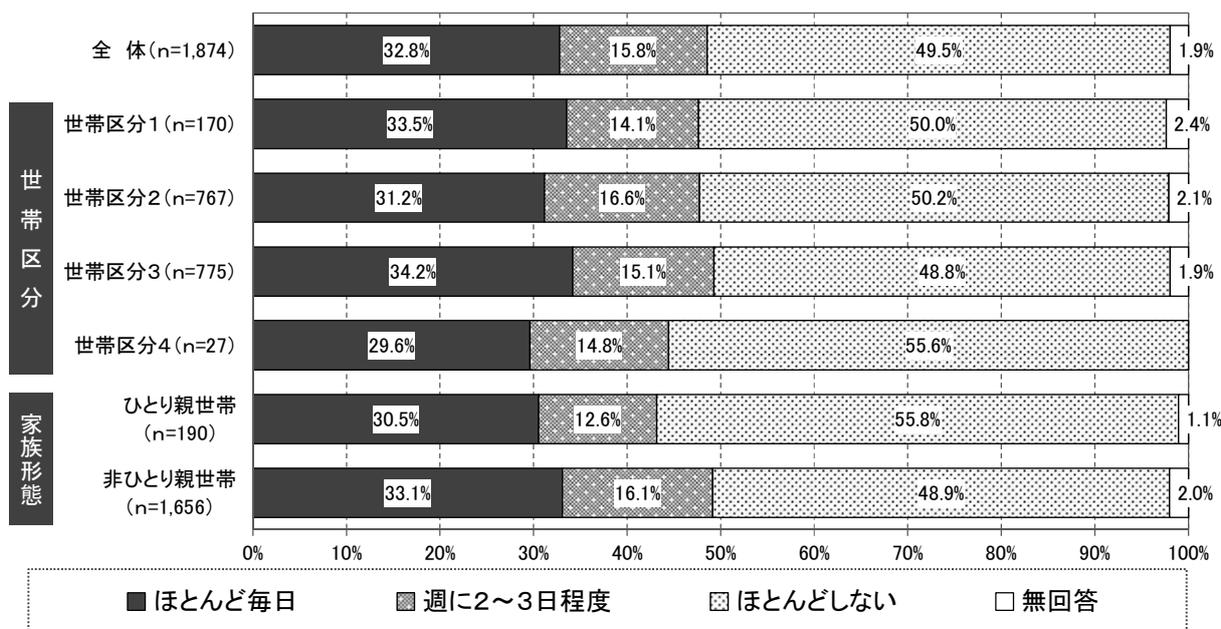
全体では、「ほとんどしない」が65.1%と最も高く、次いで、「週に2～3日程度」(26.8%)、「ほとんど毎日」(6.3%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「週に2～3日程度」の割合が高くなっています。



問 24 (5) : 家の手伝い (きょうだいの世話)

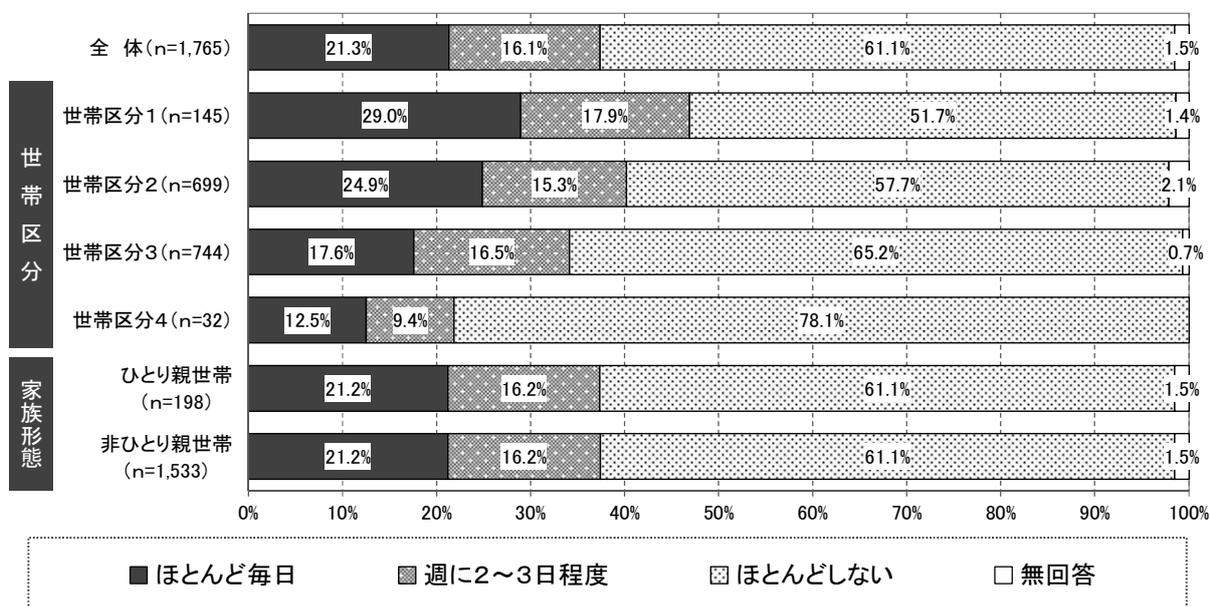
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「ほとんどしない」が49.5%と最も高く、次いで、「ほとんど毎日」(32.8%)、「週に2～3日程度」(15.8%)となっており、世帯区分4及びひとり親世帯で「ほとんどしない」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

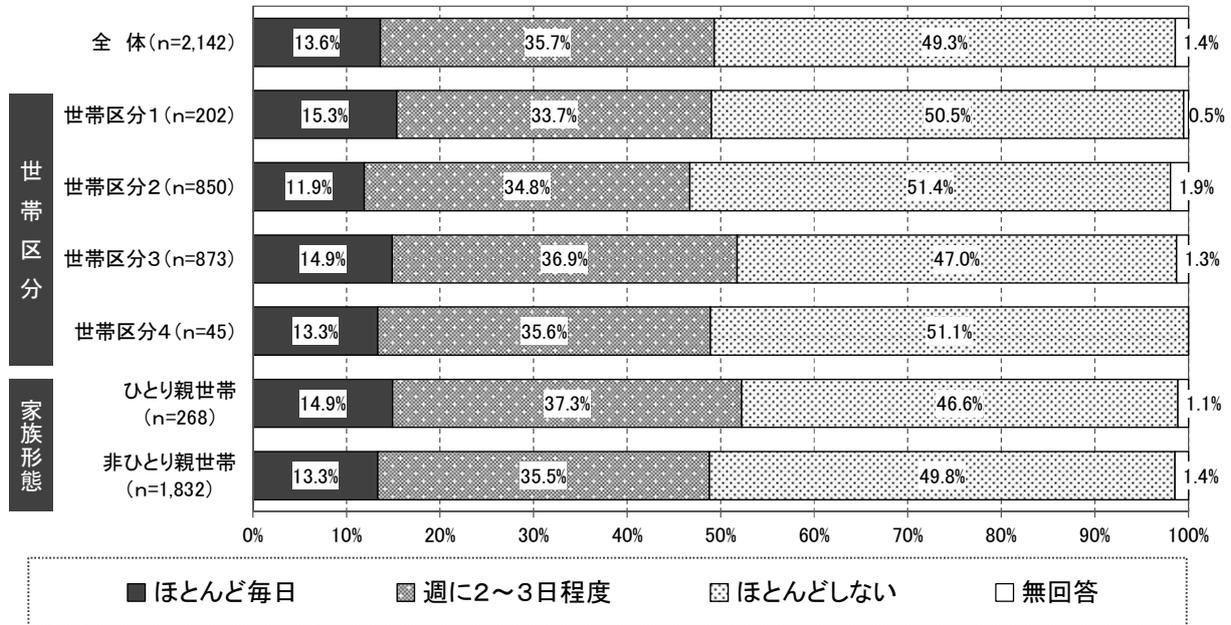
全体では、「ほとんどしない」が61.1%と最も高く、次いで、「ほとんど毎日」(21.3%)、「週に2～3日程度」(16.1%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど手伝う割合が高くなっています。



問 24 (6) : 家の手伝い (洗濯もの干しや洗濯ものたたみ)

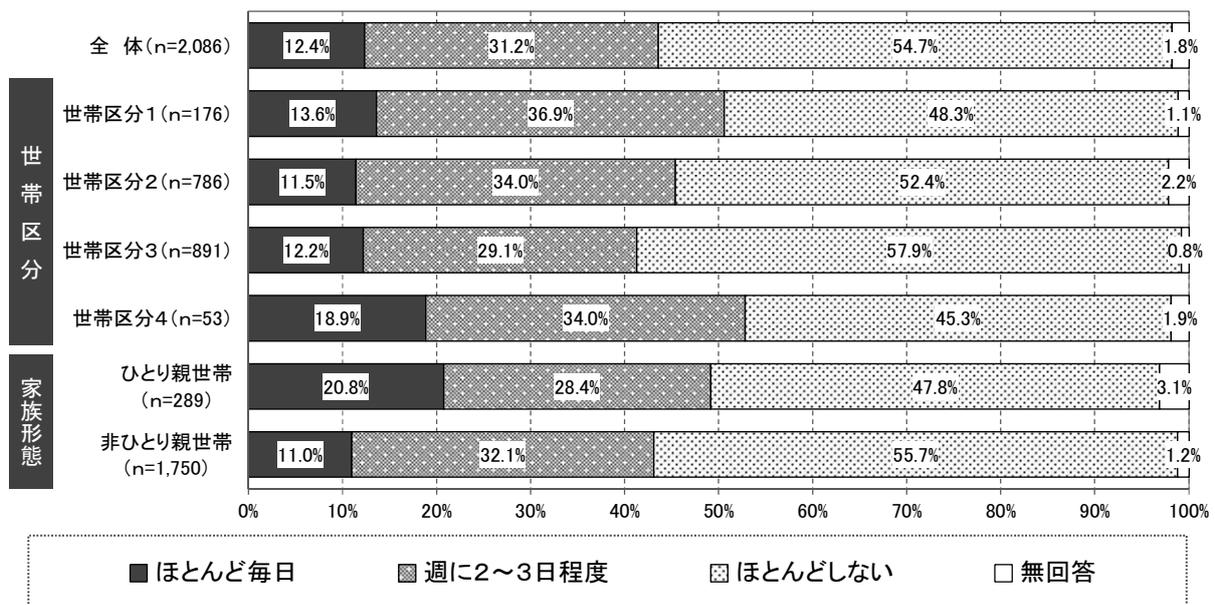
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「ほとんどしない」が49.3%と最も高く、次いで、「週に2～3日程度」(35.7%)、「ほとんど毎日」(13.6%)となっています。



◇ 中学2年生 ◇

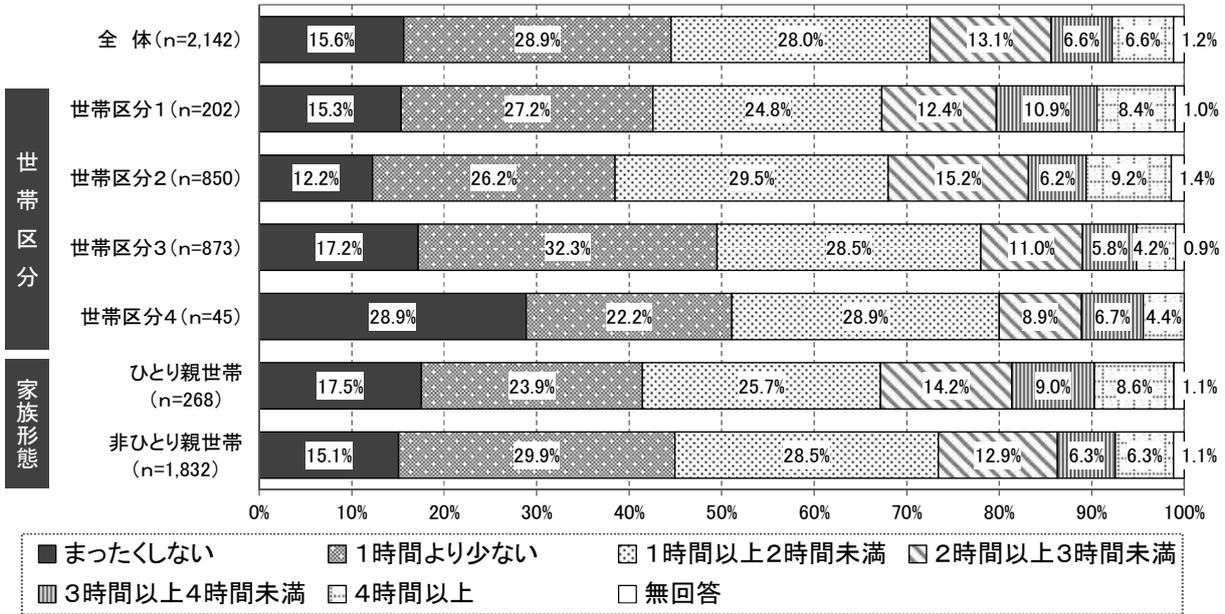
全体では、「ほとんどしない」が54.7%と最も高く、次いで、「週に2～3日程度」(31.2%)、「ほとんど毎日」(12.4%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分1と4で手伝う割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



問 25 : ゲームやスマートフォンを平日（月～金）どれくらい使うか

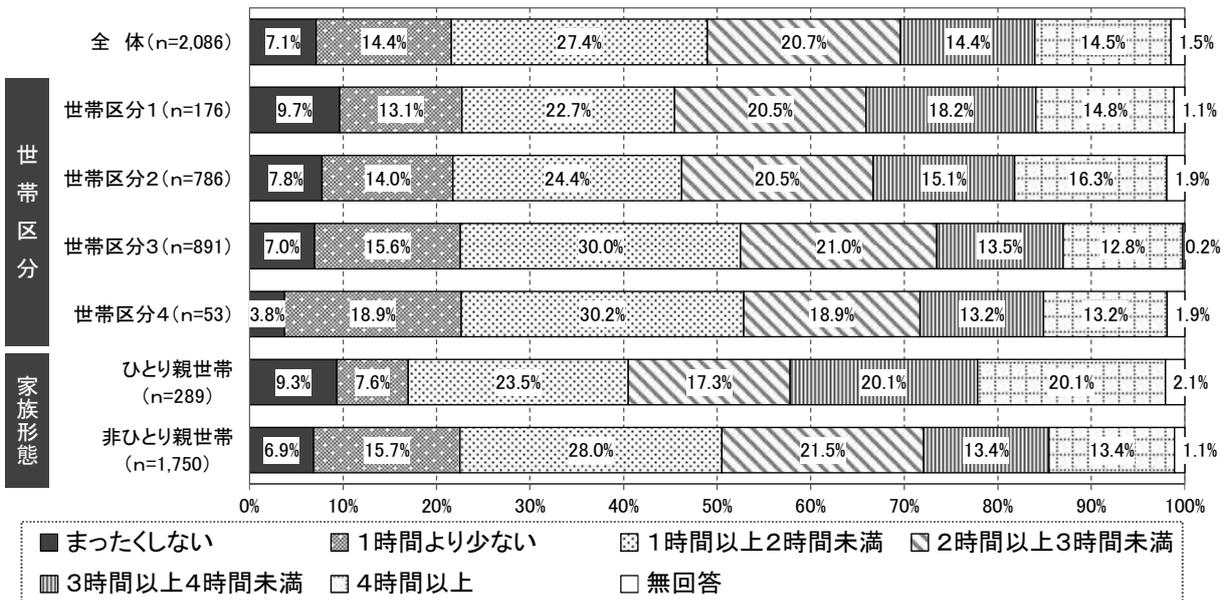
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「1時間より少ない」が28.9%と最も高く、次いで、「1時間以上2時間未満」(28.0%)、「まったくしない」(15.6%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「まったくしない」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

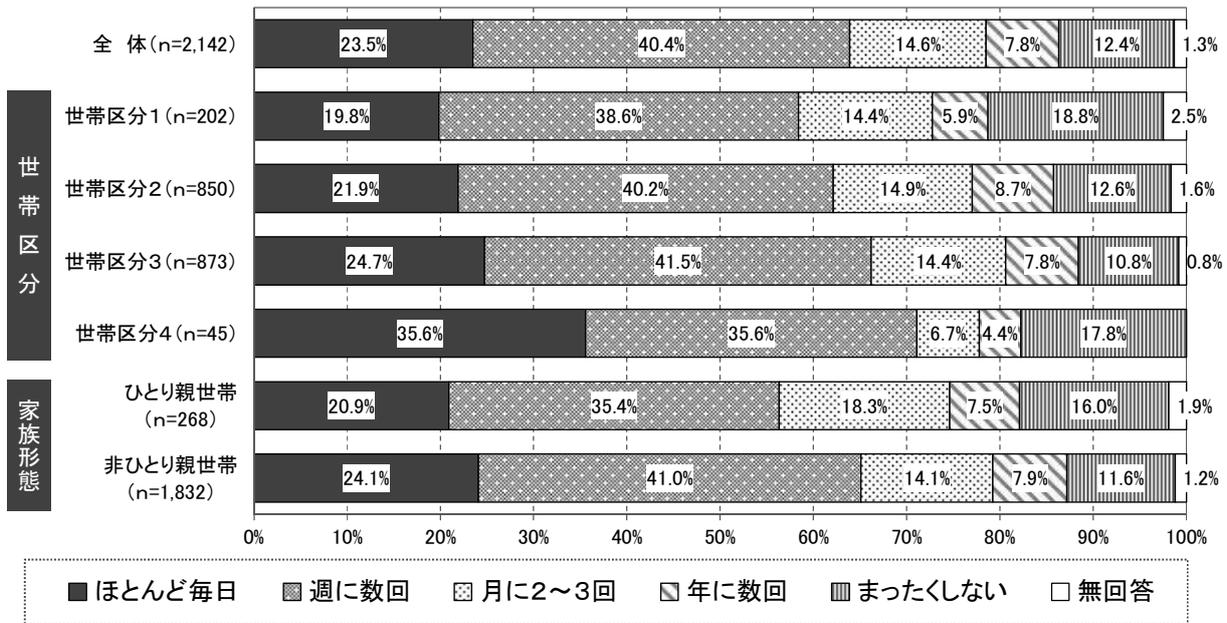
全体では、「1時間以上2時間未満」が27.4%と最も高く、次いで、「2時間以上3時間未満」(20.7%)、「1時間より少ない」・「3時間以上4時間未満」(14.4%で同率)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「まったくしない」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「4時間以上」の割合が高くなっています。



問 26：読書（マンガや雑誌は除く）の頻度

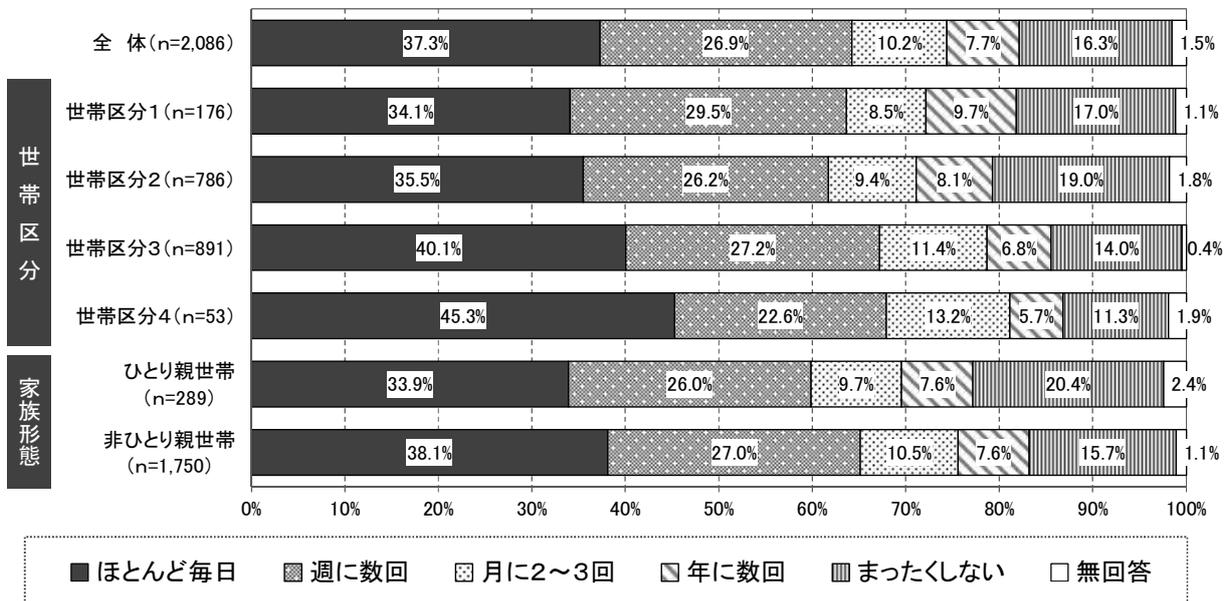
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「週に数回」が40.4%と最も高く、次いで、「ほとんど毎日」(23.5%)、「月に2～3回」(14.6%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「ほとんど毎日」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「まったくしない」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

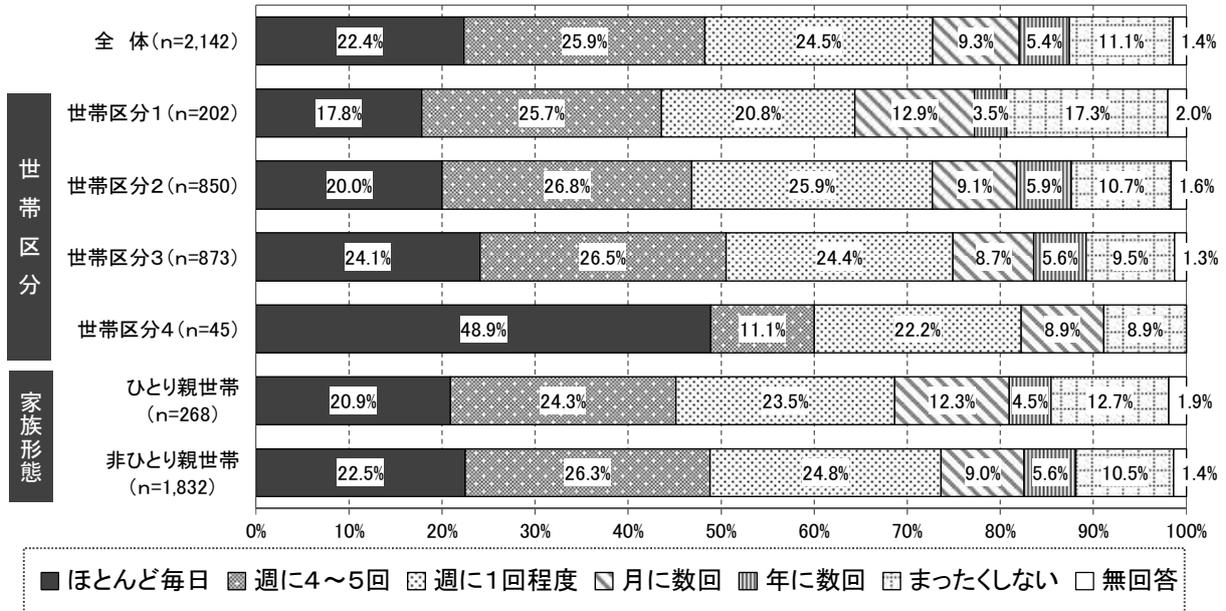
全体では、「ほとんど毎日」が37.3%と最も高く、次いで、「週に数回」(26.9%)、「まったくしない」(16.3%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「ほとんど毎日」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「まったくしない」の割合が高くなっています。



問 27：家の大人とニュースなど社会の出来事について話をする頻度

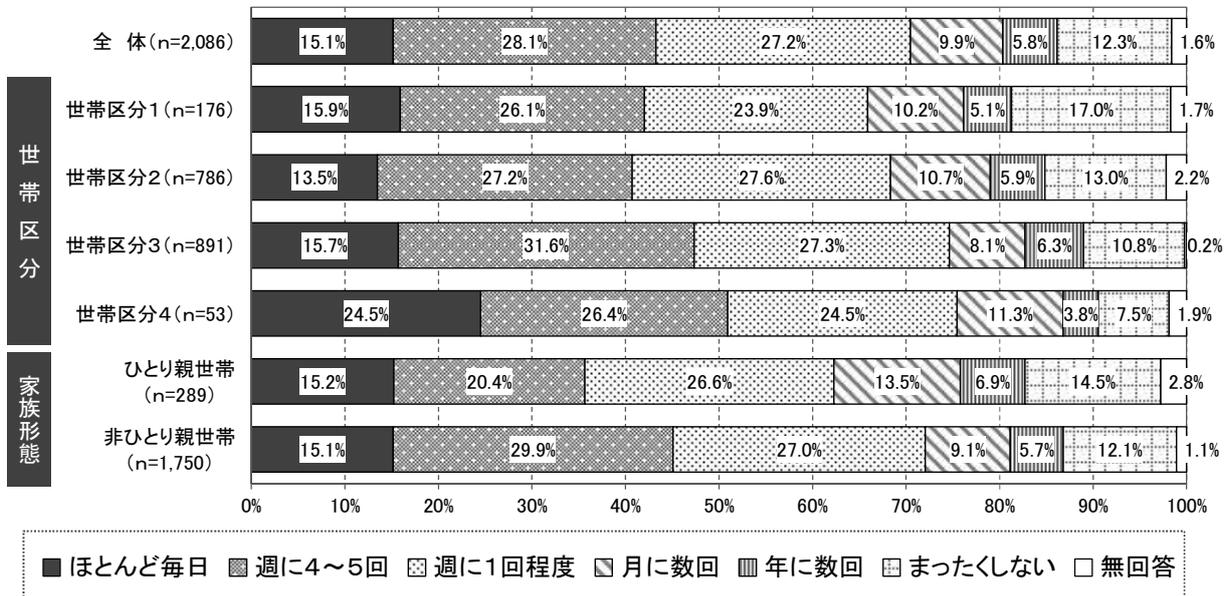
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「週に4～5回」が25.9%と最も高く、次いで、「週に1回程度」(24.5%)、「ほとんど毎日」(22.4%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「ほとんど毎日」の割合が高く、世帯区分1で「まったくしない」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が週に1回以上の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

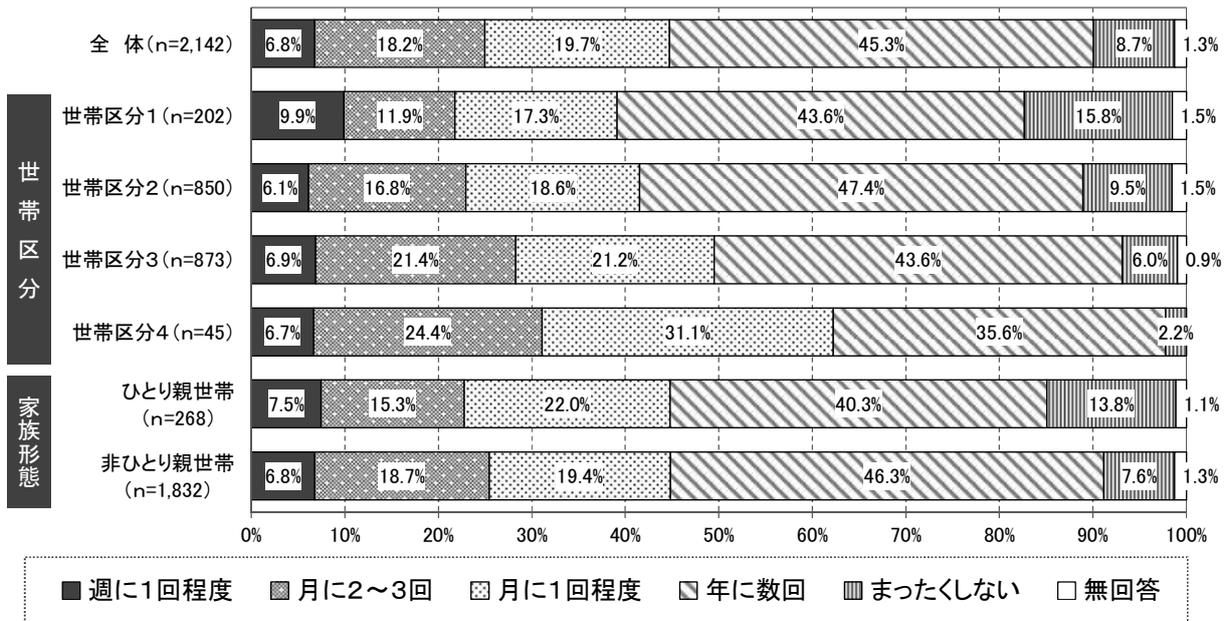
全体では、「週に4～5回」が28.1%と最も高く、次いで、「週に1回程度」(27.2%)、「ほとんど毎日」(15.1%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「ほとんど毎日」の割合が高く、世帯区分1で「まったくしない」の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が週に1回以上の割合が低くなっています。



問 28：家の大人と文化活動（美術館、音楽鑑賞、映画鑑賞など）をする頻度

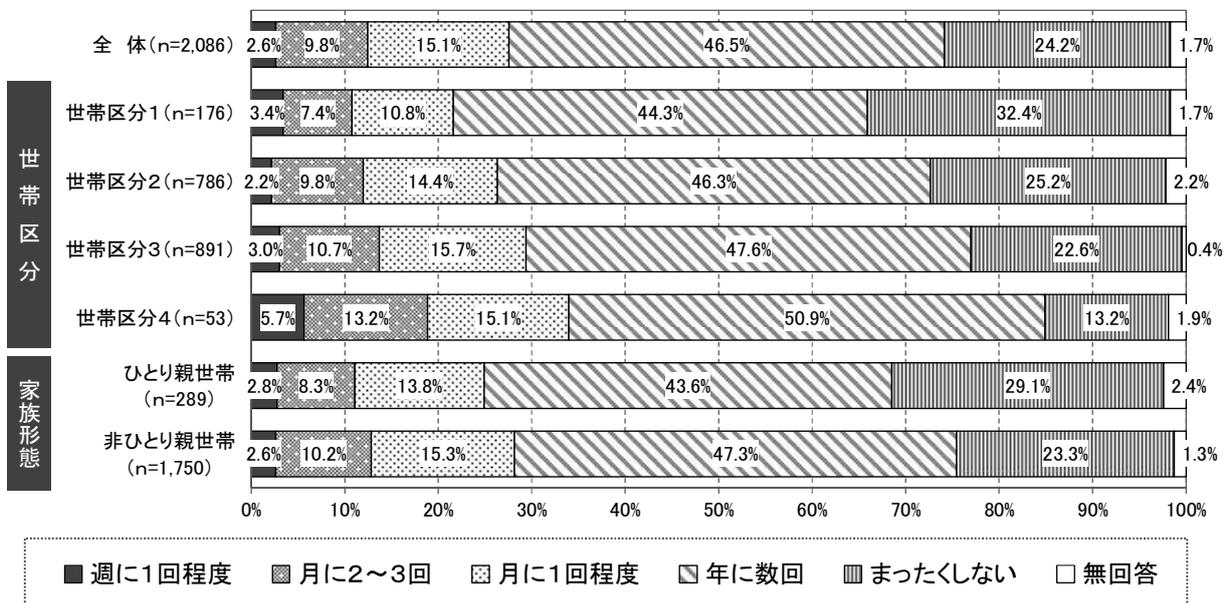
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「年に数回」が45.3%と最も高く、次いで、「月に1回程度」（19.7%）、「月に2～3回」（18.2%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「まったくしない」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「まったくしない」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

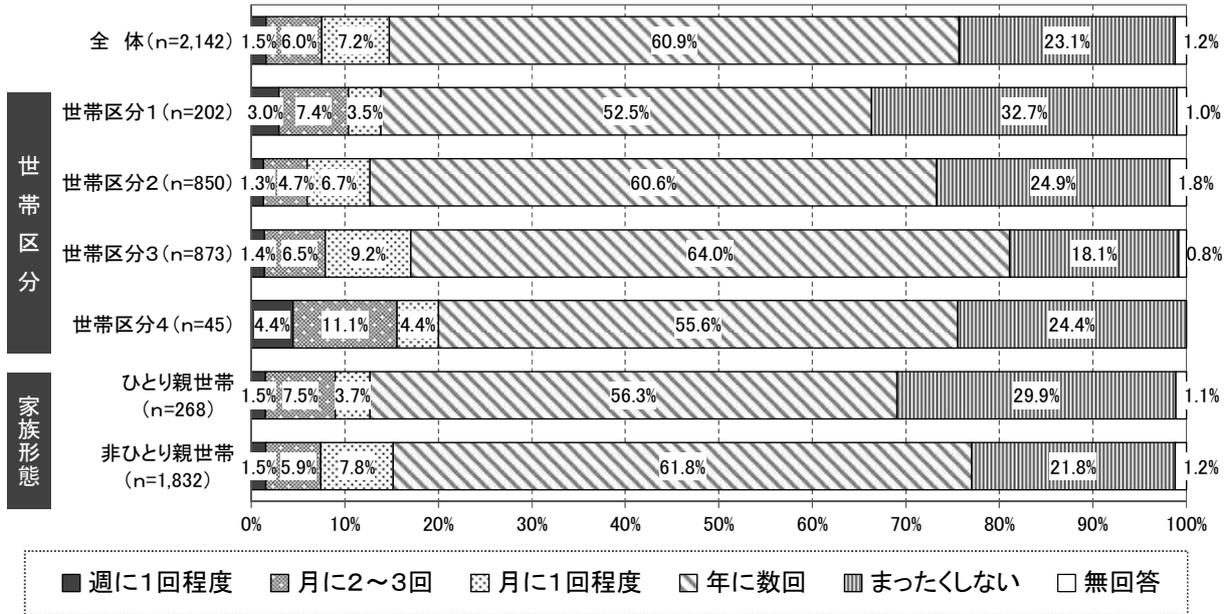
全体では、「年に数回」が46.5%と最も高く、次いで、「まったくしない」（24.2%）、「月に1回程度」（15.1%）の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「まったくしない」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「まったくしない」の割合が高くなっています。



問 29：家の大人と自然体験（キャンプ、海水浴、山登りなど）をする頻度

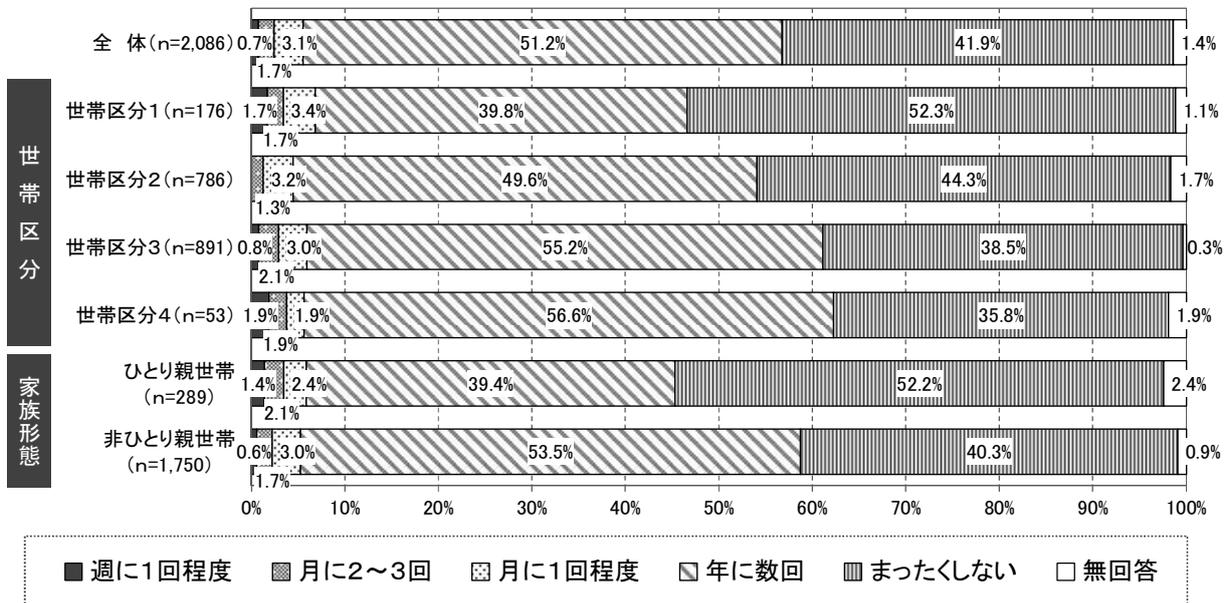
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「年に数回」が60.9%と最も高く、次いで、「まったくしない」(23.1%)、「月に1回程度」(7.2%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「まったくしない」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「まったくしない」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

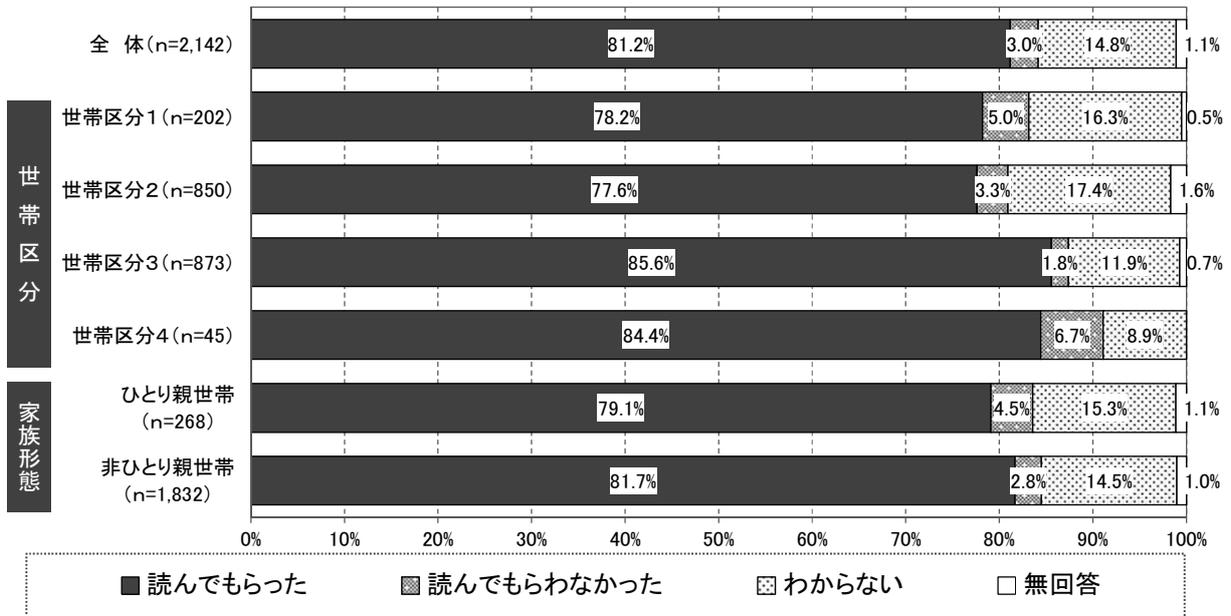
全体では、「年に数回」が51.2%と最も高く、次いで、「まったくしない」(41.9%)、「月に1回程度」(3.1%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「まったくしない」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「まったくしない」の割合が高くなっています。



問 30 : 小さいころ、家の大人に本や絵本を読んでもらったか

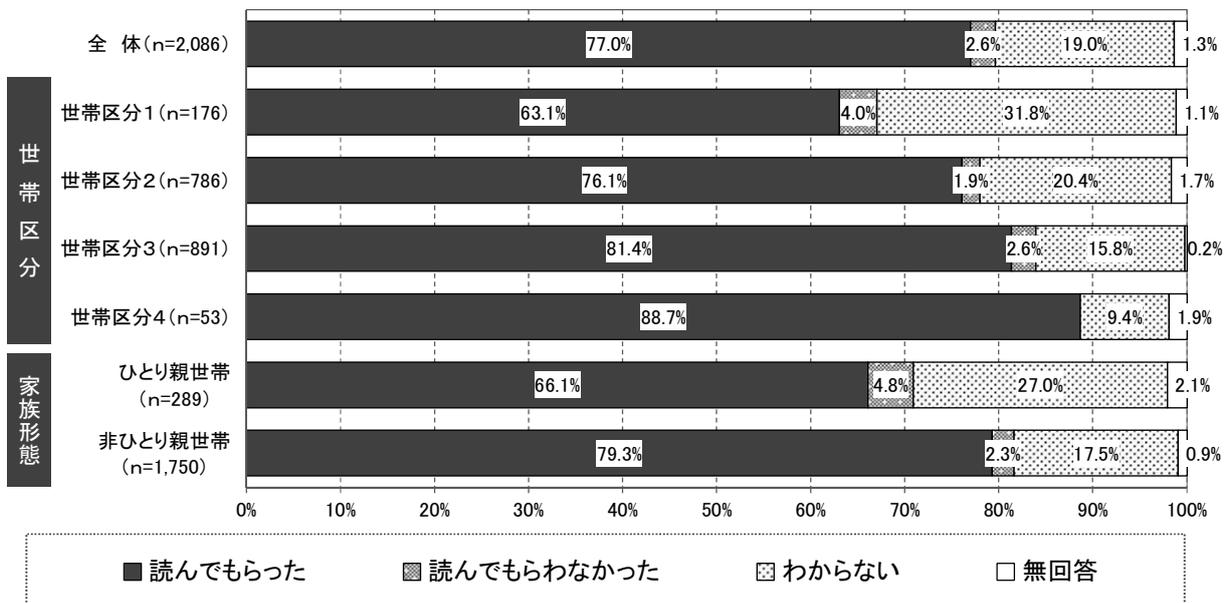
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「読んでもらった」が81.2%と最も高く、次いで、「わからない」(14.8%)、「読んでもらわなかった」(3.0%)となっています。世帯区分でみると、世帯区分1と2で「読んでもらった」がやや低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「読んでもらった」が77.0%と最も高く、次いで、「わからない」(19.0%)、「読んでもらわなかった」(2.6%)となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「読んでもらった」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「読んでもらった」の割合が低くなっています。

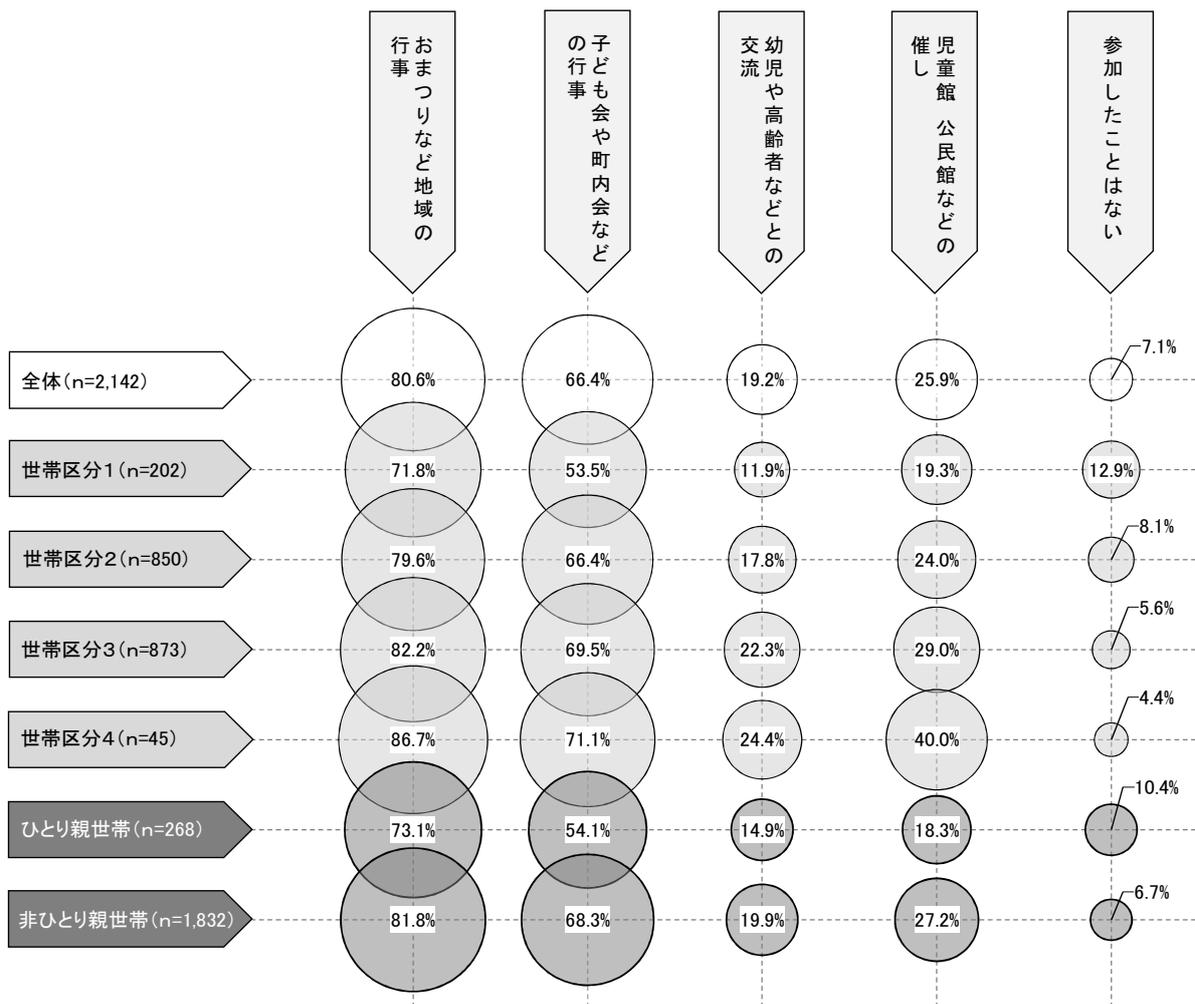


問 31 : 地域活動の参加状況 【MA】

◆ 小学5年生 ◆

全体では、「おまつりなど地域の行事」が80.6%と最も高く、次いで、「子ども会や町内会などの行事」(66.4%)、「児童館、公民館などの催し」(25.9%)の順となっています。

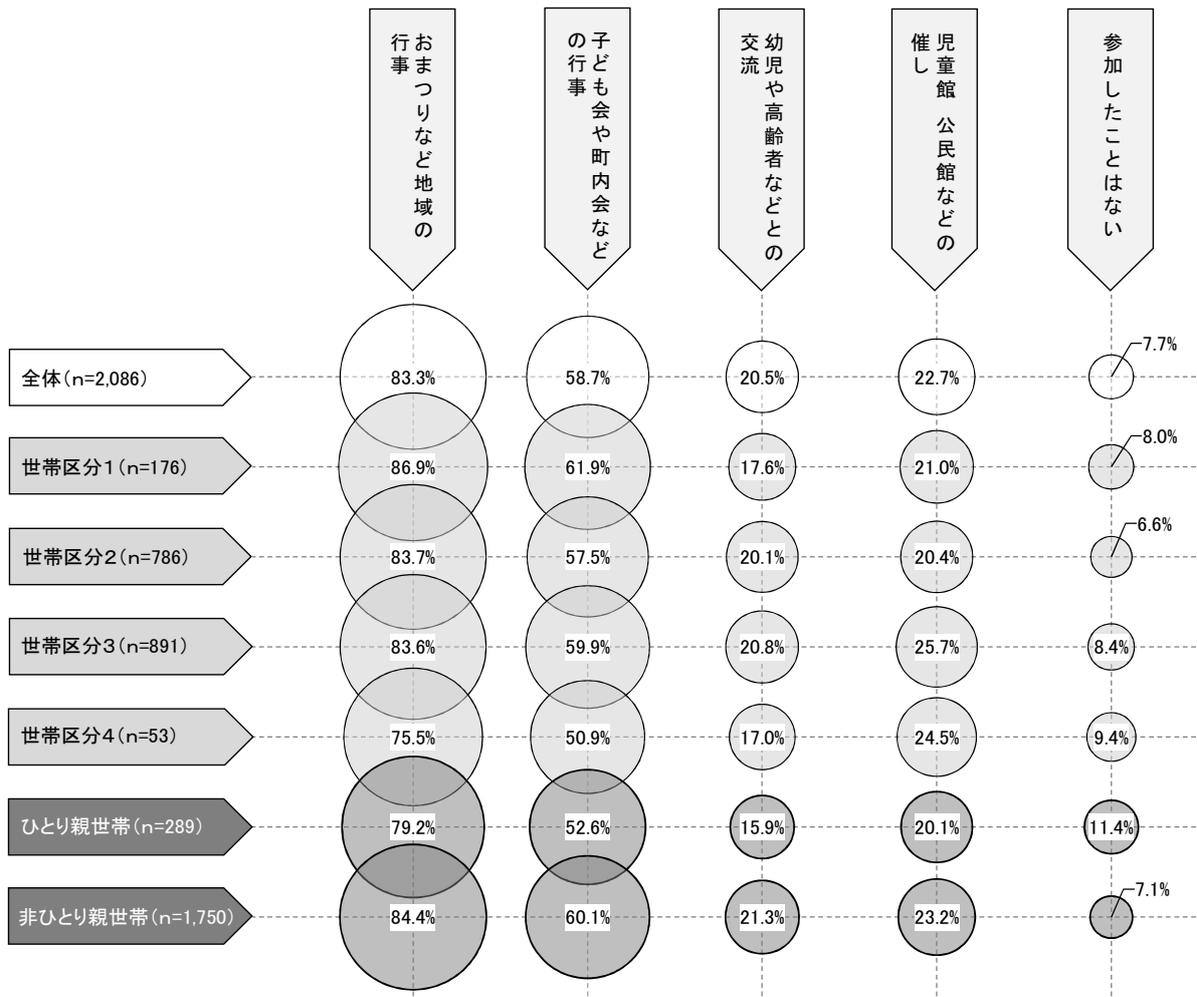
世帯区分でみると、所得が少ないほど、すべての項目で参加の割合が低くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方がすべての項目で参加の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「おまつりなど地域の行事」が83.3%と最も高く、次いで、「子ども会や町内会などの行事」(58.7%)、「児童館、公民館などの催し」(22.7%)の順となっています。

世帯区分でみると、所得が少ないほど「おまつりなど地域の行事」・「子ども会や町内会などの行事」への参加の割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「おまつりなど地域の行事」、「子ども会や町内会などの行事」への参加の割合が低くなっています。

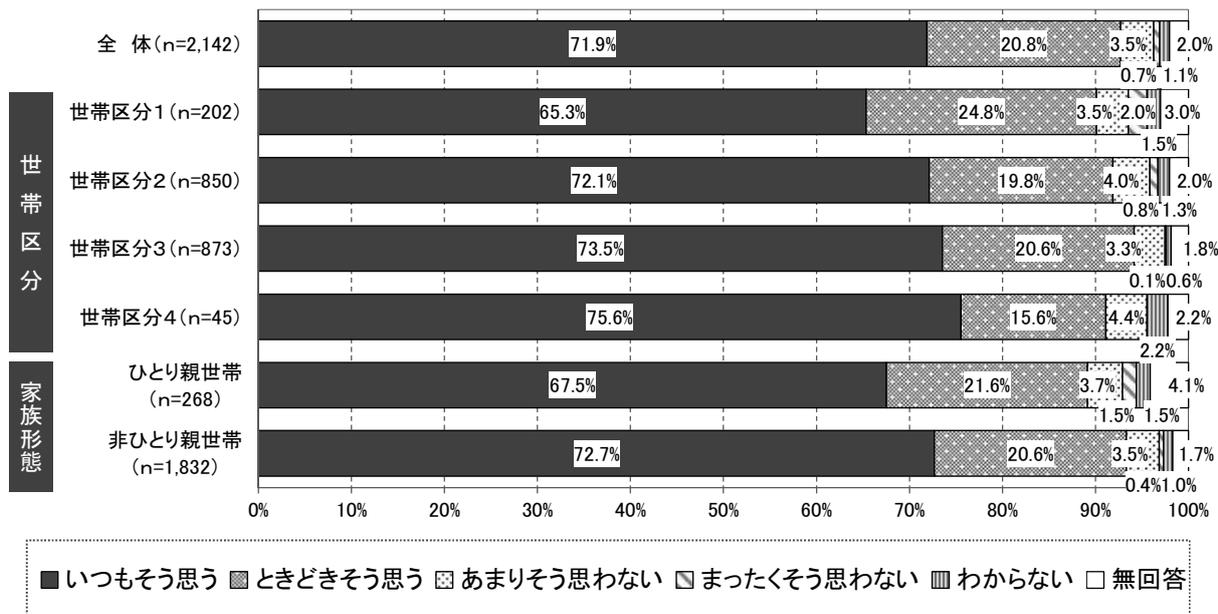


4 あなたの気持ちについて

問 32 (1) : 家は楽しいと思うか

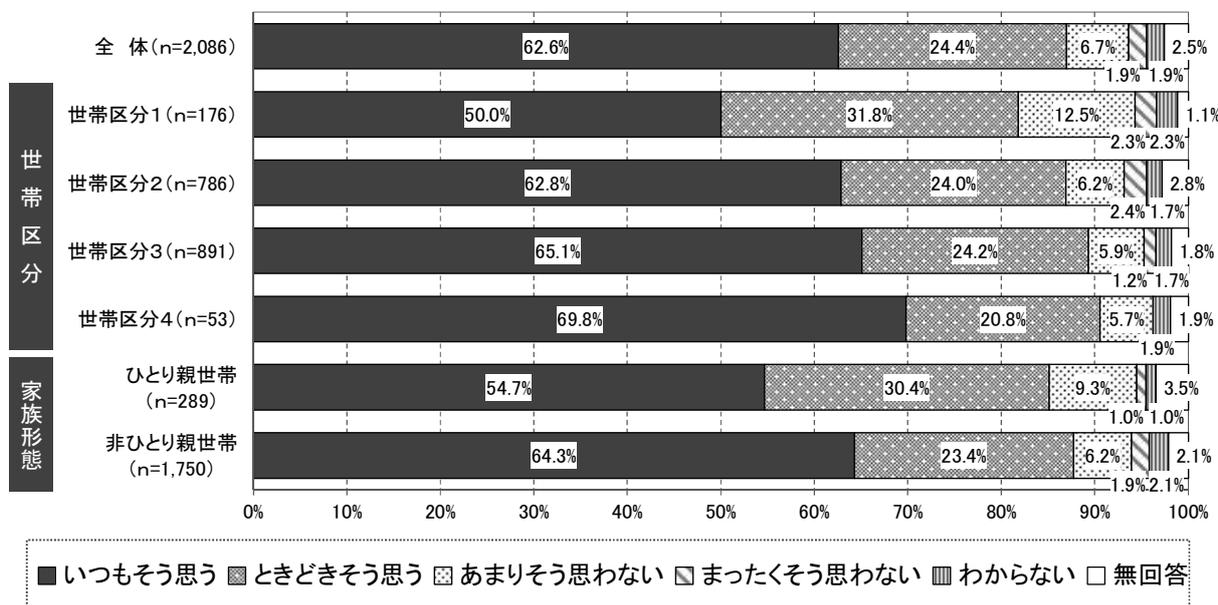
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「いつもそう思う」が71.9%と最も高く、次いで、「ときどきそう思う」(20.8%)、「あまりそう思わない」(3.5%)の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「いつもそう思う」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

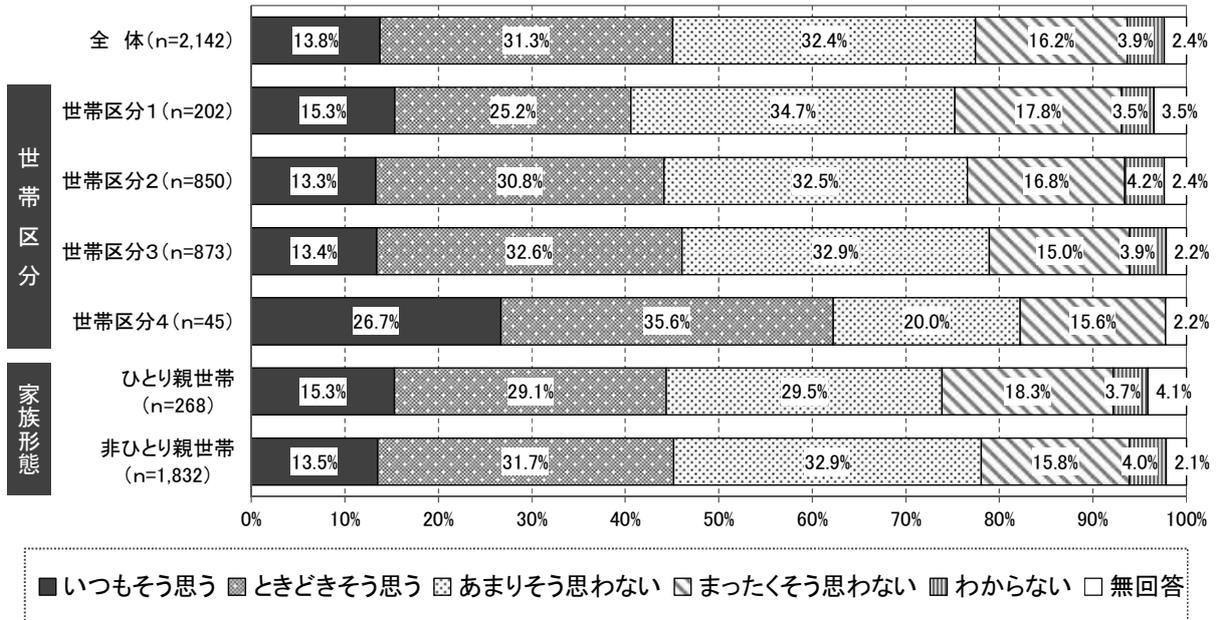
全体では、「いつもそう思う」が62.6%と最も高く、次いで、「ときどきそう思う」(24.4%)、「あまりそう思わない」(6.7%)の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「いつもそう思う」の割合が低くなっています。



問 32 (2) : 家のしつけは厳しいと思うか

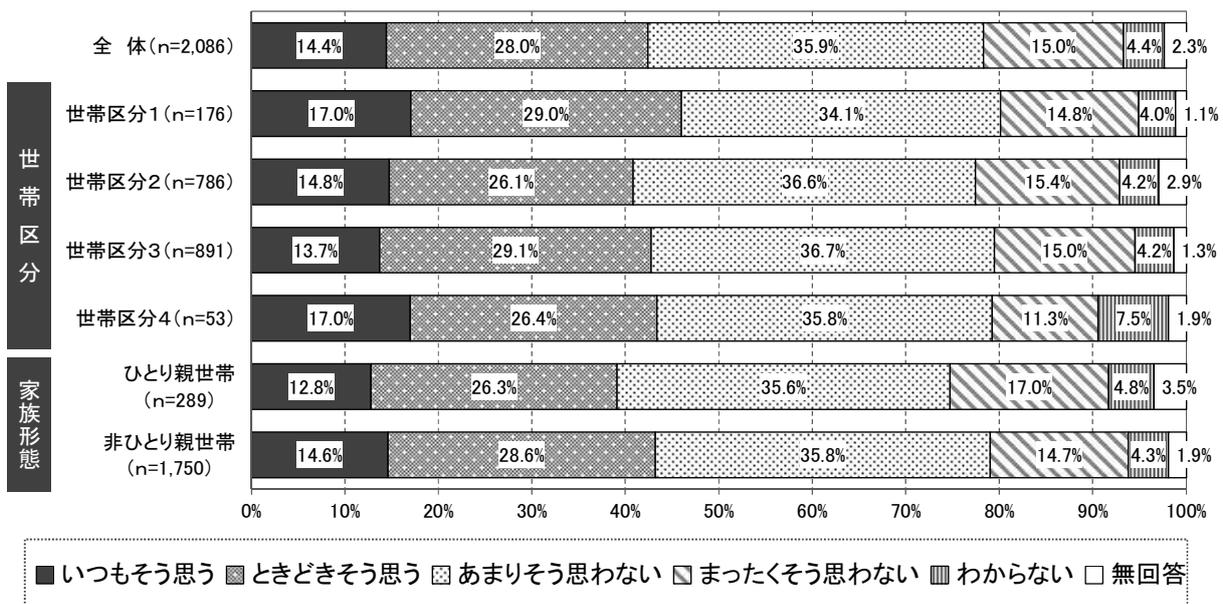
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「あまりそう思わない」が32.4%と最も高く、次いで、「ときどきそう思う」(31.3%)、「まったくそう思わない」(16.2%)の順となっています。世帯区分で見ると、世帯区分4で「いつもそう思う」と「ときどきそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

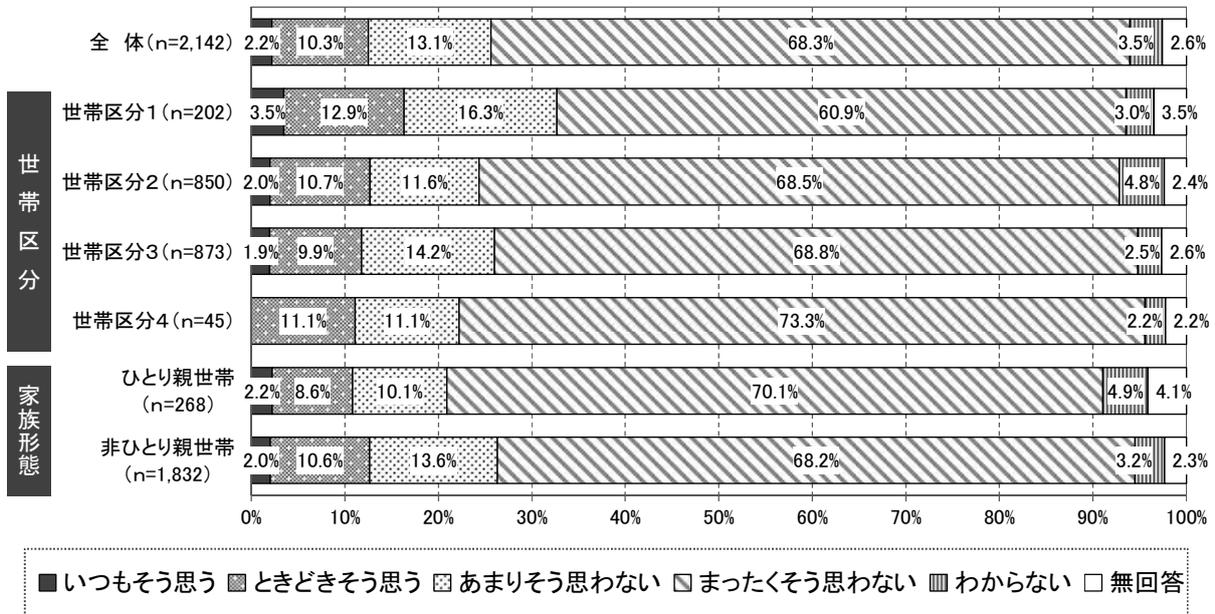
全体では、「あまりそう思わない」が35.9%と最も高く、次いで、「ときどきそう思う」(28.0%)、「まったくそう思わない」(15.0%)の順となっています。



問 32 (3) : 家に帰りたくないと思うことがあるか

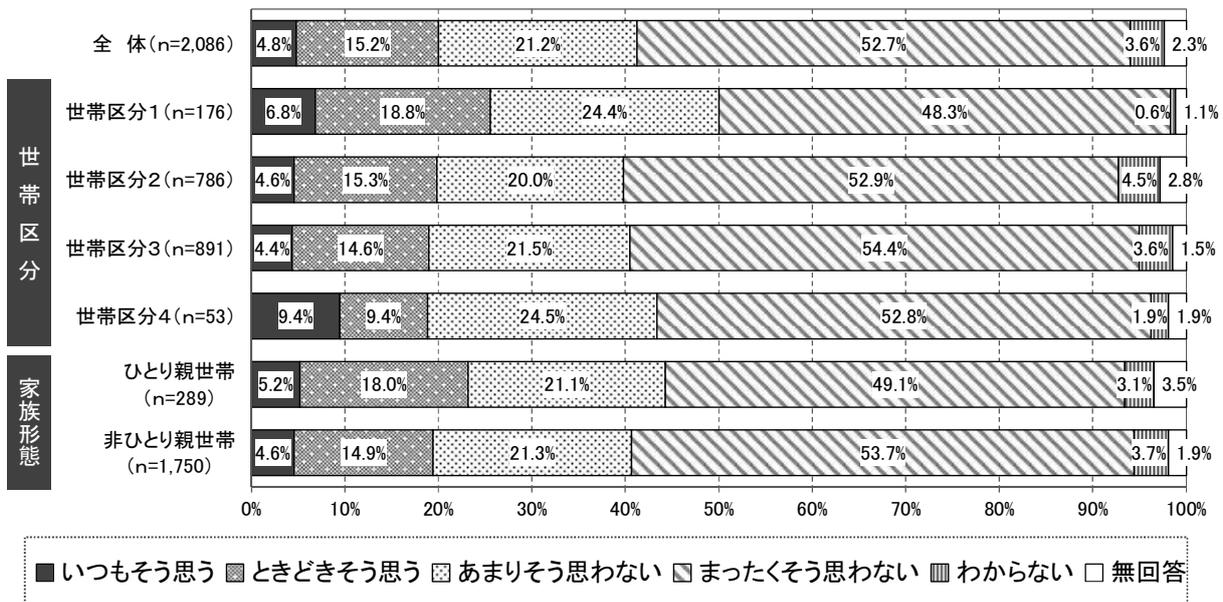
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「まったくそう思わない」が 68.3%と最も高く、次いで、「あまりそう思わない」(13.1%)、「ときどきそう思う」(10.3%) の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で“そう思う”の割合がやや高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

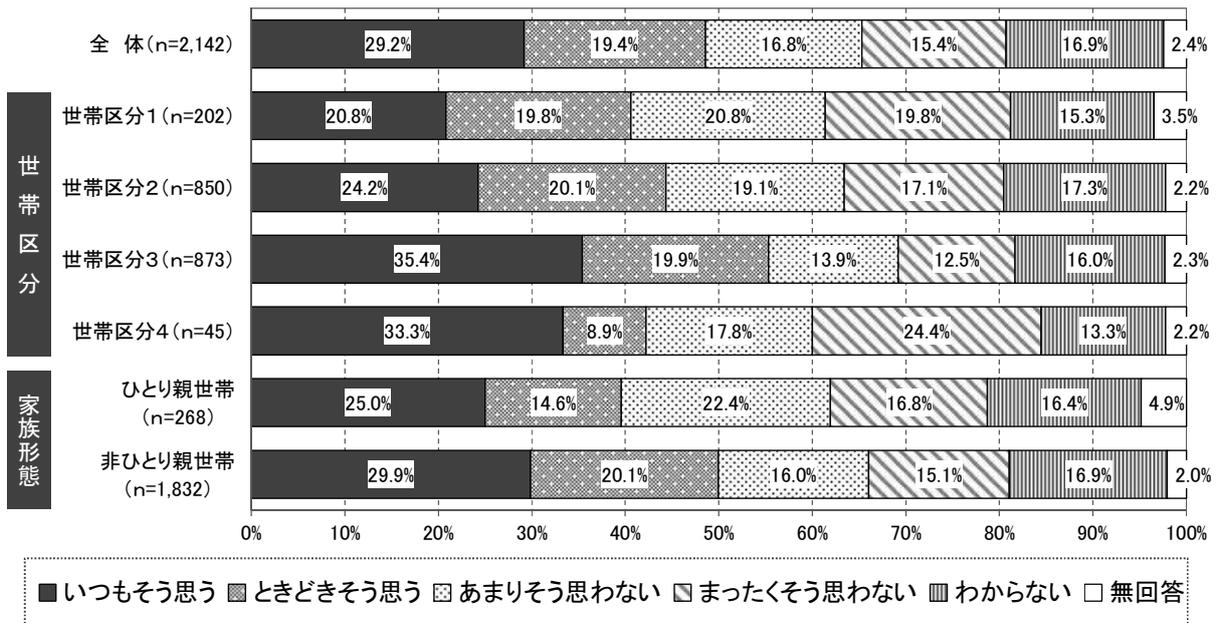
全体では、「まったくそう思わない」が 52.7%と最も高く、次いで、「あまりそう思わない」(21.2%)、「ときどきそう思う」(15.2%) の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で“そう思う”の割合が高くなっています。



問 32 (4) : 家はお金に困っていないと思うか

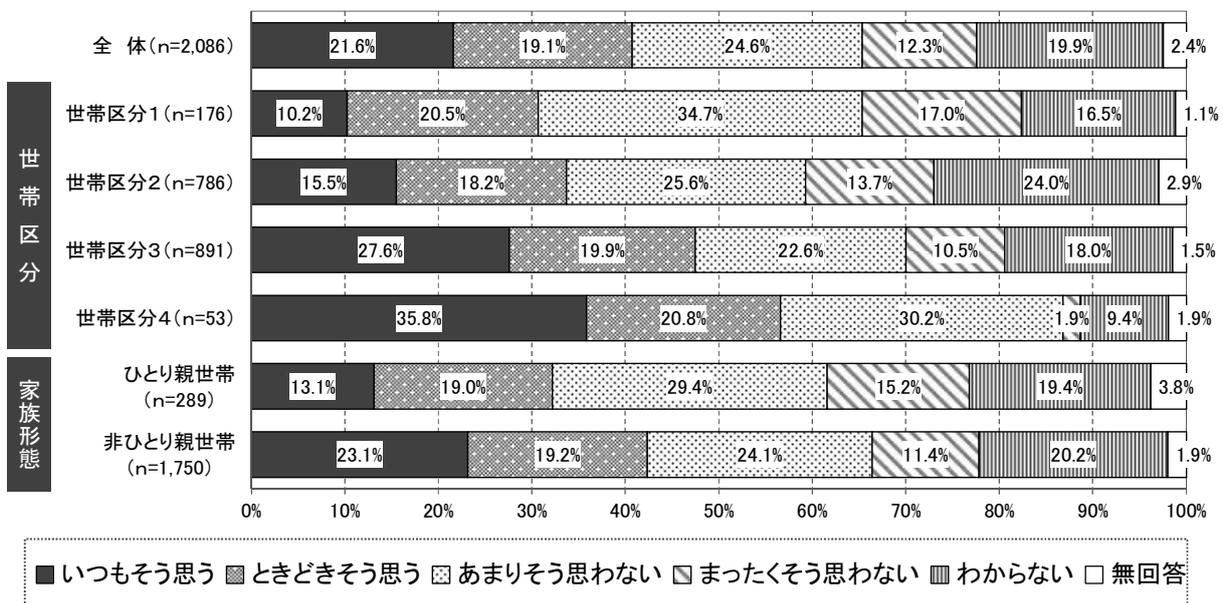
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「いつもそう思う」が29.2%と最も高く、次いで、「ときどきそう思う」(19.4%)、「わからない」(16.9%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「そう思う」の割合が低い傾向にあり、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が“そう思う”の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

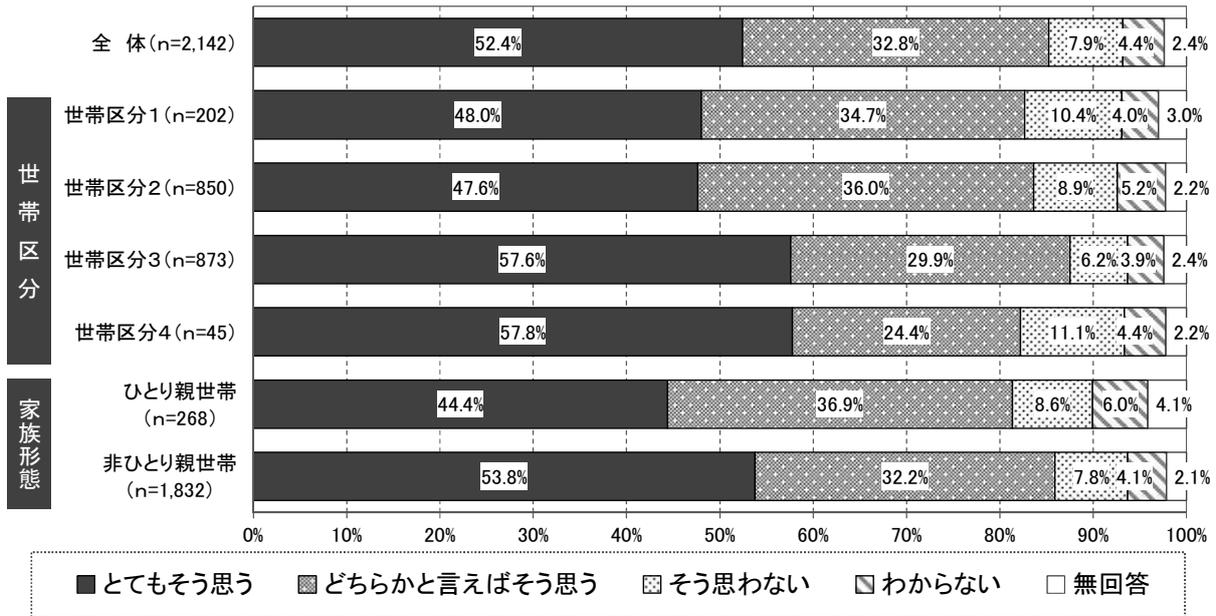
全体では、「あまりそう思わない」が24.6%と最も高く、次いで、「いつもそう思う」(21.6%)、「わからない」(19.9%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど“そう思う”の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が“そう思う”の割合が低くなっています。



問 33 (1) : 努力すれば必ずむくわれると思うか

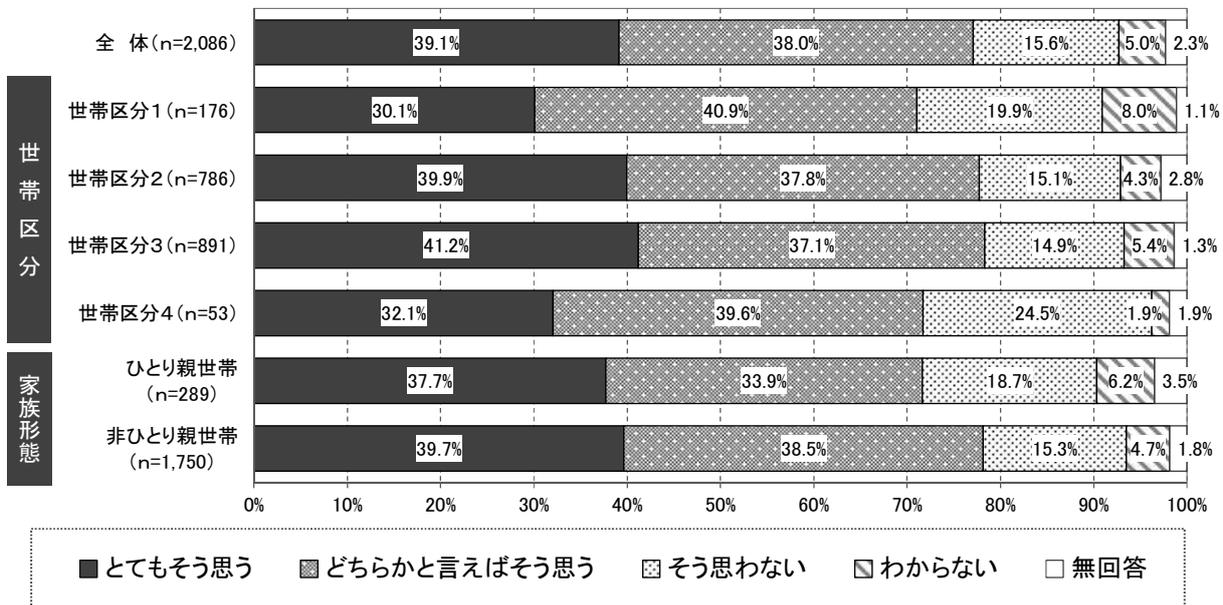
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「とてもそう思う」が 52.4%と最も高く、次いで、「どちらかと言えばそう思う」(32.8%)、「そう思わない」(7.9%) の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1と2で「とてもそう思う」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「とてもそう思う」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

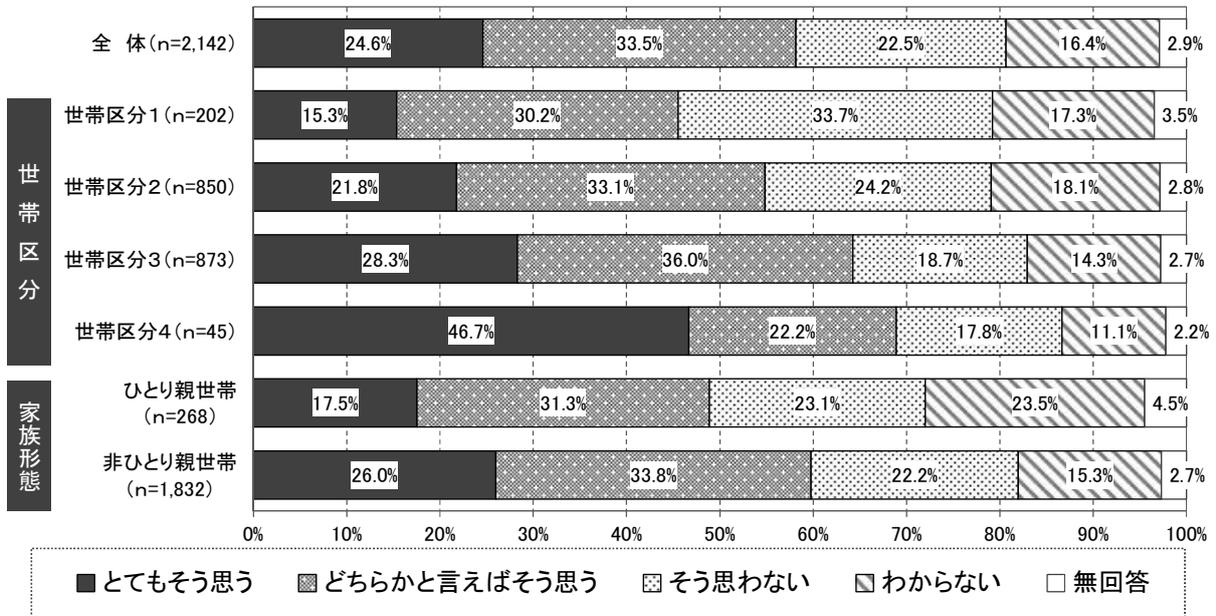
全体では、「とてもそう思う」が 39.1%と最も高く、次いで、「どちらかと言えばそう思う」(38.0%)、「そう思わない」(15.6%) の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1と世帯区分4で「とてもそう思う」の割合が低くなっています。



問 33 (2) : 自分は価値のある人間だと思うか

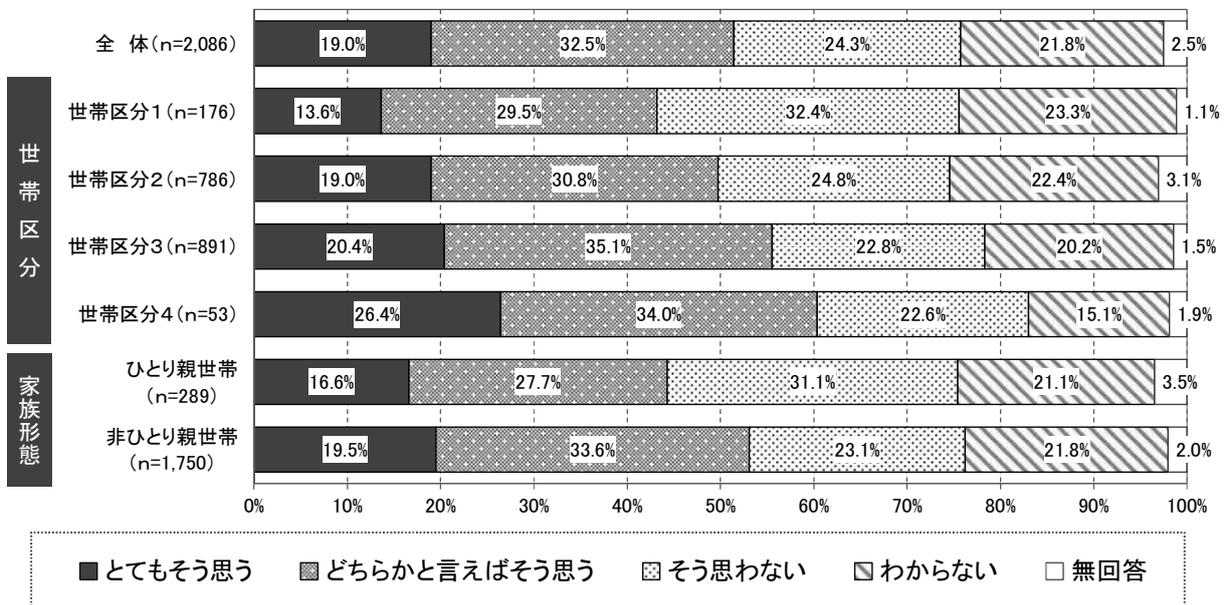
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「どちらかと言えばそう思う」が 33.5%と最も高く、次いで、「とてもそう思う」(24.6%)、「そう思わない」(22.5%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「とてもそう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が“そう思う”の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

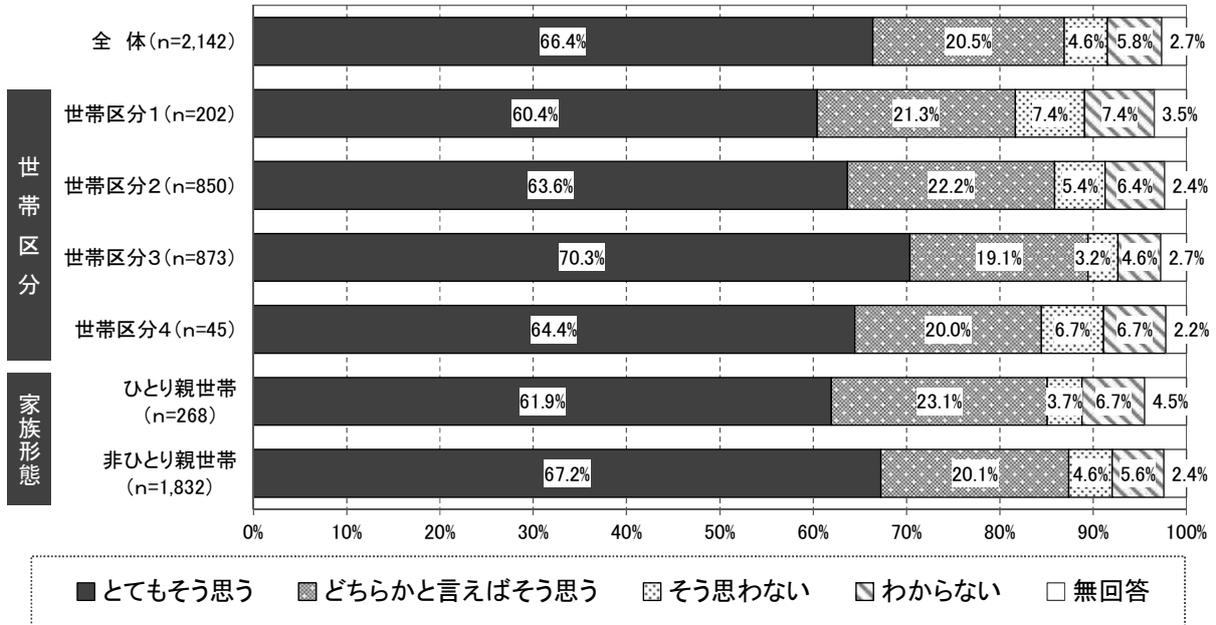
全体では、「どちらかと言えばそう思う」が 32.5%と最も高く、次いで、「そう思わない」(24.3%)、「わからない」(21.8%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど“そう思う”の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が“そう思う”の割合が低くなっています。



問 33 (3) : 自分は家族に大事にされていると思うか

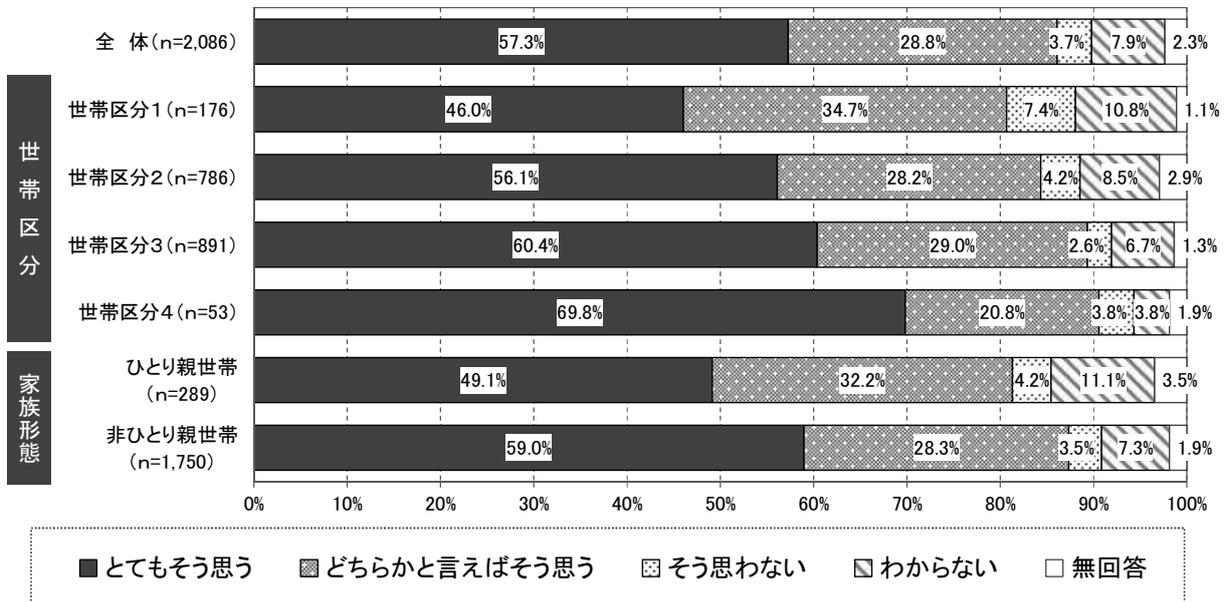
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「とてもそう思う」が 66.4%と最も高く、次いで、「どちらかと言えばそう思う」(20.5%)、「わからない」(5.8%) の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

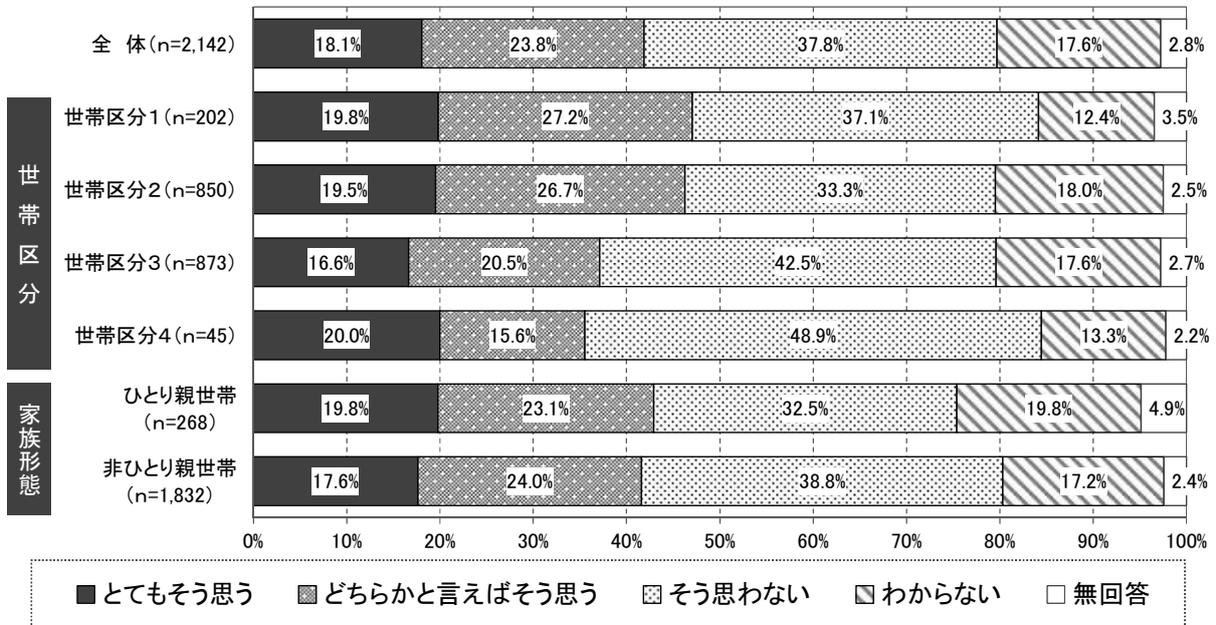
全体では、「とてもそう思う」が 57.3%と最も高く、次いで、「どちらかと言えばそう思う」(28.8%)、「わからない」(7.9%) の順となっています。世帯区分で見ると、所得が少ないほど「とてもそう思う」の割合が低く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が「とてもそう思う」の割合が低くなっています。



問 33 (4) : 将来お金のことが心配だと思うか

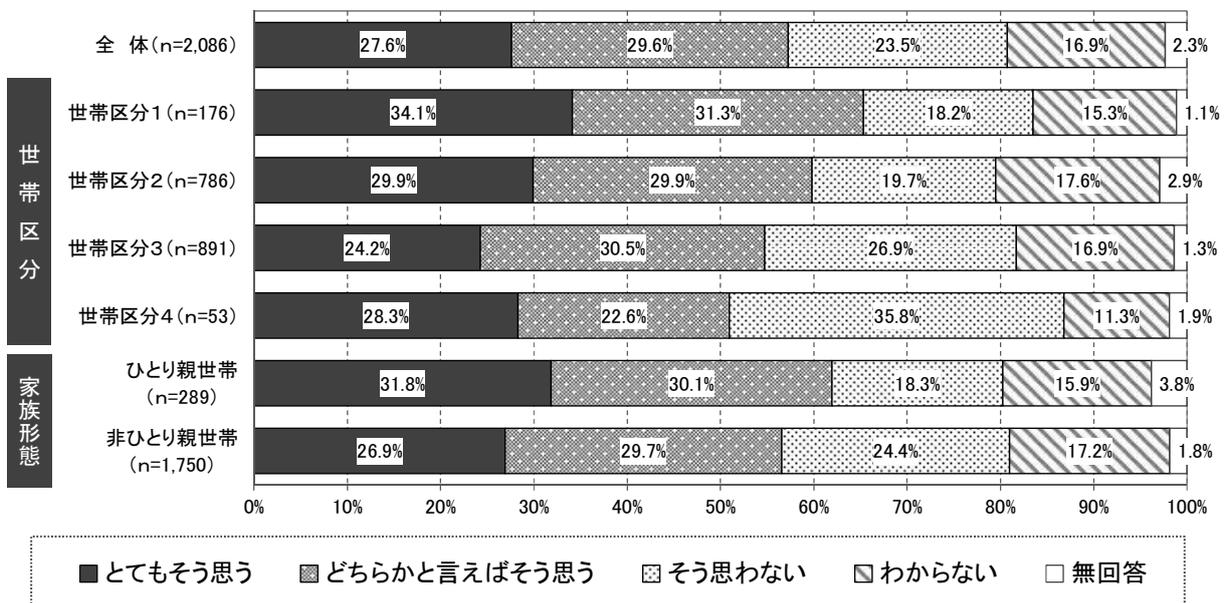
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「そう思わない」が 37.8%と最も高く、次いで、「どちらかと言えばそう思う」(23.8%)、「とてもそう思う」(18.1%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど“そう思う”の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

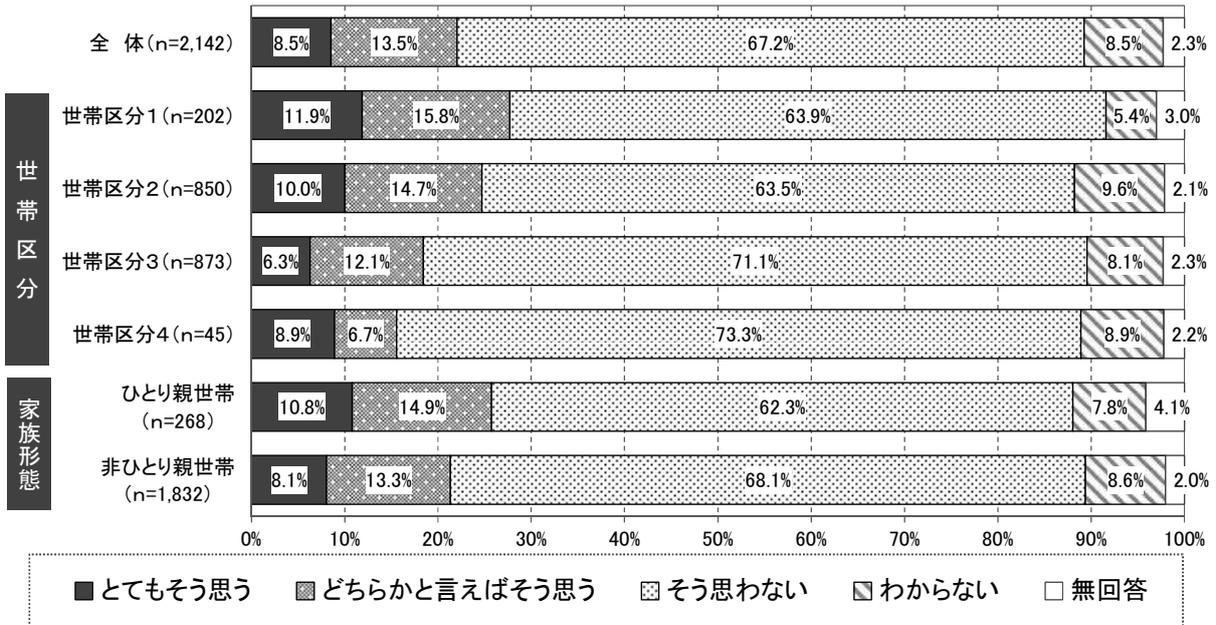
全体では、「どちらかと言えばそう思う」が 29.6%と最も高く、次いで、「とてもそう思う」(27.6%)、「そう思わない」(23.5%) の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど“そう思う”の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が“そう思う”の割合が高くなっています。



問 33 (5) : 孤独 (ひとりぼっちでさびしい気持ち) を感じることもあるか

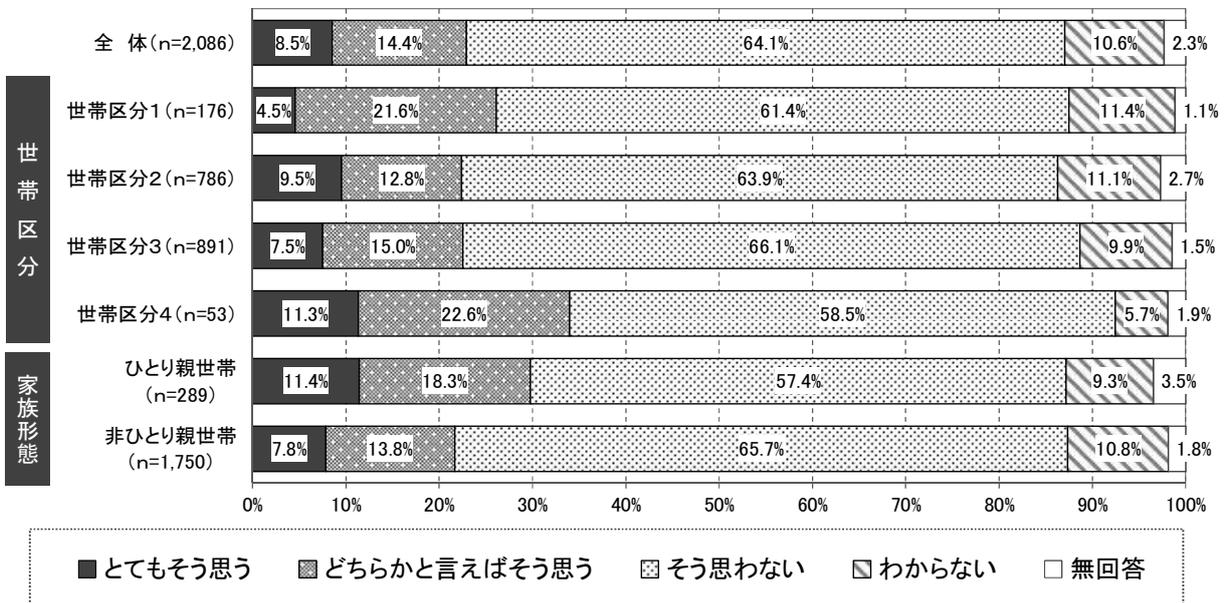
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「そう思わない」が 67.2%と最も高く、次いで、「どちらかと言えばそう思う」(13.5%)、「わからない」(同率で 8.5%) となっています。世帯区分で見ると、所得が少ないほど“そう思う”の割合が高く、家族形態で見ると、ひとり親世帯の方が“そう思う”の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「そう思わない」が 64.1%と最も高く、次いで、「どちらかと言えばそう思う」(14.4%)、「わからない」(10.6%) の順となっており、世帯区分4及びひとり親世帯で“そう思う”の割合が高くなっています。

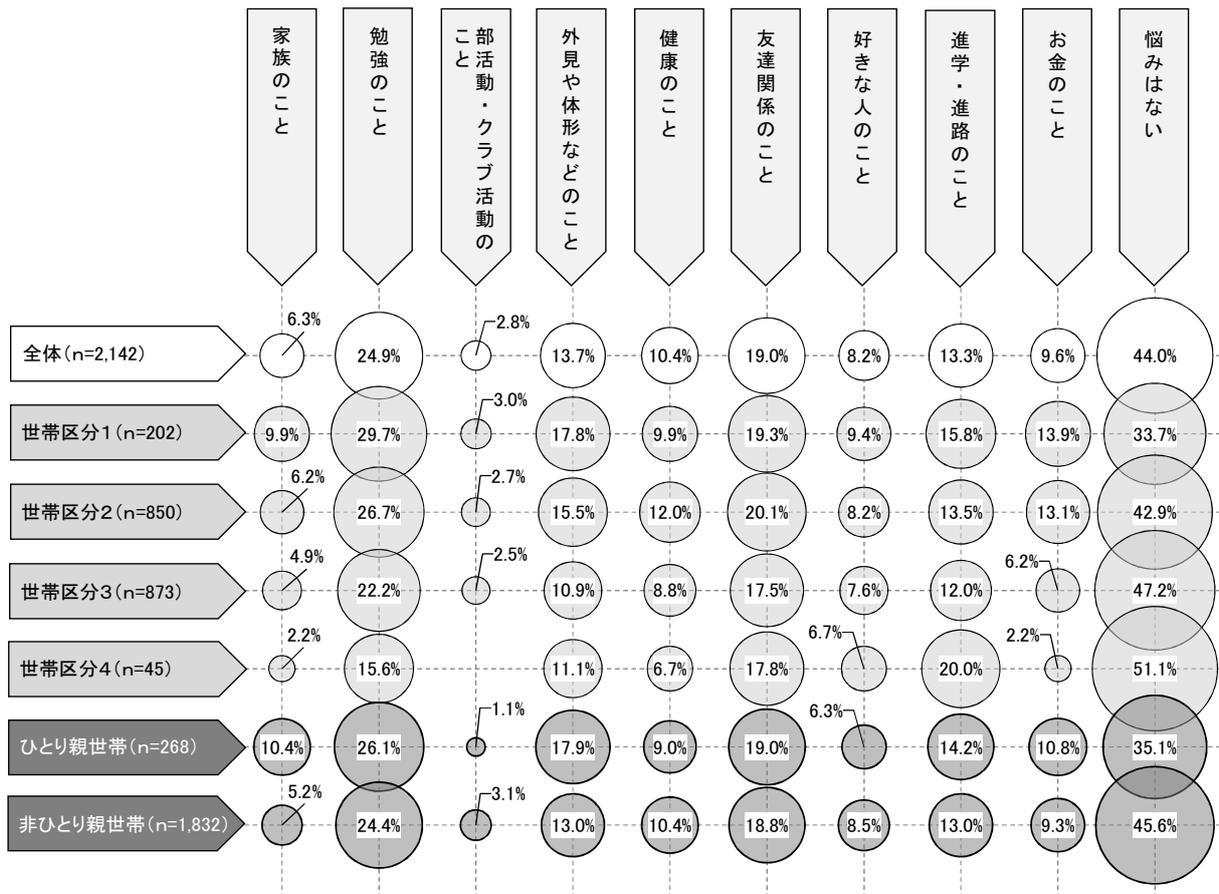


問 34 : いま悩んでいることは何か 【MA】

◆ 小学5年生 ◆

全体では、「悩みはない」が44.0%と最も高く、次いで、「勉強のこと」(24.9%)、「友達関係のこと」(19.0%)の順となっています。

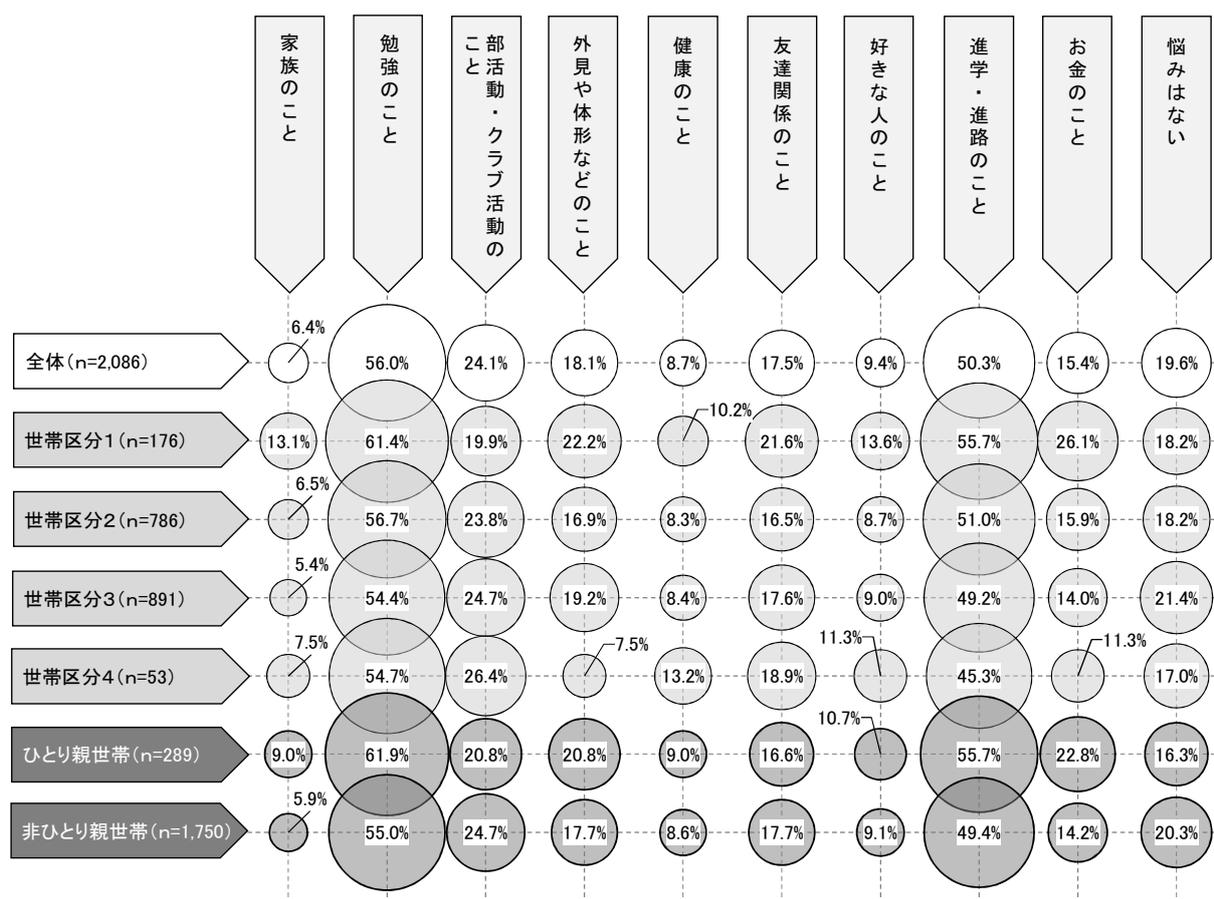
世帯区分でみると、所得が少ないほど「家族のこと」・「勉強のこと」・「お金のこと」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「勉強のこと」が56.0%と最も高く、次いで、「進学・進路のこと」(50.3%)、「部活動・クラブ活動のこと」(24.1%)の順となっています。

世帯区分でみると、世帯区分1で「家族のこと」・「勉強のこと」・「進学・進路のこと」、「お金のこと」割合が高くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「勉強のこと」・「進学・進路のこと」、「お金のこと」の割合が高くなっています。

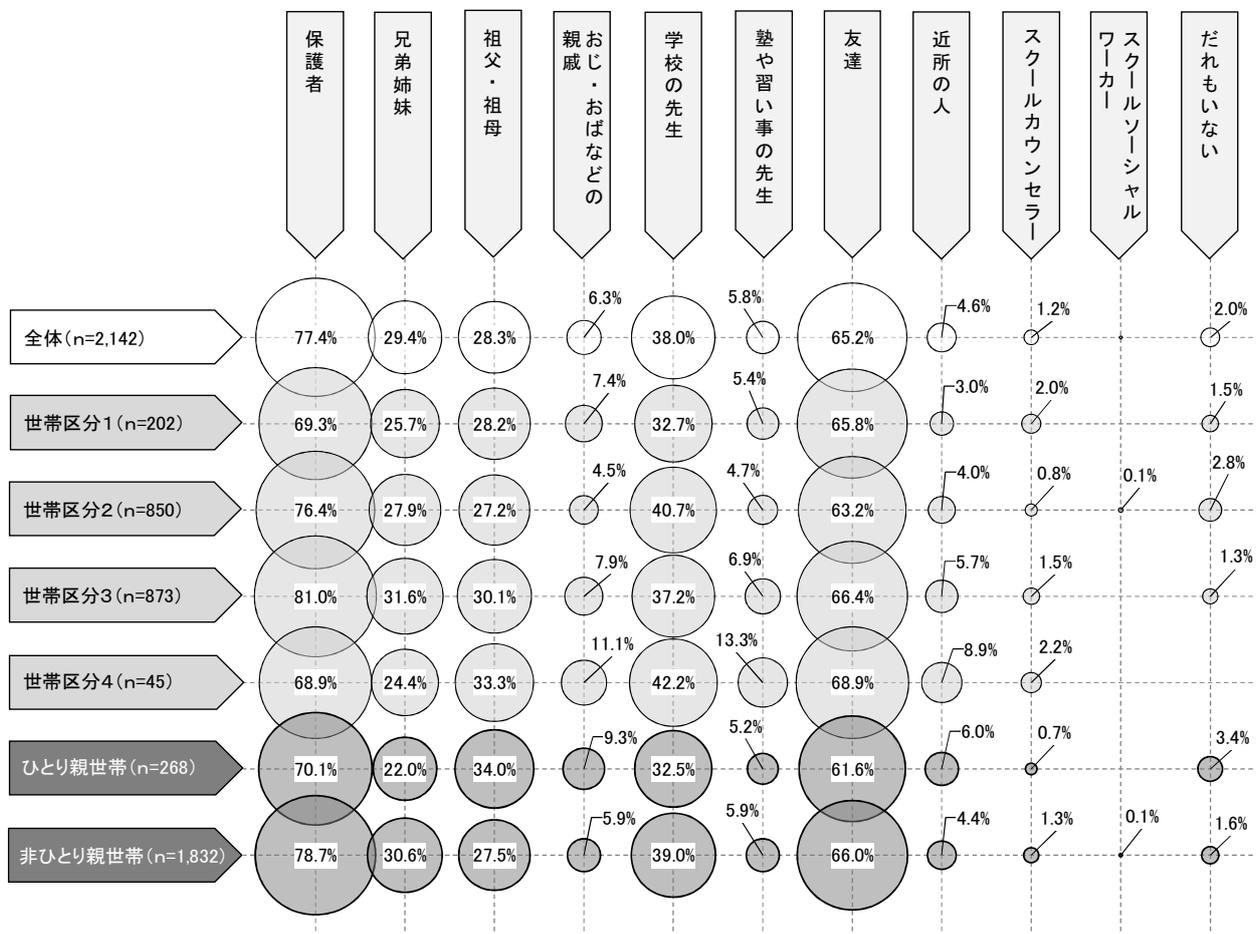


問 35 : いやなことや困ったことがあるとき、助けてくれたり、支えてくれる人はだれか 【MA】

◆ 小学5年生 ◆

全体では、「保護者」が77.4%と最も高く、次いで、「友達」(65.2%)、「学校の先生」(38.0%)の順となっています。

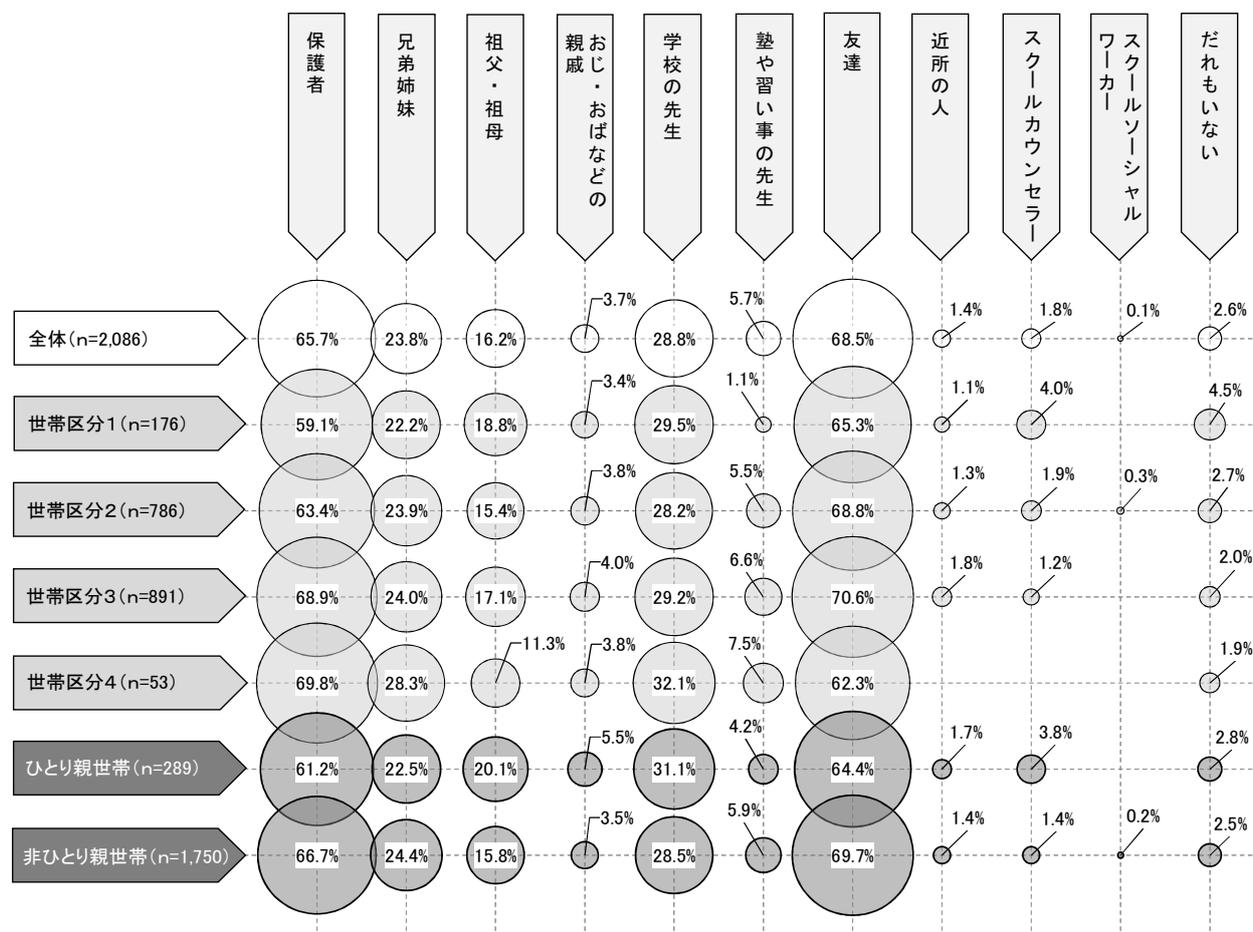
世帯区分でみると、世帯区分1で「保護者」・「学校の先生」の割合が低くなっています。家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「保護者」・「兄弟姉妹」・「学校の先生」の割合が低く、「祖父・祖母」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「友達」が68.5%と最も高く、次いで、「保護者」(65.7%)、「学校の先生」(28.8%)の順となっています。

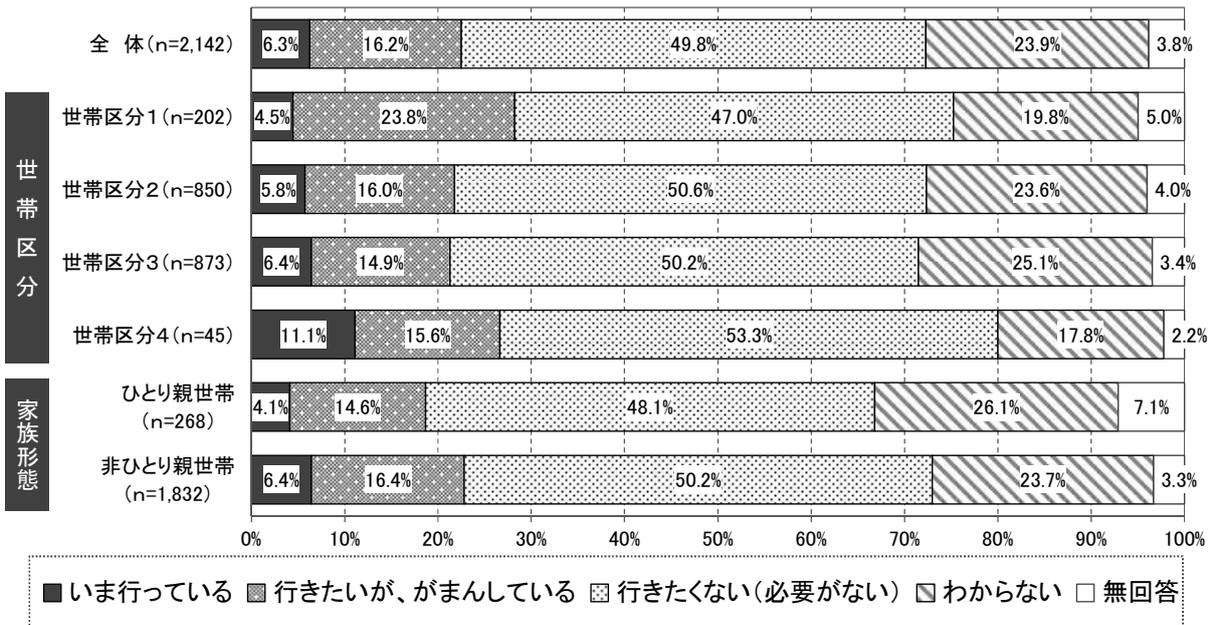
世帯区分でみると、所得が少ないほど「保護者」の割合が低くなっており、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「保護者」の割合が低く、「祖父・祖母」の割合が高くなっています。



問 36 (1) : 身近にあれば行きたい (やってみたい) と思うか
(無料で勉強を教えてくれる塾)

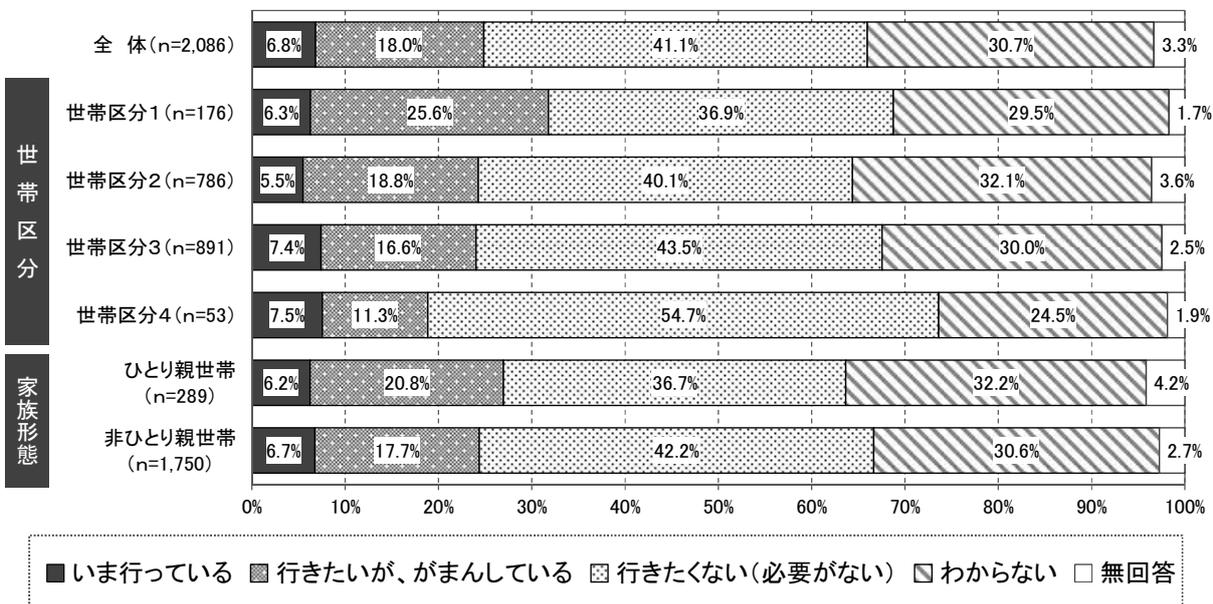
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「行きたくない(必要がない)」が49.8%と最も高く、次いで、「わからない」(23.9%)、「行きたいが、がまんしている」(16.2%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「行きたいが、がまんしている」、世帯区分4で「いま行っている」の割合がそれぞれ高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

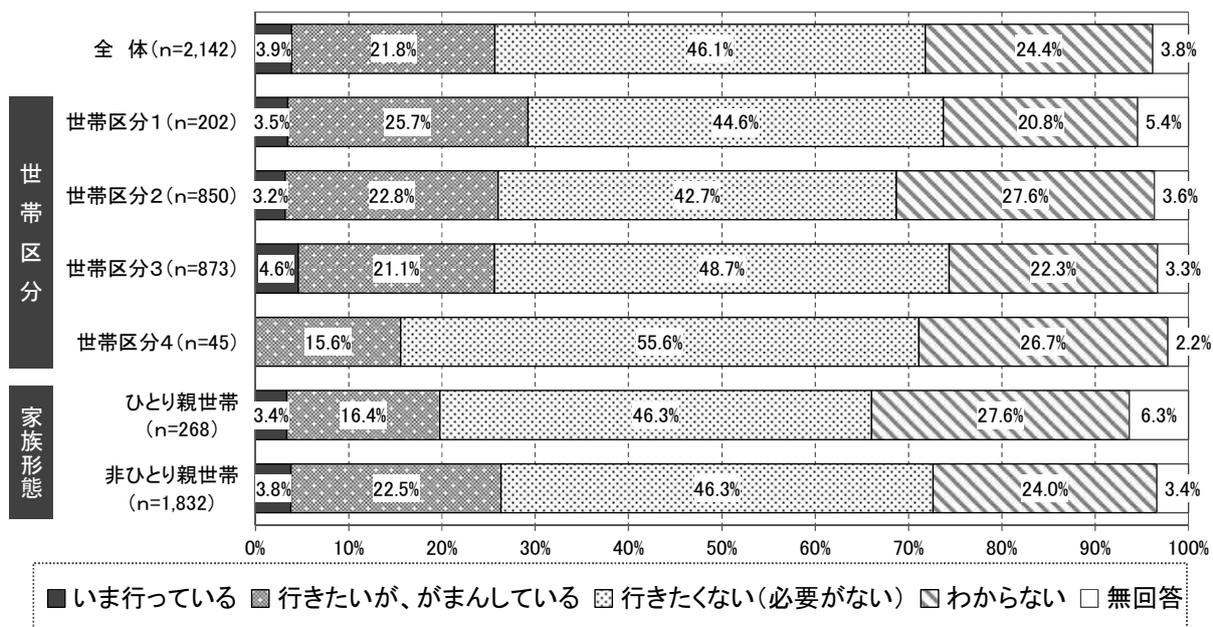
全体では、「行きたくない(必要がない)」が41.1%と最も高く、次いで、「わからない」(30.7%)、「行きたいが、がまんしている」(18.0%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「行きたいが、がまんしている」の割合が高くなっています。



問 36 (2) : 身近にあれば行きたい (やってみたい) と思うか
(無料で食事を食べさせてくれる場所)

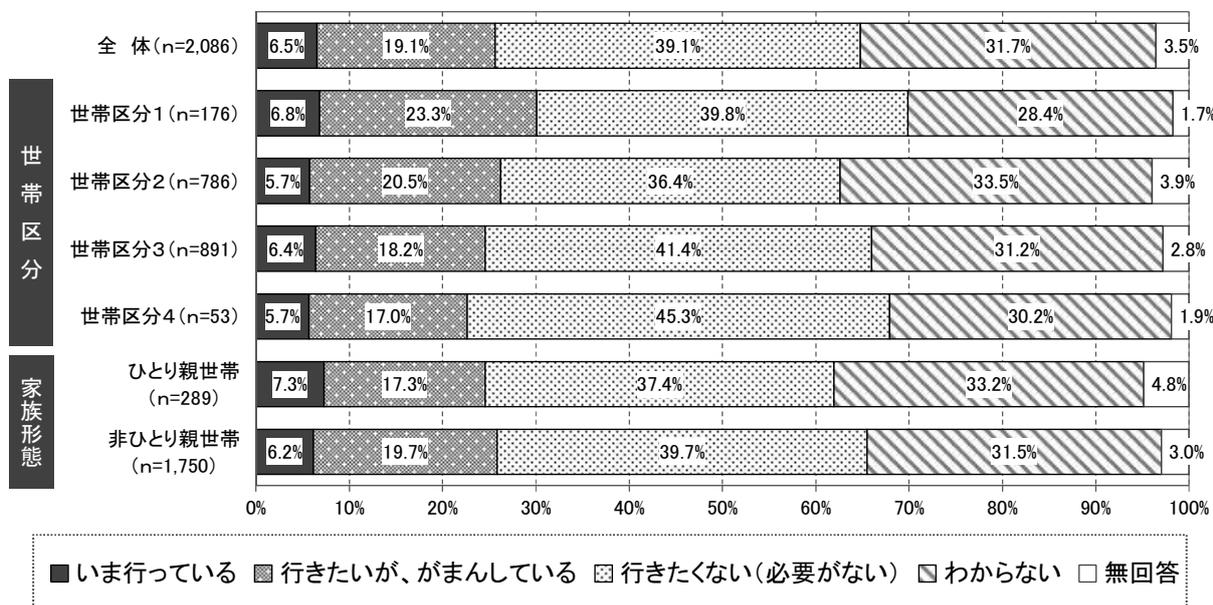
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「行きたくない(必要がない)」が46.1%と最も高く、次いで、「わからない」(24.4%)、「行きたいが、がまんしている」(21.8%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「行きたいが、がまんしている」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

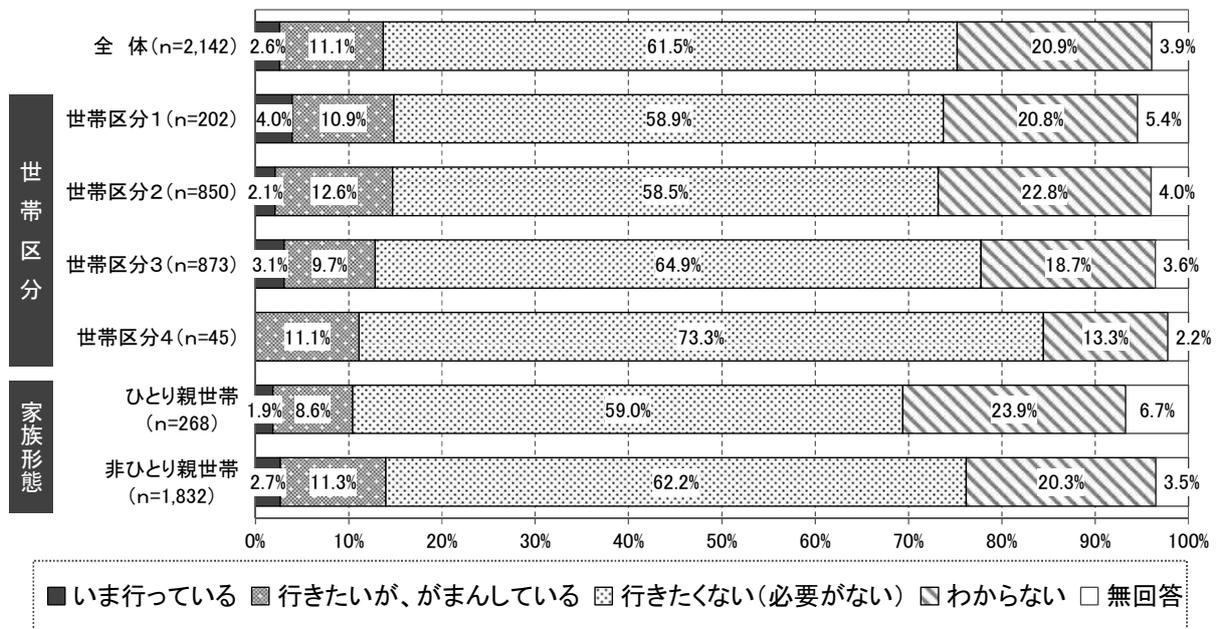
全体では、「行きたくない(必要がない)」が39.1%と最も高く、次いで、「わからない」(31.7%)、「行きたいが、がまんしている」(19.1%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「行きたいが、がまんしている」の割合が高くなっています。



問 36 (3) : 身近にあれば行きたい (やってみたい) と思うか
(悩みや困りごとを相談できる場所)

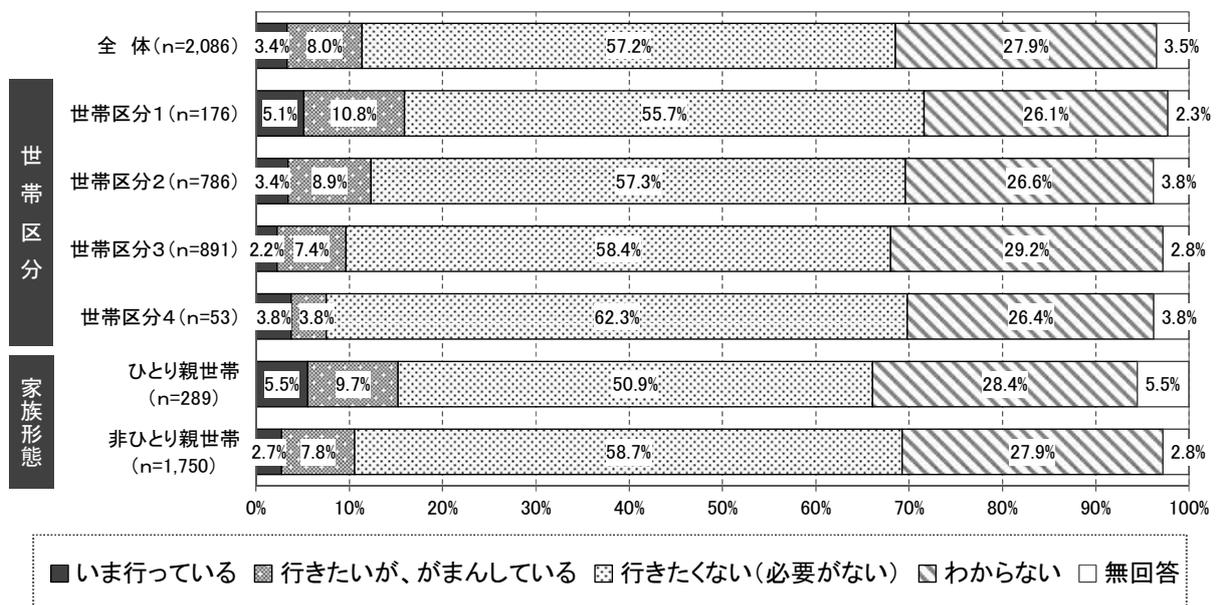
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「行きたくない(必要がない)」が61.5%と最も高く、次いで、「わからない」(20.9%)、「行きたいが、がまんしている」(11.1%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「行きたくない(必要がない)」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

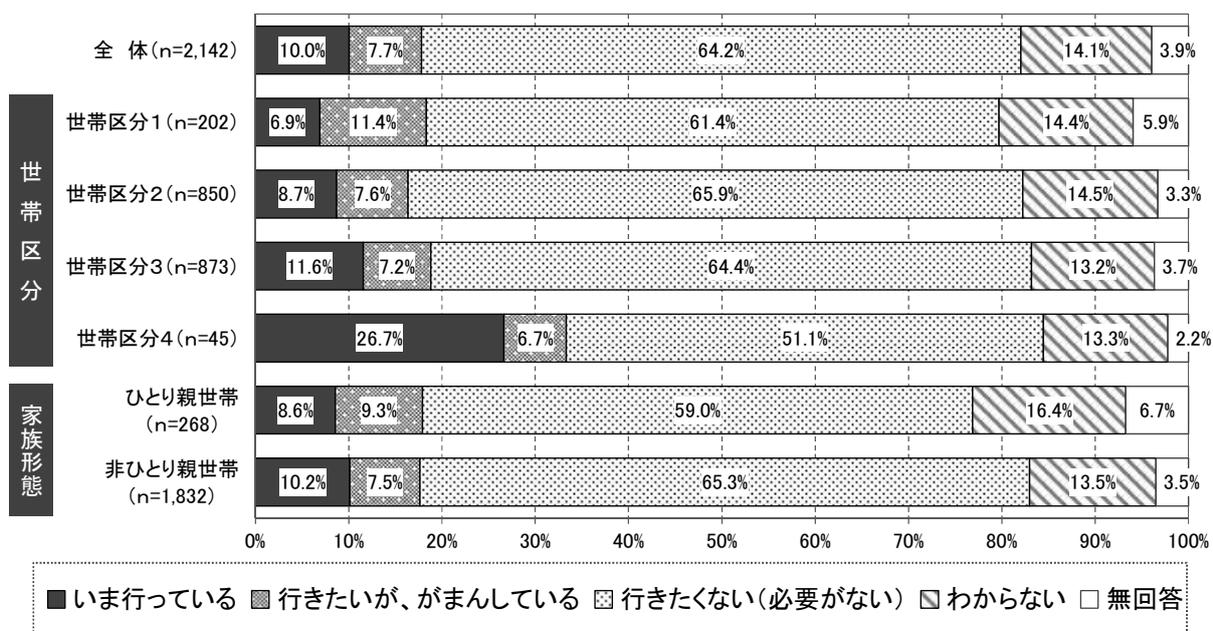
全体では、「行きたくない(必要がない)」が57.2%と最も高く、次いで、「わからない」(27.9%)、「行きたいが、がまんしている」(8.0%)の順となっており、世帯区分1及びひとり親世帯で「いま行っている」と「行きたいが、がまんしている」の割合がやや高くなっています。



問 36 (4) : 身近にあれば行きたい (やってみたい) と思うか
(親が帰宅するまでいることができる場所)

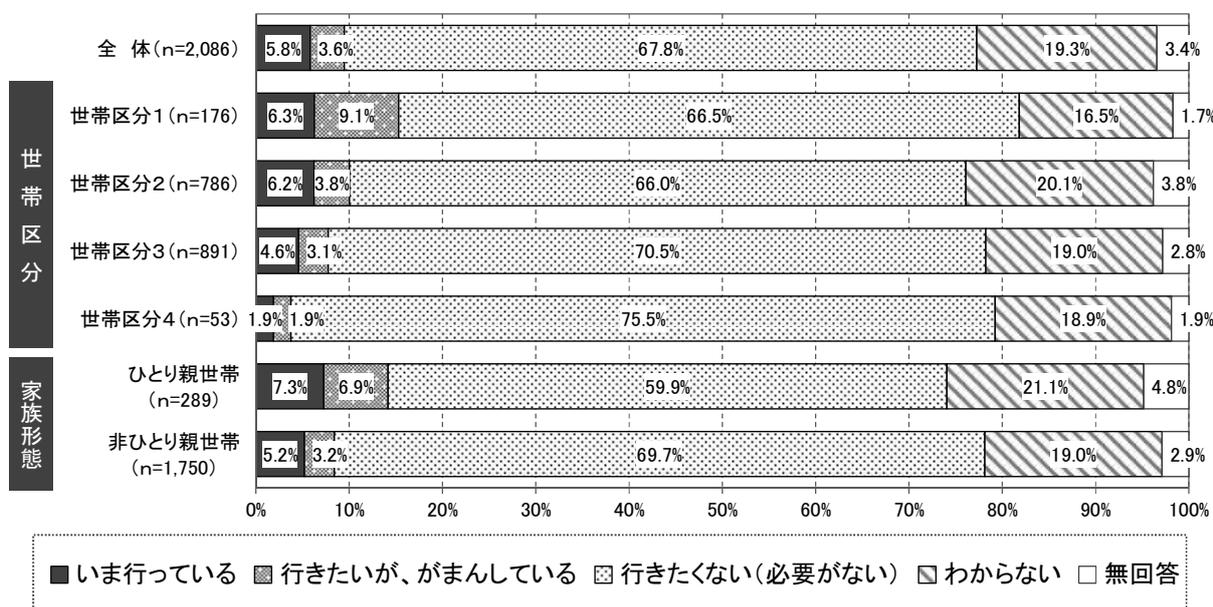
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「行きたくない(必要がない)」が64.2%と最も高く、次いで、「わからない」(14.1%)、「いま行っている」(10.0%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分4で「いま行っている」の割合が高くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「行きたくない(必要がない)」が67.8%と最も高く、次いで、「わからない」(19.3%)、「いま行っている」(5.8%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「いま行っている」と「行きたいが、がまんしている」の割合が高く、家族形態でみると、ひとり親世帯で「いま行っている」と「行きたいが、がまんしている」の割合が高くなっています。

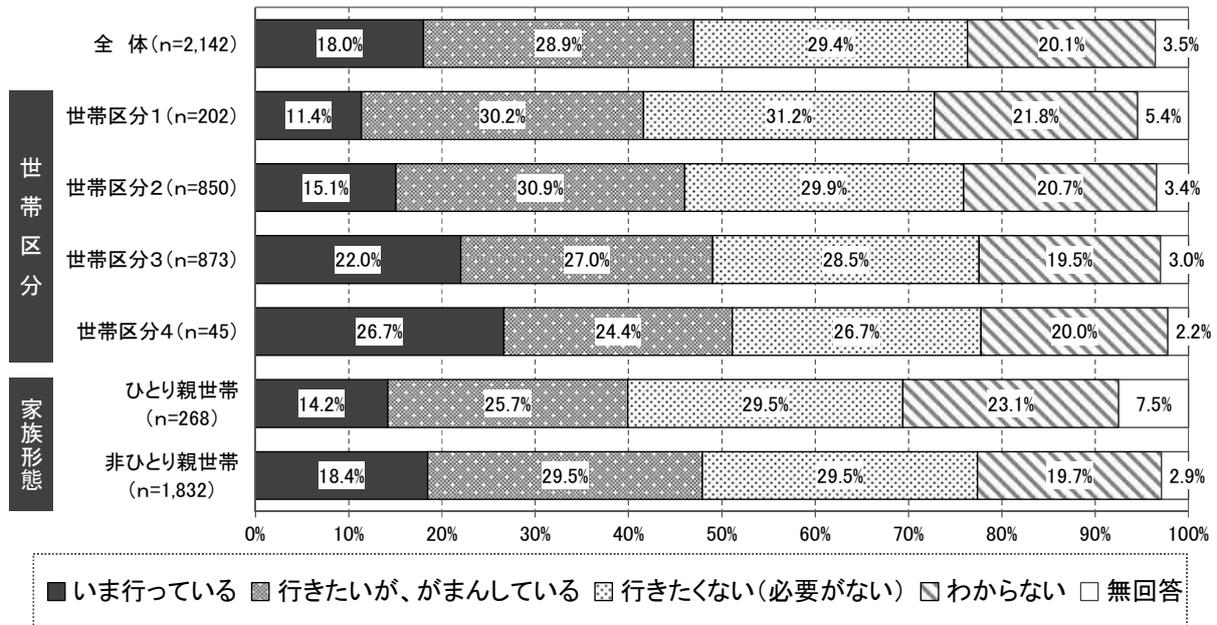


問 36 (5) : 身近にあれば行きたい (やってみたい) と思うか

(様々な体験活動/キャンプ・博物館・科学体験・映画鑑賞など)

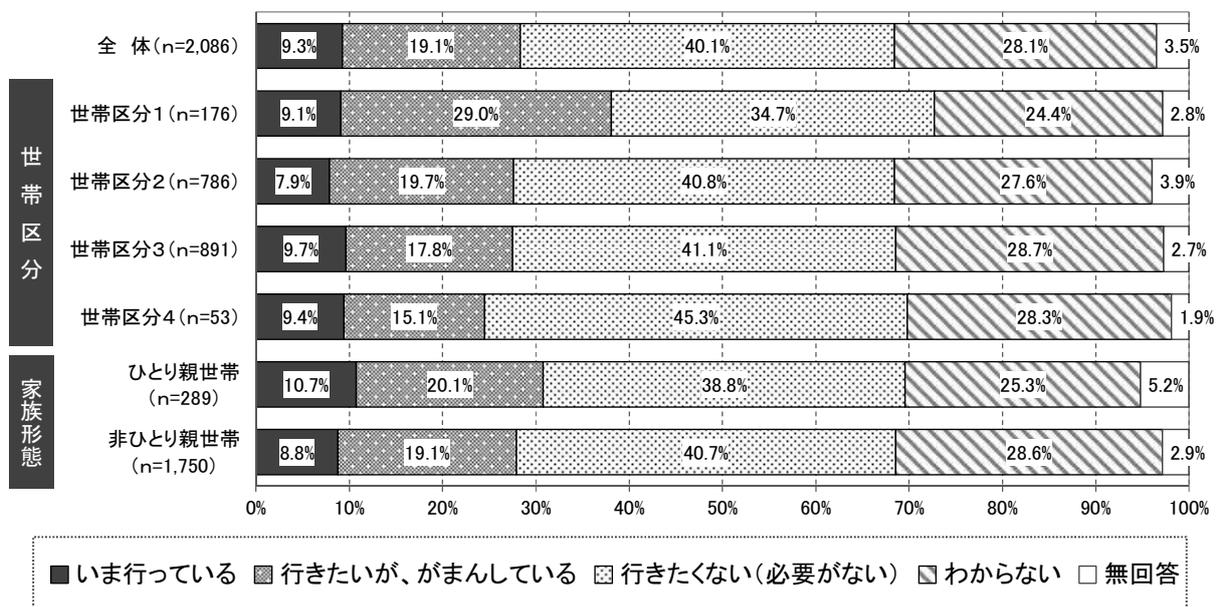
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「行きたくない(必要がない)」が29.4%と最も高く、次いで、「行きたいが、がまんしている」(28.9%)、「わからない」(20.1%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「いま行っている」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「いま行っている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

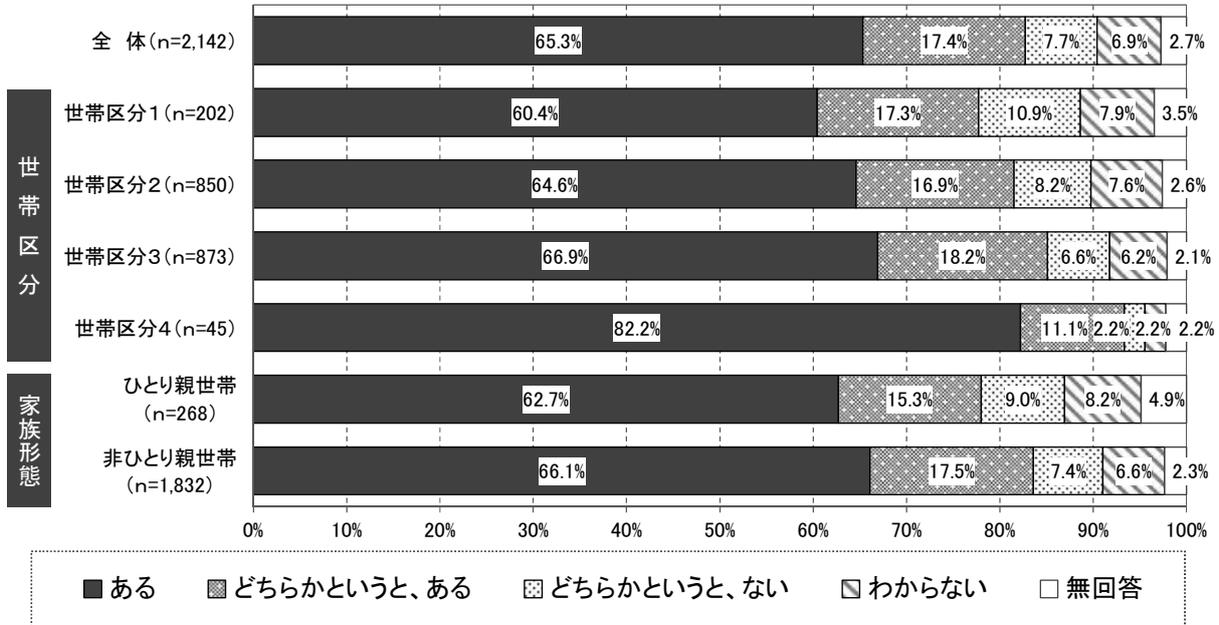
全体では、「行きたくない(必要がない)」が40.1%と最も高く、次いで、「わからない」(28.1%)、「行きたいが、がまんしている」(19.1%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分1で「行きたいが、がまんしている」の割合が高くなっています。



問 37：将来の夢や目標があるか

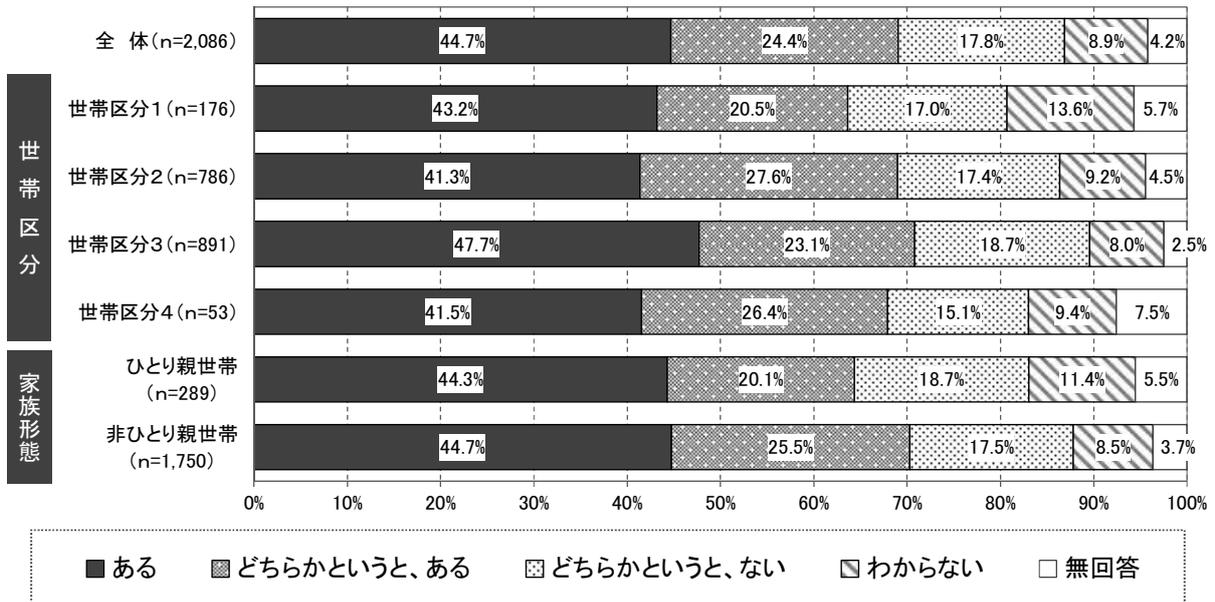
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「ある」が65.3%と最も高く、次いで、「どちらかという、ある」(17.4%)、「どちらかという、ない」(7.7%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「ある」の割合が低く、家族形態でみると、ひとり親世帯の方が「ある」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

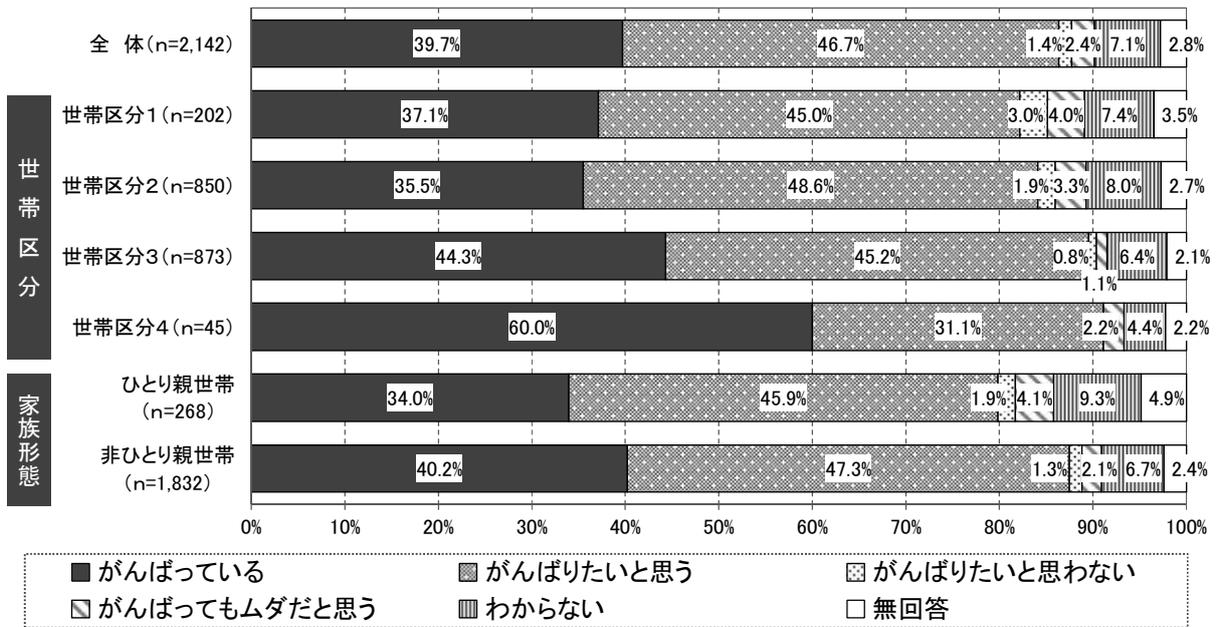
全体では、「ある」が44.7%と最も高く、次いで、「どちらかという、ある」(24.4%)、「どちらかという、ない」(17.8%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分3で「ある」の割合が高くなっています。



問 38 : 夢や目標をかなえるためにがんばりたいと思うか

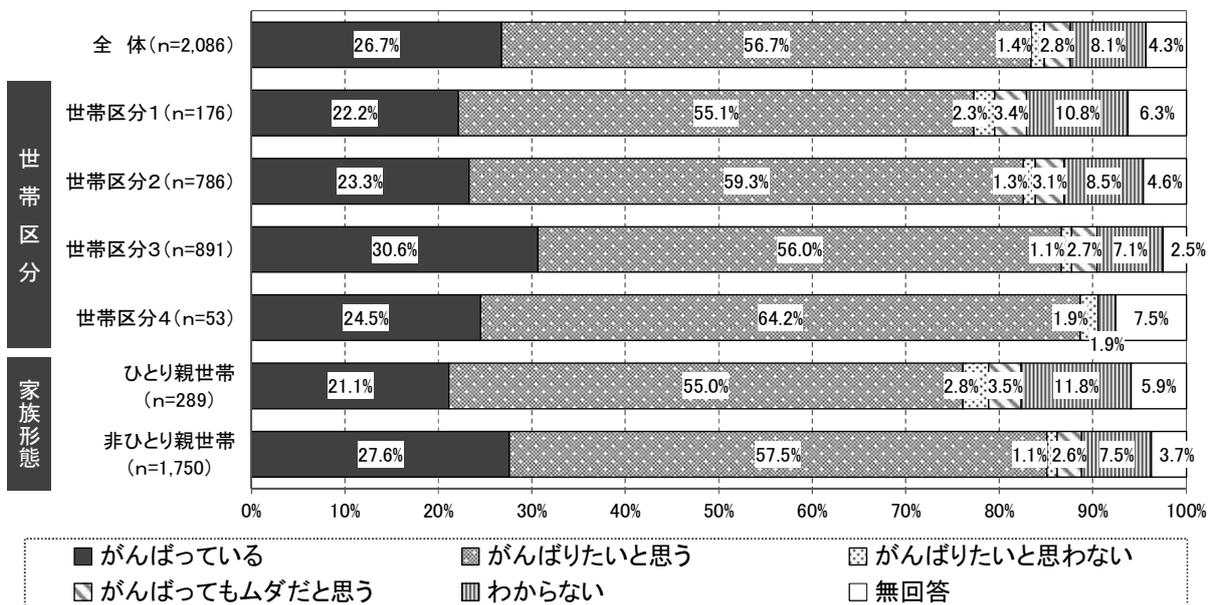
◆ 小学5年生 ◆

全体では、「がんばりたいと思う」が46.7%と最も高く、次いで、「がんばっている」(39.7%)、「わからない」(7.1%)の順となっています。世帯区分でみると、所得が少ないほど「がんばっている」の割合が低い傾向にあり、家族構成でみると、ひとり親世帯の方が「がんばっている」の割合が低くなっています。



◇ 中学2年生 ◇

全体では、「がんばりたいと思う」が56.7%と最も高く、次いで、「がんばっている」(26.7%)、「わからない」(8.1%)の順となっています。世帯区分でみると、世帯区分3で「がんばっている」の割合が高く、家族構成でみると、ひとり親世帯の方が「がんばっている」の割合が低くなっています。



IV 「支援者用」アンケートの概要と結果

1 調査の趣旨と目的

このたびの「岡山県子どもの生活実態調査」を実施するにあたり、日頃から子どもと関わっている関係機関の方々に支援者側の視点から子どもの状況等についてうかがい、子どもの貧困問題に関して、今後の支援の在り方等を検討する基礎資料として活用するために行いました。

2 調査対象

- ア. 保育所
調査参加の市町村に所在する保育所 22 か所
- イ. 小学校・中学校
調査参加の市町村に所在する小学校または中学校 22 か所
- ウ. 高等学校
県立高校 3 校
- エ. 特別支援学校
県立特別支援学校 3 校
- オ. 放課後児童クラブ
調査参加の市町村に所在する放課後児童クラブ 21 か所
- カ. 児童館
県内に所在する児童館のうち 10 か所
- キ. 児童養護施設等
県内に所在する児童養護施設等 14 か所
- ク. NPO 法人
子どもの支援を行っている NPO 法人 36 団体
- ケ. スクールカウンセラー (SC)
県教育委員会が委嘱している SC のうち 10 名
- コ. スクールソーシャルワーカー (SSW)
県教育委員会が委嘱している SSW のうち 33 名
- サ. 生活困窮者自立相談支援機関
調査参加の市町村における生活困窮者自立相談支援機関の職員 16 名【市町村担当職員、委託先の社協等の職員】
- シ. 大学生
子どもの貧困支援に携わっている学生ボランティア 10 名

合計 200 団体

3 調査内容

「支援者用」アンケート（設問数9問） ※ 巻末「資料」にアンケートを掲載

4 配付と回収の状況

調査対象	配付数	回収数	回収率
保育所	22	17	77.3%
学校	28	28	100.0%
放課後児童クラブ	21	18	85.7%
児童館	10	10	100.0%
児童養護施設等	14	11	78.6%
NPO 法人	36	20	55.6%
スクールカウンセラー	10	8	80.0%
スクールソーシャルワーカー	33	15	45.5%
生活困窮者自立相談支援機関	16	15	93.8%
大学生	10	7	70.0%
合 計	200	149	74.5%

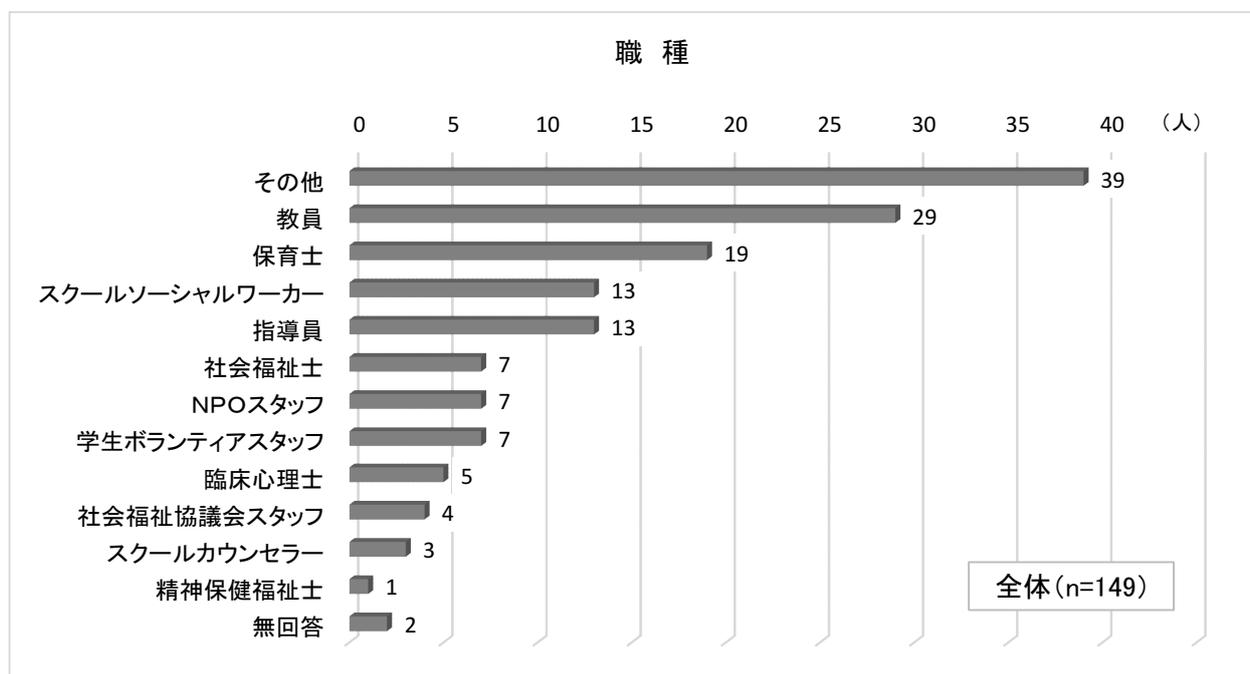
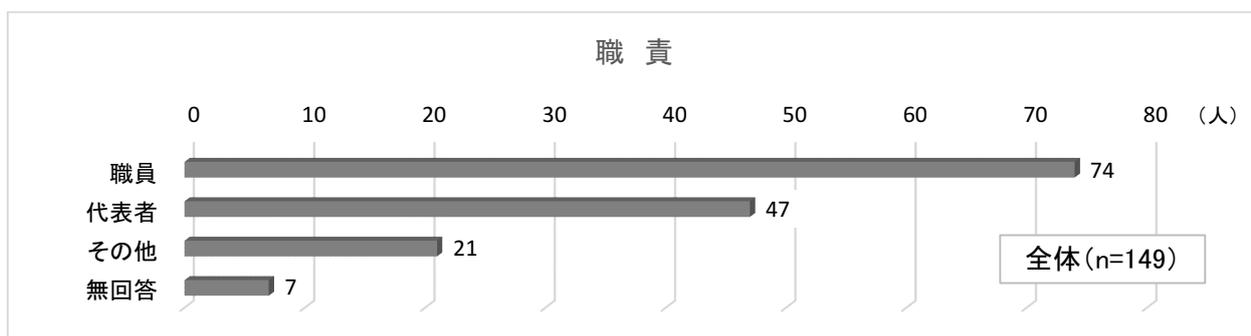
5 数値等の基本的な取り扱いについて

- (1) 比率は百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- (2) 基数となるべき実数(回答者総数または該当者数)は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- (3) 質問の終わりに【MA】とある設問は、2つ以上の回答を出してもよい設問であるため、合計比率は100%を超える場合があります。
- (4) 文章及びグラフの設問カテゴリー(選択肢)の文言は、一部簡略化してあります。
- (5) 回答者が0%の回答は、基本的にグラフ化を行いません。

6 「支援者用」アンケートの結果

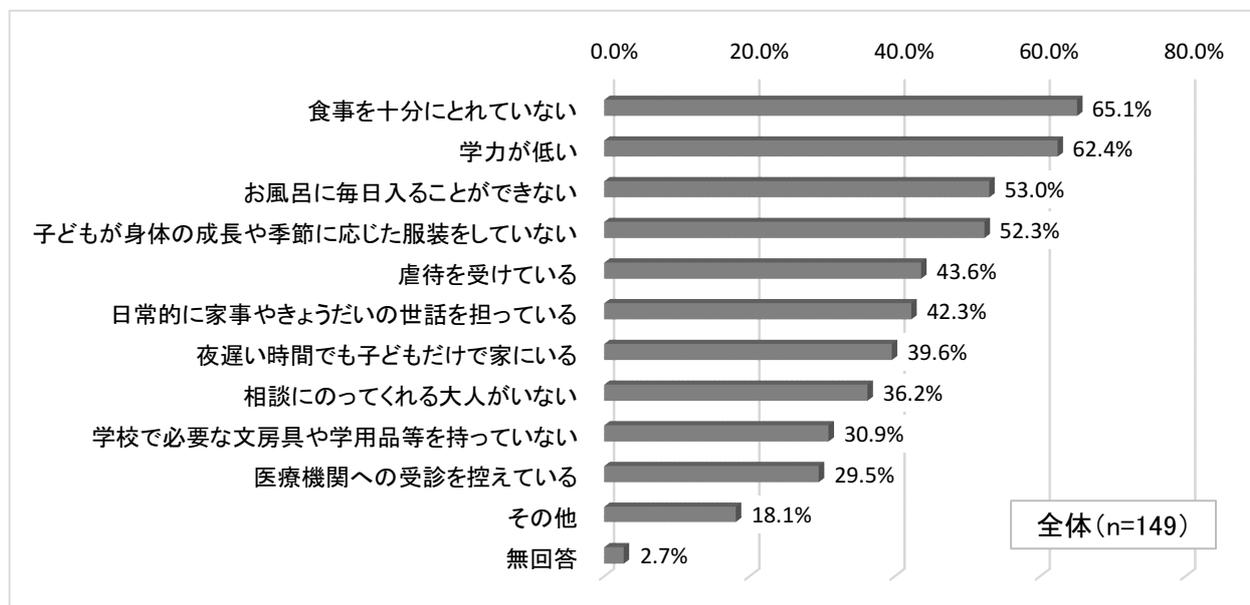
問2 あなたは貴団体でどのような立場か。

職責でみると、「職員」が74人と最も多く、次いで、「代表者」(47人)、「その他」(21人)となっています。また、職種でみると、「その他」が39人と最も多く、次いで、教員(29人)、保育士(19人)の順となっています。



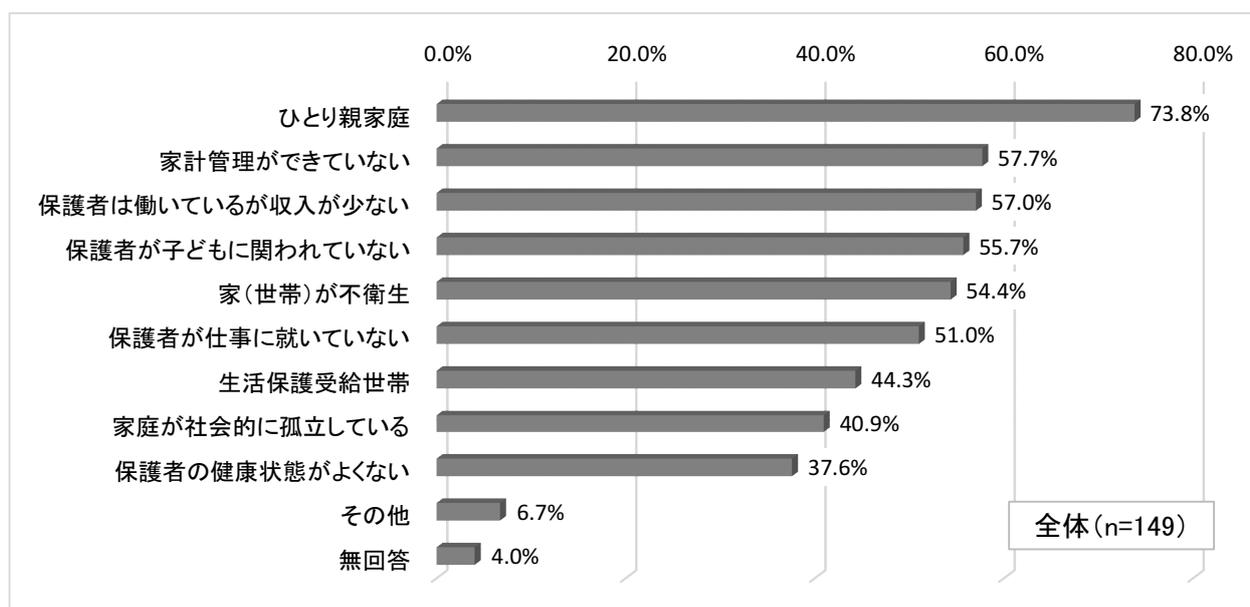
問3 背景に貧困が伴うと考えられる子どものおかれていた困難な状況。【MA】

「食事を十分にとれていない」が65.1%と最も高く、次いで、「学力が低い」(62.4%)、「お風呂に毎日入ることができない」(53.0%)の順となっています。



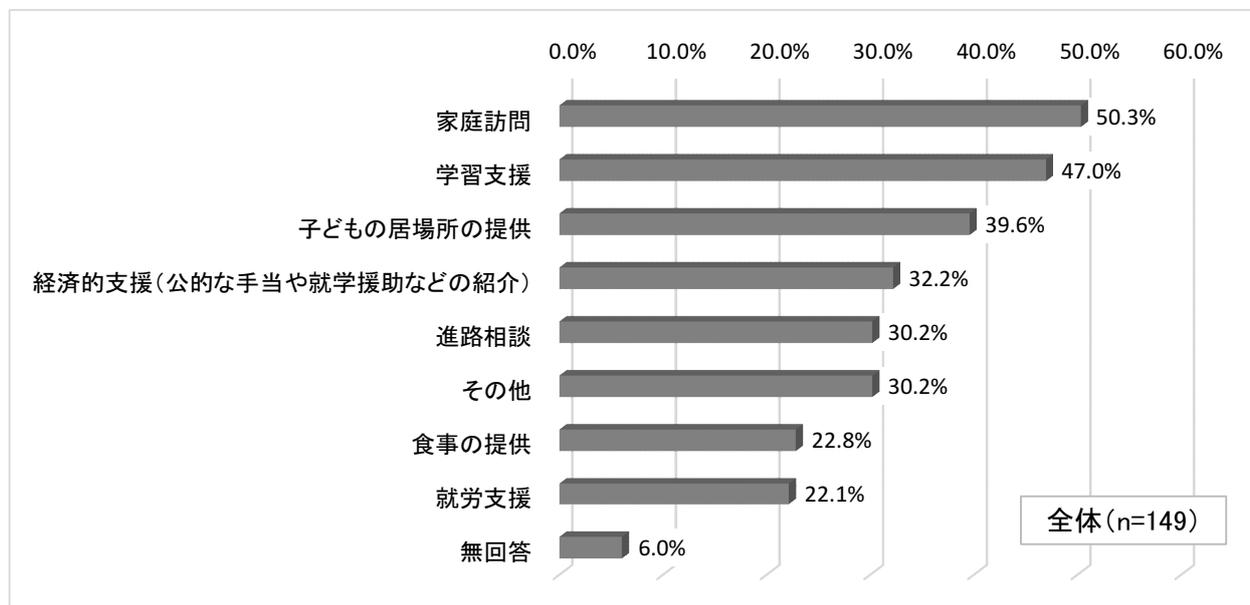
問4 背景に貧困が伴うと考えられる子どもの世帯の困難な状況。【MA】

「ひとり親家庭」が73.8%と最も高く、次いで、「家計管理ができていない」(57.7%)、「保護者は働いているが収入が少ない」(57.0%)の順となっています。



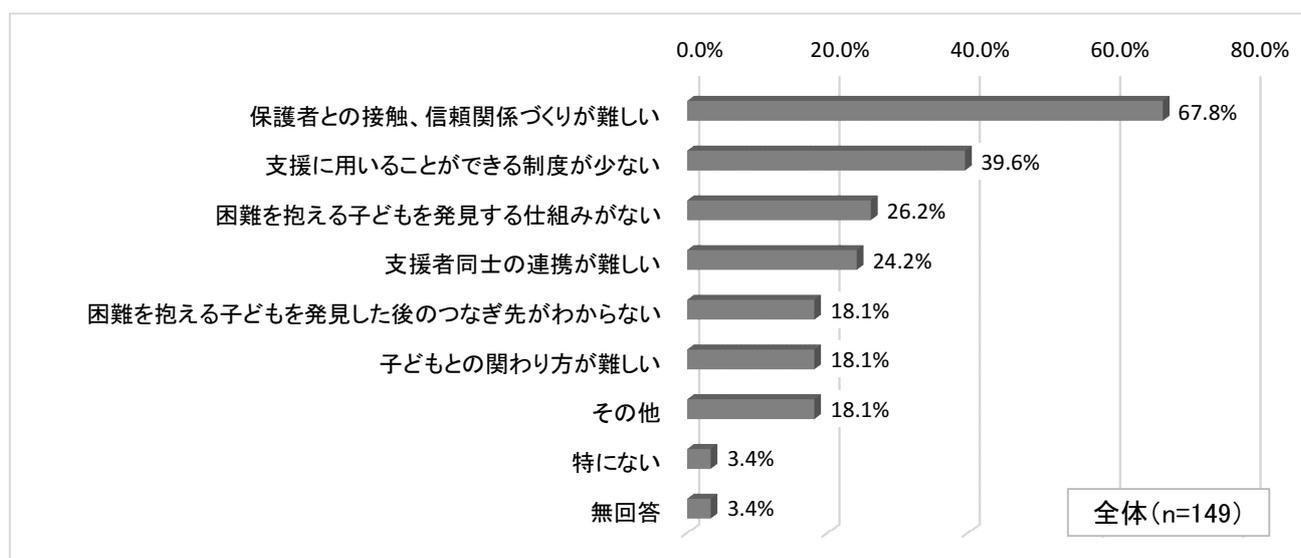
問5 背景に貧困が伴うと考えられる子どもへ行った支援の内容。【MA】

「家庭訪問」が50.3%と最も高く、次いで、「学習支援」(47.0%)、「子どもの居場所の提供」(39.6%)の順となっています。



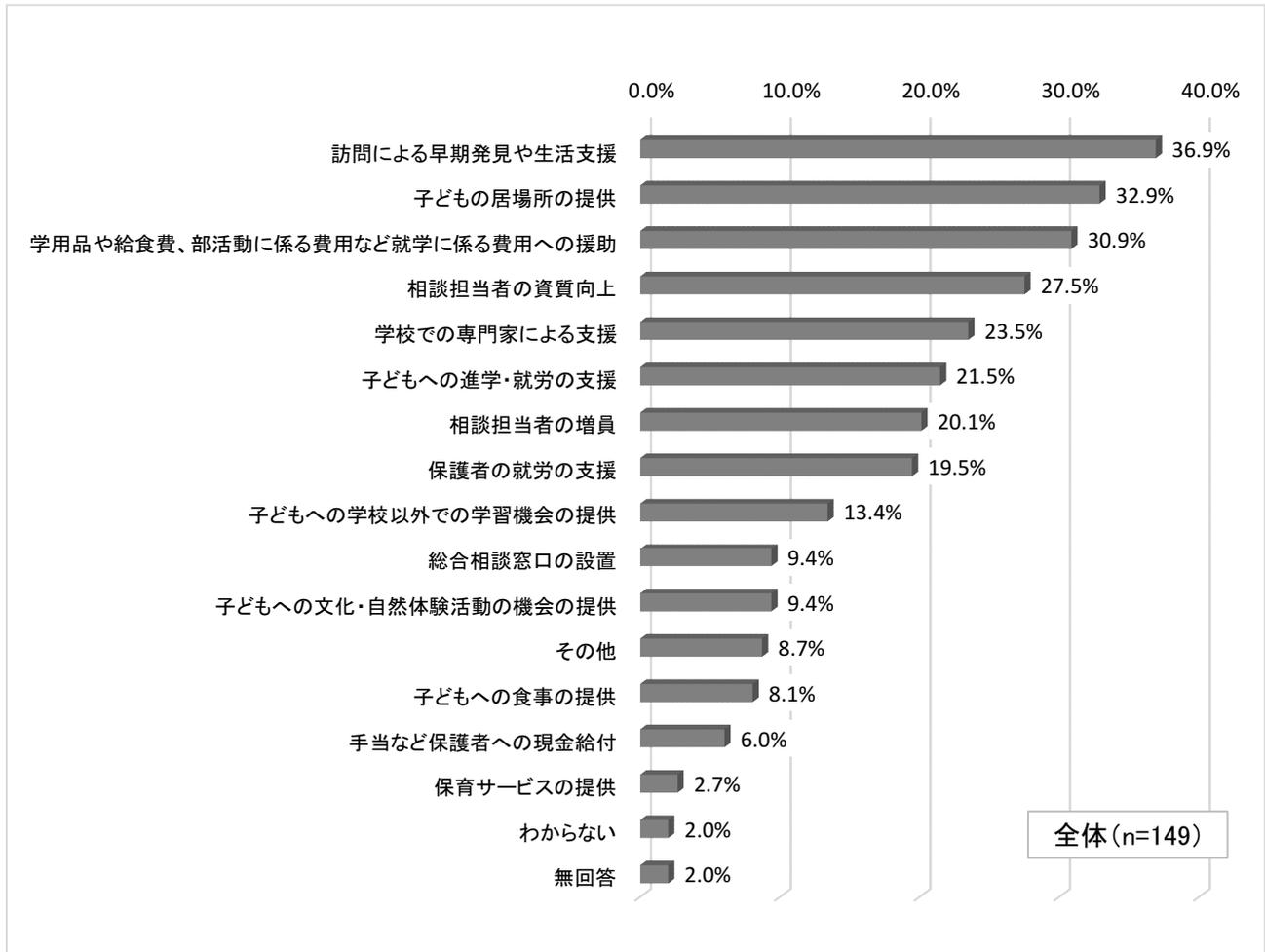
問7 困難を抱える子どもとその家庭への支援について、どのような点が困難と感じているか。【MA】

「保護者との接触、信頼関係づくりが難しい」が67.8%と最も高く、次いで、「支援に用いることができる制度が少ない」(39.6%)、「困難を抱える子どもを発見する仕組みがない」(26.2%)の順となっています。



問8 背景に貧困が伴うと考えられる子どもやその世帯に、どのような支援がもっとも必要と思うか。【MA】

「訪問による早期発見や生活支援」が36.9%と最も高く、次いで、「子どもの居場所の提供」(32.9%)、「学用品や給食費、部活動に係る費用など就学に係る費用への援助」(30.9%)の順となっています。



V 資料

1 「保護者用」アンケート

おかやまけん こ せいかつじつたいちようさ
岡山県子どもの生活実態調査

ちようさ きようりよく ねが
《調査ご協力のお願い》

この調査は、県が抽出した学校の小学5年生と中学2年生の子どもと保護者の方にお願
いしています。

対象となった皆さんには、誠にお手数をおかけしますが、皆さんの回答が今後の支援策
にも反映される、とても大切な調査ですので、その意義をご理解の上、ご協力いただきま
すようお願い申し上げます。

なお、この調査では、個人を特定することはありません。また、この調査は、県が主体と
なって実施するものであり、調査票は学校を通じて配付しますが、学校が回答を見ること
はなく、学校にお問い合わせいただいても、学校はお答えすることができません。

ご回答の内容は、本調査の目的以外に利用することはありませんが、調査・分析結果は、
今後の支援策等の検討に役立てるため市町村にも情報提供しますので、その旨ご了解をお
願ひします。

きにゆう
ご記入にあたって

- この調査票は、お子さんと同居している保護者の方に記入をお願いします。
- アンケートは無記名でお願いします。住所や名前を書いていただく必要はありません。
- この調査票の質問でお聞きする「お子さん」とは、この調査票を持ち帰ったお子さんを指します。
ほかにお子さんがいても、この調査票を持ち帰ったお子さんのことについてのみお答えください。
- ご記入が終わったら、ピンク色の封筒に入れて封をし、(お子さんを通じて)学校へ提出してくだ
さい。学校では開封することはいたしません。

＜この調査についてのお問い合わせ先＞

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
おかやまけんほけんふくしご かねがいか ちよくつう
岡山県保健福祉部子ども家庭課 TEL 086-226-7349 (直通)

※ このアンケートは岡山県が委託した統計処理会社が情報処理を取り扱います。

<はじめに>

この調査では、ご家庭の様子をかなり細かくおたずねしています。答えにくい質問や答えたくない質問には、お答えいただく必要はありませんが、調査の意義等をご理解の上、できるだけご協力ください。

I あなた自身とあなたの世帯のことについておたずねします。

問1 この調査票にお答えいただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|------|
| ① 父 | ② 母 | ③ 祖父 | ④ 祖母 |
| ⑤ おじ・おばなど親戚 | ⑥ 施設職員・里親 | ⑦ その他 () | |

問2 健康状態についておたずねします。

(1) あなたの健康状態としてもっとも近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- | | | | | |
|------|--------|------|-----------|--------|
| ① 良い | ② まあ良い | ③ 普通 | ④ あまり良くない | ⑤ 良くない |
|------|--------|------|-----------|--------|

(2) お子さんの健康状態としてもっとも近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- | | | | | |
|------|--------|------|-----------|--------|
| ① 良い | ② まあ良い | ③ 普通 | ④ あまり良くない | ⑤ 良くない |
|------|--------|------|-----------|--------|

問3 あなたの世帯の状況についておたずねします。

(1) ふだん一緒にお住まいで、生計をともにしている方(世帯員)はあなたを含めて何人ですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|------|------|------|---------|------|
| ① 2人 | ② 3人 | ③ 4人 | ④ 5人 | ⑤ 6人 |
| ⑥ 7人 | ⑦ 8人 | ⑧ 9人 | ⑨ 10人以上 | |

(2) お子さんからみて、生計をともにしている方すべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも) ※ 単身赴任などで一時的に別居している方も含みます。

- | | | |
|---------|--------------|---------|
| ① 父 | ② 母 | ③ きょうだい |
| ④ 祖父・祖母 | ⑤ おじ・おばなどの親戚 | ⑥ その他の人 |

問4 お子さんの保護者の最終学歴についておたずねします。(それぞれ〇は1つ)

※ お父さん、お母さんがいない方は問5に進んでください。

(1) 父	① 中学校卒	② 高校中退	③ 高校卒	④ 短期大学・専門学校中退
	⑤ 短期大学・専門学校卒	⑥ 大学中退	⑦ 大学・大学院卒	
(2) 母	① 中学校卒	② 高校中退	③ 高校卒	④ 短期大学・専門学校中退
	⑤ 短期大学・専門学校卒	⑥ 大学中退	⑦ 大学・大学院卒	

II あなたの世帯の現在の就労状況についておたずねします。

問5 あなたの世帯で働いている方はどなたですか。あてはまるものすべてに〇をしてください。

(お子さんからみた続柄でお答えください。)(〇はいくつでも)

※ ⑦の答えを選んだ方は問7に進んでください。

① 父	② 母	③ 兄・姉	④ 祖父・祖母
⑤ おじ・おばなどの親戚	⑥ その他の人 ()		
⑦ 働いている人はいない	→ 問7へ		

問6 上記の問5で働いている方のうち、主に家計を支えている方についておたずねします。

(1) 主に家計を支えているのはどなたですか。(お子さんからみた続柄でお答えください。)

(〇は1つ)

① 父	② 母	③ 兄・姉	④ 祖父・祖母
⑤ おじ・おばなどの親戚	⑥ その他の人 ()		

(2) 主に家計を支えている方の現在のご職業(働き方)は次のどれですか。もっとも近いと思うものに〇をつけてください。(〇は1つ)

① 会社役員・会社員・公務員などの正規職員	② パート・アルバイトなどの非正規職員
③ 自営業・家業手伝い(農業を含む)	④ その他 ()

Ⅲ あなたの世帯の経済状況についておたずねします。

問7 あなたのご家族全員の収入（ボーナスなど含む）を合わせたおおよその世帯年収を年間の手取り額で教えてください。（〇は1つ）

※ ここでいう収入とは、働いて得た収入（パート・アルバイトを含む）、不動産所得や株式の配当、年金、児童手当や児童扶養手当など公的な援助手当等すべての収入を含みます。

※ 手取り額とは、税金、健康保険料や年金保険料、介護保険料を支払った後の金額になります。社内貯金や住宅ローンなど、給与から天引きされる貯蓄・借金などがある場合は、天引き前の金額になります。

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| ① 100万円未満 | ② 100～200万円未満 | ③ 200～300万円未満 |
| ④ 300～400万円未満 | ⑤ 400～500万円未満 | ⑥ 500～600万円未満 |
| ⑦ 600～700万円未満 | ⑧ 700～800万円未満 | ⑨ 800～900万円未満 |
| ⑩ 900～1,000万円未満 | ⑪ 1,000万円以上 | |

問8 あなたのお住まいについてお聞きします。あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。

（〇は1つ）

- | | | |
|-----------------|----------|-----------|
| ① 持ち家（家族の名義を含む） | ② 公営住宅 | ③ 民間の賃貸住宅 |
| ④ 社宅・官舎 | ⑤ その他（ ） | |

問9 お子さんの将来のために、貯蓄や学資保険の加入などを行っていますか。（〇は1つ）

- | | | |
|----------|---------------|--------------|
| ① 貯蓄している | ② 貯蓄したいが余裕がない | ③ 貯蓄するつもりはない |
|----------|---------------|--------------|

問10 あなたのご家庭では、過去1年間の間に経済的な理由で必要とする食料（嗜好品は含まず）や衣料が買えなかったり、月々の料金の支払いができなかったことなどがありましたか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------|------------------|
| ① 食料が買えなかった | ② 衣料・生活用品が買えなかった |
| ③ 電気・ガス・水道料金の未払い | ④ 税金や保険料の滞納 |
| ⑤ 家賃やローンの滞納 | ⑥ 給食費の滞納 |
| ⑦ 医療機関の受診を控えた | ⑧ 特に該当なし |

問11 あなたの^{かてい}ご家庭では、^{けいざいてき}経済的に^{くる}苦しい^{じょうきょう}状況であったときに、^{たいおう}どのように対応してきましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

① ^{なに} 何もしなかった	② ^{しんぞく} 親族に ^{そうだん} 相談	③ ^{ゆうじん} 友人に ^{そうだん} 相談	④ ^{かいしゃ} 会社からの ^{かりいれ} 借入
⑤ ^{こうてききかん} 公的機関に ^{そうだん} 相談	⑥ ^{きんゆうきかん} 金融機関・ ^{しょうひしゃ} 消費者 ^{とうりよう} ローン等を利用	⑦ ^{ししゅつ} 支出を ^へ 減らした	
⑧ ^{しごと} 仕事(副業)を ^ふ 増やした	⑨ ^{ちちちく} 貯蓄を ^と 取り崩した	⑩ ^{こま} 困ったことがない	
⑪ ^た その他 ()			

問12 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

(1) お子さんが通われている^{がっこう}学校の^{じゅぎょうさんかん}授業参観や^{うんどうかい}運動会などの^{ぎょうじ}行事にどれくらい^{さんか}参加していますか。(○は1つ)

① よく ^{さんか} 参加する	② ^{さんか} ときどき参加する	③ あまりしない	④ まったくしない
--------------------------	---------------------------	----------	-----------

(2) お祭りや^{まちないかい}町内会、^こ子ども会などの^{ちいき}地域の^{ぎょうじ}行事にお子さんと^{いっしょ}一緒に^{さんか}参加していますか。

(○は1つ)

① よく ^{さんか} 参加する	② ^{さんか} ときどき参加する	③ あまりしない	④ まったくしない
--------------------------	---------------------------	----------	-----------

問13 お子さんを^{そだ}育てる^{なか}中で「^{そだ}育てにくい」と^{かん}感じる^{こと}ことや、^こ子育てや^{きょういく}教育についての^{なや}悩みがありますか。(○は1つ)

※ ②～③の^{こた}答えを^{えら}選んだ方は^{かた}問15へ^{すす}進んでください。

① ある	② ない → ^{こた} 問15へ	③ わからない → ^{こた} 問15へ
------	---------------------------	------------------------------

問14 問13で「① ある」と答えた方におたずねします。どのようなことで「育てにくい」と感じたり、悩んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- ① 子どもの障害 (発達障害を含む) ② 子どもの非行 ③ 子育てや教育にかかる費用
 ④ 子どもの健康 ⑤ 子どもの栄養状態 ⑥ 子どもの学校での勉強
 ⑦ 子どもの友人関係 ⑧ 子どもと先生との人間関係 ⑨ 子どもの進路
 ⑩ 子どもの家庭での勉強 ⑪ 子どものテレビ、スマートフォン、ゲーム等の使用
 ⑫ 反抗期の子どもとの接し方 ⑬ 親に対する心理的暴力や身体的暴力
 ⑭ 子どもと接する時間がとれないこと ⑮ 子どもひとりで留守番させること
 ⑯ 子育てと仕事の両立が難しいこと ⑰ 子どもが学校に行きたがらないこと
 ⑱ 自分が健康でないため思うような子育てや教育ができないこと ⑲ 子どものいじめ被害
 ⑳ その他 ()

問15 あなたが子育てや教育についての悩みを相談するとしたら、その相手・相談先はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- ① 配偶者・パートナー ② 親・義理の親 ③ きょうだい・親戚
 ④ 友人・知人 ⑤ 職場の関係者 ⑥ スクールソーシャルワーカー
 ⑦ スクールカウンセラー ⑧ 学校の先生 ⑨ 公的機関の相談員
 ⑩ 民生委員・児童委員 ⑪ 民間の支援団体 ⑫ 医療機関の関係者
 ⑬ その他 () ⑭ 誰もいない ⑮ 悩みはない

問16 あなたは、次の手当や支援などを実際に利用した（または支援を受けた）ことがありますか。

(1)～(13)のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	利用中・利用した ことがある	し 知らなかったが、 今後、利用したい	利用の必要がない
(1) 児童扶養手当 (離婚などで父又は母の一方からしか養育を 受けられない児童等のために支給される手当)	①	②	③
(2) 障害や難病の手当 (特別児童扶養手当など)	①	②	③
(3) 小中学校の就学援助、特別支援 就学奨励費、高等学校等就学支援金	①	②	③
(4) 修学資金の貸付、奨学金	①	②	③
(5) 公的機関の窓口(市町村役場、福祉 事務所、児童相談所等)での相談	①	②	③
(6) スクールカウンセラーへの相談	①	②	③
(7) スクールソーシャルワーカーへの 相談	①	②	③
(8) 放課後児童クラブ、放課後子供 教室等	①	②	③
(9) 無料または低料金で利用できる 家庭教師、地域での学習支援	①	②	③
(10) 住宅をさがしたり、住宅費を軽減 される援助	①	②	③
(11) 生活保護	①	②	③
(12) 生活に必要な資金の貸付 (母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活 福祉資金貸付金)	①	②	③
(13) 離婚等により、別れて暮らす子ど もの親からの養育費	①	②	③

IV お子さんのことについておたずねします。

問17 お子さんは、次の診断を受けたり、いずれかの手帳を持っていたりしますか。

(○は1つ)

- | | | |
|---------------|----------|-----------|
| ① 発達障害の診断を受けた | ② 療育手帳 | ③ 身体障害者手帳 |
| ④ 精神障害者保健福祉手帳 | ⑤ いずれもない | |

問18 あなたとお子さんの日頃の様子についてお聞きします。

(1) あなたは、お子さんとどれくらい話をしますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| ① よく話をする | ② ときどき話をする |
| ③ あまり話をしない | ④ まったく話をしない |

(2) あなたは、お子さんと一緒に過ごす時間を十分に取れていますか。(○は1つ)

※ ①～②の答えを選んだ方は問19へ進んでください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① よく取れている → 問19へ | ② と取れている → 問19へ |
| ③ あまり取れていない | ④ と取れていない |

(3) 上記(2)で「③ あまり取れていない」「④ と取れていない」と答えた方におたずねします。
その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|-----------------|--------------|
| ① 勤務時間が長いから | ② 仕事を掛け持ちしているから | ③ 夜間に働いているから |
| ④ 子どもに関心がないから | ⑤ その他 () | |

問19 お子さんの食事の状況についてお聞きします。

- (1) 普段、お子さんは誰と一緒に食事をとっていますか。もっともあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

ア) 朝食	① 家族(保護者やきょうだい)	② 家族以外の大人
	③ きょうだいなどの子どもだけで	④ ひとりで ⑤ 食べない
イ) 夕食	① 家族(保護者やきょうだい)	② 家族以外の大人
	③ きょうだいなどの子どもだけで	④ ひとりで ⑤ 食べない

- (2) あなたは、夏休みなどお子さんが長期の休暇のとき、子どもの昼食をどのようにしていますか。もっともあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

① 子どもと一緒に食べている	② 食事を用意して自由にさせている
③ 食事代を渡している	④ 特に何もしていない

問20 お子さんには虫歯がありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

① 虫歯はない	② 虫歯はあるが治療した(治療中の場合も含む)
③ 虫歯はあるが、病院には行けていない	④ わからない

問21 お子さんは、1週間にどれくらいお風呂(シャワーのみの場合を含む)に入っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

① ほとんど毎日	② 週に3～4回	③ 週に1～2回	④ 入らない
⑤ わからない			

問22 あなたの家庭では、お子さんのために次のものをお持ちですか。

(1)～(8)のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

<p>(1) 子どもの年齢と知識水準に適した本（教科書は除く）</p>	<p>① ある ② なし（経済的に難しいから） ③ なし（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(2) たいていの子どもがもっている文房具 (習字セット、コンパス、リコーダーなど)</p>	<p>① ある ② なし（経済的に難しいから） ③ なし（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(3) たいていの子どもがもっている屋外レジャー・スポーツ用品 (自転車、ローラースケート、グローブ、サッカーボール等)</p>	<p>① ある ② なし（経済的に難しいから） ③ なし（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(4) たいていの子どもがもっているおもちゃ</p>	<p>① ある ② なし（経済的に難しいから） ③ なし（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(5) コンピューターゲーム機</p>	<p>① ある ② なし（経済的に難しいから） ③ なし（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(6) 子ども部屋 (きょうだいと一緒に使っている場合を含む)</p>	<p>① ある ② なし（経済的に難しいから） ③ なし（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(7) 子どもが使えるインターネットにつながったパソコン</p>	<p>① ある ② なし（経済的に難しいから） ③ なし（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(8) 子ども専用のスマートフォン・携帯電話</p>	<p>① ある ② なし（経済的に難しいから） ③ なし（経済的な理由以外の理由から）</p>

問23 あなたの家庭では、お子さんのために次のことをしています（していました）か。

(1)～(11)のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

<p>(1) 小学校入学前の保育所、あるいは幼稚園への通園</p>	<p>① した ② しなかった（経済的に難しいから） ③ しなかった（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(2) お子さんが小さいころの絵本の読み聞かせ</p>	<p>① した ② しなかった（経済的に難しいから） ③ しなかった（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(3) 誕生日や記念日などでのお祝いごと</p>	<p>① している ② していない（経済的に難しいから） ③ していない（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(4) 家族旅行</p>	<p>① している ② していない（経済的に難しいから） ③ していない（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(5) 文化的な体験 (図書館・美術館・博物館・音楽鑑賞・映画鑑賞・舞台芸術鑑賞などに行く)</p>	<p>① させている ② させていない（経済的に難しいから） ③ させていない（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(6) 野外体験 (動物園・水族館・遊園地・フィールドアスレチックなどに行く)</p>	<p>① させている ② させていない（経済的に難しいから） ③ させていない（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(7) 家族での外食・買い物</p>	<p>① させている ② させていない（経済的に難しいから） ③ させていない（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(8) 学校の宿泊行事 (修学旅行、山の学校・海の学校・登山などの宿泊研修)</p>	<p>① させている ② させていない（経済的に難しいから） ③ させていない（経済的な理由以外の理由から）</p>
<p>(9) 学習塾・通信教育・家庭教師 (英語教室などを含む)</p>	<p>① させている ② させていない（経済的に難しいから） ③ させていない（経済的理由以外の理由から）</p>
<p>(10) 勉強以外の習い事 例) 各種スポーツ競技、バレエ、習字、ピアノ、合唱団など</p>	<p>① させている ② させていない（経済的に難しいから） ③ させていない（経済的理由以外の理由から）</p>
<p>(11) 学校の部活動 ※中学生の保護者の方のみお答えください。</p>	<p>① させている ② させていない（経済的に難しいから） ③ させていない（経済的理由以外の理由から）</p>

問24 あなたは、日頃のお子さんの学校での成績（学力）を客観的にみて、どのように感じておられますか。もっとも近いものに○をつけてください。（○は1つ）

- ① よい（学力がある） ② 普通 ③ よくない（学力が足りない） ④ わからない

問25 お子さんの将来のことについておたずねします。

(1) あなたは、お子さんの将来の進学・進路として、どの段階までの学校に進んでほしいとおもっていますか。現在のお考えにもっとも近いものに○をつけてください。（○は1つ）

- ① 中学校まで ② 高校まで ③ 専門学校・各種学校まで
④ 短大・高等専門学校まで ⑤ 大学まで ⑥ 大学院まで

(2) あなたが上記(1)のようにお考えになる理由は何ですか。理由としてもっとも大きいものに○をつけてください。（○は1つ）

- ① 子どもがそう希望しているから ② 一般的な進路だと思うから
③ 子どもの学力から考えて ④ 保護者としての希望
⑤ 経済的な事情から ⑥ その他（ ）

問26 お子さんの教育費についておたずねします。

学校以外の教育（学習塾や習い事）にかける1か月あたりの平均の支出はどれくらいですか。

（○は1つ）

- ① 支出はない ② 5千円未満 ③ 5千円～1万円未満 ④ 1万円～2万円未満
⑤ 2万円～3万円未満 ⑥ 3万円～5万円未満 ⑦ 5万円以上

問27 無料の学習支援についておたずねします。

- (1) 学習塾のように、子どもに学習の遅れがないかなど勉強を無料でみてくれる学習支援の取組が地域にあった場合、お子さんを参加させたいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

※ ②の答えを選んだ方は(3)へ、③の答えを選んだ方は問28へ進んでください。

- ① 参加させたい ② 参加させたくない → (3)へ ③わからない → 問28へ

- (2) 上記(1)で「① 参加させたい」と答えた方にお伺いします。

その理由について、もっとも近いと思うものに○をつけてください。(○は1つ)

※ 回答後は問28へ進んでください。

- ① 有料の塾は経済的な負担が大きいから
- ② 仕事などのため家で勉強をみてやる大人がいないから
- ③ その他 ()

- (3) 上記(1)で「② 参加させたくない」と答えた方にお伺いします。

その理由について、もっとも近いと思うものに○をつけてください。(○は1つ)

- ① 必要を感じないから ② 有料の塾(家庭教師)の方がいいと思うから
- ③ 他の習い事で忙しいから ④ 家事等の手伝いを優先させたいから
- ⑤ その他 ()

問29 あなたがお子さんを育てるうえで必要だと感じている支援や、地域であればすぐにでも利用したいと思うものは、どのようなものですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

- ① お年寄りをはじめ地域のひとと子どもが交流できる場所
- ② 給食費や修学旅行費、部活動に係る費用などへの援助
- ③ 放課後児童クラブに係る費用への援助
- ④ 放課後児童クラブの利用時間の延長
- ⑤ 美術館見学やキャンプ体験など子どもが無料で体験活動や学習活動に参加できる事業や制度
- ⑥ その他 ()
- ⑦ 特にない

問30 お子さんやあなたの毎日の生活のことで感じていることや悩んでいることなど、自由に書きください。

※ これですべての質問は終わります。ご協力いただきありがとうございました。

2 「子ども用」アンケート

岡山県子どもの生活実態調査

《アンケートご協力のお願い》

このアンケートは、みなさんの家や学校での生活の様子や感じていること、行っていることについておたずねするものです。アンケート結果は、みなさん一人ひとりが勉強やいろいろな活動に頑張れるよう応援するために役立つものです。みなさんのよりよい生活のためにご協力をお願いします。

アンケートには、あなたの名前を書く必要はありません。回答を先生が見ることもありません。あなたの個人のことを取りあげることも、学校名が公表されることもありませんので、ありのままを記入してください。

アンケートに答えるときには、あまり考え込まずに、気持ちを楽にして答えてください。

書き方について

- ▶ アンケートは、他の人に相談したりせず、あなた自身の考えで記入してください。
- ▶ 質問の中で、あなたにあてはまらなかったり、意味がわからないもの、答えられないものがあれば、とぼして次の質問に進んでもかまいません。
- ▶ 回答は、質問ごとに用意した回答の中から、あなたの考えにあてはまる番号に○印をつけてください。
- ▶ 回答は、鉛筆またはボールペンで、はっきりと記入してください。
- ▶ 記入が終わったら、水色の封筒に入れて封をし、先生に提出してください。

このアンケートは岡山県庁が行っています。わからないことはこちらに連絡してください。

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県保健福祉部子ども家庭課 TEL 086-226-7349 (直通)

I あなた自身のことと一緒に住んでいる人のことについておたずねします。

問1 あなたの学年と性別にそれぞれ○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

学 年	① 小学5年生	② 中学2年生	
性 別	① 男性	② 女性	③ その他

問2 あなたが、今、一緒に住んでいる人をすべて教えてください。(○はいくつでも)

① お父さん	② お母さん	③ きょうだい	④ おじいさん
⑤ おばあさん	⑥ おじさん、おばさんなどの親戚	⑦ その他の人 ()	

問3 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

① とくに気になるところはない	② ねむれない	③ よく頭がいたくなる
④ 不安な気持ちになる	⑤ イライラする	⑥ ものを見づらい
⑦ 聞こえにくい	⑧ よくおなかがいたくなる	⑨ まわりが気になる
⑩ やる気がおこらない	⑪ その他 ()	

II 学校や勉強のことについておたずねします。

問4 あなたは、学校の授業がどのくらいよくわかりますか。(○はひとつ)

① ほとんどわかる	② だいたいわかる	③ 半分くらいわかる
④ わからないことが多い	⑤ ほとんどわからない	

問5 あなたは、学校が終わった後、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

※ 宿題をする時間や、塾などでの時間も含みます。

※ ①～③の答えを選んだ人は問7へ進んでください。

① 3時間以上	→	問7へ	② 2時間以上3時間より少ない	→	問7へ
③ 1時間以上2時間より少ない	→	問7へ	④ 1時間より少ない	⑤ まったくしない	

問6 上の問5で「④ 1時間より少ない」「⑤ まったくしない」と答えた人におたずねします。その理由として近いものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

(問5で①～③と答えた人は答える必要はありません。)

① 勉強が好きではないから	② 部活動でいそがしいから
③ 習い事などでいそがしいから	
④ 家のお手伝い(料理や洗濯、きょうだいの世話など)でいそがしいから	
⑤ 高校や大学に進学できないと思うから	⑥ その他()

問7 あなたは、次のことについて、どういう状況ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

※ 小学生の人は(1)～(2)まで答えてください。中学生の人は(1)～(3)まですべて答えてください。

	いまやっている	やっていない		
		やりたいが、 がまんしている	やりたくない (必要がない)	わからない
(1) 塾や家庭教師 例) 算数・数学や英語などを教 る教室や先生	①	②	③	④
(2) 勉強以外の習い事 例) サッカーや野球のチーム、水泳 教室、テニススクール、絵画教室、 音楽教室、習字などの習い事など	①	②	③	④
(3) 部活動 ※中学生のみ答えてください。	①	②	③	④

問8 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(〇はひとつ)

※ ③～⑥の答えを選んだ人は問10へ進んでください。

① 中学校まで	② 高校まで	③ 短期大学・専門学校まで	→ 問10へ
④ 大学・大学院まで	→ 問10へ	⑤ その他 (→ 問10へ
⑥ わからない	→ 問10へ		

問9 上の問8で「① 中学校まで」「② 高校まで」と答えた人におたずねします。そう答えた理由は何ですか。もっともあてはまるものに〇をつけてください。(〇はひとつ)

(問8で③～⑥と答えた人は答える必要はありません。)

① 勉強が好きではないから	② 早く働きたいから	③ 保護者からそう言われるから
④ 進学にはお金がかかるから	⑤ その他 ()

Ⅲ 父だんの生活についておたずねします。

問10 あなたは、放課後(部活動や放課後子供教室等が終わった後)、どこで過ごすことが多いですか。もっともあてはまる番号に〇をつけてください。(〇はひとつ)

① 自宅(一人でのいる)	② 自宅(保護者や祖父母などの大人とのいる)
③ 自宅(大人はいるがきょうだいとのいる)	④ 自宅(大人はいるが友達とのいる)
⑤ 友達の家(大人もいる)	⑥ 友達の家(大人はいる)
⑦ 祖父母・親戚の家	⑧ 図書館
⑨ 児童館	⑩ 塾(習い事などを含む)
⑪ 公園	⑫ ゲームセンターや繁華街など
⑬ その他 ()

問11 あなたは、休日（学校がお休みの日）はどこで過ごすことが多いですか。もっともあてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 自宅（一人でのいる） | ② 自宅（保護者や祖父母などの大人といる） |
| ③ 自宅（大人はいないがきょうだいといる） | ④ 自宅（大人はいないが友達といる） |
| ⑤ 友達の家（大人もいる） | ⑥ 友達の家（大人はいない） |
| ⑦ 祖父母・親戚の家 | ⑧ 図書館 |
| ⑨ 児童館 | ⑩ 塾（習い事などを含む） |
| ⑪ 公園 | ⑫ ゲームセンターや繁華街など |
| ⑬ その他（ | ） |

問12 あなたは、週にどれくらいお風呂（シャワーのみの場合も含む）に入りますか。（○はひとつ）

- | | | | |
|----------|----------|----------|--------|
| ① ほとんど毎日 | ② 週に3～4回 | ③ 週に1～2回 | ④ 入らない |
|----------|----------|----------|--------|

問13 あなたは、平日（学校のある日）は何時頃に寝ますか。もっともあてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| ① 午後9時より前 | ② 午後9時台 | ③ 午後10時台 |
| ④ 午後11時台 | ⑤ 午前0時台 | ⑥ 午前1時より後 |

問14 あなたは、朝食を食べていますか。（○はひとつ）

※ ①の答えを選んだ人は問16へ進んでください。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ① 毎日またはほとんど毎日食べる → 問16へ | ② 週に4～5回食べる |
| ③ 週に2～3回食べる | ④ 週に1回程度食べる |
| | ⑤ 食べない |

問15 問14で「① 毎日またはほとんど毎日食べる」と答えた人以外の人におたずねします。あなたが朝食を食べない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）（問14で①と答えた人は答える必要はありません。）

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ① 時間がないから | ② おなかがすかないから | ③ 用意されていないから |
| ④ 食べる習慣がないから | ⑤ ダイエットのため | ⑥ その他（ |
| | | ） |

問16 あなたは、夕食を食べていますか。(〇はひとつ)

※ ①の答えを選んだ人は問18へ進んでください。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ① 毎日またはほとんど毎日食べる → 問18へ | ② 週に4～5回食べる |
| ③ 週に2～3回食べる | ④ 週に1回程度食べる |
| ⑤ 食べない | |

問17 問16で「① 毎日またはほとんど毎日食べる」と答えた人以外の人におたずねします。

あなたが夕食を食べない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に〇をつけてください。
(〇はひとつ) (問16で①と答えた人は答える必要はありません。)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ① 時間がないから | ② おなかがすかないから | ③ 用意されていないから |
| ④ 食べる習慣がないから | ⑤ ダイエットのため | ⑥ その他 () |

問18 あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日も含めます。)(〇はひとつ)

- | | | |
|---------|------------|-------------|
| ① 必ず食べる | ② 食べることが多い | ③ 食べないことが多い |
| ④ 食べない | ⑤ その他 () | |

問19 あなたは、1週間のうち、給食の時間以外で、次のものをどれくらい食べていますか。

(〇はひとつ)

(1) 魚、肉、卵、とうふなど(丈夫な体をつくるタンパク質が多く含まれた食べ物)	①	毎日	②	週 4～6日	③	週 2～3日
	④	週 1日	⑤	食べない		
(2) 野菜やくだもの(サラダや煮物など)	①	毎日	②	週 4～6日	③	週 2～3日
	④	週 1日	⑤	食べない		
(3) インスタント食品・レトルト食品(カップめん、レトルトカレーなど)	①	毎日	②	週 4～6日	③	週 2～3日
	④	週 1日	⑤	食べない		
(4) スーパーやコンビニなどのお弁当やおにぎり、おかずなど	①	毎日	②	週 4～6日	③	週 2～3日
	④	週 1日	⑤	食べない		
(5) お菓子	①	毎日	②	週 4～6日	③	週 2～3日
	④	週 1日	⑤	食べない		

問20 あなたは、ごはんを主に誰と一緒に食べますか。

次の(1)～(3)のそれぞれについて、もっとも近いと思うものに○をつけてください。

(それぞれ○はひとつ)

(1) 朝食	① 家族 (保護者やきょうだい)	② 家族以外の大人
(2) 夕食	① 家族 (保護者やきょうだい)	② 家族以外の大人
(3) 休みの日の昼食	① 家族 (保護者やきょうだい)	② 家族以外の大人
	③ きょうだいなどの子どもだけで	④ ひとりで
		⑤ 食べない

問21 あなたは、おうちの大人の人とどれくらい話をしますか。(○はひとつ)

※ ①～②の答えを選んだ人は問23へ進んでください。

① よく話をする	→ 問23へ	② ときどき話をする	→ 問23へ
③ あまり話をしない		④ まったく話をしない	

問22 問21で「③ あまり話をしない」または「④ まったく話をしない」と答えた人におたずねします。あなたが、おうちの大人の人と話をしないのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

(問21で①または②と答えた人は答える必要はありません。)

① いそがしそうだから	② 話題がないから	③ めんどくさいから
④ 気持ちをわかってもらえないから	⑤ 聞いてくれないから	⑥ すぐにおこるから
⑦ 話しかけてこないから	⑧ たよりないから	
⑨ その他 ()		

問23 あなたの家には、次の(1)～(9)のようなあなたの持ちものや、自分が使うことができるものがありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものに○をつけてください。

(それぞれ○はひとつ)

	も 持っている	も 持っていないの で、ほしいと思う	も 持っていないが、 いらぬ
(1) 本 <small>ほん</small> （教科書 <small>きょうかしょ</small> は除く <small>のぞ</small> ）	①	②	③
(2) たいていの友達 <small>ともだち</small> がもっている文房具 <small>ぶんぼうぐ</small> (習字セット <small>しゅうじ</small> 、コンパス、リコーダーなど)	①	②	③
(3) スポーツ用品 <small>ようひん</small> やレジャー用品 <small>ようひん</small> （野球 <small>やきゅう</small> のグローブ や、サッカーボール、ローラースケートなど）	①	②	③
(4) コンピューターゲーム機 <small>き</small>	①	②	③
(5) たいていの友達 <small>ともだち</small> が持っているおもちゃ <small>も</small> (積み木 <small>つみき</small> 、トランプなど)	①	②	③
(6) 自転車 <small>じてんしゃ</small>	①	②	③
(7) 子ども部屋 <small>こ</small> （ひとり部屋 <small>べや</small> やきょうだいと一緒に <small>いっしょ</small> つかっている部屋 <small>へや</small> ）	①	②	③
(8) インターネットが使えるパソコンやタブレット機器 <small>きき</small>	①	②	③
(9) スマートフォン・携帯電話 <small>けいたいでんわ</small>	①	②	③

問24 あなたは、次の(1)～(6)の家のお手伝いについて、それぞれどれくらいでやっていますか。もっともあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

	ほとんど毎日 <small>まいにち</small>	しゅう 週に2～3日程度 <small>にちていど</small>	ほとんどしない
(1) 食事 <small>しょくじ</small> の買い物 <small>か</small>	①	②	③
(2) 食事 <small>しょくじ</small> づくり	①	②	③
(3) 食後 <small>しょくご</small> の食器 <small>しょつき</small> 下げや食器 <small>しょつき</small> 洗いなど 食事 <small>しょくじ</small> の後片付け <small>あとかたづ</small>	①	②	③
(4) 自分 <small>じぶん</small> の部屋 <small>へ</small> 以外の <small>やい</small> そうじ <small>がい</small>	①	②	③
(5) きょうだいの世話 <small>せわ</small>	①	②	③
(6) 洗濯 <small>せんたく</small> もの干し <small>ほ</small> や洗濯 <small>せんたく</small> ものたたみ	①	②	③

問25 あなたは、ゲームやスマートフォンを平日（月～金）どれくらい使いますか。（〇はひとつ）

- ① まったくしない ② 1時間より少ない ③ 1時間以上2時間より少ない
④ 2時間以上3時間より少ない ⑤ 3時間以上4時間より少ない ⑥ 4時間以上

問26 あなたは、読書（マンガや雑誌は除く）をしますか。（〇はひとつ）

- ① ほとんど毎日 ② 週に数回 ③ 月に2～3回
④ 年に数回 ⑤ まったくしない

問27 あなたは、おうちの大人の人とニュースなど社会の出来事について話をしますか。

（〇はひとつ）

- ① ほとんど毎日 ② 週に4～5回 ③ 週に1回程度
④ 月に数回 ⑤ 年に数回 ⑥ まったくしない

問28 あなたは、おうちの大人の人と文化活動（図書館、美術館、博物館、音楽鑑賞、映画館に行くなど）をしますか。（〇はひとつ）

- ① 週に1回程度 ② 月に2～3回 ③ 月に1回程度
④ 年に数回 ⑤ まったくしない

問29 あなたは、おうちの大人の人と自然体験（キャンプ、海水浴、山登り、自然散策など）をしますか。（〇はひとつ）

- ① 週に1回程度 ② 月に2～3回 ③ 月に1回程度
④ 年に数回 ⑤ まったくしない

問30 あなたが小さいころ、おうちの大人の人に本や絵本を読んでもらいましたか。（〇はひとつ）

- ① 読んでもらった ② 読んでもらわなかった ③ わからない

問31 あなたは、住んでいる地域で次のような活動に参加したことがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- ① おまつりなど地域の行事 ② 子ども会や町内会などの行事(クリスマス会や運動会など)
 ③ 幼児(小さな子)やお年寄りなどとの交流 ④ 児童館、公民館などの催し
 ⑤ 参加したことはない

IV あなたの気持ちについておたずねします。

問32 あなたは、次の(1)～(4)のそれぞれについてどう感じていますか、あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

	いつも おもう そう思う	ときどき おもう そう思う	あまりそう おもう 思わない	まったくそう おもう 思わない	わからない
(1) 家は楽しいと思う	①	②	③	④	⑤
(2) 家のしつけは厳しいと思う	①	②	③	④	⑤
(3) 家に帰りたくないと思うことがある	①	②	③	④	⑤
(4) 家はお金に困っていないと思う	①	②	③	④	⑤

問33 あなたは、次の(1)～(5)のそれぞれについてどう思いますか、あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

	とても おもう そう思う	どちらかと い 言え おもう そう思う	おもう そう思わない	わからない
(1) 努力すれば必ずむくわれると思う	①	②	③	④
(2) 自分は価値のある人間だと思う	①	②	③	④
(3) 自分は家族に大切にされていると思う	①	②	③	④
(4) 将来お金のことが心配だ	①	②	③	④
(5) 孤独(ひとりぼっちでさびしい気持ち)を感じることもある	①	②	③	④

問34 あなたが、いま悩んでいることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

① 家族のこと	② 勉強のこと	③ 部活動・クラブ活動のこと
④ 外見や体形などのこと	⑤ 健康のこと	⑥ 友達関係のこと
⑦ 好きな人のこと	⑧ 進学・進路のこと	⑨ お金のこと
⑩ 悩みはない	⑪ その他 ()	

問35 あなたが、普段、いやなことや困ったことがあるとき、助けてくれたり、支えてくれる人はだれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

① 保護者	② 兄弟姉妹	③ おじいさん・おばあさん	④ おじさん、おばさんなどの親戚
⑤ 学校の先生	⑥ 塾や習い事の先生	⑦ 友達	⑧ 近所の人
⑨ スクールカウンセラー	⑩ スクールソーシャルワーカー	⑪ だれもいない	
⑫ その他 ()	⑬ わからない		

問36 次の(1)～(5)のことについて、あなたの身近にあれば行きたい(やってみたい)と思いますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

	いま行っている	行っていない		
		行きたいが、 がまんしている	行きたくない (必要がない)	わからない
(1) 無料で勉強を教 えてくれる塾	①	②	③	④
(2) 無料で食事を食べ させてくれる場所	①	②	③	④
(3) 悩みや困りごとを 相談できる場所	①	②	③	④
(4) 親が帰宅するまで いることができる場所	①	②	③	④
(5) 様々な体験活動 例) キャンプ、博物館、 美術館、科学体験、映画 鑑賞など	①	②	③	④
(6) その他あったらいいなと思う場所やあったらいいなと思うことなどがあれば自由に書いてください。				

問37 あなたには、^{しょうらい}将来の^{ゆめ}夢や^{もくひょう}目標がありますか。(〇はひとつ)

- | | |
|--------------|--------------|
| ① ある | ② どちらかという、ある |
| ③ どちらかという、ない | ④ わからない |

問38 ^{ゆめ}夢や^{もくひょう}目標をかなえるために^{がんばりたい}がんばりたいと思^{おも}いますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|-------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| ① がんばっている | ② がんばりたいと思 ^{おも} う | ③ がんばりたいと思 ^{おも} わない |
| ④ がんばってもムダだと思 ^{おも} う | ⑤ わからない | |

問39 あなたが、^{まいにち}毎日の^{せいかつ}生活で^{かん}感じていることや^{なや}悩んでいることを^{じゆう}自由に^か書いてください。

※ これで^{しつもん}質問は^お終わりです。ご^{きょうりょく}協力ありがとうございました。

3 「支援者用」アンケート

岡山県子どもの生活実態調査

《調査ご協力のお願い》

このたび岡山県では、子どもの貧困対策を推進するため、小中学校の児童・生徒とその保護者を抽出し、アンケートによる子どもの生活実態を調査するとともに、日頃から子どもと関わっている関係機関の方々に支援者側の視点から子どもの状況等についてお伺いすることとしました。この調査は、子どもの貧困問題に関し、今後の支援の在り方等を検討するための基礎資料として活用するために行うものです。

この調査票には、貴団体の名称やご記入いただく方の個人名を書いていただく必要はありません。
また、貴団体の個別の情報を公表することはありません。

ご回答の内容は、本調査の目的以外に利用することはありませんが、調査・分析結果は、今後の施策等の検討に役立てるため市町村にも情報提供しますので、その旨ご了解をお願いします。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、子どもたちが夢と希望をもって成長していける環境づくりを行うため、この調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご記入にあたって

- この調査票は、日頃から子どもと関わる関係機関の方に記入をお願いします。
- アンケートは無記名でお願いします。 貴団体の名称やご記入いただく方の個人名を書いていただく必要はありません。
- これまで支援等に関わった子どものうち、背景に貧困が伴うと考えられる子どもの状況について、代表的な事例や全般的な傾向を念頭にご回答ください。
- 答えにくい質問や答えたくない質問には、お答えいただく必要はありませんが、この調査で個人や施設等を特定することはありませんので、できるだけありのままをお答えください。
- ご記入が終わったら、返信用封筒に入れて封をし、県が委託した統計処理会社に送付してください。なお、切手を貼る必要はありません。

<この調査についてのお問い合わせ先>

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県保健福祉部子ども家庭課 TEL 086-226-7349 (直通)

※ このアンケートは岡山県が委託した統計処理会社が情報処理を取り扱います。

<はじめに>

この調査は、子どもの貧困問題に関し、今後の支援の在り方等を検討するための基礎資料として活用するために行うものです。

この場合の「貧困」とは、「食べるものがなく飢える」といった生理的に必要なものを欠いている状態（絶対的貧困）だけでなく、子どもが人として一般的な社会生活を営むために必要なもの・必要なことが不足・欠如している状態（いわゆる相対的貧困）を含むものと理解してお答えください。

I まずは、あなた（貴団体）のことに、お答えください。

問1 あなた（貴団体）は次のうちどの機関に該当しますか。あてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）

- | | | | |
|-----------------|-----------|------------|--------------|
| ① 保育所 | ② 学校 | ③ 児童館 | ④ 放課後児童クラブ |
| ⑤ 児童養護施設・里親 | ⑥ 社会福祉協議会 | ⑦ NPO法人 | ⑧ スクールカウンセラー |
| ⑨ スクールソーシャルワーカー | ⑩ 市町村職員 | ⑪ 学生ボランティア | |
| ⑫ その他() | | | |

問2 この調査票にご記入いただいているあなたは、貴団体の中でどのような立場の方ですか。（それぞれ○は1つ）

(1) 職 責	① 代表者	② 職員	③ その他()
(2) 職 種	① 保健師	② 家庭・女性相談員	③ 母子・父子自立支援員
	④ 児童福祉司	⑤ 児童心理司	⑥ 臨床心理士
	⑦ 社会福祉士	⑧ 保育士	⑨ 教員
	⑩ スクールカウンセラー	⑪ スクールソーシャルワーカー	
	⑫ 指導員	⑬ NPOスタッフ	
	⑭ 社会福祉協議会スタッフ	⑮ 精神保健福祉士	
	⑯ 医療関係者	⑰ 学生ボランティアスタッフ	
	⑱ その他()		

Ⅱ あなた（貴団体）がこれまで関わった子どものうち、背景に貧困が伴うと考えられる子どもの状況についておたずねします。代表的な事例や全般的な傾向を念頭にお答えください。

問3 背景に貧困が伴うと考えられる子どもは、どのような困難な状況におかれていましたか。あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

- ① 子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない
- ② 食事を十分にとれていない
- ③ お風呂に毎日入ることができない
- ④ 医療機関への受診を控えている
- ⑤ 学力が低い
- ⑥ 学校で必要な文房具や学用品等を持っていない
- ⑦ 夜遅い時間でも子どもだけで家にいる
- ⑧ 日常的に家事やきょうだいの世話を担っている
- ⑨ 相談にのってくれる大人がいない
- ⑩ 虐待を受けている
- ⑪ その他

[]

問4 背景に貧困が伴うと考えられる子どもがいる世帯に多く見られる困難な状況はどのようなものでしたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- ① 生活保護受給世帯
- ② ひとり親家庭
- ③ 保護者が仕事に就いていない
- ④ 保護者は働いているが収入が少ない
- ⑤ 保護者の健康状態がよくない
- ⑥ 家計管理ができていない
- ⑦ 家(世帯)が不衛生(入浴していない、洗濯していない、ゴミの放置など)
- ⑧ 家庭が社会的に孤立している
- ⑨ 保護者が子どもに関わっていない
- ⑩ その他

問5 あなた(貴団体)は背景に貧困が伴うと考えられる子どもや保護者に対し、どのような支援を行いましたか。(○はいくつでも)

- ①① 家庭訪問
- ② 子どもの居場所の提供
- ③ 食事の提供
- ④ 学習支援
- ⑤ 進路相談
- ⑥ 就労支援
- ⑦ 経済的支援(公的な手当や就学援助、奨学金などの紹介)
- ⑧ その他

問6 そうした支援に対し、どのような効果があったと思いますか、自由にご記入ください。(子どもの様子の変化など)

問7 あなたは、困難を抱える子どもとその家庭への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。もっともあてはまるもの3つまで○をつけてください。(○は3つ)

- ① 困難を抱える子どもを発見する仕組みがない(支援の対象者がわからない)
- ② 困難を抱える子どもを発見した後のつなぎ先がわからない
- ③ 保護者との接触、信頼関係づくりが難しい(支援を拒否される)
- ④ 子どもとの関わり方が難しい
- ⑤ 支援に用いることができる制度が少ない
- ⑥ 支援者同士の連携が難しい
- ⑦ 特にない
- ⑧ その他

問8 背景に貧困が伴うと考えられる子どもやその世帯に対し、どのような支援がもっとも必要だと思いますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。(○は3つ)

- ① 手当など保護者への現金給付
- ② 学用品や給食費、部活動に係る費用など就学に係る費用への援助
- ③ 相談担当者の資質向上
- ④ 相談担当者の増員
- ⑤ 総合相談窓口の設置
- ⑥ 訪問による早期発見や生活支援
- ⑦ 保育サービスの提供
- ⑧ 子どもの居場所の提供
- ⑨ 学校での専門家(スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等)による支援
- ⑩ 子どもへの学校以外での学習機会の提供
- ⑪ 子どもへの文化・自然体験活動(美術館見学、キャンプ体験など)の機会の提供
- ⑫ 子どもへの食事の提供
- ⑬ 保護者の就労の支援
- ⑭ 子どもへの進学・就労の支援
- ⑮ わからない
- ⑯ その他

[]

問9 経済的な問題で困難を抱える子どもや家庭に対する支援について、感じていることがあれば自由にご記入ください。

※ これで質問は終わりです。ご協力いただきありがとうございました。

岡山県子どもの生活実態調査

《報告書》

平成 30 年 3 月

発 行 岡山県

企画・編集 岡山県保健福祉部子ども家庭課